FUJITSU Printer PS5110B

ページプリンタ装置

取扱説明書



はじめに

FUJITSU Printer PS5110B(以降 PS5110B)は、以下 2 つのモデルがあります。

PS5110BK : ネットワーク接続に加えて富士通メインフレームの BMC/PSD チャネル接続を サポートしています。なお、PS5110BK の記述については、[型名]PS51110B も対象となります。

PS5110BL: ネットワーク接続に加えて、プリンタオプションであるチャネル接続機構 (PS5110B50)を介して富士通メインフレームの FCLINK/CTS チャネル接続 をサポートしています。PS5110B50は外付けオプション装置です。PS5110B50 に関する設定や操作などの詳細は、FUJITSU Printer PS5000 シリーズ チャ ネル接続機構 (PS5600C50/PS5110B50)の取扱説明書を参照してくだ さい。

本書は、本装置を使用されるシステム設計者およびオペレータの手引きにすることを目的として解説したものです。

本書の内容についてよくご理解していただいた上でご使用ください。特に、オペレータは 「第2章 操作」をご一読の上ご使用ください。

2022年1月

安全な使用のために

本書の取り扱いについて

本書には、当製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されています。当製品をご使 用になる前に、本書を熟読してください。特に、本書に記載されている『安全上の注意事項』をよく 読み、理解された上で当製品をご使用ください。また、本書は、当製品の使用中、いつでも参照 できるように、大切に保管してください。

富士通は、お客さまの生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために、 細心の注意を払っております。当製品を使用する際には、本書の説明に従ってください。

本書では, GS1-128 バーコードについて、以下のように記載しています。 ・GS1-128 : 以前より、医療用等に使用される GS1-128 コード

(旧 UCC/EAN-128)

・GS1-128(料金代理収納用):公共料金等代理収納 GS1-128 コード

警告表示について

本書では、お客さまの身体や財産に損害を与えないよう、以下の警告表示をしています。



「▲警告」は、正しくご使用にならない場合、死亡する、または重傷を負うことがあり得ることを示 しています。

▲ 注意

「▲注意」は、正しくご使用にならない場合、軽傷、または中程度の傷害を負うことが あり得ることと、当該製品自身、またはその他の使用者などの財産に損害が生じる危険性が あることを示しています。

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途 を想定して設計・製造されているものであり、原子力核制御、航空機飛行制御、 航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など、極めて高 度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体 に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用され るよう設計・製造されたものではございません。 お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、 本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の 担当営業までご相談ください。

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると 電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者は適切な対策を講ずるよう要求される ことがあります。 VCCI-A

すべての SPARC 商標は、SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用してい る同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

UNIX は、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。 Red Hat、 RPM および Red Hat をベースとしたすべての商標とロゴは、Red Hat, Inc. の 米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。

その他各種製品名は、各社の製品名称または商標、登録商標です。

本書に記載されているシステム名、製品名等には、必ずしも商標表示((R)、TM)を付記していません。

お 願 い

・本書を無断で他に転載しないようお願いします。

・本書は予告なしに変更されることがあります。

All Rights Reserved, Copyright © 富士通株式会社 2006-2022

製品などの呼び方について

この取扱説明書では製品名称などを、次のように略して表記しています。

また、『GS/PRIMEFORCE』には、PRIMEQUEST シリーズ OSIV/XSP 動作機構も含みます。

製品名称	本文中の表記
Microsoft [®] Windows Server [®] 2019 Datacenter	Windows Server 2019
Microsoft [®] Windows Server [®] 2019 Standard	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2016 Datacenter	Windows Server 2016
Microsoft [®] Windows Server [®] 2016 Standard	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2012 R2 Datacenter	Windows Server 2012 R2
Microsoft [®] Windows Server [®] 2012 R2 Standard	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2012 R2 Foundation	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2012 Datacenter	Windows Server 2012
Microsoft [®] Windows Server [®] 2012 Standard	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2012 Foundation	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2008 R2 Enterprise	Windows Server 2008 R2
Microsoft [®] Windows Server [®] 2008 R2 Standard	
Windows® 10 Home	Windows 10
Windows® 10 Pro	
Windows® 10 Enterprise	
Windows® 10 Education	
Windows® 8.1	Windows 8.1
Windows® 8.1 Pro	
Windows® 8.1 Enterprise	
Windows® 7 Starter	Windows 7
Windows® 7 Home Premium	
Windows® 7 Professional	
Windows® 7 Enterprise	
Windows [®] 7 Ultimate	

※Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、 Windows Server 2016、Windows Server 2019 を搭載したシステムを、本書では 『Windows Server』と記載することがあります。

※Windows 7、Windows 8.1、Windows 10を搭載したシステムを、本書では『Windows PC』と記載することがあります。

製品名称	本文中の表記
Oracle Solaris	Solaris

製品名称	本文中の表記
Red Hat® Enterprise Linux® 7 (for Intel64)	Red Hat Enterprise Linux
Red Hat® Enterprise Linux® 6 (for Intel64)	または、RHEL
Red Hat® Enterprise Linux® 6 (for x86)	
Red Hat® Enterprise Linux® 5 (for Intel64)	
Red Hat® Enterprise Linux® 5 (for x86)	

警告マークについて

本書では、安全上の注意事項を記述した箇所に、警告表示とともにその内容を示す警告マーク を配置して一目でわかるように配慮しています。

使用している警告マークの意味は以下のとおりです。内容をよく理解したうえで、お読みください。



感電する危険性について記述していることを示します。



高温による障害の危険性について記述していることを示します。



発火する危険性について記述していることを示します。



手や指をはさむ危険性について記述していることを示します。



回転物によって起こる障害の危険性について記述していることを示します。



触れることによって障害が起こる可能性について記述していることを示します。



感電などの危険性があるために、分解することを禁止する記述を示します。



一般的な禁止事項を記述していることを示します。



一般的な注意事項を記述していることを示します。

安全上の注意事項

警告



電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。インタフェースケーブル類も同じです。

感電や火災のおそれがあります。

電源コードの上に物をのせたり、からみつけたり、足を引っかけたりしないように注意してくだ さい。



万一機器から発熱・発煙・異臭・異常音が発生したら、すぐに電源を切断(メインスイッチまたはユニットエマージェンシースイッチを切断)した上で、保守技術員に連絡してください。

感電や火災のおそれがあります。

- 定着器の緑ランプが消灯中は、定着器内の用紙を引き出すと発火する可能性があります。表示ランプが点灯後、定着器を開放し用紙を引き出してください。
 装置停止直後の定着器内の用紙は非常に高温になっています。
 この状態で用紙を引き出すと空気に触れて発火する恐れがありますので、用紙状態に
 異常が見られた場合も、定着器の表示ランプが点灯するまでは用紙を引き出したり動かしたりしないでください。
- 紙片などの残留物は用紙焦げの原因となります。用紙づまりを処理する時は、定着器内と周辺に紙片などの残留物が残っていないことを十分に確認してください。
 定着器内および前後の搬送路に紙片などの残留物が残ったまま印刷を行うと、未定着の障害となるほか、用紙焦げが発生する恐れがあります。用紙づまりを処理する時は、紙片などの残留物が残っていないことを十分に確認してください。
 内部が見えない状態で処理を行うと紙片などの残留物が残ることがあります。残留用紙を処理する場合は定着器を開放してから行ってください。



トナー・現像剤を目や口に入れないでください。 トナーの交換時に手についたトナーは速やかに洗い落とし、目や口に入れないでください。 トナー・現像剤をこぼしたときなどにこの粉塵を長いあいだ多量に吸い込むと、肺に影響を 及ぼす場合がありますので、ご注意ください。 また、このようなときには、速やかに医師に相談してください。

● 使用済みのトナー、トナーカセット、および回収ボトルは絶対に火の中に入れないでください。

異臭が発生します。廃却時には、不燃物の扱いにしてください。

▲注意



装置の電源を切断後でも、温度が下がるまで高温部(定着部ガラス面)には触れないようにしてください。

火傷のおそれがあります

● 装置背面の排気口(ブラインド)からは、約60℃の熱い空気が排出されています。
 装置が動作中に装置背面に近づくときは、十分に注意してください。



歯車・ベルトなどの可動部に衣服の袖やネクタイ、髪を巻き込まれないように注意してくだ さい。 巻き込みのおそれがあります。

بر ا

ネジで止められているカバー類を外さないでください。
 感電、火傷、怪我のおそれがあります。



- 動作中にカバーを開けて手や指や顔を入れないでください。
 怪我(指挟みなど)のおそれがあります。
- 止 装置内の安全スイッチには手を触れないでください。 プリンタ装置が急に作動状態となり、怪我(指挟みなど)のおそれがあります。
 - 印刷中の用紙に手を触れないでください。
 動いている用紙によって、手を切ることがあります。



- 装置内部が高温になるため、通気口をふさがないでください。
 火災のおそれがあります。
- 20kg 以上の物は一人で運ばないでください。必ず 2 人以上で運んでください。 腰や手を傷めるおそれがあります。
- 光源部(フラッシュ光など)を直接見ないでください。
 目を傷めるおそれがあります。
- ヨーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が装置内部に入らないように気をつけて ください。
 感電や火災のおそれがあります。また、装置内部に異物が入るのを防ぐため、装置の上に
 - 物を置かないでください。
- 印刷動作中は、中扉、右側面カバー、搬送レバーを開けないでください。開けるときは、
 印刷動作が停止していることを確認してください。
 印刷動作中に中扉、右側面カバー、搬送レバーを開くと、危険防止のため印刷動作が
 停止します。そのあと印刷ジョブ再スタートが必要となります。



プリンタ装置の現像剤やトナーなどの交換時、用紙の補給および取り出し時には必ず操作手順を守ってください。
 怪我のおそれがあります。

- 用紙づまりの発生時には、必ず操作手順を守って用紙を取り除いてください。 怪我のおそれがあります。
- 装置が置かれた部屋の換気をしてください。
 オゾンなどが発生し、気分が悪くなるおそれがあります。
- 装置に貼られているラベルに表示されている内容には十分注意し、必ず守ってください。
 感電、火傷、怪我、および火災のおそれがあります。
- 印刷終了直後に電源を切断するときは、印刷済み最終ページの用紙をスタッカ部まで 排出した後、定着部の緑色ランプが点灯していることを確認してください。
 印刷終了直後に電源を切断すると、定着部の用紙が焦げることがあります。印刷が 終了しても、定着部の温度を下げるために冷却ファンが動作しています。安全な温度に 下がると定着部の緑色ランプが点灯します。印刷終了後、定着部の緑色ランプが点灯 するまでには約2分かかります。
- 電源を切断(リモート操作、ローカル操作とも)するときは、定着部の緑色ランプが点灯していることを確認してください。なお、印刷終了後、定着部の緑色ランプが点灯するまでには約2分かかります。
- 間欠印刷(時々印刷停止が入る)の場合には、連続印刷に比べて用紙エンドのときの 余白ページが1枚多く成る場合があります。
- 折りたたみ長と FCB 長が異なる場合で、新たな用紙をセットするときは印刷位置を確認 してください。

連続印刷中に用紙エンドを検出した際、ドラム上には既に次のページを露光しています。 このため、間欠印刷のときは連続印刷に比べると用紙エンドのときの余白ページが1枚多 くなることがあります。特に、折りたたみ長と FCB 長が異なる場合(例:折りたたみ長 = 7 センチ、FCB 長 = 3.5 センチなど)は、必ずしも折りたたみ長単位で印刷が終了しな いことがあります。新たな用紙をセットして印刷を始める場合には、所定の印刷位置に 出力させるために副操作パネルの用紙前進スイッチを押して、用紙を中間ミシン目などの 所定の印刷位置となるよう調整してください。

● 電源切断後も、本装置は、ブロア−が一定時間回転いたします。

正しくお使いいただくためのお願い

■ 運搬時の注意

装置を運搬する場合、特別の処置を講じる必要があります。これらの処置を講じないで移設すると、印字品質に悪影響を及ぼすことがあります。したがって、運搬、移設が必要になった場合は、当社営業または保守技術員にご相談ください。

- 設置に対する注意
 - (1)装置背面部には、排気ファンブロアの排気の障害となるものを置かないでください。
 - (2)装置背面側には、塵埃に厳しい装置の設置を避けてください。 また、清掃を行う場合はエアガンなどを使用した塵埃の吹き飛ばしは行わず、掃除機 で行ってください。
 - (3) 装置室内には、塵埃ろ過機能をもった空調設備を設置してください。
 - (4) 照明設備直下への設置は避けてください。(装置上面で 500 ルックス以下)
 - (5) アンモニアなどのアルカリ性ガスや NOx、SOx などの酸性ガスおよび石油系溶剤のガ スなどの異臭が漂う場所への設置は避けてください。
 - (6)設置場所での加湿器を使用する場合は、蒸気式の加湿器を使用してください。 超音波式の加湿器を使用すると白粉が発生し印字障害となりますので、絶対に使用しないでください。
 - (7)保守エリアは、装置の保守サービスを実施するのに必要なスペースです。 必ず確保してください。
 - (8)バースターの除電ブラシなどの導電性異物を使用している、または発生させる恐れが ある機器や装置は、本装置との間に仕切りを設けるなどの対応を実施してください。 導電性異物が本装置内に混入すると誤動作や壊れる恐れがあります。
- 電波障害防止について

電波障害防止のため、次のことをお守りください。

- ・カバーを開けたまま使用しない。
- ・指定以外のケーブルを使用しない。
- 換気について
 - (1)狭い室内で印刷する場合は、充分に室内の換気を行ってください。
 - (2)床のワックスがけの後は溶剤のガスが発生しています。完全に乾くまで充分に換気を 行ってください。
- 媒体の選択について

「第3章 印刷用紙の規格と印刷データ」を参照のうえ、選択してください。

■ 消耗品の選択について

消耗品は、指定の純正品をお奨めします。 非純正のものをご使用になりますと、プリンタ本体の故障の原因になったり、印刷品質が低 下するなど、本来の性能が発揮できない場合があります。 なお、すべての非純正品で、必ず不具合が発生するわけではありません。 非純正の消耗品のご使用に起因する装置故障への対応につきましては、保守契約または 保証期間内であっても有償となりますので、ご留意ください。 「第4章 消耗品、消耗部品および添付品」を参照のうえ、選択してください。

■ 操作方法

「第2章 操作」を参照のうえ、正しくお使いください。

■ 運用上の注意

装置の上面部や装置内部(特に定着ユニットやスタッカ部の上面)に用紙、フィルム、溶 剤、筆記具などを置かないでください。装置動作中に振動などにより印刷動作部に落下・ 進入した場合、用紙づまり、装置破損、発煙、発火に至る場合があります。だたし、装置内 の指定場所(用紙ホッパ・スタッカテーブル)に置く印刷用紙は除きます。 また、装置近傍にも発煙、引火、発火し易いものを置かないようにしてください。

終夜送電について

本装置は、電源を切断してもドラムヒータに通電される構成になっています。 ドラムヒータは、多湿環境や温度変化の大きい環境では印字品質に影響を受けるため、 夜間、休日などでもドラムヒータをオンにしてご使用ください。 万一、電源入力ラインを切断した場合は、印字品質を確保するために、吸湿条件により 約 30 分間の事前通電と印刷確認を行ってください。 なお、空調設備の導入などにより低湿度で安定している環境下では、ドラムヒータをオフし 電源入力ラインを切断してもかまいません。

■ ヒートローラ定着器での定着について

本装置で印刷した印刷物をヒートローラ定着型の装置で再度印刷した場合、トナーが オフセットしたり、装置を破損させたりする場合があります。

■ 液晶パネルについて

本装置の主操作パネルは、液晶パネルを採用しています。 液晶パネルは、非常に精度の高い技術で作られておりますが、一部に常時点灯、消灯する ドットが存在する場合があります。

第1章	装置概要	.1
1.1.	装置概要	1
1.2.	システム構成	.2
1.2.1.	. システム構成	.2
1.2.2.	. 接続形態	.4
1.3.	仕 様	.8
1.3.1.	. 基本仕様	.8
1.3.2.	機能仕様	.9
1.4.	オプション機構	17
1.5.	印刷動作の概要	22
1.6.	ラインプリンタモード、ページプリンタモードの印刷機能	25
1.6.1.	. 文字セット管理	25
1.6.2.	. フォームオーバレイ	26
1.6.3.	. 複写修正	27
1.6.4.	. 図形印刷(ベクトル印刷)およびイメージ印刷	28
1.6.5.	. 文字修飾	29
1.6.6.	. バーコード印刷	31
1.7.	ネットワークモードの印刷機能	32
1.7.1.	. Windows環境で使用するソフトウエア	33
1.7.2.	. 機能面・運用面における注意事項	34
1.7.	.2.1. 66XX機能	34
1.7.	.2.2. 69XX機能	35
1.7.	.2.3. FNPエミュレーション機能	35
1.7.	.2.4. バーコード印刷について	37
1.7.	.2.5. 二次元コード (QRコード/マイクロQRコード) について	37
1.7.	.2.6. 文字間隔の指定について	38
1.7.	.2.7. LAN-WAN-LAN環境での使用	38
1.7.	.2.8. ツイストペアケーブルの接続について	38
1.7.	.2.9. スイッチングハブとの接続について	38
1.7.	.2.10. JumboFrameのサポートについて	38
1.7.	.2.11. JOB(ドキュメント)名表示について	39
1.7.	.2.12. その他の注意事項	40
1.8.	2UP印刷機能	41
1.9.	構 成	42
1.9.1.	. 印刷プロセス概要	43
1.9.2.	. 用紙搬送部	44

1.9.3	3. コントローラユニット	44
1.9.4	4. メカコントロールユニット	45
1.9.5	5. 電 源	45
1.9.6	5. 主操作パネル、副操作パネル	45
第2章	操 作	47
2.1.	各部の名称	47
2.2.	操作パネルの配置と機能	50
2.2.1	1. 主操作パネル	
2.2.2	2. 基本9ブ	
2.2	2.2.1. 用紙情報表示•選択	
2.2	2.2.2. レイアウト情報表示・選択(オプション)	60
2.2	2.2.3. 動作モード表示	61
2.2	2.2.4. クリアプリントボタン(オプション)	64
2.2	2.2.5. キャンセルボタン(オプション)	65
2.2	2.2.6. 装置状態の表示	66
2.2	2.2.7. 装置位置情報の表示	68
2.2	2.2.8. 装置印刷濃度情報の表示	68
2.2	2.2.9. 媒体モード情報の表示	68
2.2.3	3. セットアップタブ	69
2.2	2.3.1. 一般タブ	70
2.2	2.3.2. 用紙タブ	80
2.2	2.3.3. レイアウトタブ	84
2.2	2.3.4. リカバリタブ	91
2.2	2.3.5. 消耗品タブ	93
2.2	2.3.6. JEFタブ	97
2.2	2.3.7. FNPタブ	107
2.2.4	4. ユーザ設定タブ	139
2.2.5	5. 画面タブ	
2.2.6	6. パネル調整	
2.2.7	7. 副操作パネル	148
2.2.8	8. スタッカパネル	152
2.2.9	9. CS SAVEスイッチ	154
2.2.1	10. ユニットエマージェンシースイッチ	154
2.3.	用紙のセット	155
2.3.1	1. 用紙をセットする前に	155
2.3.2	2. ホッパへの用紙のセット	156
2.3.3	3. オートローディングによる用紙のセット	156
2.4.	用紙の取出し	160
2.4.1	1. プリントされた用紙がすべてスタッカ部にある場合	161
2.4.2	2. 用紙を途中で切って取り出す場合	162
2.5.	消耗品(消耗部品を含む)の交換	164
2.5.1	1. トナー補給	167
2.5.2	2. 脱煙フィルタの交換	172
2.5.3	3. 現像剤の交換	176
2.5.4	4. クリーナユニットの交換	184
2.5.5	5. オペレータ清掃	188

2.5.6.	感光ドラムの交換	. 197
2.6. 感	光ドラムの取扱い	. 197
2.7. 印	字品質の調整方法	. 198
2.7.1.	印字濃度不足	. 198
2.7.2.	地汚れ(かぶり)	. 199
2.7.3.	印字抜け	. 199
2.7.4.	印刷むら(印刷濃度のむら)	. 200
2.7.5.	印字ぼけ(印字不鮮明)	. 200
2.7.6.	定着むら	. 201
2.7.7.	像の乱れ(伸び・縮み・重ね印字・ずれ)	. 201
2.7.8.	電源投入時の印刷品質不良	. 201
2.7.9.	その他	. 201
2.8. 異常	常時の処置	. 202
2.8.1.	主操作パネルの表示と復旧手順	. 202
2.8.2.	再スタート手順	. 244
2.8.2.1	L. UNIXサーバ接続	. 244
2.8.2.2	2. PRIMERGY6000接続	. 244
2.8.2.3	3. PC/基幹IAサーバ(Linux)接続	. 245
2.8.2.4	4. PC/基幹IAサーバ(Windows Server)接続	. 245
2.8.2.5	5. Windows PC接続	. 247
2.8.2.6	5. チャネル接続	. 248
2.8.3.	用紙づまり(ジャム)時の処理	. 249
2.8.3.1	1. 用紙づまりの対処をする前に	. 249
2.8.3.2	2. 用紙づまりの対処方法	. 251
2.8.3.3	3. オートローディング時の用紙づまりの対処方法	. 257
2.8.3.4	4. 転写部、定着部の用紙確認が必要となる用紙づまりについて	. 260
2.9. 清	掃	. 263
2.9.1.	清掃個所および頻度	. 263
2.9.2.	清掃用品	. 265
2.9.3.	帯電器部(前帯電器、転写帯電器)の清掃	. 265
2.9.3.1	1. 清掃をはじめる前に	. 265
2.9.3.2	2. 帯電器部(前帯電器、転写帯電器)の清掃手順	. 266
2.9.4.	搬送部の清掃	. 268
2.9.4.1	1. 搬送部(トラクタ部、転写部)の清掃手順	. 268
2.9.5.	定着部の清掃	. 270
2.9.5.1	1. 清掃をはじめる前に	. 270
2.9.5.2	2. 定着部の清掃手順	. 270
2.9.6.	トナー補給部・トナー回収ボトル付近の清掃	. 272
2.9.6.1	1. トナー補給部・トナー回収ボトル付近の清掃手順	. 272
2.9.7.	光電センサ部の清掃	. 274
第3章 印刷	削用紙の規格と印刷データ	. 275
3.1. 基	本仕様	. 276
3.1.1.	用紙の仕様	276
3.1.2.	印刷領域	277
3.1.2.1	1. 印刷可能領域について	. 277
3.1.2.2	2. 印刷、孔あけなどの禁止領域	. 279

3.2. 用約	珈工仕様	. 280
3.2.1.	ミシン目加工・送り孔加工	. 280
3.2.1.1	. ミシン目の名称	. 280
3.2.1.2	. 送り孔、ミシン目の精度	. 281
3.2.1.3	. ミシン目デザイン上の注意事項	. 282
3.2.1.4	. ミシン目加工上の注意事項	. 285
3.2.1.5	. 事前確認	. 286
3.2.2.	用紙の梱包条件	. 286
3.3. 用約	5基本仕様についての解説	. 288
3.3.1.	用紙の種類	. 288
3.3.2.	用紙の坪量と填料	. 289
3.3.3.	用紙の欠陥	. 289
3.3.4.	用紙の異物	. 290
3.3.5.	用紙の水分、電気抵抗値と印字品質について	. 290
3.3.6.	用紙の水分量変化とカールについて	. 292
3.3.7.	保管について	. 293
3.3.8.	再生紙	. 294
3.3.8.1	. 再生紙取り扱い上の注意事項	. 294
3.3.9.	推奨紙一覧表	. 295
3.4. 特殊	未紙	. 296
3.4.1.	プレプリント用紙(事前印刷用紙)	. 296
3.4.1.1	. デザイン上の注意事項	. 296
3.4.1.2	. インク	. 297
3.4.1.3	. 取り扱い上の注意事項	. 298
3.4.1.4	. 事前確認	. 298
3.4.2.	タック紙	. 298
3.4.2.1	. 推奨仕様	. 299
3.4.2.2	. 取り扱いの注意事項	. 300
3.4.2.3	. 事前確認	. 300
3.4.3.	孔つき用紙	. 300
3.4.3.1	. デザイン上の注意事項	. 300
3.4.3.2	. 事前確認	. 301
3.4.4.	メールシール紙	. 301
3.4.4.1	. デザイン上の注意事項	. 302
3.4.4.2	. 取り扱い上の注意事項	. 302
3.4.4.3	. 事前確認	. 302
3.4.5.	シールはがき用紙	. 303
3.4.5.1	. デザイン上の注意事項	. 305
3.4.5.2	. 取り扱い上の注意事項	. 305
3.4.5.3	. 事前確認	. 306
3.4.6.	はがき印刷について	. 306
3.4.7.	色付き用紙	. 306
3.4.8.	エンボス用紙	. 307
3.4.9.	シークレットラベル用紙	. 307
3.4.10.	透かし入り用紙	. 307
3.4.11.	透明フィルム	. 307
3.4.12.	コート紙	. 307

3.	4.13.	ノンカーボン紙	308
3.	4.14.	OCR紙	308
3.	4.15.	カード媒体	309
	3.4.1	5.1. デザイン上の注意事項 3	310
	3.4.1	5.2.取り扱い上の注意事項	312
	3.4.1	5.3. 装置使用上の注意事項(カード媒体使用時) 3	312
	3.4.1	5.4. 事前確認	312
3.	4.16.	その他特殊用紙	312
3.5.	用	1紙の形態指針	313
3.	5.1.	用紙の形態	313
3.6.	Eſ	〕刷データの作成	318
3.	6.1.	データ作成上の注意	318
3.	6.2.	印刷パターンについて	320
3.	6.3.	OCR印字	320
3.	6.4.	FCBと用紙長	321
3.	6.5.	二次元コード(QRコード/マイクロQRコード)について	322
3.	6.6.	文字間隔の指定について	332
3.	6.7.	その他	334
第4章	消	肖耗品、消耗部品および添付品	335
4.1.	消	耗品	335
4.2.	消	耗部品	337
4.3.	添	村品	337
4.4.	消)耗品ロッカ	338
第5章	認	置諸元	339
5.1.	司	置条件	339
第6章	۲ ا	ラブル事例	343
付録1	PRIN	NTWALKER/EMのご紹介	355
付録 2	バッテ	りのリサイクルについて	356
索 引			357

図表目次

义	1-1 外 観	1
义	1-2 システム構成と接続形態	2
义	1-2 システム構成と接続形態(続き)	3
义	1-3 UNIX サーバ接続	4
义	1-4 PC/基幹IAサーバ(Linux)接続	4
义	1-5 PRIMERGY 6000 / FUJITSU Cloud Service for オフコンサーバ接続	5
义	1-6 PC/基幹IAサーバ(Windows Server)接続	6
义	1-7 Windows PC接続	6
义	1-8 富士通メインフレーム接続(続く)	7
义	1-9 情報シーケンスのタイムチャート	22
义	1-10 印刷動作概要図	24
义	1-11 Aモード文字セット管理	25
义	1-12 Kモード文字セット管理	26
义	1-13 フォームオーバレイ印刷機能の概要	26
义	1-14 複写修正機能の概略	27
义	1-15 図形印刷、イメージ印刷機能の概略	28
义	1-16 文字サイズ、文字フォントの拡張(アウトラインフォントによる文字の変形例)	29
义	1-17 文字の回転、文字列(行)の傾き(印字例)	30
义	1-18 指定可能なレイアウト情報	41
义	1-19 ユニット配置図	42
义	1-20 印字プロセス	43
义	2-1 前面各部	47
义	2-2 ドラム付近	48
义	2-3 スタッカ部	48
义	2-4 右側面	49
义	2-5 主操作パネルの表示	50
义	2-6 仮想キーボード	57
义	2-7 仮想キーボード(英小文字と特殊記号入力時)	57
义	2-8 仮想テンキー	58
义	2-9 IPアドレス入力用テンキー	58
义	2-10 基本タブ 用紙情報表示・選択	59
义	2-11 基本タブ レイアウト情報表示・選択	60
义	2-12 基本タブ 動作モード表示	61

义	2-13	チャネル接続機構オプション(PS5110B10)が搭載されていない場合	. 62
义	2-14	チャネル接続機構オプション(PS5110B10)が搭載されている場合	. 62
义	2-15	基本タブ クリアプリント/キャンセルボタン表示	. 64
义	2-16	基本タブ スタート状態	. 66
义	2 - 17	電池寿命マーク表示状態	. 66
义	2-18	基本タブ エラー状態	. 67
义	2-19	基本タブ 消耗品交換時期表示	. 67
义	2 - 20	基本タブ 印刷設定変更ボタン	. 68
义	2-21	セットアップ一般タブ	. 70
义	2-22	セットアップ一般タブ 印刷位置変更	.71
义	2-23	印刷位置の移動範囲	.73
义	2 - 24	オーバレイ位置の移動範囲	. 73
义	2-25	濃度変更	.74
义	2 - 26	プリセット値変更	. 75
义	2 - 27	セットアップ一般タブ テストプリント	. 76
义	2 -28	セットアップ一般タブ コンビニ-EAN128設定	. 78
义	2 - 29	セットアップ一般タブ 媒体モード	. 79
义	2-30	セットアップ用紙タブ	. 80
义	2-31	セットアップ用紙タブ 登録	. 81
义	2-32	デフォルトデータ更新	. 82
义	2-33	セットアップ用紙タブ 選択	. 82
义	2-34	用紙削除処理時の確認画面	. 83
义	2 - 35	用紙情報(詳細)表示	. 83
义	2-36	セットアップレイアウトタブ	. 84
义	2-37	レイアウト情報設定項目	. 85
义	2 - 38	レイアウト情報の登録(基本情報)	. 86
叉	2 - 39	レイアウト情報の登録(論理ページ)	. 87
叉	2 -40	論理ページレイアウトの説明	. 88
叉	2 - 41	論理ページレイアウトの設定例	. 89
义	2 - 42	セットアップレイアウトタブ 選択	. 90
义	2 - 43	レイアウト削除処理時の確認画面	. 90
义	2 - 44	セットアップリカバリタブ	.91
义	2 - 45		.92
义	2 - 46	セットアップ消耗品タフ	.93
図	2-47	消耗品ロク取得メッセージボックス	.94
凶	2 - 48	定期交換部品	.94
义	2 - 49	消耗品交換開始時のX力準備中状態	. 95
図	2-50	消耗品交換終了時の対準備中状態	. 95
义	2-51	消耗品交換手順の表示例	. 96
义	2 -52	現像剤交換処理開始時の確認画面	. 96
义	2-53	セットアップJEFタブ	.97
図	2 - 54	共通設定	. 98
図	2 - 55	JEF設定	101
図	2 - 56	第2FPD設定	102
図	2 - 57	第2FPD設定 選択	103
凶	2 -58	第2FPD設定 削除	104
义	2 -59	第2FPD設定 ブロテクト	105

义	2 -60	第2FPD設定 コメント編集	105
义	2-61	JEF/AP設定	106
义	2 -62	セットアップFNPタブ	107
义	2 -63	ネットワークアドレス設定	108
义	2 -64	ネットワークアドレス設定時の警告画面	108
义	2 -65	IPアドレス入力用テンキー	110
义	2 -66	論理プリンタ設定	111
义	2 -67	論理プリンタ設定ダイアログ	112
义	2 -68	論理プリンタ設定時の警告画面	113
义	2 -69	FNP設定	114
义	2 -70	FM設定	115
义	2-71	FM設定ページ2	115
义	2-72	FM設定ページ3	115
义	2 -73	66XX設定	118
义	2 - 104	↓ ゲートウェイ	137
义	2 - 105	5 ゲートウェイ接続の例	137
义	2-106	5 ユーザ設定タブ	139
义	2-107	7 パスワード入力用キーボード	140
义	2 - 108	3 パスワード誤り	140
义	2-109	り ユ−ザ権限変更	140
义	2-110) パスワード変更用キーボード	141
义	2 - 111	」パスワード変更完了	141
义	2-112	2 パスワード変更失敗	141
义	2-113	3 画面タブ	142
义	2 - 114	↓ キャリブレーション画面	143
义	2-115	5 画面清掃画面	144
义	2-116	5 スイッチ配置設定画面	145
义	2-117	7 調整ボリューム位置	147
义	2 - 118	3 副操作パネル配置	148
义	2-119) スタッカパネルの配置	152
义	2-120)ニアライフ発生時の基本タブ表示	164
义	2-121	」 基本タブ ストップ表示	165
义	2-122	2 セットアップ消耗品タブ	165
図	2 - 123	3 印字濃度不足が生じたときの処理	198
义	2 - 124	1 地汚れが生じたときの処理	199
図	2 - 125	5 印字抜けが生じたときの処理	199
义	2-126	5 印刷むらが生じたときの処理	200
図	2-127	7 印字ぼけが生じたときの処理	200
义	2 - 128	3 定着むらが生じたときの処理	201
义	2 - 129	9 像の乱れが生じたときの処理	201
义	2-130) 主操作バネルの表示レイアウト	202
図	2 - 131	」 清掃個所と各ユニットの配置	263
図	3-1	沿刷可能範囲(1/2)	277
図	3-2	小子祭止領域	279
図	3-31	川上宗止祺或	279
図	3-4 3		280
义	3-5 3	ミシン目の表示寸法	281

义	3-6 用紙加工精度	
义	3-7 ミシン目の交点	
义	3-8 用紙の変形	
义	3-9 用紙の横倒れ	
义	3-10 用紙箱の形式	
义	3-11 用紙箱の寸法	
义	3-12 水分量変化による用紙のカール	
义	3-13 積載方法	
义	3-14 メールシール紙	
义	3-15 シールはがき用紙	
义	3-16 各種シールはがき	
义	3-17 色付き用紙とトナー定着	
义	3-18 ノンカーボン紙	
义	3-19 カード媒体	
义	3-20 カード周辺部の印字禁止範囲	
义	3-21 カード貼り付け禁止範囲	
义	3-22 QRコードシンボル	
义	3-23 マイクロQRコードシンボル	
义	5-1 外形寸法	
义	5-2 保守エリア	
义	5-3 排気部位置	

表	1-1 1	基本仕様8
表	1-2 2	ネットワーク接続機能仕様(続)9
表	1-3	FM/FNP機能仕様11
表	1-4 =	チャネル接続機能仕様(続)13
表	1-5 🕫	オプション機構(続く)17
表	1-5 2	オプション機構(続き)19
表	1-6 🕫	オプションの組み合わせ一覧 21
表	2-1	ランプ表示状態とその意味
表	2-2 2	プリンタステータスとその意味
表	2-3 ‡	操作スイッチとその機能
表	2-5 í	各タブの機能と権限
表	2-7 1	仮想キーボードの入力範囲
表	2-8	論理プリンタの状態表示
表	2-9 🗄	印刷位置/オーバレイ位置の移動量
表	2-10	印刷位置の設定変更ボタン操作
表	2-11	媒体モードの種類・機能
表	2-12	初期設定されているレイアウト情報84
表	2-13	初期設定されているレイアウト情報88
表	2-14	消耗品残量の意味
表	2-15	設定不可なポート番号112
表	2-16	エミュレーション毎の論理プリンタ設定数113
表	2 - 17	副操作パネルの機能(電源パネル部)149
表	2-18	スタッカパネルの機能153
表	2-19	CS SAVEスイッチの機能154
表	2 - 20	ユニットエマージェンシースイッチの機能154
表	2-21	消耗品交换一覧表164
表	2-22	「状態表示」の上位桁の内容202
表	2-23	"0x" (続〈)204
表	2-24	"1x"
表	2 - 25	"2x" (続<)
表	2 - 26	"3x" (続〈)214
表	2 - 27	"5x" (続<)216
表	2 - 28	"6x" (続<)218
表	2 - 29	"7x"
表	2-30	"8x" (続〈)
表	2-31	"9x"
表	2-32	"Ax"
表	2-33	残紙片の確認が必要なエラーコード260
表	2-34	残紙片確認のためのメッセージ
表	2-35	清掃頻度
表	2-36	帯電線の汚れにより生じる現象

3-1	用紙の基本仕様	276
3-2	折りミシン目、中間縦ミシン目加工寸法	282
3-3	中間横ミシン目加工寸法	283
3 - 4	内部ミシン目数の目安	284
3 - 5	放置時間	293
3-6	当社推奨紙	295
3-7	タック紙の推奨仕様	299
3-8	用紙の形態 (続く)	313
3 -9	データ作成上の注意	319
3-10) FCBと用紙長	321
3-11	1 選択可能なモジュール寸法	325
3-12	2 QRコード誤り訂正レベル Lの型番と最大入力文字数	326
3-13	3 QRコード誤り訂正レベル Mの型番と最大入力文字数	327
3 - 14	4 QRコード誤り訂正レベル Qの型番と最大入力文字数	328
3-15	5 QRコード誤り訂正レベル Hの型番と最大入力文字数	329
3-16	5 QRコードの型番と収納可能なデータビット数	330
3-17	7 マイクロQRコードの型番と最大入力文字数	331
4-1	消耗品一覧	336
4-2	消耗部品一覧	337
4-3	添付品	337
5-1	設置条件	339
	3-1 3-2 3-3 3-4 3-5 3-6 3-7 3-8 3-7 3-8 3-7 3-12 3-12 3-12 3-12 3-12 3-12 3-12 3-12	 3-1 用紙の基本仕様

第1章 装置概要

本章では、本装置の概要と構成、機能および動作の概要について説明します。

1.1. 装置概要

本装置は、LEDと乾式電子写真記録技術とを組み合わせ、富士通日本語情報システム

(JEF, JEF/AP)との互換性を維持したノンインパクトプリンタです。オープン系におけるネットワーク接続に加え、富士通メインフレームのチャネル接続も本装置で可能としました。

操作画面にはタッチ式の大型カラー液晶画面を採用し、グラフィカルな表示で操作性を向上させました。

また、PS5110Bには以下 2 つのモデルがあります。

PS5110BK : ネットワーク接続に加えて富士通メインフレームの BMC/PSD チャネル接続を サポートしています。なお、PS5110BK の記述については、 [型名] PS5110B も対象となります。

PS5110BL : ネットワーク接続に加えて、プリンタオプションであるチャネル接続機構 (PS5110B50)を介して富士通メインフレームの FCLINK/CTS チャネル接続 をサポートしています。PS5110B50 は外付けオプション装置です。PS5110B50 に関する設定や操作などの詳細は、FUJITSU Printer PS5000 シリーズ チャ ネル接続機構(PS5600C50/PS5110B50)の取扱説明書を参照してくだ さい。

本装置の外観を図 1-1に示します。



PS5110B (モデル共通)



PS5110B50(チャネル接続機構) (PS5110BL 専用外付けオプション)

図 1-1 外 観

1.2. システム構成

1.2.1. システム構成

PS5110Bは、2 つのモデルによってシステム構成が異なります。本装置それぞれのモデルのシステム構成を図 1-2 に示します。



[PS5110BK ページプリンタ装置]

(注1) 2 チャネルスイッチ (PS5110B11 または PS5110B32:オプション) により
 2 台の BMC/PSD チャネルに接続可能です。



[PS5110BL ページプリンタ装置]

(注 1) 2 チャネルスイッチオプション (PS5CHSW) により2 台の FCLINK/CTS (コンソー ル・テープ接続機構) チャネルに接続可能です。

1.2.2. 接続形態

接続形態を図 1-3~図 1-8 に示します。



			プリンタ		/芒
ホスト	サーバ		エミュレーション	サポートサーバ/伝送経	加
				路	- F
SPARC Servers	-	PrintWalker/BPC	FNP/FM	サポートサーバ : BSNPS	
SPARC		TCP/IP		伝送経路 :	
Enterprise				TCP/IP	
PC	SPARC Servers	PrintWalker/BPC	FNP/FM	サポートサーバ : BSNPS	
	SPARC	TCP/IP		伝送経路 :	
	Enterprise			TCP/IP	

図 1-3 UNIX サーバ接続



+71	++ //"		プリンタ		
	9-N		エミュレーション	サポートサーバ/伝送経路	考
PRIMERGY		PrintWalker/LXE	FNP/FM	サポートサーバ : BSNPS	
PRIMEQUEST		TCP/IP		伝送経路 : TCP/IP	
(注1)					

(注 1) Itanium サーバは接続できません。サポート OS は『Red Hat Enterprise Linux 5 以降』 です。

図 1-4 PC/基幹 IA サーバ (Linux) 接続



			プリンタ		/芒
ホスト	サーバ		エミュ	サポートサーバ/伝送経路	加去
			レーション		3
富士通メイン	PRIMERGY 6000 /	LAN プリンタ	69XX	サポートサーバ : BSNPS	
フレーム	FUJITSU Cloud	制御オプション		伝送経路 : TCP/IP	
	Service for オフコン	TCP/IP			
PRIMERGY 6000 /	-	LAN プリンタ	69XX	サポートサーバ:BSNPS	
FUJITSU Cloud		制御オプション		伝送経路 : TCP/IP	
Service for オフコン		TCP/IP			
PC	PRIMERGY 6000 /	LAN プリンタ	69XX	サポートサーバ : BSNPS	
	FUJITSU Cloud	制御オプション		伝送経路 : TCP/IP	
	Service for オフコン	TCP/IP			

図 1-5 PRIMERGY 6000 / FUJITSU Cloud Service for オフコンサーバ接続

第1章 装置概要



			プリンタ		凒
ホスト	サーバ		エミュレーショ	サポートサーバ/伝送経路	加夫
			ン		5
富士通メイン	PRIMERGY/	HOST PRINT	66XX	サポートサーバ :	
フレーム	PRIMEQUEST	(帳票管理サービ		PrintWalker/PM	
		ス)		伝送経路 : TCP/IP	
		PrintWalker/PM			
		TCP/IP			
PRIMERGY/		PrintWalker/PM	FNP/FM	サポートサーバ :	
PRIMEQUEST		TCP/IP		PrintWalker/PM	
				伝送経路 : TCP/IP	
PC	PRIMERGY/	PrintWalker/PM	FNP/FM	サポートサーバ :	
	PRIMEQUEST	TCP/IP		PrintWalker/PM	
				伝送経路 : TCP/IP	

図 1-6 PC/基幹 IA サーバ (Windows Server) 接続



+71	++ 11"		プリンタ		
	J-A		エミュレーション	サポートサーバ/伝送経路	考
Windows 7	-	PrintWalker/PM	FNP/FM	サポートサーバ :	
Windows 8.1		TCP/IP		PrintWalker/PM	
Windows 10				伝送経路 : TCP/IP	

図 1-7 Windows PC 接続

・PS5110BK 接続の場合

※ 本接続形態は PS5110BK のみ対象です。



+71	プリンタ			
	エミュレーション	サポートサーバ/伝送経路		
富士通メイン	JEF、	伝送経路 : BMC/PSD チャネル		
フレーム	JEF/AP			

図 1-8 富士通メインフレーム接続(続く)

・PS5110BL 接続の場合

※ 本接続形態は PS5110BL のみ対象です。



+76	チャネル接続機構			佐 李	
	エミュレーション	伝送経路	エミュレーション	サポートサーバ/伝送経路	佣丐
富士通	JEF、	<u>FCLINK/CTS チャネル</u>	FM	サポートサーバ : BSNPS	
メインフレーム	JEF/AP		(FNP)	<u> 伝送経路 : TCP/IP</u>	

図 1-8 富士通メインフレーム接続(続き)

1.3. 仕様

1.3.1. 基本仕様

本装置の基本仕様を表 1-1に示します。

表 1-1 基本仕様

	п	—————————————————————————————————————
이미국국		
印刷方式		LED 書込めによる乾式電子与具万式
印刷	刷形態	片面印刷専用装置
解僔	象度	240dpi/400dpi(標準)/600dpi(オプション : 注3)
ED原	別速度	4000LPM:6 LPI 時
		5300LPM:8 LPI 時
		8000LPM:12LPI 時
	種類	送り孔付き折畳み印刷用紙(1P) 注 2
	サイズ	幅 : 165.1~457.2 mm (6.5~18 インチ) この間連続可変
用		折畳み長 : 177.8~355.6mm (7~14 インチ)
紕		この間 12.7mm(1/2 インチ)ステップ
	坪量	64~157g/m ² (連量 55~135kg)
給紙		オートローディング機構:用紙箱の高さ300mm以下(坪量64g/m ² の用紙で3000枚相当)
排紙	氏	折畳みスタッカ : 用紙箱の高さ200mm以下(坪量64g/m ² の用紙で2000枚相当)
ED =	字幅	文字印刷 : 424.18 mm (16.7 化チ)
		フォーマット印刷 : 431.8 mm (17 インチ)
印刷	別禁止領域	66XX モード/69XX モード/ラインプリンタモード
		・用紙折畳みミシン目前後、次の領域が印刷不可
「1/3 行間隔 4.23mm(1/6 インチの場合)ミシン目前後 8.47mm(1/3		行間隔 4.23mm(1/6 インチの場合)ミシン目前後 8.47mm(1/3 インチ)
3.18mm(1/8 インチの場合)ミシン目前後 6.35mm(1/4 インチ)		
2.12mm (1/12 インチの場合) ミシン目前後 6.35mm (1/4 インチ)		
		・用紙达リク回にこンノ日の則依、6.35mm(1/4 1ノナ)以内の視域は印刷非保証
複習	ş	オリジナル 1 枚のみ

項目	仕様			
	FNPモード/FMモード/66XXモード/69XXモード	ラインプレンチモード/ページプリンチモード		
接続インター	LAN接贰1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T)注1	BMC/PSD チャネル(PS5110BK)		
フェース		FCLINK/CTS チャネル(PS5110BL) 注4		

注1) BPP および LPD 接続をサポート。(LPD は、66XX/FNP/FM のみ)

- 注2) 3章「印刷用紙の規格と印刷データ」を参照ください。
- 注3) 600dpi 印刷を行う場合は 600dpi/2up 出力機構オプションが必須。

注4) 富士通メインフレームとはチャネル接続機構(PS5110B50)を経由して FCLINK/CTS チャネルに接続する。なお、プリンタ装置(PS5110BL)とチャネル接続機構 (PS5110B50)の接続は LAN 接続 1000BASE-T となる。

1.3.2. 機能仕様

本装置の機能仕様を表 1-2、表 1-3、表 1-4 に示します。

表 1-2 ネットワーク接続機能仕様(続)

		モード		
項目		66XX モード	69XX モード	
印刷速度	6LPI			
8LPI		111PPM (4000LPM : 6LPI、5300LPM : 8LPI、8000LPM:12LPI)		
	12LPI			
ドット密度		240dpi	240dpi	
文字	A/N	10/12/15cpi(20cpi 個別用)	10/12/15cpi	
サイズ	漢字	7/9/12 ポの各サイズについて	7/9/12 ポの各サイズについて	
(cpi)	罫線	半角、平体、長体、倍角、1/4角、ラベル文字	半角、平体、長体、倍角、1/4 角、ラベル文字	
	拡大	漢字のみ平体、長体、倍角が	漢字のみ平体、長体、倍角が	
		可能	可能	
		n×n倍拡大(最大n=16)		
文字間隔	A/N	10/12/15cpi(20cpi 個別用)	10/12/15cpi	
(cpi)	漢字	7 ポ:10cpi	標準モード:	
	罫線	9 ポ:5、6、6.6、7.5、8cpi	7 ポ:10cpi	
		12 术:5、6cpi	9 ポ:5、6、6.6、7.5、8cpi	
			12 ポ:5、6cpi	
			互換モード:	
			7 ポ:5、6.6、10cpi	
			9 ポ:5、6.6、8cpi	
			12 ポ:5срі	
行間隔		6、8、12 行/インチ	6、8、12 行/インチ	
書体	A/N	A/N 20 セット	A/N 4 ቲット	
	漢字	明朝体、ゴシック体	明朝体、ゴシック体	
フォント	A/N	ラスタフォント	ラスタフォント	
	漢字			
文字の回転		縦書きモードのみ	縦書きモードのみ	
オーバレイ		Write 形式	ベクトル方式(VDI 方式準拠)	
オーバレイ容量		20MB	20MB	
図形印刷		文字・線・円・面塗り描画	文字・線・円・面塗り描画	
イメージ印刷		矩形領域の	矩形領域の	
		MH、MR、MMR 圧縮および非圧縮データ	MH、MR、MMR 圧縮および非圧縮データ	
バーコード印刷 ^{注 2}		NW-7、JAN(標準/短縮)、 Code39、	NW-7、JAN(標準/短縮)、 Code39、	
		Ind25、Int25、物流商品コード、カスタマ	Ind25、 Int25、 物流商品コード、	
		バーコード、 GS1-128	カスタマバーコード	
JOB 名表示		印刷中の JOB(ドキュメント)名をオペレータパネルに表示することが可能		
リカバリセパレータ印刷		用紙づまり発生後のリカバリページの印刷に先立ち、セパレータを印刷します。		
リカバリ時の		66XX モードのみ PrintWalker/PM からの印刷において、「続行」ボタンの後にリカバリデータの印刷を		
「続行」確認		行う		

	τ−ド		
項目	66XX モード	69XX モード	
装置の保有	明朝体	明朝体	
するフォント	2 バイト文字:	2 バイト文字:	
	JIS 非漢字	JIS 非漢字	
	第1水準/第2水準漢字	第1水準/第2水準漢字	
	半角·1/4 角文字、書式文字、縦特殊文字	半角・1/4 角文字、書式文字、縦特殊文字	
	ゴシック体	ゴシック体	
	2 バイト文字:	2 バイト文字:	
	JIS 非漢字	JIS 非漢字	
	第1水準/第2水準漢字	第1水準/第2水準漢字	
	半角·1/4 角文字	半角·1/4 角文字	
	縦特殊文字	縦特殊文字	
	1 バイト文字:	1 バイト文字:	
	A/N 20 セット	A/N 4 セット	

表 1-2 ネットワーク接続機能仕様(続き)

		モード	
項目		FM モード	FNP モード
印刷速度	6LPI		
	8LPI	111PPM (4000LPM : 6LPI、5300LPM : 8LPI、8000LPM:12LPI)	
	12LPI		
ドット密度		240/400dpi	240/400dpi、600dpi(オプション ^{注 5})
文字	A/N	10/12/18срі	任意指定可能
サイズ			(1-4096 ドット)
(cpi)	漢字	7/9/10.5/12 ポの各サイズについて	
	罫線	半角、平体、長体、倍角、1/4角	
	拡大	A/N:倍幅が可能	任意指定可能
		漢字:平体、長体、倍角が可能	
文字間隔	A/N	任意指定可能	任意指定可能
(cpi)	漢字		
	罫線		
行間隔		任意指定可能	任意指定可能
書体	A/N	A/N 文字	欧文 13 書体、OCR-B
	漢字	明朝体、ゴシック体	明朝体、ゴシック体
フォント	A/N	ラスタフォント	アウトラインフォント
	漢字		
文字の回転		縦書きモードのみ	任意指定可能
オーバレイ		マクロ形式	マクロ形式
オーバレイ容量		4MB	4MB
図形印刷		文字・線・円・面塗り描画	文字・線・円・面塗り描画
イメージ印刷		矩形領域の	非圧縮、MH 形式、MMR 形式、SLC 形式
		MH、 MMR 圧縮および非圧縮データ	
バーコード印刷注2		NW-7、JAN(標準/短縮)、Code39、	NW-7、JAN (標準/短縮)、Code39、
		Ind25、 Int25、 物流商品コード、	Ind25、Int25、物流系、カスタマバーコード、
		カスタマバーコード	GS1-128 ^{注 1} 、QR コード(モデル 2)、マイクロ
			QR コード

表 1-3 FM/FNP機能仕様
装置の保有する	明朝体	明朝体、ゴシック体
フォント	2 バイト文字:	JIS 第一水準、第二水準
	JIS 非漢字、第1水準/第2水準漢字	拡張漢字、非漢字
	ゴシック体	
	2 バイト文字:	欧文 13 書体
	JIS 非漢字、第1水準/第2水準漢字	-Swiss 721 SWM Roman
	1 バイト文字	-Swiss 721 SWM Italic
		-Swiss 721 SWM Bold
		-Swiss 721 SWM Bold Italic
		-Dutch 801 SWM Roman
		-Dutch 801 SWM Italic
		-Dutch 801 SWM Bold
		-Dutch 801 SWM Bold Italic
		-Courier SWM 10 Pitch Roman
		-Courier SWM 10 Pitch Italic
		-Courier SWM 10 Pitch Bold
		-Courier SWM 10 Pitch Bold Italic
		-Symbol SWA
		OCR-B

表 1-4 チャネル接続機能仕様(続)

		E-	٦ –		
項目		ラインプリンタモード	ページプリンタモード		
印刷速度	6LPI 8LPI 12LPI	111PPM(4000LPM:6LPI、5300LPM:8L	_PI、8000LPM:12LPI)		
ドット密度	I	240dpi/(コンビニ-EAN128 印刷時 600dpi ^注 ⁶)	400dpi		
文字	A/N	10/12/15cpi(20cpi 個別対応用)	3~300point		
サイズ	漢字	7/9/12 ポの各サイズについて			
(cpi)	罫線	半角、平体、長体、倍角、1/4角			
	拡大	漢字のみ平体、長体、倍角が可能 n×n倍拡大(最大n=16)	縦横独立に拡大が可能		
文字間隔	A/N	10/12/15cpi(20cpi 個別対応用)	任意指定可能		
(cpi)	漢字	2 ドット単位で指定可能			
	罫線	最大 10 ドット			
行間隔	•	6、8、12 行/インチ(20CPI 個別モード)	任意指定可能(文字同士の重なりも可能)		
書体	A/N	Gothic、OCR-A、OCR-B、Text-1、	任意		
		Text-2、カタカナ、アンダーライン付 Gothic、アン	明朝体、ゴシック体、教科書体		
		ダーライン付 Text-1、	Century Medium Roman		
		アンダーライン付 Text-2	Century Medium Italic		
	漢字	明朝体、ゴシック体	Century Bold Roman		
			Century Bold Italic		
			Motoya Gothic Medium Roman		
			Motoya Gothic Medium Italic		
			Motoya Gothic Bold Roman		
			Motoya Gothic Bold Italic		
			など ^{注 3}		
フォント	A/N	ラスタフォント	アウトラインフォント(直線近似方式		
	漢字	拡大縮小ビット付ラスタフォント	ラスタフォント(拡大/縮小ビットなし)		
			*同一サイズ内での2種のフォーマットの混在は不可		
文字の回転		縦書きモードのみ	任意指定可能		
CG 容量		基本:8,192文字	文字サイズ、書体により格納できる文字数は変		
		拡張出力機構装着:18,432 文字	化します		
		※PS5110BLは基本:18,432文字			
オーバレイ		Write 形式	ベクトル方式(VDI 方式準拠)		
オーバレイメ	り容量	4MB	4MB		
		拡張オーバレイメモリ装着時:20MB	拡張オーバレイメモリ装着時:20MB		
図形印刷		66XX 形式 ^{注 4}	ISO-CGMM準拠		
イメージ印刷	J	矩形領域の	矩形領域の		
		MH、MR、MMR 圧縮および非圧縮データ ^{注 4}	MH、MR、MMR 圧縮および非圧縮データ		

第1章 装置概要

バーコード印刷 ^{注 2}	NW-7、JAN(標準/短縮)、Code39、	NW-7、JAN(標準/短縮)、Code39、						
	Ind25、Int25、物流商品コード、 Matrix25、	Ind25、Int25、物流商品コード、						
	UPC(バージョン A/E)、 EAN-13、カスタマバー	Matrix25、UPC(バージョン A/E)、						
	コード、書留用バーコード、GS1-128、	EAN-13、カスタマバーコード、GS1-128、						
	GS1-128(料金代理収納用)) 、 QR コード	GS1-128(料金代理収納用) 、						
	(モデル 2)、マイクロ QR コード ^{注 7}	QR コード(モデル 2)、マイクロ QR コード ^{注7}						
リカバリ	用紙づまり発生後のリカバリページの印刷に先立ち、セパレータを印刷します。							
セパレータ印刷	PS5110BL では非サポートです。							

	E-1	
項目 📃	ラインプリンタモード	ページプリンタモード
装置の保有する	全角 (3418字)	全角(3418字)
フォント	明朝本 JIS第1水準	明朝体 JIS第1水準
	非漢字	非漢字
	半角(94 字)	
	明期体 非漢字	上記文字種の7、9、12ポクト
	罫線 (全角) (33字)	罫線 (全角) (33字)
	縦書専用	
	明桃 (75字)	
	ゴシック体 (75字)	EBCDIC (カナ)
	Gothic 10、12、15	EBCDIC(英小文字)
	Condensed	EBCDIC (ASCII)
	Gothic with underscored	上記の文字種、文字サイズを
	10, 12, 15 condensed	表現する字母
	Katakana 10, 12, 15	
	Format 10、12、15	
	Text-1、Text-1 with	
	underscored	
	Text-2、Text-2 with	
	underscored	
	OCR-A	
	OCR-B (各64字)	

表 1-4 チャネル接続機能仕様 (続き)

- 注 1) : 400dpi、600dpi 時、GS1-128(料金代理収納用) を印刷することができます。 GS1-128(料金代理収納用)バーコードの補正について、400dpi の場合 、「白黒補正」固 定で補正を行います。600dpi の場合、3 種類の設定ができます。
- 注 2) : バーコード印刷について 本装置のバーコード品質は下記印刷条件で C グレード以上です。 ・印刷濃度設定:標準濃度(濃度 8 ~ 1 2) ・プリンタ内で生成されたバーコード(コンビニ-EAN128 設定は白黒補正時)

バーコードの品質や読み取り性能は、お客様がご使用する帳票(紙質)や印刷濃度および バーコードリーダの性能によって大きな影響を受けます。運用に先立ち十分な事前確認が必要 です。

特に、GS1-128(料金代理収納用) バーコードは、高密度であるため高精細な印刷品質が 要求されます。 (強制拡張解像度印刷)

バーコードは 600dpi/2up 出力機構のオプション搭載時、強制拡張解像度印刷を有効に した場合および GS1-128(料金代理収納用)が印刷される帳票頁では 600dpi で印刷さ れます。強制拡張解像度印刷を無効にした場合と比較して幅が異なりますので、ご注意くだ さい。

(EAN128 目視文字位置設定)

- ・ラインプリンタモード/ページプリンタモードで、GS1-128(料金代理収納用)を印刷する 場合、設定によりバーコード下端からの下部文字位置を変更可能です。また、FNP モードで印刷する場合には、設定により下部文字サイズを変更することが可能です。
 設定方法などの詳細はプリンタ装置のモデルにより以下参照してください。
 PS5110BK:本書の「2.2.3.1.一般タブ」の「(5)コンビニ-EAN128設定」
 - PS5110BL : FUJITSU Printer PS5000 シリーズ チャネル接続機構

(PS5600C50/PS5110B50)の取扱説明書

※PS5110BL で白黒補正、強制拡張解像度印刷、EAN128 目視文字位置設定を 行う場合は、PS5110B50 で実施します。

なお、QR コードの品質は、以下の条件で保証されます。

- (240dpiの場合)出力モジュールサイズ4ドット以上
- (400dpiの場合)出力モジュールサイズ6ドット以上
- (600dpiの場合)出力モジュールサイズ9ドット以上
- 注3):ページプリンタモードでの書体種は、ホストサポート状況によります。
- 注 4): PS5110BK は拡張出力機構(PS5110B12)が必要です。
- 注 5) : 600dpi/2up 出力機構 (PS5110B25) のオプション手配が必要です。
- 注 6) : PS5110BK は 600dpi/2up 出力機構 (PS5110B25) および LP-EAN128 出力機構 (PS5110B26) のオプション手配が必要です。 PS5110BL は 600dpi/2up 出力機構 (PS5110B25) および拡張バーコード出力機構 (PS5110B55) のオプション手配が必要です。
- 注 7) : ラインプリンタモードおよびページプリンタモードで、QR コード(モデル 2)、マイクロ QR コードを印刷するには QR コード出力機構(PS5110BK は PS5110B29、PS5110BL は PS5110B56) のオプション手配が必要です。

1.4. オプション機構

PS5110Bは、2 つのモデルによってオプション機構が異なります。 本装置それぞれのモデルのオプション機構を表 1-5に示します。

表 1-5 オプション機構(続く)

項	機器名称	型名	66xx	FNP	FΜ	69xx	LP	ЪР	概要 備	考
1	チャネル接続機構	PS5110B10	-	-	-	-	0	0	BMC/PSD チャネル接続による JEF(ライン【注: プリンタモード)、JEF/AP(ページプリンタモ ード)の印刷が可能。	2]
2	2 チャネルスイッチ	PS5110B11	-	-	-	-	0	0	2 台のチャネル切り替えが可能 PPC インターフェース用。 <ps5110b10 必須=""></ps5110b10>	
3	拡張出力機構	PS5110B12	-	-	-	-	0	0	図形・イメージ印刷が可能。 収容文字数を【注: 拡張。 JEF(ラインプリンタモード)で日本語を印刷 する場合は必須。また JEF/AP(ページプリ ンタモード)で印刷する場合は必須。 <ps5110b10 必須=""></ps5110b10>	3]
4	拡張オーバレイメモリ	PS5110B13	-	-	-	-	0	0	基本部と合わせて 20M バイト分のフォーム 【注: オーバレイデータが収容可能。 <ps5110b10 必須=""></ps5110b10>	5]
5	拡張文字パターン機 構	PS5110B22	-	-	-	-	-	0	JEF (ラインプリンタモード) で使用していた、[注・ 明朝フォントまたはゴシックフォントの7、9、12 ポイント以外に JEF/AP (ページプリンタモー ド) で任意の文字サイズ、教科書体や毛筆 体など各種フォントを追加で使用する場合に 必要なメモリ。 JEF/AP (ページプリンタモード) 印刷時のみ 有効。 <ps5110b12、ps5110b23、 PS5110B10 必須></ps5110b12、ps5110b23、 	4]
6	JEF/AP 出力機構	PS5110B23	-	-	-	-	-	0	JEF/AP(ページプリンタモード)印刷時に 必要なオプション。 <ps5110b12、ps5110b10 必須=""></ps5110b12、ps5110b10>	
7	600dpi/2up 出力 機構	PS5110B25	○ ※	0	○ ※	○ ※	0	○ ※	解像度 240dpi の印刷データを 600dpi に 変換して出力可能。FNP の解像度 600dpi 印刷が可能。また、各エミュレーションでの 2up 印刷が可能。 PS5110B26 導入時の必須オプション。 ※2up 印刷のみ対応(600dpi 印刷不 可)	

[PS5110BK ページプリンタ装置]

8	LP-EAN128 出力機	PS5110B26	-	-	-	-	\bigcirc	-	JEF(ラインプリンタモード)にて GS1-128	
	構								(料金代理収納用)印刷を実現。	
									<ps5110b10、ps5110b25必須></ps5110b10、ps5110b25必須>	
9	QRコード出力機構	PS5110B29	_	-	_	_	\bigcirc	\bigcirc	QR コード印刷時に必要なオプション。	
									<ps5110b10 必須=""></ps5110b10>	
10	SCCI 接続機構	PS5110B31	-	-	-	-	\bigcirc	\bigcirc	SCCI インターフェースの通信制御オプション	【注 2】
									機構 (無償オプション)。	
									<ps5110b10 必須=""></ps5110b10>	
11	SCCI 用 2 チャネル	PS5110B32	-	-	I	-	\bigcirc	\bigcirc	2 台のチャネル切り替えが可能。	【注 2】
	スイッチ								SCCI インターフェース用。	
									<ps5110b31、ps5110b10 必須=""></ps5110b31、ps5110b10>	

- 注1: JEF (ラインプリンタモード) / JEF/AP (ページプリンタモード) /66XX モード/FM-LBP モード
- /FNP モード/69XX モードのいずれで利用可能かを示しています。
- 注2:プリンタ装置本体と同時手配が必要です(現地増設不可)。
- 注3:基本部と合わせて最大18,432文字分の文字パターンが収容可能。
- 注4:拡張文字パターン機構の有無により使用可能な書体数、文字サイズ、コード系の目安は次ページの通りです。
- 注5:BMC/PSD チャネル接続印刷時の導入推奨プションです。

拡張文字バターン機構なしの場合

書体	サイズ	文字数	コード系
明朝全角	3ポから300ポ	第1水+2水(6802 文字)	JEF+2コード系

拡張文字パターン機構有の場合の目安(一例)

			()
書体	サイズ	文字数	コード系
明朝全角	3ポから300ポ	第1水+2水	J E F + 2コード系
半角	3 ポから 3 0 0 ポ	非漢字(324 文字)	
ゴシック全角	3 ポから 3 0 0 ポ	第1水+2水	

注. チャネル系オプションの増設は、工場手配とする。

表 1-5 オプション機構(続き)

									—	
項	機器名称	型名	66xx	FNP	FM	69xx	LP	РР	概要	備考
1	チャネル接続機構	PS5110B50	-	-	-	-	0	0	FCLINK/CTS チャネル接続印刷するための必須 オプション	【注 2】
2	2	PS5CHSW	-	-	-	-	0	0	2 台のホストを接続し、切り換えして利用する場 合に必要なオプション。 <ps5110b50 必須=""></ps5110b50>	
3	拡張オーバレイ機構	PS5110B52	-	-	-	-	0	0	基本部 4MB から 20MB 分までフォームオーバレ イデータを収容可能にするために必要なオプショ ン。 <ps5110b50 必須=""></ps5110b50>	【注 3】
4	拡張文字パターン出力 機構	PS5110B53	-	-	-	-	-	0	JEF (ラインプリンタモード) で使用していた、明 朝フォントまたはゴシックフォントの7、9、12 ポイン ト以外に JEF/AP (ページプリンタモード) で任 意の文字サイズ、教科書体や毛筆体など各種書 体を追加で使用する場合に必要なメモリ。 JEF/AP (ページプリンタモード) 印刷時のみ有 効。 < PS5110B54、PS5110B50 必須>	
5	JEF/AP 出力機構	PS5110B54	-	-	-	-	-	0	JEF/AP(ページプリンタモード)印刷時に必要 なオプション。 <ps5110b50 必須=""></ps5110b50>	
6	600dpi/2up 出力機 構	PS5110B25	0 ※	0	○ ※	○ ※	0	-	JEF(ラインプリンタモード)印刷時に解像度 240dpiの印刷データを600dpiに変換して出力 可能。FNPの解像度 600dpi 印刷が可能。 ※2up 印刷のみ対応(600dpi 印刷不可)	【注4】

[PS5110BL ページプリンタ装置]

									<jef(ラインプリンタモード)、jef ap(ページ<br="">プリンタモード)、印刷時は PSE110PE0 必須入</jef(ラインプリンタモード)、jef>	
									ノリノタレート9 印刷时は F35110050 必須/	
7	拡張バーコード出力機	PS5110B55	-	-	-	-	\bigcirc	-	JEF(ラインプリンタモード)にて GS1-128	
	構								(料金代理収納用)バーコードを印刷する場合	
									に必要なオプション。	
									<ps5110b25、ps5110b50 必須=""></ps5110b25、ps5110b50>	
8	QRコード出力機構	PS5110B56	Ι	-	-	-	\bigcirc	0	QR コード印刷時に必要なオプション。	
									<ps5110b50 必須=""></ps5110b50>	

注1: JEF(ラインプリンタモード)/ JEF/AP(ページプリンタモード)/66XX モード/FM-LBP モード /FNP モードのいずれで利用可能かを示しています。

注2:プリンタ装置本体と同時手配が必要です(現地増設不可)。

注3:FCLINK/CTS チャネル接続印刷時の導入推奨プションです。

注4: JEF(ラインプリンタモード)/ JEF/AP(ページプリンタモード)での 2up 印刷は非サポートです。

オプションの組み合わせ一覧を表 1-6 に示します。

表 1-6 オプションの組み合わせ一覧

[PS5110BK ペ	ージプリンタ装置]
-------------	-----------

選択可能な		オプションの組み合わせ						-									
オプション			240)/4()0d	pi T	デル	\mathbf{b}				60	0dp	i E	デル		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
ベース(プリンタ本体)	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	0	\bigcirc	0	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc
F66XX/F69XX																	
240dpi																	
FNP/FM																	
240/400dpi																	
チャネル接続機構		\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc		\bigcirc	\bigcirc		\bigcirc	0	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc
拡張出力機構			\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc					\bigcirc							
JEF/AP 出力機構				\bigcirc	\bigcirc							\bigcirc	\bigcirc			\bigcirc	\bigcirc
600dpi/2up 出力機構						\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	0	\bigcirc							
拡張文字パターン機構					\bigcirc									\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc
LP-EAN128 出力機構								\bigcirc	\bigcirc		\bigcirc		\bigcirc		\bigcirc		\bigcirc
2 チャネルスイッチは、任意の組み合わせが可能。 拡張オーバレイメモリ、QRコード出力機構は、チャネル接続機構導入状態では任意の組み合わせが可能。 600dpi/2up 出力機構は、240/400dpi モデルでは任意の組み合わせが可能。																	

[PS5110BL ページプリンタ装置]

選択可能な		オプションの組み合わせ									
オプション	240)/400	dpi T	デル			600)dpi T	デル		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ベース(プリンタ本体)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
F66XX :											
240dpi											
FNP/FM:											
240/400dpi											
チャネル接続機構		0	0	0		0	0	0	0	0	0
拡張文字パターン出力機構				0				0			0
JEF/AP 出力機構			0	0			0	0		0	0
600dpi/2up 出力機構					0	0	0	0	0	0	0
拡張バーコード出力機構 〇 〇 〇 〇 〇						0					
2 チャネルスイッチは、任意の組み合わせが可能。											
拡張オーバレイ機構、QRコード出力機構は、チャネル接続機構導入状態では任意の組み合わせが可能。											
600dpi/2up 出力機構は、240/400d	lpi E	デルで	は任意	気の組	み合れ	せがす	可能。				

1.5. 印刷動作の概要

本装置の印刷動作の概要を以下に示します。

印刷動作は、すべてのページ単位で次の四つのサイクルからなります。図 1-9 に情報シーケンス のタイムチャートを示します。



図 1-9 情報シーケンスのタイムチャート

- ① 情報転送サイクル(上位装置→ページバッファ)
- ② 記録サイクル (ページバッファ→感光ドラム)
- ③ 転写サイクル (感光ドラム→用紙)
- ④ 定着サイクル (用紙上の像を熱定着)

図 1-10 に、この流れの概略を示します。

① 情報転送サイクル

上位装置から転送された印刷データは、まず、本装置内(PS5110BL のラインプリンタモー ド/ページプリンタモード時は PS5110B50 内)の中間バッファ(IB)に格納されます。 中間バッファ(IB)のデータを判別して、指定のバッファに格納します。

・印刷形式の制御データは、プリントアウト・コントロールバッファ(POCB)に格納されます。

- ・フォームオーバレイのデータは、フォームオーバレイメモリ(FOM)に格納されます。
- ・図形データと文字データは、ベージバッファ(PB)内に格納されます。文字データは
 - 文字パターンに変更して、ページバッファ(PB)内に格納されます。

1ページ分のデータが準備されると、情報転送サイクルが終了して、次のページの情報転送 サイクルが始まります。 ② 記録サイクル

1ページ分のデータを PB から取り出し、LED によって感光ドラム上に文字パターンを記録しま す。PB に 1ページ分のデータがたまると、本装置は記録サイクルを開始します。 記録サイクルは、1ページの中で行単位の出力を連続して行います。 1ページの記録サイクルを終了した時点で、PB 上において次のページの情報転送サイクルが 完了していると、すぐに次のページの記録サイクルを開始します。

③ 転写サイクル

感光ドラムに記録された1ページ分の情報を印刷用紙に転写します。 記録サイクルで感光ドラム上に記録された情報が、ドラムの回転により転写位置までくると、 転写サイクルが開始されます。記録サイクルが2ページ以上連続して実行された場合、 その転写サイクルも連続して実行されます。 記録サイクルがとぎれると、転写サイクルでは用紙の一時停止(感光ドラムと用紙の

引離し)が行われます。

なお、6LPI、8LPIの場合は印刷用紙のミシン目の前後2行、12LPIの場合の前後3行は、転写が不完全になるため、印刷非保証領域となっています。

④ 定着サイクル

印刷用紙に転写された情報を順次定着します。

転写された用紙が定着部まで移動すると、自動的に定着サイクルが開始され、定着が完了 するとスタッカへ送られます。

用紙上に転写されただけの像は定着されていないので、そのまま取り出すことはできません。



図 1-10 印刷動作概要図

1.6. ラインプリンタモード、ページプリンタモードの印刷機能

文字セット管理、フォームオーバレイ、複写修正、図形印刷、イメージ印刷、文字修飾、 バーコード印刷について述べます。本印刷機能は、以下オプションの機能になります。 PS5110BK:チャネル接続機構オプション(PS5110B10) PS5110BL:チャネル接続機構オプション(PS5110B50)

1.6.1. 文字セット管理

ラインプリンタモードのAモード文字セット管理を図 1-11 に、Kモード文字セット管理を 図 1-12 に示します。

(1) Aモード文字セット管理(英数カナモード) 装置に収容されている20セットの文字パターンセットと、富士通メインフレームのイメージライブ ラリに格納されている文字セットを、自由に組み合せて同時に使用することができます。なお、 同時に組み合せられる文字セットは最大4セットです。



図 1-11 A モード文字セット管理

- PB : ページバッファ
- ATT : Aモード変換テーブル
- WCGM : ライタブル・キャラクタ・ジェネレータ (Aモード CG)
- RIP : 画像展開制御機構
- BMM : ビットマップメモリ
- (注)異なるフォントを同一ページ内に混在することが可能

(2) Kモード文字セット管理(漢字モード)

装置に収容されている第1水準漢字と JIS 非漢字(計 3,418 字)のほかに、富士通メイ ンフレームからのローディングで明朝体、ゴシック体、半角および 1/4 角合わせて標準構成で 8,192 文字、拡張出力機構搭載で 18,432 文字が同時に使用できます。PS5110BL は 基本 18,432 文字使用できます。



図 1-12 Kモード文字セット管理

1.6.2. フォームオーバレイ

フォームオーバレイ印刷機能の概略を図 1-13に示します。フォームオーバレイとは、固定データ、 項目、および罫線などの帳票フォーマットを印刷データと重ねて印刷することです。



図 1-13 フォームオーバレイ印刷機能の概要

1.6.3. 複写修正

ラインプリンタモードでは、図 1-14 に示すようにページバッファに格納した印刷データに対し、 その複写ごとに一部の領域を他のデータに置き換えて(修正して)印刷することができます。 ただし、ページプリンタモードからの出力ではできません。



図 1-14 複写修正機能の概略

27

- 1.6.4. 図形印刷(ベクトル印刷)およびイメージ印刷 図形印刷およびイメージ印刷機能の概略を図 1-15 に示します。
 - (1)図形印刷(ベクトル印刷)

次に示す図形出力機能をもち、ビジネスグラフや図形を出力することができます。

- ・ 線分の出力(実線、点線、鎖線、破線)
- ・円、円弧、扇形の出力
- ・グラフテキストの出力
- ・ 面塗り (矩形、三角形、円、扇形の面塗り)
- (2) イメージ印刷

矩形領域のイメージ情報を出力することができます。この機能を用いるイメージ情報の 圧縮方式は、MH、MR および MMR 方式です。



図 1-15 図形印刷、イメージ印刷機能の概略

1.6.5. 文字修飾

(1)文字サイズ、文字フォントの選択 ラインプリンタモードの場合は、7ポ、9ポ、12ポ文字の全角、半角、1/4角、倍角、平体お よび長体などの固定的な文字サイズから選択し、かつ、明朝体とゴシック体のいずれかの 文字フォントを選択します。 ページプリンタモードでは、字高、文字幅、字幅などの指定により任意の文字サイズが選択 できます。また、明朝体、ゴシック体に加えてイタリック体、教科書体などの各種の書体を 選択することができます。



図 1-16 文字サイズ、文字フォントの拡張(アウトラインフォントによる文字の変形例)

(2) 文字の回転、文字列(行)の傾き ラインプリンタモードの場合は、縦書き指定することによって文字を反時計回りに 90 度回転し ます。また、文字列の傾きは水平方向のみです。

ページプリンタモードでは、文字の回転および文字列の傾きを任意に指定することができます。



図 1-17 文字の回転、文字列(行)の傾き(印字例)

1.6.6. バーコード印刷

バーコード印刷を指定することにより、次に示す形式のバーコードパターンを印刷することができます。

• NW-7

- ・ JAN (標準、短縮)
- · CODE39
- Industrial 2 of 5
- Interleaved 2 of 5
- ・ 物流商品コード (標準、拡張)
- Matrix 2 of 5
- ・UPC(バージョンA、E)
- EAN-13
- ・ カスタマバーコード
- ・ 書留用バーコード (*1)
- · GS1-128(料金代理収納用含む)(*2)
- ・ QR コード、マイクロ QR コード(*3)
- *1: ラインプリンタモードのみサポートしています。ページプリンタモードでの書留用バーコード 印刷は非サポートです。
- *2:ラインプリンタモードで使用する場合、モデルにより以下オプションが必要です。
 - 【PS5110BK】

600dpi/2up 出力機構(PS5110B25)、LP-EAN128 出力機構(PS5110B26) 【PS5110BL】

600dpi/2up 出力機構(PS5110B25)、拡張バーコード出力機構 (PS5110B55)

- *3:モデルにより以下オプションが必要です。
 - [PS5110BK]

QR コード出力機構(PS5110 B 29)

[PS5110BL]

QRコード出力機構(PS5110B56)

バーコード読取装置の読取り仕様によっては、本装置で印刷した帳票の読取り率が異なるので、 運用に先立ち十分な事前確認が必要です。 1.7. ネットワークモードの印刷機能

本機能は、66XX モード/FM モード/FNP モード/69XX モード時が対象です。

- (1) FNP エミュレーション機能を標準サポート、FM-LBP エミュレーション機能、66XX 機能を 標準サポート。 富士通メインフレーム、UNIX サーバ、PC/基幹 IA サーバ Windows PC に接続し、LAN 経 由で印刷を行うことが可能です。
 - 600dpi 印刷は、600dpi/2up 出力機構(PS5110B25)オプションが必要です。
- (2)オープン環境での大量印刷に対応 UNIX サーバ、PC/基幹 IA サーバを遠隔地に配置することにより、オープン環境での大量集 中印刷が可能になります。
- (3)プリンタ管理ソフトウエア製品群「PrintWalker」の提供
 ネットワークプリンタの運用向上を図るプリンタ管理ソフトウエア製品群「PrintWalker」により、
 業務印刷にも対応できる印刷システムを構築できます。
 - ■プリンタジョブ管理ソフトウエア「PrintWalker/PM」の機能(Windows 用。装置添付) Winodws Server 連携時に使用します。 用紙づまりなどが発生しても、続きからの印刷や指定ページからの印刷が可能です。 PC 端末でプリンタに発生したエラー内容の確認ができます。 印刷依頼した PC 端末でプリンタの印刷開始/終了を確認できます。 プリンタがエラー状態で停止している場合でも印刷要求の操作(保留/削除)が可能で す。
 - ■プリンタジョブ管理ソフトウエア「PrintWalker/BPC」の機能(Solaris 用。装置添付。) Solaris から印刷を行う場合に使用します。 用紙づまりなどが発生しても、続きからの印刷や指定ページからの印刷が可能です。 プリンタがエラー状態で停止している場合でも印刷要求の操作(保留/削除)が可能で す。
 - ■プリンタジョブ管理ソフトウエア「PrintWalker/LXE 」の機能(Linux 用。装置添付。) Red Hat Enterprise Linux から印刷を行う場合に使用します。 用紙づまりなどが発生しても、続きからの印刷が可能です。 PC 端末でプリンタに発生したエラー内容の確認ができます。
- (4) Windows 7 / Windows 8.1 / Windows 10 /、Windows Server 2008 R2 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 / Windows Server 2016 / Windows Server 2019 対応プリンタドライバを標準添付しています。

1.7.1. Windows 環境で使用するソフトウエア

PS5110B 用プリンタドライバ、VSP リクエスタ、 PrintWalker/PM などは、Windows 環境で PS5110B を使用する場合に有効な「ソフトウエア」です。 これらのソフトはお客さまによるインストールが可能です。

(1) PrintWalker/PM

Windows PC や PC/基幹 IA サーバ(Windows Server)からの印刷において、プリン タに異常が発生した時に Windows PC ヘメッセージを表示させたり、高信頼なリカバリ機能 を提供するソフトウエアです。

PrintWalker/PM は PS5110B へ印刷を行う Windows PC にインストールします。プリン タドライバをインストールする前にインストールしてください。

また、PrintWalker/PM のユーティリティである外字フォント登録コマンド(F5EQTFLD。 EXE)を使用することで、Windows 上の外字エディタで作成した外字フォントを、プリンタ装 置に登録することができます。

プリンタ装置に登録された外字フォントは、FNP エミュレーション時に有効です。

(2) PS5110B 用プリンタドライバ

Windows PC や PC/基幹 IA サーバ (Windows Server) から印刷を行う場合に必要な、PS5110B 専用プリンタドライバです。

(3) VSP リクエスタ

VSP リクエスタは、富士通メインフレームから HOST PRINT(帳票管理サービス)連携に よる 66XX 印刷を行う場合に、サーバとプリンタ装置間の資源(文字、オーバレイ)のやり取り を行うソフトウエアです。

VSP リクエスタは、HOST PRINT がインストールされた PC/基幹 IA サーバ (Windows Server) にインストールします。

※ (1)~(3)のインストール方法、およびプリンタへの文字資源の登録については、
 添付の PrintWalker CD-ROM の README.TXT を参照してください。

1.7.2. 機能面・運用面における注意事項

1.7.2.1. 66XX 機能

日本語ラインプリンタ装置(NLP)へ出力していたデータを PS5110B へ印刷する場合、 以下の点で NLP 装置とは異なりますのでご注意ください。

〔機能面の違い〕

- (1) 基本的には OPR へ印刷可能な出力データの範囲は、PS5110B へも印刷可能となり ます。(OPR 相当の連続紙印刷装置)
- (2) KING(グラフ/図形/ラベル印刷)のデータを印刷することはできません。
- (3) ダイナミックロード機能による未定義文字の印刷はできません。

ユーザ定義文字などは、事前にサーバへダウンロードしてから運用してください。

- (4) 追加文字セットによる文字パターンのプレローディング機能は使用できません。
- (5) COMPACT 出力については、半角文字を使用する印刷以外は、出力できません。 (OPR へ出力できる範囲のみ出力可能)
- (6)コピー修飾機能を使用して印刷することはできません。
- (7)マークフォームの使用はできません。
- (8) バーコード印刷は、下記のバーコード種のみサポートしており、Matrix 2 of 5、
 UPC (バージョンA、E、E 圧縮形式)、EAN-13 は未サポートです。
 - ・ JAN (標準、短縮)
 - NW-7
 - · CODE39
 - ITF
 - Industrial 2 of 5
 - ・ 物流商品コード
 - ・ カスタマバーコード
 - GS1-128
- (9) UNIX サーバ接続において、オーバレイの ADJUST によるテスト印刷機能は使用するこ とができません。

〔運用面の違い〕

- (1) NLP 装置は直接富士通メインフレームホストのライタから印刷中の操作ができましたが、 PS5110Bは各サーバからの操作となります。 エラー発生時の再スタート手順が、富士通メインフレームホストからの操作と違いますの で各サーバからの再スタート手順を確認してください。
- (2) 帳票で使用する資源(文字・オーバレイ・FCB など)は、事前にサーバへダウンロードしてから運用してください。

- (3) NLP 装置にあった CANCEL ボタンがないため、装置の CANCEL ボタンによる出力の キャンセル操作はできません。
- 1.7.2.2. 69XX 機能

〔機能面の違い〕

- (1) PRIMERGY 6000とPC 端末の環境では互換機能を
 - サポートしていますが、K1600aシリーズ(SX/G)および K100SI シリーズ (CSP/F1)からの印刷はサポートしていません。SX/G から印刷した場合は、ライタに よって保留されます。
- (2)線画メディアサービスを使用したプログラムからの印刷はできません。線画メディアサービス を使用したプログラムを実行した場合は、実行時にエラーとなります。
- 1.7.2.3. FNP エミュレーション機能

UNIX サーバ接続する場合、接続用ソフトウェア PrintWalker/BPC を使用することにより、 FM エミュレーションに加え simple、cobol から FNP エミュレーションでの印刷が可能になります。

FNP エミュレーションでは、アウトラインフォント搭載および高解像度化されたことにより、FM エ ミュレーションと比較して表現力が大幅に向上しました。

従来、表現しきれなかった微妙な印字位置の差、文字サイズの差、線幅の差を表現できる ようになったため、従来の FM エミュレーションで印刷していた帳票の印字結果と比較して 印字位置がずれたように見える場合があります。従来資産を FNPエミュレーションに移行する 場合には注意が必要です。

また、PRIMERGY(Linux)、PRIMEQUEST(Linux)との接続では、接続用ソフトウエア 「PrintWalker/LXE」による FNP エミュレーションでの印刷となります。

以下に、FMエミュレーションからFNPエミュレーションに移行する際の注意点を記載します。

(1)書式文字(罫線文字)間が補間されません。

機能差異	・lp オプションの"-y keisen"が無効となります。
代替方法	オーバレイを使用することで代替できます。
影響する印刷	simple データ、cobol データの印刷

(2) 自然改行しません。

機能差異	・"-y ppm"を指定しても、用紙右端で自然改行しません。
代替方法	simpleの場合、"fold"コマンドで事前に帳票を整形してください。
影響する印刷	simple データ、cobol データの印刷

第1章 装置概要

(3) 自然改頁しません。

機能差異	・simple データ、cobol データの印刷
代替方法	simpleの場合、"pr"コマンドで事前に改頁を挿入してください。
影響する印刷	simple データ、cobol データの印刷

(4) 文字ピッチが異なる場合があります。

機能差異	・simple データ、cobol データの印刷
代替方法	ありません
影響する印刷	simple データ、cobol データの印刷

(5) 点線印刷時に線端を"円"で定義した場合、点線の両端は円形となるが、中間部分の線端 は四角になります。

機能差異	・オーバレイ
代替方法	ありません
影響する印刷	simple データ、cobol データの印刷

(6) 下線の印字位置が FM エミュレーションと異なる場合があります。

機能差異	・UVPI(cobol 印刷)の HL(強調)オーダおよび SGR(強調)
	オーダ指定時の印刷
代替方法	ありません
影響する印刷	cobolからの印刷

(7) 縦特殊対象文字が FM エミュレーションと異なるため、縦書き印刷時に FM エミュレーションと 異なる場合があります。

機能差異	・UVPI(cobol 印刷)の VWF(漢字縦書き指定)オーダ指定時の
	印刷
	・オーバレイ
代替方法	ありません
影響する印刷	cobol データの印刷

(8) FM エミュレーションと異なり、印刷できない文字があります。

機能差異	・simple データ、cobol データの印刷
代替方法	外字登録を行うことで印刷できます。
影響する印刷	simple データ、cobol データの印刷

(9) FM エミュレーションと比較して、行に対して垂直方向の文字印字位置が異なります。

機能差異	・simple データ、cobol データの印刷
代替方法	ありません
影響する印刷	simple データ、cobol データの印刷

⁽¹⁰⁾ 罫線を縦書き、または、罫線を拡大(長体、平体、倍角)にすると、他の罫線とずれて 印刷される場合があります。

機能差異	・罫線の縦書き印刷時、罫線の拡大印刷時
代替方法	オーバレイを使用することで代替できます。
影響する印刷	cobol データの印刷

1.7.2.4. バーコード印刷について

- (1) プリンタが持つバーコードの印刷機能を利用する場合は、印刷するバーコードのバー幅 は3ドット以上の幅で作成してください。それより小さいバー幅では、読み取り率が低くな ります。
- (2) Windows アプリケーションからバーコードを印刷する場合は、イメージデータとして印刷されるため、運用に先立ち十分な読み取りテストが必要となります。 コンビニ-EAN128の場合は、「2.2.3.1.一般タブ」の「(5)コンビニ-EAN128 設定」を参照してバーコード印刷データを作成してください。推奨設定は白黒補正です。
- 1.7.2.5. 二次元コード (QR コード/マイクロ QR コード) について

本装置では、二次元コードの印刷領域を指定して、そのサイズに入る最大の二次元コード のシンボルサイズを以下のモジュール寸法(シンボルを構成する単位セル)から算出して 印刷します。

運用に先立ち十分な読取りテストを行って二次元コードのシンボルサイズを決定して ください。

一般的に、このモジュール寸法が大きいほど読み取り率が高くなるため、可能な限り大きな 印刷領域を指定されることを推奨します(推奨:0.38mm以上)。

詳細は「3.6.5 二次元コード (QRコード/マイクロ QRコード)」を参照してください。

モジュール寸法 (mm)	0.21	0.25	0.32	0.34	0.38	0.42	0.51	0.53	0.64	0.74	0.76
240 d p i	0	×	0	×	×	0	×	0	0	0	×
400 d p i	×	\bigcirc	0	×	0	×	\bigcirc	×	0	×	0
600dpi	×	0	×	0	0	×	0	×	0	×	0

○:選択可 ×:選択不可

1.7.2.6. 文字間隔の指定について

以下の連携では、全ての文字間隔をプリンタの解像度で表現できません。このため、指定された文字間隔とプリンタ動作が一致しない場合があるため注意が必要です。 ・UNIX サーバ接続の COBOL 印刷

詳細は、「3.6 印刷データの作成」を参照してください。

1.7.2.7. LAN-WAN-LAN 環境での使用

本装置はサーバとの接続を維持するために、装置〜サーバ間で定期パケットを送受信することによってポリング処理やリトライ処理を行っています。これらの定期パケットは本装置とサーバとの接続形態にもよりますが、約30秒間隔で送信されるものや、約2~3分間隔で送信されるものなど、いくつか存在します。

そのため装置〜サーバ間は常時接続状態が維持されることになるため、回線接続維持に 課金がされる WAN などが、装置〜サーバ間のネットワーク環境に存在する場合は接続費 用が発生します。

上記の課金を防止するためには、装置~対象サーバ間は必ず課金のかからないネットワーク 環境(同一セグメントや専用線など)としてください。

なお、上記の定期パケットは100~200 バイト程度であり、LAN トラフィックに影響を及ぼす ことはありません。

1.7.2.8. ツイストペアケーブルの接続について

静電気が帯電しているツイストペアケーブルをそのまま本装置に接続すると、本装置が誤動 作したり、壊れたりすることがありますので注意してください。

1.7.2.9. スイッチングハブとの接続について

本装置とスイッチングハブは、オートネゴシエーションでの接続を推奨します。 スイッチングハブをオートネゴシエーション以外に設定する場合、本装置は半二重(Half) で動作するため、スイッチングハブも半二重(Half)に設定する必要があります。

1.7.2.10. JumboFrame のサポートについて

本装置はJumboFrameをサポートしていません。JumboFrameネットワークに接続した 場合、動作を保証できないため注意してください。

※JumboFrameとは

標準(IEEE802.3)では、MACフレームの情報フィールド長は最大 1500 バイトと規定 されていますが、この長さを 9000 バイト程度まで拡張したものを JumboFrame と呼びま す。 1.7.2.11. JOB (ドキュメント) 名表示について

本装置では、NetWork モードにおいて、PrintWalker の設定によりオペレータパネルのメッ セージエリアに JOB 名の表示を行うことができます。但し、JOB 名表示には下記の留意事 項がありますので、運用時に注意してご使用ください。

- (1) JOB 名は、指定されたドキュメント名(ファイル名)の先頭16文字を全角で表示します。16文字以降の文字は表示されませんのでドキュメント名(ファイル名)の付け方に注意してください。ただし、PrintWalker/BPC および PrintWalker/LXE の場合は、表示可能な文字は英数字、および、"."(ピリオド)のみです。その他の文字は"_"(アンダーバー)となります。
- (2) JOB 名は、印刷が終了しても表示されます。次のジョブが指定されることにより、表示が 切り替わります。
- (3) PS5110BK で動作モード(CHANNEL MODE/NETWORK MODE)を変更した場合は、JOB 名は消去されます。
- (4)本装置のオペレータパネルに表示できない文字コードが指定された場合は、空白で表示 されます。オペレータパネルに表示できない文字コードはS-JISコードの以下の範囲になり ます。

81AD~81B7	81C0~81C7	81CF~81D9
81E9~81EF	$81F8{\sim}81FB$	8241~824E
8259~825F	827A~8280	829B~829E
82F2~82FC	8397~839E	83B7~83BE
83D7~83FC	8461~846F	8492~849E
84BF~889E	9873~989E	EAA5~FCFC

- 1.7.2.12. その他の注意事項
 - (1)本装置は、MS-DOSからの直接印刷には対応していません。
 - (2) WSMGR やK端末エミュレータなどにより富士通メインフレームまたは PRIMERGY 6000 サーバからのデータを PC 上で FM エミュレーションに変換し、PS5110B 用プリ ンタドライバを経由せず本プリンタに出力する運用はサポートしていません。よって、印 刷結果については保証できません。
 - (3) Windows からの印刷で、TrueType フォントをデバイスフォントで代替して印刷した 場合、文字フォントの取込み処理が発生するため、1 枚目の印刷が遅い場合があり ます。

1.8. 2up 印刷機能

本装置では、物理ページ(実際の用紙) 1ページに、論理ページ(上位装置から受信した ページイメージ) 2ページ分を面付けして印刷する「2up」印刷を行うことができます。 なお、「2up」印刷機能は PS5110BL のラインプリンタモード/ページプリンタモードでは非サポート です。

操作パネル上のセットアップから、1 up/2 up、および回転なし/ありの選択を行います。

(詳しい操作方法は、「2.2.3.3 レイアウトタブ」を参照してください。)

「回転あり」を指定した場合、印刷データは時計回りに90度回転します。

(注) 600dpi/2up 出力機構 (PS5110B25) オプションが必要。



図 1-18 指定可能なレイアウト情報

指定が可能なのは、図 1-18 に示す4種類です。また、使用可能な用紙サイズ(印刷可能 領域)は、以下のとおりです。

用紙幅:142.24~431.8(mm)

用紙長:88.9 ~355.6 (mm)

なお、2up 印刷時、縮小印刷は行いません。

1.9. 構成

本装置のユニット配置図を図 1-19 に示します。

装置構成は大きく分けると、印刷プロセス系・用紙搬送系・機構制御系・印刷制御系から成り 立っています。まず、印刷プロセス系は、感光ドラムを中心に光学部(LED)・現像部・転写部・ 定着部から構成されています。用紙搬送系は、ホッパ・トラクタ部・搬送ユニット・スカッフローラー 部・スタッカ部から構成されます。機構制御系は、電源ユニット(定着用電源・低圧電源・高圧 電源)・メカコントロールボード・副操作パネルなどから構成されています。

印刷制御系は、サーバとのインターフェース、データ処理および機構制御部とのインターフェースを 行うコントローラユニット部から構成されます。

PS5110BL 用チャネル接続機構オプション(PS5110B50)は本装置搭載ではなく外付け ラック搭載になります。詳細は FUJITSU Printer PS5000 シリーズ チャネル接続機構 (PS5600C50/PS5110B50)の取扱説明書を参照してください。



図 1-19 ユニット配置図

1.9.1. 印刷プロセス概要

本装置の印刷プロセス概要を図 1-20 に示します。

印刷過程は、まず①前帯電器により記録部の中心である感光ドラムの全表面への均一な前 帯電がなされ、次に②印刷すべきイメージが光学部により感光ドラムに露光され、潜像(電気 的に像は形成されるが目には見えない)が形成されます。③この潜像は、現像部によりトナーで 可視像化されて、④転写部において可視像が用紙に転写され、⑤定着部で定着後にスタッカ 部で積み重ねられます。

一方、⑥感光ドラムの表面は、用紙へ転写終了後にクリーニングされ、前帯電器により次の 印刷すべきイメージを露光する準備として再び均一な前帯電がなされます。 なお、⑦クリーニングされた不用トナーは、回収系により回収されます。



図 1-20 印字プロセス

1.9.2. 用紙搬送部

用紙ホッパ、搬送ユニット、スカッフローラー部、およびスタッカ部から構成されます。

(1)用紙ホッパ

用紙箱をセットして給紙する所です。

- (2) 搬送ユニット 用紙の搬送を行なうためのメインユニットです。トラクタピンが転写部の上流に設けられて います。
- (3) スカッフローラー部
 搬送ユニットから出た用紙が弛まないように張力を与えながら搬送します。スカッフローラーと
 ピンチローラユニットにより構成されています。
- (4) スタッカ部 ミシン目付き折り畳み用紙をスタッカテーブル上に折り畳んでスタックします。 スタッカテーブルを引き出して用紙を取り出します。
- 1.9.3. コントローラユニット
 - (1) F R C V部 ロッカ右下に位置しパネルおよび L A N インターフェース経由でのデータ制御を行います。
 - (2) チャネルコントローラ部[PS5110BK 用チャネル接続機構オプション: PS5110B10]
 オプション搭載時、LANインターフェースならびにチャネルインターフェース経由での データ制御を行います。
 - (3) チャネル I / F部[PS5110BK 用チャネル接続機構オプション: PS5110B10]
 L A Nやチャネルなどのインターフェースケーブルを接続します。
 - (注) コントローラユニットとチャネルコントローラ部はLANケーブルで接続されており、以下のローカルネットワーク設定で通信しています。ご使用されるネットワーク環境が同一セグメント(192.168.0.xxx)の場合は保守技術員にご相談して頂き、ローカルネットワークアドレスの設定値を必ず変更してください。

コントローラユニットの IP アドレス : 192.168.0.101 チャネルコントローラ部の IP アドレス : 192.168.0.102 ネットマスク : 255.255.255.0 デフォルトルータ : 192.168.0.102 1.9.4. メカコントロールユニット

用紙送りの制御、記録部や定着部の制御などの各種回路が収容されています。

- (1) メカコントロールボード 本プリンタ装置全体の機構制御および印字制御、高圧電源のコントロール電圧の生成および、各センサ出力のAD変換などを行います。
- (2)モータドライバ

本プリンタ装置のDCモータ、ステッピングモータ、DCファン、ソレノイドなどの駆動、および電源の投入/切断処理と電源系アラームの検出を行います。

1.9.5. 電 源

低電圧電源、高圧電源、定着用電源から構成されます。 低電圧電源は光学部(LED)、検出センサ、制御系各部に、高圧電源は帯電器用に、 定着用電源はコンデンサを介して定着器のフラッシュランプに供給されます。

- 1.9.6. 主操作パネル、副操作パネル
 - (1) 主操作パネル

装置の状態表示、印刷出力に必要なスイッチおよびインジケータから構成されています。

(2) 副操作パネル

プリントチャージカウンタ/キー、ドラムヒータオフスイッチ、電源系アラーム表示、CSセーブス イッチ、電源のローカルオン/オフスイッチなどより構成されています。

第1章 装置概要

第2章 操作

本章では、本装置の各部の名称、主操作パネル、副操作パネル、スタッカパネル、用紙の装着、用紙取出し、消耗品の交換、および異常時の処置について述べます。

2.1. 各部の名称

本装置の各部の名称を図 2-1~図 2-4 に示します。



図 2-1 前面各部


図 2-2 ドラム付近



図 2-3 スタッカ部



図 2-4 右側面

2.2. 操作パネルの配置と機能

2.2.1. 主操作パネル

本装置の主操作パネルは装置上部にあります。印刷に必要な操作および装置の各種設定は、操作パネルで行います。

主操作パネルは、液晶ディスプレイであり、このパネルには、操作に必要なボタンおよび スイッチ、表示ランプが配置されています。

また、プリンタの状態やエラーが発生したときのメッセージなども表示されます。 主操作パネルは指先で軽くタッチしてください。ペンなどの硬いもので触れるとパネル面を損傷 する恐れがありますので、ご注意ください。以下に、主操作パネルの機能を説明します。



(1) 画面に表示される内容について

図 2-5 主操作パネルの表示

a)タイトルバー

タイトルバーには、以下に示す情報が表示されます。

·製品名

・マシン名

·操作権限

b) メニュータブ

メニュータブは、スタート状態では「基本」タブのみ、ストップ状態では「基本」のほか、 「セットアップ」、「ユーザ設定」、「画面」タブが表示されます。

c) メニューエリア

基本操作メニューが表示されます。なお、この基本タブは、ユーザ権限により操作 可能なタブのみ表示されます。

- d)サブメニューエリア サブメニュータブは、選択したメニュータブに応じて操作可能な各種タブが表示されま す。
- e)表示・操作エリア このエリアには、サブメニューエリアに表示されるサブメニュータブに応じた操作画面が 表示されます。

f)ランプ

消耗品ランプ、データランプ、リカバリランプにより、装置の状態が表示されます。

ランプ	表示色	意味	
	(消灯)	-	
消耗品	黄(点灯)	ニアライフの消耗品あり。	
	オレンジ(点灯)	寿命となった消耗品あり。	
	()当下)	スタート状態(印刷待ち/印刷中)	
		ストップ状態で印刷データなし。	
	オレンジ(点灯)	ストップ状態で印刷データあり。	
ゴカ		ストップ状態で印刷(未完成ページ)データあり。	
テータ (注 1)	オレンジ(点滅)	(チャネル接続機構オプション PS5110B10 搭載時の	
		CHANNEL MODE で印刷する場合に発生)	
		セルフリカバリモード時に、セルフリカバリ	
	緑(点灯)	データのみある場合。	
		(リカバリモードの変更可能)	
	(消灯)	リカバリデータなし	
リカバリ	+1.2.2 (占/仄)	リカバリデータあり	
	ノレノシ(魚灯)	(エラー発生により、印刷が完了していない場合)	

表 2-1 ランプ表示状態とその意味

注 1 : PS5110BL でラインプリンタモード/ページプリンタモード時に点灯した場合は 操作不要です。チャネル接続機構オプション(PS5110B50)で操作してくださ い。詳細は FUJITSU Printer PS5000 シリーズ チャネル接続機構 (PS5600C50/PS5110B50)の取扱説明書を参照してください。

g)メッセージエリア

ステータスコードとステータスコードが意味するメッセージを表示します。なお、表示されるステータスコードとメッセージについては「2.8.1 主操作パネルの表示と復旧手順」を参照してください。

h) プリンタステータス

プリンタのステータス情報を表示します。なお、プリンタ装置のステータスには、以下に 示す種類があります。

ステータス	表示色	意味
初期化中	青	プリンタの初期化状態。
ストップ	黄	印刷停止状態
スタート	緑	印刷可能状態
用紙排出中	青	「イジェクトスイッチ」押下時の用紙排出処理中状態。
クリアプリント中	圭	クリアプリント」ボタン押下時のクリアプリント中状態。
(オプション)	月	
システムエラー	赤	装置システム内部で致命的なエラー発生状態。
エラー		装置内でエラーが発生した事を意味します。
	*	エラーの内容により、「リセット」スイッチでエラー解除を行った後、
	小小	「スタート」スイッチで印刷指示を行う場合とリセット不要エラーがあ
		ります。
プリンタ準備中	圭	プリンタ準備中状態。(装置起動時以外のプリンタ準備中は、
	月	時計アイコンが点滅します。)
オートロード中	青	オートロード中状態。
メンテナンス	オレンジ	保守作業モード中であることを意味します。
印刷中	青	プリンタが印刷中であることを意味します。

表 2-2 プリンタステータスとその意味

i)リカバリモード表示

リカバリモードを表示します。以下の2種類があります。

- ·HOST RECOVERY
- $\boldsymbol{\cdot}\mathsf{SELF} \ \mathsf{RECOVERY}$
- 各モードの意味については、「2.2.3.4 リカバリタブ」を参照してください。
- (注) PS5110BL でラインプリンタモード/ページプリンタモード時は、

ホストリカバリを選択してください。セルフリカバリは非サポートです。

j)操作スイッチ

プリンタ操作を行うスイッチであり、以下に示す種類があります。

スイッチ		機能
ストップスイッチ	👿 ストップ	印刷を一時停止します。 「ストップ」スイッチは、印刷待ち/印刷中状態の 場合に使用可能です。本スイッチ押下後は、停 止中状態に遷移します。
スタートスイッチ	ヘ スタート	印刷を開始可能状態に遷移させます。 「スタート」スイッチは、停止中かつエラーなし状態 の場合のみ有効です。 「スタート」スイッチ押下後、印刷可能な状態に 遷移できる場合には、READY 状態に遷移しま す。
リセットスイッチ	🥑 リセット	リセット操作が必要なエラー発生時にエラー状態 を解除する場合に使用します。
イジェクトスイッチ	ミン イジェクト	用紙排出を行います。 用紙排出機能は、停止中状態の場合のみ 使用可能です。
電源 OFF	⁰① 電源	プリンタ装置の電源を OFF にします。 副操作パネルの MAIN FRAME REMOTE/L OCAL スイッチを RE MOTE で使用する場合、 NETWORK MODE であっても、GS/PRIMEF ORCE からの電源切断が有効となります。 スイッチを LOCAL に切り替えることで GS/PRIM EFORCE からの電源切断を無効にできます。

表 2-3 操作スイッチとその機能

なお、上記操作スイッチは、操作不可の状態時には無効化(グレイアウト)表示されます。

- (注) PS5110BK でスタート/ストップスイッチが両方ともグレーアウトし、押せない場合は保守技術員に連絡してチャネルの設定(保守モードでの CHC 機番アドレスの設定、CHC 転送モード、CHC 情報設定)を行ってください。
- (注) セルフリカバリモードにおいて、エラーが発生してリカバリランプが点灯時にリセットス イッチを押下した場合、リカバリ選択画面が表示されリカバリの処理(ホストリカ バリ/セルフリカバリ)を選択することができます。
 - ※但し、以下の場合にはリカバリ選択画面は表示されません。
 - ・データ受信から用紙に出力されるまでにデータエラーが発生した場合
 - (この場合、ホストにデータ再送要求を報告し、ホストからのリカバリが行われま す)。

(備考)スイッチやボタンを押したとき、「現在実行できません。しばらくした後、再度実行して下さい。」のメッセージが表示された場合、しばらく時間をおいて再度、 処理を行なってください。 (3) 操作機能概要

操作パネルでは、メニュータブ単位に操作画面を表示します。 以下に、メニュータブ構成と機能概略を示します。なお、各タブは、ユーザのログオン権 限(一般ユーザ/ユーザ管理者/メンテナンス管理者)に応じて操作可能な機能 のみ表示され、各サブタブ機能内においても、権限により制限されます。

表 2-5 各タブの機能と権限

第19ブ	第 2 9ブ	機能説明
		用紙情報の表示/選択
		動作モード(Channel(注 1)/Network)情報の表示/選択
		Network モード時の論理プリンタ状態の表示
		プリンタ・ステータスの表示。
		消耗品/データ/リカバリランプの表示
基本	_	印刷位置調整値情報の表示
		印刷濃度情報の表示
		媒体モード・スタッカ停止モードの表示
		レイアウト情報表示/選択(注2)
		クリアプリントボタン(注1)
		キャンセルボタン(注1)
		印刷濃度情報の表示/設定
		印刷位置調整値情報の表示/設定
	一般	テストプリント
		コンビニ EAN-128 設定(注3)
		特殊媒体モードの設定
	F7/41	用紙情報の登録
		用紙情報の選択
	用瓶	用紙情報の削除
		詳細(注1)
		登録
	レイアント	選択
セットアップ		削除
2917992	リカバリ	ホストリカバリ/セルフリカバリの選択
		リカバリセパレータ印刷
		消耗品状態の参照と交換操作(ユーザ消耗品)
	消耗品	定期交換部品状態の表示(保守作業用)
		消耗品ログボタン(注1)
		共通設定(印刷開始制御、強制拡張解像度印刷、チャネル設定:
	JEF(注1)	(ONLINE/OFFLINE、A/B、INT/ EXT))
		JEF(印字幅設定、EAN128 目視文字位置、第 2FPD 設定)
		JEF/AP(EAN128 目視文字位置)
	END	ネットワークアドレスの設定
		(IP アドレス、ネットマスク、デフォルトルータ、ゲートウェイアドレス、宛先ア
		ドレス、データレート)

		論理プリンタの設定(サポートサーバ、ポート番号、リクエスタサーバ IP ア	
		ドレス、リクエスタサーバポート番号)	
	(FNP/FM、66XX、69XX)		
		FNP(EAN128 目視文字サイズ)	
		FM の設定	
		66XX の設定	
ユーザ設定	_	操作権限変更操作とパスワード変更操作	
画面		キャリブレーション調整、画面清掃、スイッチ配置の変更、スクリーンセーバ	
	_	の設定、ブザー音量のテスト/設定	

注1: PS5110BK でチャネル接続機構オプション(PS5110B10)導入時だけ表示します。

注2: PS5110BK/BL で 600dpi/2up 出力機構オプション (PS5110B25) 導入時だけ表示 します。

注3: PS5110BK で 600dpi/2up 出力機構オプション (PS5110B25) 導入時だけ表示します。

(4) キー入力

操作パネル内での文字/数字入力時には、以下に示す仮想キーボードおよび仮想 テンキーが表示され、入力することができます。

a)仮想キーボード

英数字を入力する操作が必要な場合に表示されます。 文字入力を行うと入力文字確認エリアに表示されます。

登録名の入力	
	● ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
1 2 3 4 5 6	7 8 9 0 -
Q W E R T Y	UIOPE
A S D F G	H J K L ; :]
Z X C V B	N M , . / \
Shift	✓ OK ×++>セル

図 2-6 仮想キーボード

なお、「Shift」ボタンを押すと、以下に示すように英小文字と特殊記号などの入力 可能な文字に変更されます。

登録名の入力	●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
! " # \$ % &	' () ~ =
q w e r t y	u i o p · {
a s d f g	h j k l + * }
z x c v b	n m < > ? _
Shift	✓ OK *+ャンセル

図 2-7 仮想キーボード (英小文字と特殊記号入力時)

仮想キーボード入力範囲

各設定、登録などで使用される仮想キーボードの入力範囲は、下記のようになっています。

キーボード名	最大 文字数	空入力	入力範囲
用紙情報登録	16	×	英大文字、数字、"-"," * "
レイアウト情報登録	20	×	英数字、"-"
第2 FPD コメント編集	14	0	英数字、記号
			(空入力時は、削除された場合と同じ処理を行う。)
パスワード入力	16	×	英数字、"."
装置名	20	×	英数字
コミュニティ名	45	0	英数字
製造番号	12	×	英大文字、数字、"#"
チェックコード	2	×	英大文字、数字

表 2-7 仮想キーボードの入力範囲

b)仮想テンキー

数字を入力する操作が必要な場合に表示されます。

数字入力を行うと入力文字確認エリアに表示されます。



図 2-8 仮想テンキー

c)その他の入力画面

その他の入力としては、16 進の入力や IP アドレス入力用テンキー画面があります。

ー IPア	ドレス		
7	8	9	Clr
4	5	6	
1	2	3	メ キャンセル
0		·	✓ 0K

図 2-9 IP アドレス入力用テンキー

2.2.2. 基本タブ

印刷状態の参照、装置の操作などを行う運用画面であり、以下に示す機能があります。 ・用紙情報表示・選択

- ・レイアウト情報の表示・選択(オプション)
- ・動作モード選択(CHANNEL MODE はオプション)
- ・装置状態の表示
- ・印刷位置情報の表示
- ・印刷濃度情報の表示
- ・媒体モード情報の表示
- ・「クリアプリント」ボタン操作(オプション)
- ・「キャンセル」ボタン操作(オプション)
- 2.2.2.1. 用紙情報表示·選択

セットアップで登録、選択した用紙情報を表示します。

富士通メインフレームから用紙コードが指定されない場合は、本設定情報で印刷されま す。用紙情報選択は、ストップ状態で、変更ボタンを押下もしくは、セットアップタブの用 紙タブを押下し、セットアップ用紙タブに遷移することで選択可能です。

(注) PS5110BL のラインプリンタモード/ページプリンタモード時は「000:DEFAULT」を 選択したまま変更しないでください。PS5110B50 側で設定します。詳細は FUJITSU Printer PS5000 シリーズ チャネル接続機構 (PS5600C50/ PS5110B50)の取扱説明書を参照してください。

PS5110	PS5110B	🌍 一般ユーザ
🛄 趣念 🔺 🔐 セットアップ 🎇 ユーザ設定 🗔 画面		1
用紙情報: 000: DEFAULT 変更 レイアウト情報: 000: DEFAULT 用紙情報変更ボタン		消耗品 データ リカバリ
動作モード: CHANNEL MODE NETWORK MODE PNP/FM	<u> 垂直位置 4</u> 水平位置 05 オーバレイ 08 濃度 L●● ③●● H	印刷設定変更 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
ストップ HOST RECOVERY 『デー』 NETWORK MODE		
◎ ① 電 源	v ト 🔷 スター	-ト () ストップ

図 2-10 基本タブ 用紙情報表示・選択

2.2.2.2. レイアウト情報表示・選択(オプション)

セットアップで登録、選択したレイアウト(Imposition)情報を表示します。オプションが ない場合、レイアウト情報は表示されません。

印刷データの回転や面付けを指定します。

デフォルトで登録されている「000」、「125」~「127」の4種類のほか、セットアップタブに て追加登録したレイアウト情報の中から選択することができます。

レイアウト情報選択は、ストップ状態で、変更ボタンを押下もしくは、セットアップタブのレイ アウトタブを押下し、セットアップレイアウトタブに遷移することで選択可能です。



図 2-11 基本タブ レイアウト情報表示・選択

2.2.2.3. 動作モード表示

本プリンタの動作モードを示します。

- ・CHANNEL MODE(※): 富士通メインフレームとの連携です。
- ・NETWORK MODE: Windows および Solaris、Linux、チャネル接続機構 (PS5110B50)との連携です。

動作モード選択は、ストップ状態でかつデータランプが点灯または点滅していない状態でのみ操作可能となります。但し、データランプが緑色点灯(セルフリカバリデータ保持中)時は、切り替え可能です。

※PS5110BK でチャネル接続機構オプション(PS5110B10)搭載時のみ有効 です。

ストップ	かつ	データ
------	----	-----

動作モードが変更されると、画面下部の状態表示が変更されます。





図 2-13 チャネル接続機構オプション (PS5110B10) が搭載されていない場合



図 2-14 チャネル接続機構オプション (PS5110B10) が搭載されている場合

チャネル接続機構オプション (PS5110B10) が搭載されていない場合、動作モードの 「CHANNEL MODE」は表示されません。PS5110B チャネル接続機構オプション (PS5110B10) が搭載されている場合、動作モードの論理プリンタは表示されません。

また、NETWORK MODE 時は論理プリンタの状態が表示されます。表示内容を、 以下に示します。

状態	論理プリンタ 表示	状態表示
スタート	T FNP/FM	
ストップ	1 FNP/FM	
ストップ(未印刷データあり)	FNP/FM	
データ受信中	1	
上位装置電源断 リクエスタ接続不可	FNP/FM	上位装置電源断 リクエスタ接続不可
データエラー	66XX	データエラー = XX
69XX	3 × 69XX	SNDCG未受信状態
論理プリンタ未設定	非表示	

表 2-8 論理プリンタの状態表示

PS5110BK 使用時のご注意:

- (1) 副操作パネルの MAIN FRAME REMOTE/LOCAL スイッチを REMOTE でご使用 の場合には、NETWORK MODE であっても富士通メインフレームからの電源切断が 有効となります。スイッチを LOCAL 側に切り替えることで、富士通メインフレームからの 電源切断を無効にできます。
- (2) CHANNEL MODE で運用時に富士通メインフレーム側で CPU-STOP を行った場合や、富士通メインフレームが CLOCK-STOP 状態の時にオートスタートの状態で装置が立ち上がった場合は、スタート/ストップスイッチの切り替えができません。 CPU-STOP を行われる場合で、ネットワーク運用を行う場合は、あらかじめ NETWORKMODE へ切り替えた後で、CPU-STOP を行うようにしてください。

2.2.2.4. クリアプリントボタン(オプション)

クリアプリントボタンは PS5110BK でチャネル接続機構オプション (PS5110B10) 導入時のみ表示します。

「クリアプリント」ボタンを押下すると、クリアプリント動作を行います。

クリアプリント動作とは、ストップ状態において、それまでにページ完成したデータまでを転 写位置まで印刷する機能です。

クリアプリント時にページ完成されていないデータが存在している場合は、データランプがオレンジで点滅します。

「クリアプリント」、「キャンセル」ボタンは、通常時には下図に示すように隠れており、操作 することはできません。

ー度ボタン部分を押すとボタンが表示され、操作可能となります。なお、数秒放置すると ボタンは隠れます。

(注) [クリアプリント] ボタンを操作すると印刷行位置が初期化されます。このため [クリアプリント] ボタン操作後、印刷される行が変更され正しい位置に印刷され ない場合があるためご注意ください。[クリアプリント] ボタンの操作により正しい 位置に印刷されなかった場合は、ジョブの再起動による出力が必要です。





図 2-15 基本タブ クリアプリント/キャンセルボタン表示

2.2.2.5. キャンセルボタン(オプション)

キャンセルボタンは PS5110BK でチャネル接続機構オプション (PS5110B10) 導入時のみ表示します。

「キャンセル」ボタンを押すと、ページバッファにあるデータを削除します(取扱いにはご注意 ください)。ただし、セルフリカバリで運用していた場合、セルフリカバリ用のデータは削除さ れません。

(注)「キャンセル」ボタン、「クリアプリント」ボタンは、NETWORK MODE では機能しま せん。

2.2.2.6. 装置状態の表示

「消耗品」、「データ」、「リカバリ」ランプの表示状態により、装置のエラーや消耗品寿命な どの情報を表示します。各ランプの表示状態の詳細については、「表 2-1 ランプ表示 状態とその意味」を参照してください。また、エラー発生箇所や消耗品発生箇所が、装置 イラストの上に表示されます。

PS5110	PS!	5110B 🧊 一般ユーザ
用紙情報: 000:DEFAULT		
レイアウト情報: 000: DEFAULT		道 消耗品 データ リカバリノ
動作モード: CHANNEL MODE NETWORK MODE	キャンセル クリアブリント のリアブリント	位置 4 位置 05 パレイ 08 LOOGOOH 媒体モード 1
HOST RECOVERY	RK MODE	
⁰①電源	ジェクト 🎯 リセット	スタート マストップ

図 2-16 基本タブ スタート状態

消耗品ランプ上に、CHANNEL MODE で有効となる電池マーク(下図参照。)が表示されます。点灯しますので保守技術員に連絡ください。



図 2-17 電池寿命マーク表示状態

ストップ状態で「C0~FE」までのコードが表示された場合 チャネルモードで装置が Not Ready 状態であることを示します。プリンタは、印刷中の ページ転写が完了した時点で停止します。したがって、富士通メインフレームは、ページ バッファ中の全ての印刷データを保証するためには、クリアプリントコマンドを発行する必 要があります。

P\$5110	PS5110B	🌍 一般ユーザ
用紙情報: 000: DEFAULT 変更		88
レイアウト情報: 000: DEFAULT 変更		消耗品 データ リカバリ
動作モード: CHANNEL MODE NETWORK MODE	せい し また は し し し し し し し し し し し し し し し し し し	ED時間が定変更 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
ER09-01 I 7 -	◇スタッカノットレディ◇ スタッカスイッチをオート(DE	にして下さい。
¹⁹ ① 電 源 📃 【ジェクト 🚺	<u>کې المعاد (المعاد) کې المعاد (المع</u>	- ト () ストップ

図 2-18 基本タブ エラー状態

エラーが発生した場合、画面左下にエラーコード、右下にエラーメッセージを表示します。 データランプとリカバリランプがオレンジに点灯し、エラー発生の箇所がイラスト上に 表示されます。

PS5110 PS52		PS5110B	🧊 一般ユーザ
用紙情報: 000: DEFAULT レイアウト情報: 000: DEFAULT			〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
動作モード: CHANNEL MODE NETWORK MODE	++>+21	垂直位置 4 水平位置 05 オーバレイ 08 濃度 L ● ● ● ● H	リカバリ 日時100定変更 こ。。
HOST RECOVERY	- F DRK MODE	トナーを補給して下さい。 1個の消耗品があります。	
⁰ ① 電 源	ジェクト 🕢 リイ	באר 🗘 אין	ト 👿 ストップ

図 2-19 基本タブ 消耗品交換時期表示

消耗品のニアライフ発生時には「消耗品」ランプが黄色に、消耗品が寿命となった場合に はオレンジに点灯し、装置のイラスト上に、交換対象となる消耗品の箇所が表示されま す。

2.2.2.7. 装置位置情報の表示

現在設定されている印刷位置の情報が表示されます。

また、「印刷設定変更」ボタンを押すと、セットアップ画面に遷移し、印刷位置が変更できます。印刷位置の変更方法は、「2.2.3.1 (1) 印刷位置調整機能」を参照してください。

垂直位置 4 水平位置 05 オーバレイ 08		▶ 印刷設定変更ボタン
濃度 L●●③●●H	媒体モード 2	

図 2-20 基本タブ 印刷設定変更ボタン

「媒体モード」表示は、セットアップタブ画面にて設定されたモードが表示される。標準設定の場合、これらの表示はしません。

2.2.2.8. 装置印刷濃度情報の表示

現在設定されている印刷濃度値の情報が表示されます。 また、「印刷設定変更」ボタンを押すと、セットアップ画面に遷移し、印刷濃度が変更でき ます。印刷位置の変更方法は、「2.2.3.1 (2) 印刷濃度調整機能」を参照してくださ い。

2.2.2.9. 媒体モード情報の表示

現在設定されている媒体モードの情報が表示されます。 媒体モードの変更方法は、「2.2.3.1 (6) 媒体モード」を参照してください。

2.2.3. セットアップタブ

印刷位置や用紙情報などを登録/設定する画面であり、以下のサブメニュータブがあります。 これらの設定は、印刷停止状態(ストップ状態)時に変更することができます。

- ・一般:印刷位置および印刷濃度情報の設定変更
- ・用紙 : 用紙情報の登録/選択/削除(注1)
- ・レイアウト : レイアウト情報の登録/選択/削除
- ・リカバリ : リカバリモードおよびリカバリセパレータ印刷の設定(注2)
- ・消耗品 : ユーザ消耗品交換/定期交換部品
- ・JEF : チャネル運用時の設定(注1)
- ・FNP : ネットワーク、論理プリンタ、FM および 66XX の設定(注3)
- (注 1) PS5110BL の場合は設定不要です。PS5110B50 側で設定します。詳細は
 FUJITSU Printer PS5000 シリーズ チャネル接続機構 (PS5600C50/ PS5110B50)の取扱説明書を参照してください。
- (注 2) PS5110BL でラインプリンタモード/ページプリンタモード時は、リカバリセパレータ印刷は非サポートです。
- (注3)一般ユーザ権限でログオンしている場合、表示されません。

2.2.3.1. 一般タブ

一般タブは、印刷位置と濃度情報、テストプリント、コンビニ-EAN128、媒体モードの設 定を変更することができます。

・印刷位置変更:垂直/水平/オーバレイ方向オフセット値の設定変更

- ・濃度変更 : 濃度値の設定変更
- ・プリセット値変更 : 濃度プリセット値の設定変更
- ・テストプリント : 印字幅値変更と実行
- ・コンビニ-EAN128設定 : バーコード補正の変更

・媒体モード

:特殊な用紙(媒体)で印刷する場合のモード設定変更



図 2-21 セットアップ一般タブ

(1)印刷位置調整機能

説明書を参照してください。

印刷位置調整機能は、印刷位置(垂直/水平/オフセット量およびオーバレイの水平オフセット量)を設定することができます。
設定値はそれぞれ16進表示で示されます。
PS5110BLで用紙情報の運用を行う場合は、印刷位置を基準点(垂直位置=4、水平位置=05、オーバレイ=08)に設定してください。その後
PS5110B50 側で用紙情報の設定をします。詳細は FUJITSU Printer
PS5000 シリーズ チャネル接続機構 (PS5600C50/PS5110B50)の取扱



図 2-22 セットアップ一般タブ 印刷位置変更

印刷位置の基準点は、垂直位置=4、水平位置=05の位置であり、オーバレイ=08 の設定時、用紙左端より0.7インチの位置に印刷されます。(印刷開始制御が 「Fモード(標準)」の場合)この基準点から垂直/水平位置を指定することにより、 次に示す表の範囲内で印刷位置を変化させることができます。

内容	垂直方向	水平方向	オーバレイ
設定可能値の範囲	'0′∼′F′	'00′∼′BF′	'00'~'78'
移動の最小単位	1/60(インチ)	1/60(インチ)	1/120(インチ)
初期値(基準点)	'4'	'05'	'08'
基準点に対する	下方向に最大 16 ドット	左方向に最大 20 ドット	左方向に最大 16 ドット
移動方向·設定値	1.69mm(4/60 インチ)	2.11mm(1/12 インチ)	1.69mm(1/15 インチ)
	'0'~'3'	'00'~'04'	'00'~'07'
(注1)	上方向に最大 44 ドット	右方向に最大 744 ドット	右方向に最大 224 ドット
	4.65mm(11/60	78.74mm(3.1 インチ)	23.7mm(14/15
	インチ)	'06'~'BF'	インチ)
	'5′∼′F′		'09'~'78'
移動対象となる	文字・図形・イメージ・オーバ	文字・図形・イメージ	文字・図形・イメージ・オーバ
データ種別	レイ		レイ

表 2-9 印刷位置/オーバレイ位置の移動量

- (注1)移動ドット数は240dpi 換算値です。
- (注2)水平方向の印刷位置は、オーバレイ位置の設定の影響を受けるため注意が必要 です。

ボタン操作は、以下に示すように使用してください。

表	2-10	印刷位置の設定変更ボタン操作
---	------	----------------

ボタン	2	機能
調整ボタン		- (マイナス)オフセット値を設定します。
		+ (プラス)オフセット値を設定します。
調整項目指定ボタン		入力したい項目を指定できます。指定された項目 は、左絵のように「緑」になります。
調整数値ボタン	0 F	指定された項目に、ダイレクトに値を入れることがで きます。 (範囲外が指定されますと確認メッセージ画面が 表示されます。)
初期化ボタン	初期化	垂直/水平/オーバレイオフセット値を初期値 (4、05、08)にリセットします。



(VERT:垂直位置 HORIZ:水平位置)

図 2-23 印刷位置の移動範囲



(OVL: オーバレイ位置)

図 2-24 オーバレイ位置の移動範囲

(2) 印刷濃度調整機能

印刷濃度調整機能は、5段階で設定することができます。 設定値を変更する場合には、下記画面の矢印ボタンを押して変更することができ ます。(左方向(L)が淡く、右方向(H)が濃く設定されます。) 以下で示す「標準範囲」内の設定時、濃度の段階は青で表示され、「標準範 囲」以外を設定した場合には、黄色で表示されます。



図 2-25 濃度変更

(3) プリセット値変更

5つの濃度値は装置出荷時に定められた標準値がプリセットされていますが、より 細かい濃度設定を可能とするため、そのプリセット値の変更が可能です。 上記濃度設定画面において、「プリセット値変更」ボタンを押すことにより、プリセッ ト値変更画面が表示され、各値の設定値を調整することができます。 本装置は15段階の濃度設定があります。印刷内容・目的にあわせてご使用く ださい。このとき、濃度1<2<3<4<5の関係がくずれるような設定は無効 となります。

- (注)・通常は標準範囲である'8'~'12'の範囲内でご使用ください。特にバーコード などの印字精度が必要な場合に使用します。
 - ・「標準範囲」以外は、印刷内容・目的に応じてご使用ください。
 - ただし「標準範囲」以外の濃度を使用する場合、試し印刷をした上でご使 用ください。
 - -より濃い範囲では線が太くなり、小さな文字が見えにくくなる場合がありま す。
 - ーより淡い範囲では線が細くなり、つながらなくなる場合があります。
 - ・濃度設定により、トナー消費量が増減します。



図 2-26 プリセット値変更

- a) 「設定」ボタン 指定した濃度プリセットを有効にして、セットアップ一般タブに戻ります。
- b) 「キャンセル」ボタン 指定した濃度プリセットを無効にして、セットアップ一般タブに戻ります。

(4)テストプリント

本装置の印刷状態を確認するために使用します。

印刷幅は、以下の中から選択することができます。

- ・5.5 インチ
- ・8.0 インチ
- ・11.0 インチ
- ・14.0 インチ

印刷幅を選択して、「実行」ボタンを押すとテストプリントが実行されます。



(注) 印刷データ"有"の場合は実行不可

図 2-27 セットアップ一般タブ テストプリント

(5) コンビニ-EAN 1 2 8 設定 (PS5110BK で 6 0 0 dpi 時のみ有効) GS1-128(料金代理収納用)バーコードは、高密度(省スペース、表現文字種 類が多い、基本モジュールサイズは JAN コードの最小 0.26mm に対し 0.169mm (65%) であるため十分な印字品質管理が必要です。 このため、600dpi で印刷する場合は、印刷用紙や環境による線幅変化および 読み取りリーダの特性などを考慮して 3 種類の設定が可能です。 実運用に先立ち、最適な設定と最適な印刷濃度を設定して運用をされることを 推奨します。

- ・バーコードの幅の指定と運用時の濃度設定の目安
 - 1)白黒補正: ※本装置の推奨設定モードです
 - ·濃度設定:8~12(推奨:10)
 - 黒のバーコード幅:3、7、11、15ピクセル(論理エレメント幅-1ピクセル) 白のバーコード幅:5、9、13、17ピクセル(論理エレメント幅+1ピクセル) で印刷するモードです。
 - ・留意事項:

3種類の設定の中でCグレード以上のバーコード品質評価基準を得やすい設定モードです。

- 2)補正なし: ※濃度設定値の定期的な確認が必要です
 - ・濃度設定:3~5

黒/白のバーコード幅:4、8、12、16 ピクセル (論理エレメント幅) で印刷するモードです。

・留意事項:

黒のバーコード線幅が太く(白のバーコード線幅が細く)印刷されます。 印刷用紙や印刷環境などの要因によって黒バーが細く印刷される場合や、 印刷濃度設定を本装置の推奨濃度設定範囲(8~12)未満で使用す る場合に使用します。但し、濃度設定を薄めに設定した場合、印刷用紙の 特性や印刷環境による線幅の変化がより大きくなりますので、事前に、かつ、 定期的に検証して濃度設定値を設定される事を推奨します。

3) 白補正 : ※料金代理収納には向きません

- ・濃度設定:8~12 黒のバーコード幅:4、8、12、16ピクセル(論理エレメント幅) 白のバーコード幅:5、9、13、17ピクセル(論理エレメント幅+1ピクセル) で印刷するモードです。
- •留意事項 :

黒と白のバーコード線幅がほぼ同じで印刷される特徴があります。 しかし、この設定は他の設定に比して料金代理収納に於けるデコード容易 性でマージンが少なくなります。印刷出力結果を検証できない環境では推 奨できません。料金代理収納以外の用途にご使用ください。 データランプ点灯中に操作を実行すると、CHANNEL MODE の場合は未印刷 データの消去に関するメッセージが、NETWORK MODE の場合は設定変更がで きないことを示すメッセージが表示されます。

本設定は、600dpiの印刷におけるコンビニ-EAN128 バーコード(注)に対して のみ有効となる。

(注) 但し、FNP 印刷の場合には、コンビニバーコードに関係なく GS1-128 バーコードが対象となります。



図 2-28 セットアップ一般タブ コンビニ-EAN 1 2 8 設定

(6) 媒体モード

特殊な用紙(媒体)で印刷する場合に、設定します。

以下に媒体モードの種類・機能を示します。

表 2-11 媒体モードの種類・機能

媒体モード	使用できる用紙例
通常	・一般業務ノーマル
	・薄紙
	・推奨再生紙
媒体モード1	・用紙加工に施されているインク、糊、填料が
	推奨条件より外れていると思われる用紙
	・低印字率の用紙外れの発生しそうな用紙
	・厚紙
柑井工 ドつ	・カード媒体
妹14モート2	・ミシン目変形媒体
	・高湿環境
	・カード媒体
	※通常、カード媒体は「媒体モード2」で使用しますが、スタック
媒体モード3	不良が発生する場合は、「媒体モード3」で使用します。
	(スタッカの動作が変わります。)
	「媒体モード3」での最大スタック量は500枚です。

運用に先立ち通紙確認を十分に行ってください。

また、通常の用紙をご使用になる場合は、「媒体モード」を「通常」に設定してくだ さい。「媒体モード1」、「媒体モード2」、「媒体モード3」の設定のままご使用さ れますと、印字欠陥、用紙ジャム、スタック不良などを招く恐れがあります。



図 2-29 セットアップ一般タブ 媒体モード

2.2.3.2. 用紙タブ

現在の用紙情報に名前をつけたり保存したり、保存した用紙情報を削除したりすることができます。

- (注) PS5110BL のラインプリンタモード/ページプリンタモード時は「000:DEFAULT」を 選択したまま変更しないでください。PS5110B50 側で設定します。詳細は FUJITSU Printer PS5000 シリーズ チャネル接続機構 (PS5600C50/ PS5110B50)の取扱説明書を参照してください。
- ・登録 :装置に用紙情報を登録します。
- ・選択 : 装置に登録した用紙一覧から、装置で使用する用紙を選択します。
- ・削除:装置に登録した用紙情報を削除します。

(ただし、登録名"DEFAULT"については削除できません。)

・詳細 :装置に登録した用紙情報を表示します。
 (PS5110BK のチャネル接続機構オプション PS5110B10 搭載時)

PS5110		PS5110B	🧊 一般ユーザ
基本	🙀 மேலிலி 💏 ユーザ設定 🗔 🖬 🖬	i	
一般	אין אינע 🔄 איז	消耗品 🛛 🛅 J E F	
現在選択中0	D用紙情報:「000」「DEFAULT		
番号 登録名	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	登録	
000* DEFAUL 001	_1 4 05 08 3	Chillion Chillion	
002		No ASIA	
003			
004		1 削除	
006			
007		「詳細」	
*デフォ	, ルトデータです。削除はできませ、	ho	
	ストップ		
HOST RECOVERY	NETWORK MODE		
9 🕕 電 源	🗶 বস্টের্যে 🕢 🕖	<u>ل</u> ام ال	タート 🕡 ストップ

図 2-30 セットアップ用紙タブ

用紙登録リスト ダイレクト移動ボタン	ł	本ボタンを押下すると、10 キーが出現し、用紙リス ト内番号 000~511 番までが入力でき、ダイレクト にリストを移動することができます。
-----------------------	---	---

(1)登録処理

登録する番号の行を指定して[登録] ボタンを押すと、図 2-6 および図 2-7 に示す仮想キーボードが表示されますので、登録する用紙名を入力します。

仮想キーボードの[OK]ボタンを押すと、入力した用紙情報の登録名を有効にして用紙タブ画面に戻ります。

[キャンセル]ボタンを押すと、指定した内容をキャンセルして用紙タブ画面に戻ります。

入力できる文字種は英大文字と数字、"-"(ハイフン)、および"*"(アスタリス ク)のみです。

「垂直」、「水平」、「OVL」および「濃度」の設定は、このとき一般タブで指定されている値が設定されます。

変更したい場合は、一般タブに戻って設定値を変更の上、再度本画面で登録 操作を行ってください。

全体で512種類まで登録できます。

(ただし、初期値で"DEFAULT"が登録されていますので、追加できる用紙は 511種類となります。)

	PS5110				PS5110B		🌍 一般ユーザ
	基本	🙀 təələ7997 😽	ユーザ設定 🏼 🯹 画	ia			
0 0 0	上 一般	DEE 1475	עאלה 🛛	】 消耗品	JEF		
	現在選択中の	D用紙情報: 000	DEFAULT	_	\frown		
	番号 登録名	垂直 水平	7_01/ 濃度		登録		
	000* DEFAUL	T 4 05	08 3				
\checkmark	001				💫 選択		
1	003						
	004		Ľ	1	子 削除		
Ν	005		6		J MIRK		
	806						
	007			2 🙋	詳細		
	*デフォ	ゖルトデータです。	,削除はできま	せん。 🥌			
		1					
		スト	ップ				
HO	ST RECOVERY		ORK MODE				
1	① 電 源		(ジェクト 📀	リセット		◆ スタート	() ストップ

図 2-31 セットアップ用紙タブ 登録

なお、レコード番号 000 の DEFAULT	を選択時に登録ボタンを押すと下記メッセ
>>+ ≠ − + + +	

	シを衣示しまり。			
PS5110		PS5110B		🌍 一般ユーザ
基本	🔐 மேலிலி 💏 ユーザ設定 🥅 மா	۵		
一般	אַזאַן אויאנע 🔤 אַזאָע 📃	消耗品 耳 F		
現在選択中の	の用紙情報: 000 DEFAULT			
番号 登録名 000* DEFAUL		登録		
002	DEFAULTデータを更新	iしました。		
003				
004				
005	0	ĸ		
*デフォルトデータです。削除はできません。				
	ストップ			
HOST RECOVERY	NETWORK MODE			
10 電 源	👤 イジェクト 📀 リ	セット	√ スタート	() ストップ

図 2-32 デフォルトデータ更新

(2)選択処理

使用する用紙情報の行を選択して[選択]ボタンを押すと、装置で使用する用紙 情報が選択されます。

PS5110			PS5110B		🌍 一般ユーザ
基本	🍟 🕲 🕼 🔊 🖉 ユーザ設定	🔄 画面 📗			
·····································	1000 V1701 Jhr	り 🦳 消耗品	JEF		
現在選択中の	用紙情報:「000」「DEFAUL	.T			
番号 登録名	垂直 水平 OVL 濃	度	登録		
	4 05 00		D1984		
002			₩ 进折		
003		- 🖂 💧			
004			前除		
006					
007			🦉 詳細		
*デフ ォルトデータです。 前除はできません。					
	ストップ				
HOST RECOVERY					
⁰① 電 源	<u> </u> イジェクト	🧭 リセット	<	D スタート	マンストップ

図 2-33 セットアップ用紙タブ 選択

(3)削除処理

登録済みの用紙情報を削除する機能です。

削除可能な番号を一覧から選択した場合にのみ、[削除]ボタンが操作できるよう になります。

[削除]ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

デフォルト(000番)は削除することはできません。

確認 () 選択 よろ	したデータを削 しいですか?	除します。	
	はい	NN Ž	

図 2-34 用紙削除処理時の確認画面

a)[はい]ボタン

選択した用紙情報を削除して、用紙タブ画面に戻ります。

b)[いいえ]ボタン

選択した用紙情報を削除せず、用紙タブ画面に戻ります。

(4) 詳細処理

用紙情報リストにあるカーソル上(黒反転部分)の印刷パラメータを表示する ダイアログを表示します。カーソルに登録された用紙情報がない場合、 [詳細]ボタンはグレイアウトします。 表示する内容は、以下の通りです。

- ・垂直位置
- ·水平位置
- ・オーバレイ
- ・濃度
- ·印字幅設定
- ·印字開始制御
- a)[閉じる]ボタン

詳細表示ダイアログを閉じて、「用紙タブ」画面に戻ります。

用紙情報(詳細	DO0:DEFAULT		
垂直位置: 4		オーバーレイ 08	
濃度: 3			MICS
JEF設定: 印字幅設定:	16.5インチ	印刷開始制御:Fモード((檀淮)

図 2-35 用紙情報(詳細)表示
2.2.3.3. レイアウトタブ

用紙幅/用紙長や面付け、回転の設定を行います。600dpi/2up 出力機構オプションが設定されていない場合、本タブは表示されません。

データランプ(オレンジ色)点灯中に本タブを選択すると、CHANNEL MODE の場合 は、未印刷データの消去に関するメッセージが、NETWORK MODE の場合は、設定 変更できないことを示すメッセージが表示されます。

なお、PS5110BL でラインプリンタモード/ページプリンタモード時は、面付けの 2up は 非サポートです。

🗠 PS5110		PS5110B		😭 一般ユーザ
基本	· · · · · · · · · · · · · · · · · ·	🯹 画面		
·····································	用紙	(リ 📃 消耗品 🛅 ЈЕ F		
現在選択中の	りレイアウト情報: 000 「	DEFAULT	基本情報	
		す 同時	, <u> </u>	
000* DEFAU	_T 0.00 0.00 1-u		2	
001 Imp00	431.80 279.40 2-u	ip 0 0		ave man
002				登録
003				
004				▶ 選択
005				
006				
007				前除
*出荷時	テデータです。変更、削除は	lできません。		
	ストップ			
HOST RECOVERY	NETWORK M	ODE		
• ① 電 源	全 イジェクト	ジリセット	<u>م</u> حمر	マストップ

図 2-36 セットアップレイアウトタブ

番号「000」「125」~「127」はあらかじめ初期設定がされており、変更や削除は できません。それぞれの初期設定については、下表のとおりです。

表 2-12 初期設定されているレイアワト情報

来早 承得友		面付け	回転	用紙幅 用紙長		論理ページ1		論理ページ2	
留与	豆球石	数※1	<u>ж</u> 2	(mm)	(mm)	X 位置	Y 位置	X 位置	Y 位置
000	DEFAULT	1	0	000.00	000.00	000.00	000.00	-	-
125	A4-2up-Rotate	2	90	431.80	304.80	000.00	000.00	215.90	000.00
126	B5-2up-Rotate	2	90	381.00	266.70	000.00	000.00	190.50	000.00
127	14Hx8。5W-2up	2	0	431.80	355.60	000.00	000.00	215.90	000.00

※1:"1"は1up、"2"は2upを示します。

※2:"0"は回転なし、"90"は90度回転を示します。





X1:論理ページ1のX位置、Y1:論理ページ1のY位置 X2:論理ページ2のX位置、Y2:論理ページ2のY位置 W1:論理ページ1の用紙幅、L1:論理ページ1の用紙長 W2:論理ページ2の用紙幅、L2:論理ページ2の用紙長

図 2-37 レイアウト情報設定項目

(1)登録処理

登録する番号の行を指定して[登録] ボタンを押下すると、以下の登録画面が 表示されます。

登録名や数値を設定する場合には、[変更]ボタンを押下すると、図 2-6 および 図 2-7 に示す仮想キーボードや、図 2-8 に示す仮想テンキーが表示され、設 定ができるようになります。

全体で128種類まで登録できます。(ただし、初期値で4種類が登録されて いますので、追加できるレイアウト情報は124種類となります。)

a)基本情報

レイアウト情報登録		
登録名: Imp001	変更 基本情報	
1	用紙幅:(mm)	\checkmark
	用紙長: <u>279.40</u> (mm)	\checkmark
	面付数: 1-up	\checkmark
	回転: 0	\checkmark
	設定	キャンセル

図 2-38 レイアウト情報の登録(基本情報)

「基本情報」画面では、用紙幅/用紙長と面付数、回転の指定ができます。

・登録名

登録するレイアウトの登録名を設定します。ただし、番号 000、125~127 の登録 名は変更できません。

- ・用紙幅/用紙長
 使用する用紙幅と用紙長を 1/100mm 単位で入力します。
 使用可能な用紙サイズは、以下のとおりです。
 用紙幅: 142.24~431.80 (mm) (デフォルト: 431.80mm)
 用紙長: 88.90~355.60 (mm) (デフォルト: 279.40mm)
 ただし、用紙長は 0.5 インチ (12.7mm) 単位で設定してください。
 0.5 インチ単位でない場合は、端数は切り上げとなります。
- ・ 面付数 (デフォルト: 1up)
 面付け情報を設定します。"1up"、または"2up"が選択できます。
 ・ 回転 (デフォルト: 回転なし)
 - 印刷方向を時計回りに回転させるかどうかを設定します。"回転なし"または、"90 度 回転"が選択できます。
 - (注) "2 up"を選択した場合、用紙サイズに収まるように縮小印刷する機能は ありません。

b) 論理ページ1、論理ページ2

レイアウト情報登録	
登録名: Imp001	変更 「論理ページ1 💙 📥
1	X位置: (mm) 🔍 📥
	Y位置: (mm) 🔍 📥
	論理用紙:
	幅: <u>431.80</u> (mm) 💙 📐
	長さ: 279.40 (mm) 💙 📥
	設定キャンセル

図 2-39 レイアウト情報の登録(論理ページ)

「論理ページ」画面では、「論理ページ 1」、「論理ページ 2」の印刷開始位置および論 理用紙のサイズを指定できます。

・X 位置/Y 位置

「論理ページ 1」、「論理ページ 2」の印刷開始位置を設定します。それぞれ、 1/100mm 単位で入力します。なお、2up 時の X 位置は、「論理ページ 1」、 「論理ページ 2」の両方とも、物理用紙左端からのオフセット量となります。設定可 能な範囲は、用紙幅、用紙長と論理ページの用紙幅、用紙長の関係で以下のよ うになります。 X 位置:0~(用紙幅-50.8) (mm)

Y 位置:0~(用紙長-88.9)(mm)

・論理用紙

「論理ページ 1」、「論理ページ 2」の用紙長/用紙幅を設定します。それぞれ、 1/100mm 単位で入力します。設定可能な用紙サイズは、以下のとおりです。

用紙幅: 50.8~431.8 (mm) (デフォルト [1up]: 431.80mm、

デフォルト [2up] : 215.90mm、

用紙長: 88.9~431.8 (mm) (デフォルト: 279.4mm)

(注)基本情報画面で設定された用紙幅、用紙長と論理ページは、以下の

ような位置/サイズに設定する必要があります。

 $m1 \ge 50.8 (mm) \ m2 \ge 88.9 (mm)$

論理ページ確定フラグについて

論理ページ確定フラグとは、「面付数」、「回転」を変更した際の動作に影響します。 フラグがオンの場合、「面付数」、「回転」を変更した場合は、他の設定値に影響し ません。表示のみ更新されます。フラグがオフの場合、下記の場合に、論理ページの 数値が変更されます。

・物理用紙サイズが変更された場合

・面付数が変更された場合

・回転が変更された場合

	面付	回転	X 位置	Y位	幅	長さ
	数			置		
		なし			用紙幅	用紙長
	1	七 00 府		0	用紙長	用紙幅
予用 ペーン・1		石 90 侵	0		(論理幅の最低値)	(論理長の最低値)
…理ハーン 1 確定フラグオフ	2	なし			用紙幅÷2	用紙長
					(論理幅の最低値)	
		ナ 00 			用紙長	用紙幅÷2
		石 90 反			(論理幅の最低値)	(論理長の最低値)
		+N			用紙幅÷2	用紙長
論理ページ 1 確定フラグオフ	2	<i>ふ</i> し	用紙幅 ÷2	0	(論理幅の最低値)	
	2	右 90 度		0	用紙長	用紙幅÷2
					(論理幅の最低値)	(論理長の最低値)

表 2-13 初期設定されているレイアウト情報

論理ページ確定フラグ「オフ」の場合

() 内は範囲外の物理用紙サイズが設定された場合に、調整される論理ページ値です。



図 2-40 論理ページレイアウトの説明

「図 2-38 レイアウト情報の登録(基本情報)」の回転あり/なしの設定によって、 用紙から見た論理ページの用紙幅/用紙長の位置関係が逆転します。回転ありを設定して も、用紙から見た起点は変わりません。

実際に以下の値を設定した場合は、下図のようなレイアウトになります。

2up 印刷時のレイアウト設定(「回転有り」

- ・用紙幅:430.00mm
- ・用紙長:304.80mm
- ・論理ページの用紙幅: 297.00mm
- ・論理ページの用紙長: 210.00mm
- ·X1(論理ページ1のX位置):1.00mm
- ・Y1(論理ページ1のY位置):3.70mm
- ・X2(論理ページ2のX位置):214.80mm
- ・Y2(論理ページ2のY位置):3.70mm



図 2-41 論理ページレイアウトの設定例

(2) 選択処理

使用するレイアウト情報の行を選択して[選択]ボタンを押すと、装置で使用する レイアウト情報が選択されます。ここで選択されたレイアウト情報は、基本タブの レイアウト情報からも変更できます。

👏 PS5110	PS5110B	🌍 一般ユーザ
📑 基本 🛛 👬 🕲 🕼 🞲 ユーザ設定 🔙	画面	
	및	
現在選択中のレイアウト情報:「000」「DEF/		
	· ◆ ◆ 1月刊	
007 Imp001 431.80 279.40 2-up		
004		🔀 選択
105		
006		
007		1 削除
*出荷時データです。変更、削除はでき	ません。	
ストップ		
⁰① 電 源	リセット	ト 🔍 ストップ

図 2-42 セットアップレイアウトタブ 選択

(3) 削除処理

登録済みレイアウト情報を削除する機能です。

削除可能な番号を一覧から選択した場合にのみ、[削除]ボタンが操作できるよう になります。(ただし、あらかじめ初期設定されている番号 000、125~127 は 削除できません。)

[削除]ボタンを押すと、次の画面が表示されます。



図 2-43 レイアウト削除処理時の確認画面

a)[はい]ボタン

選択したレイアウト情報を削除して、レイアウトタブ画面に戻ります。

b) [いいえ]ボタン 選択したレイアウト情報を削除せず、レイアウトタブ画面に戻ります。

2.2.3.4. リカバリタブ

エラー発生後のリカバリ方法について以下の2つから選択することができます。 ・ホストリカバリ:プリンタ装置側でリカバリをせず、富士通メインフレームやビジネスサーバ などの上位装置からのデータ再送によるリカバリとなります。

・セルフリカバリ:富士通メインフレームやビジネスサーバなどの上位装置からのデータ再送 によるリカバリをせず、プリンタ装置内でのリカバリとなります。

PS5110BL でラインプリンタモード/ページプリンタモード時は、ホストリカバリを 選択してください。セルフリカバリは非サポートです。

🗠 PS5110			PS5110B		🌍 一般ユーザ
基本	👔 வேலிலி 🎇 ユーザ設定	画面			
	用紙	ඟ 📃 消耗品 🖳	JEF		
	・ ホストリカバリ	リカバリセパレー	夕印刷:「	しない	/ 🔺
	ストップ	,			
HOST RECOVER	NETWORK N	IODE			
10 電源	1	🧭 リセット	<	D スタート	マンストップ

図 2-44 セットアップリカバリタブ

 (注1) セルフリカバリを選択時にリカバリが必要なエラーが発生した場合、[リセット] スイッチを押すと、以下のリカバリ選択画面(図2-45)が表示されます。 この画面で、ホストリカバリを選択する場合は[ホストリカバリ]ボタンを、 セルフリカバリを選択する場合は[セルフリカバリ]ボタンを押してください。 リカバリ選択画面は自動的に閉じます。 選択画面でホストリカバリを選択した場合、本エラーのみホストからデータの 再送を行います。



図 2-45 リカバリ選択画面

- (注 2) 本装置の電源を切断した場合、装置内でデータを保持できないためセルフリカ バリは実行できなくなりますので、ご注意ください。
- (注3) エラー発生時に、セルフリカバリ機能を使用して Windows/Solaris/Linux から印刷中のジョブを中断終了させた場合、セルフリカバリ機能で印刷保証されているページの印刷中はプリンタの状態が PrintWalker/PM、 PrintWalker/BPC、 PrintWalker/LXE 側に通知されない場合があります。
- (注4)動作モード(CHANNEL MODE/NETWORK MODE)を切り換える場合 は、切り換える前に[イジェクト]ボタンを押して用紙排出を行うことを推奨し ます。セルフリカバリ運用時に、動作モード(CHANNEL MODE/NETWORK MODE)を選択した後にホストリカバリが発生した場合、 動作モード切り換え時にスタッカまで出力されていないデータはリカバリの対象に なりませんので、ご注意ください。
- ・リカバリセパレータ印刷:リカバリが必要なエラーが発生した場合、再印刷する時に セパレータを印刷するかどうか選択することができます。 PS5110BL でラインプリンタモード/ページプリンタモード時は非サポートです。
- 以下の2つが選択できます。初期値は「しない」が選択されています。
 - ・する
 - ・しない

2.2.3.5. 消耗品タブ

装置のユーザ交換可能な以下の消耗品に関する状態を表示するとともに、消耗品交換時の操作を行います。

以下の5種類の消耗品に対して、「開始」ボタンを押すと、それぞれの手順を画面に 表示します。

詳しくは、本章の「(1) 消耗品の交換」を参照してください。

・トナー

・脱煙フィルタ

・現像剤

・クリーナユニット

・オペレータ清掃

🗠 PS5110		PS5110B	🌍 一般ユーザ
基本 / / 3010m	🎇 ユーザ設定 🔙 画页	ā	
	עזאלע 🎦 אלידאי 🖳	JEF	
消耗品名	残量(%) 交換作業		
.및 トナー 🍳	開始	消耗品ログ	
●●●●●●●●●●●●●●●	090 開始		
🧈 現像剤	098 開始		
	097 開始	定期交換部品	
🌮 オペレータ清掃 🌙	009 開始	61, 7	
<mark>ح ح</mark>	トップ		
HOST RECOVERY	IETWORK MODE		
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	👱 ተジェクト 🕜 リ	セット 🔷 ス:	タート 🔍 ストップ

図 2-46 セットアップ消耗品タブ

各消耗品単位に、現在の状態を緑/黄/赤の表示色で区別し、その残量を表示しま す。なお、トナーについては残量を表示しません。

表 2-14 消耗品残量の意味

色	説明
緑	消耗品の残量が十分にあるものを意味します。
黄	消耗品の「ニアライフ」を意味します。
赤	消耗品の「寿命」を意味します。

消耗品を交換する場合には、消耗品ごとに「開始」ボタンを押してください。交換完了後 は、各消耗品の交換画面の中にある「完了」ボタンを押してください。 消耗品ログボタン(オプション)は、PS5110BK でチャネル接続機構オプション (PS5110B10)が有効でない場合、表示いたしません。富士通メインフレームに対し て、消耗品ログを採取するように通知するためのボタンです。一連の消耗品交換作業完 了後に一度だけ押します。

押下され正しく処理されると下記のメッセージが表示されます。



図 2-47 消耗品ログ取得メッセージボックス

また、「定期交換部品」ボタンを押すと、その他の消耗品(定期交換部品)の状態が 表示されます。

定期交換部品		
消耗品名	残量(%)	
🥏 フラッシュランプ 🌒	100	
🛹 除電LED 🥥	100	
◎ 感光ドラム ●	100	
😥 定期保守	100	
		北る

図 2-48 定期交換部品

消耗品交換開始時のメカ準備中状態について

メカが準備中状態の時に消耗品交換を開始しようとすると、下記のメッセージを表示します。この時の消耗品交換作業は、メカの準備が終了しだい可能となります。

PS5110		PS5110E		😭 一般ユーザ
基本	🍟 🕼 🔊 👘 👘 画面			
——————————————————————————————————————	用紙 レイアウト リカバリ 8			1
消耗品名	残量(%) 交換作業			
.및 トナー	9 開始			
の一脱煙フ	<mark>ィル:</mark> 整告			
🥒 現像剤	メカ準備中のため、損	作できません。		
	- /// 0K			
	ストップ			
HOST RECOVERY	THE NETWORK MODE			
⁰ ① 電 源	塗 イジェクト 📀 リt	2	◆ スタート	ストップ

図 2-49 消耗品交換開始時のメカ準備中状態

消耗品交換終了時のメカ準備中状態について

消耗品交換が終了時にメカ準備中状態になると、下記のメッセージを表示します。この 時の消耗品交換作業は、メカ準備中状態が終了しだい交換作業は完了します。

🌕 PS5110	現像剤の交換	メンテナンス管理者
基本	現像器より取り外した空カートリッ ジに蓋をしてスタッカ部の底部に収 納します。	
/) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	・次回の現像剤交換時に回収カート リッジとして使用します。 中扉、装置右前カバー、および左前 カバーを閉じます。 情報	
	◆プリンタ準備中◇ しばらくお待ちください	
	前《-ジ 14/14 完了 / 中断 🗙	
	① プリンタ準備中	_
HOST RECOVE	RY RTWORK MODE	
¹⁹ ① 電 湯	原 🗾 イジェクト 🕖 リセット 🕥 スタート 🕥) ストップ

図 2-50 消耗品交換終了時のメカ準備中状態

(1) 消耗品の交換

交換する消耗品の「開始」ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。 この画面のメッセージに従って交換作業を行うことができます。 1 画面ごとに「次へ」ボタンがありますので、表示されている操作が終わると「次へ」 ボタンを押して、次の画面に進んでください。 最終画面には「完了」ボタンがありますので、作業が完了したら「完了」ボタンを押 してください。セットアップ消耗品タブ画面に戻ります。 複数の消耗品を連続して交換することもできます。その後、「スタート」スイッチを押 して、装置をスタート状態に戻します。

- オペレータ清掃

 <帯電器部(前帯電器、 転写帯電器)の清掃>

 装置左前カバー、右前カバー、およ び中扉を開きます。

 <t
- (注) 現像剤の交換につきましては、途中でキャンセルができません。

図 2-51 消耗品交換手順の表示例

確調	双 心			
3	現像剤の ら中断す 準備はよ	交換作業は ることがで ろしいです	は、一度開始した *きません。 *か?	
	は	N	いいえ	

図 2-52 現像剤交換処理開始時の確認画面

2.2.3.6. J E F 97

JEF タブは、PS5110BK でチャネル接続機構オプション(PS5110B10)搭載時のみ 表示され、動作モードが「CANNEL MODE」接続に関する設定/操作を行う画面です。 以下の設定項目があります。

共通設定

- ・印刷開始制御
- 強制拡張解像度印刷設定
- ・オンライン/オフライン切替え
- · CHANNEL A/B
- EXTERNAL/INTERNAL

JEF 設定

- ・印字幅設定
- ・EAN128目視文字位置
- ・第2FPD 設定
- JEF/AP 設定
- ・EAN128目視文字位置



図 2-53 セットアップ JEF タブ

2.2.3.6.1. 共通設定

PS5110BKで BMC/PSD チャネル接続時に必要な、各種共通の設定をします。

- ·印刷開始制御
- ·強制拡張解像度印刷
- •ONLINE/OFFLINE
- ·Channel A∕Channel B
- •EXTERNAL(EXT) / INTERNAL (INT)

PS5110	PS5110B	🌍 一般ユーザ
基本 前の初初 部 コーサ	f 設定 💭 画面 リカバリ 🖳 消耗品 🛅 JEP	
印刷開始制御: 「Fモード(標準) 強制拡張解像度印刷: 「無効 ▼ →	チャネル設定: ON Line Channel Channel EXT OFF Line OFF Line B	JEF/AP
	<mark>プ</mark>	
HOST RECOVERY		
😢 ① 電 源	エクト 🧭 リセット 🌒 スター	ト 🕡 ストップ

図 2-54 共通設定

(1) 印刷開始制御
 印刷開始位置のモードを選択します。以下の項目が選択可能です。デフォルトは、
 「Fモード(標準)」です。
 本設定は、[保守]-[JEF]メニューの「印刷開始制御」でも選択できます。
 ・Fモード(標準)
 ・Iモード
 なお、Fモード/Iモードの詳細は 3.1.2 項を参照してください。

(2) 強制拡張解像度印刷

JEF(ラインプリンタモード)出力のUCC/EAN-128(料金代理収納用)バーコ ード受信時の印刷方法を選択します(初期値: 無効)。なお、本機能を有効と するには、600dpi /2up出力機構およびLP-EAN128出力機構のオプション装着 が必須です。以下の2 つが選択可能です。

- ・ 無効: UCC/EAN-128(料金代理収納用)バーコードが印刷されるページ は600 dpi で印刷します。UCC/EAN-128(料金代理収納用)バ ーコードが印刷されないページは240 dpi で印刷します。
- ・ 有効 : JEFからの出力をすべて600dpi で印刷します。

印刷データに 600 dpi と 240 dpi のページが混在すると、その解像度切り替え処 理により印刷が一時停止します。スループットを優先する場合は、「有効」を選択し てください。

強制拡張解像度印刷を「有効」にした場合、リーダを使った読取りが想定される データ(バーコード、QR コード[※]、OCR フォント)は 600dpi で描画して 600dpi の印刷品質で印刷出力します。その関係で、印刷サイズや文字デザインは、従来 装置と異なります。それ以外のデータは、富士通メインフレーム側からダウンロードさ れる文字やオーバレイのデータを考慮して 240dpi で描画したデータを 600dpi に 画像解像度変換して印刷出力します。印刷品質は 240dpi 相当ですが、印刷サ イズ、文字デザインなど従来装置と同じになります。

UCC/EAN-128(料金代理収納用)バーコードが印刷されないページにおいて 従来装置との印刷互換を優先する場合は、「無効」を選択してください。

- * QR コードの解像度による選択可能なモジュール寸法については、「表 3-12 選択可能なモジュール寸法」を参照ください。
- (3) ONLINE/OFFLINE

プリンタ装置をオンライン状態/オフライン状態へ遷移させます。 ボタンが緑で表示されている側が現在の選択状態です。また、[ONLINE]選択時 で、かつ装置状態がオンライン状態になっている場合には、そのときのチャネル状態に 応じて"Channel Enable"ランプが緑に点灯します。

- (4) Channel A/Channel B
 チャネルA/Bを切り替えます。
 また、装置がオンライン状態の場合には、"Channel Enable"ボタンの有効な
 チャネルモード側が緑に点灯します。
- (注) [Channel A/B] ボタンでプリンタ装置を別システムに切り替える場合には、そのシ ステムで使用中のライタプログラムを停止してから切り換えてください。また、切り換え 先のライタも再起動してください。前記手順を省略すると、その後の正常な出力が得 られなくなります。

各ライタプログラムの停止の操作については、ライタプログラムのマニュアルを参照してく ださい。 (5) EXTERNAL(EXT)/INTERNAL(INT) チャネルA/B の切替えモードを選択します。

> [INT] ボタンを押すと、 [Channel A/B] ボタンでチャネルの切替えができます。 [EXT] ボタンを押すと、チャネルインタフェース側に接続されている外部装置の制 御信号により、チャネルの切替えを行います。

2.2.3.6.2. JEF設定

PS5110BK で BMC/PSD チャネル接続時に必要な、各種 JEF の設定をします。 ・印字幅設定

・EAN128 目視文字位置

・第 2FPD 設定

PS5110	PS5110B	🌍 一般ユーザ
📑 基本 🛛 🎁 🕲 1000 🧖 😭 ユーザ設定 🔙 画面		
-般 用紙 レイアウト ジョカバリ 🛄 清	耗品 🛅 J B 🖻	
印字幅設定: 16.5インチ 💙 🔺		🔊 共通設定
EAN128目視文字位置: 7mm		te jef
		JEF/AP
第2FPD: 第2 F PD 設定		
<u></u>		
ストップ		
🍄 🕕 電 源 🔹 🖉 イジェクト 🧭 リセ	<u>ع</u> هد العام الع	タート 🕡 ストップ

図 2-55 JEF 設定

(1) 印字幅設定

ラインプリンタモード時の印刷最大幅を設定します。 以下の2 つが選択可能であり、初期値は「16.5 インチ」です。 ・13.6 インチ

- ・16.5 インチ
- (2) EAN128 目視文字位置

EAN128目視文字位置の設定を選択します。以下の項目が選択可能です。デフォルトは、「7mm」です。なお、本機能を有効とするには、LP-EAN128出力機構および600dpi/2up出力機構のオプション装着が必須です。

•9.5mm

•7mm

(3) 第 2FPD 設定

第2FPD 設定は、従来のフロッピー運用をあらかじめハードディスクに登録しておき 業務に必要な第2FPD を選択し運用を行うものです。フロッピーを直接プリンタに 読み込むことはできません。第2FPD の新規登録は、ブランクFPD を選択すること で富士通メインフレームから登録が可能となります。従来の第2FPD をハードディス クに登録する際は、保守技術員専用のツールを用いて行います。 なお、ブランクFPDは、新しい第2FPDを作成するときに選択してください。 ブランクFPDを選択したまま運用すると、ER85-52となる場合があります。 本装置に登録された文字パターンデータ(第2FPD)の中から、使用する文字 セットの選択や削除を行います。[第2FPD 設定] ボタンを押すと、次の画面が 表示されます。

本装置に登録されたデータの一覧から、使用する第2FPD を選択します。 また、番号「000」、「100」および「101」はあらかじめ登録されており、削除やプロ テクト状態の変更、コメントの編集はできません。

- ・選択
- ・削除
- ・プロテクト
- ・コメント編集

ブランクFPD を選択した状態で、第2FPD の書込みにおいてエラーが発生した 場合、'DATA'のラベル名で第2FPD が作成されます。この第2FPD は、削除、 上書きが可能です。

第2F	PD設定					
選択中	中の第2FPD: 101*	ノーデッキ	_			🗙 閉じる
番号	ラベル名	プロテクト	コメント]	日本語	
101*	ノーデッキ				N. MERA	
100*	ブランクFPD					
000*	JIS2				前除	
001						
002					プロテクト	
003						
004					コメント編集	
005					A service reserves	
· *7	プロテクト変更処理	、削除、コメ	ント編集はできませ	た。		

図 2-56 第 2FPD 設定

a) [選択]ボタン

表示されている一覧リストから、使用する第2FPD を選択して [選択] ボタンを押すと、本装置で使用する第2FPD が選択されます。

第2FF	PD設定					
選択中	の第2FPD. 000	JIS2	\rightarrow			🗙 閉じる
番号	ラベル名	プロテクト	コメント	\sim	いた	
101*	ノーデッキ				N LEW	
100*	ブランクFPD					
000*	JIS2				前除	
001						
002					プロテクト	
003						
004				V I	コメント編集	
005						
*プ	ロテクト変更処理、	削除、コメ	ント編集はできませ	さん。		

図 2-57 第 2FPD 設定 選択

[保守]-[JEF]-[JEF]タブの第2FPDチェックを"エラーあり"に設定した場合、

- ・ "ノーデッキ"を「選択」し、再起動した時、ER8A-52 となります。
- ・ "ブランク FPD"を「選択」し、再起動した時、"ノーデッキ"になり、ER8A-52 となります。

ER8A-52 が発生した場合、セットアップタブは「JEF」-「JEF」タブにある「第 2FPD 設定」ボ タンのみ操作可能となります。

なお、ブランク FPD は、新しい第 2 FPD を作成するときに選択します。ブランク FPD を選択 したまま運用すると、ER85-52 となる場合があります。 b) [削除]ボタン

表示されている一覧リストから、削除する第2FPD を選択して [削除] ボタンを 押すと、本装置に登録されている第2FPD が削除され、ブランクフロッピー扱いと なります。

ただし、初期状態で登録されている。番号「000」、「100」および「101」については、削除できません。

	PS5110	PS5110B	🌍 一般ユーザ
	基本	🄐 🕼 🕼 🐨 ユーザ設定 🕞 画面	
0 0 0	□ <u>…</u> 第2	FPD設定	
E	〕選択中	の第2FPD: 101 /ノーデッキ	🗙 閉じる 定
E	番号 · 4 101*	ラベル名 プロテクト コメント ノーデッキ	
	100* 1 000* 1	ブラン: 確認 IIS2	٩P
	001 . 002 .	IS2 選択したテータを削除します。よろしいです IS2 か?	
	003 . 004 .	1152 1152 はい いいえ	
	005. * 7	1152 御除、コメント編集はできません。	
		ストップ	
HOS	T RECOVE	RY CHANNEL MODE	
•	① 電 源	「「「「「」」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「」 「」 「」 「」	ト 🕥 ストップ

図 2-58 第 2FPD 設定 削除

c) [プロテクト]ボタン

表示されている一覧リストから、プロテクトの設定をする第2FPD を選択して [プロテクト] ボタンを押すと、選択されている第2FPD のプロテクト状態を変 更でき、書込み可/不可の設定ができます。

なお、初期状態で登録されている、番号「000」、「100」および「101」については、プロテクト状態の変更はできません。

(注)プロテクト有効時でも削除は可能です。

第2F	第2FPD設定					
選択中	中の第2FPD: 101*	ノーデッキ	_			🗙 閉じる
番号	ラベル名	プロテクト	コメント]	D 384R	
101*	ノーデッキ				WEST W	
100*	ブランクFPD					
000*	JIS2				削除	
001	DATA	有効	TEST		\sim	
002				🗸 🚺	プロテクト	
003						
004					メント編集	
005						
*7	プロテクト変更処理	、削除、コメ	ント編集はできませ	きん。		

図 2-59 第 2FPD 設定 プロテクト

d) [コメント編集]ボタン

表示されている一覧リストから、コメント編集をする第2FPD を選択して [コメント編集] ボタンを押すと、選択されている第2FPD のコメントを変更 できます。

仮想キーボードが表示され、最大14 文字までの英数字および記号を入力 することができます。

なお、初期状態で登録されている、番号「000」、「100」および「101」については、コメント編集はできません。

第2F	PD設定					
選択中	コの第2FPD: 101*	ノーデッキ	_			🗙 閉じる
番号	ラベル名	プロテクト	コメント]	919% J	
101*	ノーデッキ				M KEN	
100*	ブランクFPD					
000*	JIS2				削除	
001	DATA	有効	TEST			
002					プロテクト	
003						
004				1 🕑 🌔	コメント編集	
005						
*ブ	ロテクト変更処理、	、削除、コメ	ント編集はできませ	た。		

図 2-60 第 2FPD 設定 コメント編集

2.2.3.6.3. J E F/A P 設定

PS5110BKでBMC/PSDチャネル接続時に必要な、各種JEF/APの設定をします。 ・EAN128 目視文字位置

🐡 PS5110		PS5110E		🐖 一般ユーザ
基本	🖞 🕲 いんのう 🏾 🤲 ユーザ設定 🛛 🥅 画面	ī		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	用紙 _ いアウト _ リカバリ 🖳	消耗品 📴 JBP		
EAN128目視文	字位置: 7mm 🤍 📐			 デ 共通設定 リEF し目がP
HOST RECOVERY	CHANNEL MODE			
⁰ ① 電 源	躗 イジェクト 🕜 リ・	セット	◆ スタート	🗑 ストップ

図 2-61 JEF/AP 設定

(1) EAN128 目視文字位置

EAN128目視文字位置の設定を選択します。以下の項目が選択可能です。 デフォルトは、「7mm」です。

- •9.5mm
- •7mm

2.2.3.7. FNPタブ

FNP タブは、動作モード「NETWORK MODE」接続に関する設定/操作をする画面です。以下の設定項目があります。

・ネットワーク設定

・論理プリンタ設定

・FNP 設定

・FM 設定

・66XX 設定

なお、本タブは、利用者権限が「一般ユーザ」モードでログインしている場合には、表示 されません。

「ユーザ管理者」のパスワードの初期値は「PRINTERADMIN(全て大文字)」です。 本タブで変更した内容は、装置の再起動後に有効となります。

PS5110	PS5110B	🌍 ユーザ管理者
🛄 🕹 🛧 🛛 👬 🎯 🕅 📆 🖉 ユーザ 🗟 ই) aa	
	🖳 清耗品 🌇 JEF 📴 F00 P	
ネットワークアドレスの設定: IPアドレス: 0.0.0.0 変更 ネットマスク: 0.0.0.0 変更 デフォルトルータ: 0.0.0.0 変更	ゲートウェイ1 ゲートウェイアドレス: 0.0.0.0 宛先アドレス: 0.0.0.0 変更 データレート: オート ブ	50000 500000 50000 50000 50000 50000 50000 50000 50000 5
	設定キャンセル初期化	
ストップ HOST RECOVERY 地語 NETWORK MOD	DE	
🥙 🕕 電 源 🔹 🚺 イジェクト 🔇	リセット	() ストップ

図 2-62 セットアップ FNP タブ

2.2.3.7.1. ネットワーク設定

TCP/IP での通信を行う際に必要な、各種ネットワークアドレスの設定をします。 ・IP アドレス ・ネットマスク ・デフォルトルータ ・ゲートウェイアドレス ・データレート

🔲 PS5110		PS5110B	🌍 ユーザ管理者
	1687分 🛛 💏 ユーザ設定 🛛 🥽 画 配	۵	
● 一般 用紙	נ אלדלים אלדיע 🛛 🖳 אלידע א	消耗品 📑 JEF 📴 🕬 🖻	
ネットワークアト IPアドレス: 0.0.0. ネットマスク: 0.0.0.0 デフォルトルー 0.0.0.0	[×] レスの設定: 「ゲー 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	トウェイ1 トウェイアドレス: 0.0.0.0 アドレス: 0.0.0.0 タレート: オート ダブート 初期(E
	ストップ		
HOST RECOVERY	The second secon		
10 電 源	躗 イジェクト 🧭 リ	रणम 🔿 २७-	- ト 🗑 ストップ

図 2-63 ネットワークアドレス設定

a) [設定]ボタン

「設定」ボタンを押下すると、以下のメッセージを表示します。 「はい」ボタン押下後は、ネットワークアドレス画面に戻り、「電源」ボタンを押下するこ とにより装置が再起動され、変更した内容が反映されます。



図 2-64 ネットワークアドレス設定時の警告画面



ネットワーク設定についての注意事項

PS5110BK でチャネル接続機構オプション(PS5110B10) 搭載時のネットワーク設定について、以下の事項に十分注意し てください。

コントローラユニットとチャネル接続機構オプションはLAN ケーブルで接続されており、以下のローカルネットワーク設定で通 信しています。ご使用されるネットワーク環境が同一 セグメント(192.168.0.xxx)の場合は保守技術員にご相 談して頂き、ローカルネットワークアドレスの設定値を必ず変更し てください。

コントローラユニットの IP アドレス : 192.168.0.101 チャネルコントローラ部の IP アドレス : 192.168.0.102 ネットマスク : 255.255.255.0 デフォルトルータ : 192.168.0.102

IP アドレスが保守設定-装置設定のローカル IP アドレスと重複した場合、「指定された IP アドレスは使用できません。」のメッセージボックスを表示し、再度入力を促します。また、 デフォルトルータについても、「指定されたデフォルトルータは使用できません。」のメッセージ ボックスを表示し、再度入力を促します。ローカル IP アドレスについては、保守技術員に ご連絡ください。

b) [キャンセル]ボタン

「キャンセル」ボタンを押下すると、変更する前(カレント)の情報に戻ります。

c) [初期化]ボタン 「初期化」ボタンを押下すると、工場出荷時(デフォルト)の情報に戻ります。 (1) IP アドレス

装置に割り当てる IP アドレスを設定します。 [変更]ボタンを押すと、下記の IP アドレス入力画面が表示されます。 IP アドレスを入力し「OK」ボタンを押すと、入力画面が閉じて値がセットされます。

図 2-65 IP アドレス入力用テンキー

(2) ネットマスク

ネットマスクを設定します。[変更]ボタンを押すと、ネットマスクの IP アドレス入力画 面が表示されます。

ネットマスク値を入力し「OK」ボタンを押すと、入力画面が閉じて値がセットされます。 「図 2-9 IP アドレス入力用テンキー」を参照してください。

(3) デフォルトルータ

デフォルトルータとするゲートウェイアドレスを設定します。[変更]ボタンを押すと、 仮想 IP アドレス入力キー画面が表示されます。

IP アドレスを入力し[OK]ボタンを押すと、入力画面が閉じて値がセットされます。 設定およびその意味については「2.2.3.7.7 ゲートウェイについての補足」を参照し てください。

- (4) ゲートウェイアドレス 他ネットワークと通信を行うゲートウェイアドレスを設定します。ゲートウェイアドレスの 設定には、宛先アドレス(通信相手が存在するネットワークアドレス)と自ネットワ ークのゲートウェイアドレスの設定が必要です。ゲートウェイアドレスは最大4つまで 設定可能できます。設定およびその意味については「2.2.3.7.7 ゲートウェイについ ての補足」を参照してください。
- (5) データレート設定

LAN インターフェースのデータレート(オート/10Base-T/100Base-TX)を設定します。PS5110BL でチャネル接続機構オプション(PS5110B50)経由で印刷するときは、オートに設定してください。データレート設定の初期値は"オート"です。特に問題がない場合はこの設定で使用してください。もし変更する場合は、接続先ネットワーク機器の設定も変更する必要があります。

注) ギガビットイーサネット(1000Base-T)は、オート設定時のみサポートされ、 固定設定はできません。

2.2.3.7.2. 論理プリンタ設定

論理プリンタを設定します。

画面右側の「論理プリンタ」タブを押下すると、以下のような画面が表示されます。

🐡 P	\$5110			PS5110B	🌍 ユーザ管理者
	基本	👔 😵 🐼 🔊 🖿	ーザ設定 🔙 画面		
	一般	用紙 レイアウト	「リカバリ」 🖳 消耗	睡品 🏪 j e f 🚰 F000	,
論	理プ	リンタの設定:			🔁 ネットワーク
	番号	エミュレーション	サポートサーバ	ポート番号	
	01	FNP/FM	BSNPS	09313	
	02	66XX	(未設定)		FNP
	03	69XX	(未設定)		
	04	FNP/FM	(未設定)		FM
	05				
					66XX
				変更	
_					
		スト	ップ		
HOST	RECO		RK MODE		
00	〕電	源 📃 🧾 イジ	ジェクト 🥑 リセッ	<u>ب</u> ه ا	タート () ストップ

図 2-66 論理プリンタ設定

論理プリンター覧から選択し「変更」ボタンを押すと、エミュレーションの設定変更ダイア ログが表示されます。

- ・論理プリンタ1:FNP/FM
- ・論理プリンタ2:66XX
- ・論理プリンタ3:69XX
- ・論理プリンタ4:FNP/FM

PS5110BL でラインプリンタモード/ページプリンタモード印刷を行う場合は、論理プリン タ1でサポートサーバ「BSNPS」を選択し、ポート番号はデフォルト「09313」で使用し てください。もしポート番号を「09313」から変更する場合は、チャネル接続機構 (PS5110B50)側のポート番号も同一にしてください。 (1)「変更」ボタン

「変更」ボタンを押下すると、以下の「論理プリンタ設定」ダイアログを表示します。

論理プリンタ設定	
サポートサーバ:	
BSNPS	
ポート番号:	設定
09313	
リクエスタサーバIPアドレス:	キャンセル
0.0.0.0 変更	
リクエスタサーバポート番号:	初期化
06670	

図 2-67 論理プリンタ設定ダイアログ

a) サポートサーバ

以下の項目が選択可能です。

・なし
 ←論理プリンタなし

- BSNPS
- PrintWalker/PM
- I p d

初期値は「なし」とします。

b) ポート番号

印刷用のポート番号を設定します。1~65535までの値が設定可能です。 初期値は | p dが「00515」で、その他は「09313」とします。 本設定は、値が表示されている矩形部分を押下することにより、テンキーが出現し、 値をダイレクトに入力することができます。

テンキーで入力される値が上記範囲外に設定された場合、入力不可となります。 表 2-15 設定不可なポート番号

設定不可なポート番号は以下のようになります。

サポートサーバ	設定不可ポート番号
BSNPS	・既に設定されている他サポートサーバ(PrintWalker/PM は除く)ポート番号
	・既に設定されているリクエスタサーバポート番号
	・第 2FPD 制御ポート(26859)
lpd	・既に設定されている他サポートサーバポート番号
	・既に設定されているリクエスタサーバポート番号
	・第 2FPD 制御ポート(26859)
	・BSNPS または PrintWalker/PM が設定されていない場合のチャネル接続ポート
	(チャネル接続機構オプション(PS5110B10)搭載時のみ)
	・第 2FPD 制御ポート(26859)
	・設定する lpd ポートが 9313
	・設定するリクエスタサーバポートが 26859
	・設定するリクエスタサーバポートが9313
PrintWalker/PM	・既に設定されている他サポートサーバ(BSNPS は除く)ポート番号
	・既に設定されているリクエスタサーバポート番号
	・第 2FPD 制御ポート(26859)
	・設定するリクエスタサーバポートが 26859
	・設定するリクエスタサーバポートが9313

c) リクエスタサーバ設定

サポートサーバが | p d と P r i n t W a | k e r / P M の場合かつ、エミュレー ションが [66XX]の場合のみ設定が可能となります。

設定不可の時は、「変更」ボタンおよび、「▼」「▲」ボタンが無効化(グレイアウト) されます。

VSP リクエスタが動作しているサーバの IP アドレスとポート番号を設定します。

IPアドレスについては「変更」ボタンで IPアドレス入力用テンキー画面が表示されます。 「図 2-9 IPアドレス入力用テンキー」

ポート番号の初期値は「06670」です。1~65535までの値が設定可能 です。

ポート番号の設定は、値が表示されている矩形部分を押下することにより、テンキー が出現し、値をダイレクトに入力できます。

テンキーで入力される値が上記範囲外を設定された場合、入力不可となります。

「設定」ボタンが押されますと、論理プリンタが設定されます。

エミュレーション毎の設定可能な論理プリンタ数は以下のようになっています。

表 2-16 エミュレーション毎の論理プリンタ設定数

エミュレーション	サポート・サーバ	設定可能数
66XX	BSNPS	× 1
	PrintWalker/PM	
	lpd	
69XX	BSNPS	× 1
FM	BSNPS	× 1
	PrintWalker/PM	
	lpd	× 1

FM エミュレーションの場合、BSNPSとPrintWalker/PMの同時設定はできません。

サポート・サーバが | p d の論理プリンタは、装置全体で1つのみ設定可能です。

(2) 「設定」ボタン

「設定」ボタンを押下すると、以下のメッセージを表示します。「はい」ボタンを 押下後、電源を再投入することにより変更した内容を反映します。



図 2-68 論理プリンタ設定時の警告画面

(3)「初期化」ボタン

「初期化」ボタンを押下すると、論理プリンタ設定ダイアログ内の情報を初期化します。

2.2.3.7.3. FNP設定

FNPを設定します。本設定は PS5110BK の印刷時のみ有効です。 ・EAN128 目視文字サイズ

「セットアップ」タブー「FNP」タブを選択し、画面右側の「FNP」タブを押下すると、 以下のような画面が表示されます。

🔲 PS5110		PS5110B		🌍 ユーザ管理者
基本	🍟 🕼 🕼 🕅 😭 ユーザ設定			
	用紙 レイアウト リカバリ 消	ŧ耗品 📑 JEF	rnp	
EAN128目視	文字サィズ: 🕅 ポイント 🛛 🌱 🔟	<u> </u>		₽ <u></u> ネットワ-ク
				(二) 論理プリンタ
				ter prop
				T FM
				66XX
			477.007.01	
			初期化	
HOST RECOVERY	NETWORK MODE			
• ① 電 源	(愛) イジェクト 🕢 リセ	<u>אר</u> א	() , , , , , , , , , , , , ,	() ストップ

図 2-69 FNP 設定

- (1) EAN128 目視文字サイズ
 EAN128 目視文字サイズを選択します。以下の項目が選択可能です。デフォルトは、「9ポイント」です。
 ・9ポイント
 ・9変
- (2)「初期化」ボタン

「初期化」ボタンを押下すると、FNP タブ内の情報を初期化します。

2.2.3.7.4. F M設定

「セットアップ」タブー「FNP」タブを選択し、画面右側の「FM」タブを押下すると、以下の 画面が表示されます。本設定は PS5110BK の印刷時のみ有効です。

PS5110		PS5110B	🌍 ユーザ管理者
基本	👔 வேலிலி 🧖 😭 ユーザ設定 🗔 西 எ	۵	
·····	用紙 レイアウト リカバリ 🖳	消耗品 🔚 JEF	1
FMの設定:	論理プリンタ1 🛛 🔻	ページ1 💙 🍐	<u></u> -9−9
用紙長:	漢字	フォント:	
ブザー:		開始位置:	FNP
	30 🗸 🏹	L点移動指定 /	
登録ボタンは 情報が登録さ	t、論理プリンタ毎、全てのページ くれます。	;	66XX
		初期化 📑	建绿
	ストップ		
HOST RECOVERY	METWORK MODE		
10 電 源	👱イジェクト 🧭 リ	セット 🔷 スタ	-ト 🕥 ストップ

図 2-70 FM 設定

本画面上、右上の「ページ選択」ボタンで「ページ2」、「ページ3」を選択することにより、 次の画面が表示されます。

FMの設定:	論理プリンタ1	マージ2 🗸 📐
解像度:		行ピッチ:
240dp i		6LP I
漢字書体:		ANK文字ピッチ:
明朝		
解像度切り替え	.:	· _
自動		
	/	

図 2-71 FM 設定ページ2

FMの設定:	論理プリンタ1	マ ページ3 マ 🔺
上端余白(mm):		漢字有効フォント7ポ:
0.0		有効
左端余白(mm):	· · _	漢字有効フォント9ポ:
5.0		有効
コピーオーバレィ	r: /	漢字有効フォント12ポ:
あり		有効
	/ _	· —

図 2-72 FM 設定ページ3

―「初期化」ボタン

論理プリンタ毎に全てのページ情報が、装置の持っている初期値に戻ります。

一「登録」ボタン

設定された情報が登録されます。

(1) 用紙長

用紙長を選択します。選択できる範囲は 3.5~14.0 インチ(0.5 インチ刻み)で す。初期値は、11.0 インチとします。

- (2) ブザー
 ブザーを設定/解除します。以下が選択可能です。初期値は「有効」とします。
 ・無効
 ・有効
- (3) 解像度
 解像度を設定します。以下が選択可能です。初期値は「240dpi」とします。
 - 2 4 0 d p i
 - •400dpi
- (4) 漢字書体

漢字書体を設定します。以下が選択可能です。初期値は「明朝」とします。 ・明朝

・ゴシック

(5) 漢字フォント

漢字フォントサイズを設定します。以下が選択可能です。初期値は「10.5 ポイント」とします。

- ・7.0 ポイント
- ・9.0 ポイント
- ・10.5 ポイント
- ・12.0 ポイント
- (6) 印刷開始位置 印刷開始位置の設定を行います。以下が選択可能です。初期値は「原点移動 指定」とします。
 - ·原点移動指定
 - ・ドットプリンタ仕様

(7) 行ピッチ

行ピッチを設定します。以下が選択可能です。初期値は「6LPI」とします。

- •6LPI
- •8LPI

(8) ANK 文字ピッチ

ANK 文字ピッチを設定します。以下が選択可能です。初期値は「10CPI」とします。

- 1 0 CPI
- •12CPI
- (9) 解像度切り替え

解像度の切り替えを設定します。以下が選択可能です。初期値は「自動」としま す。

·手動

・自動

(10) 上端余白

上端の余白を設定します。

設定可能範囲は、0.0mm~50.0mmで、初期値は「0.0mm」とします。 本設定は、値が表示されている矩形部分を押下することにより、テンキーが出現し、 値をダイレクトに入力できます。

テンキーで入力される値が上記範囲外を設定された場合、最小もしくは最大値 で丸め込まれます。

(11) 左端余白

左端の余白を設定します。「変更」ボタンを押下すると、(10)上端余白と同様の画面を

表示します。

設定可能範囲は、0.0mm~50.0mm で、初期値は「5.0mm」とします。 本設定は、値が表示されている矩形部分を押下することにより、テンキーが出現し、 値をダイレクトに入力できます。 テンキーで入力される値が上記範囲外を設定された場合、最小もしくは最大値

テンキーで人力される値が上記範囲外を設定された場合、最小もしくは最大値 で丸め込まれます。

- (12) コピーオーバレイ設定
 コピーオーバレイを設定します。以下が選択可能です。初期値は「あり」とします。
 ・なし
 ・あり
- (13) 有効漢字フォント

漢字文字サイズ指定コマンドの設定を有効とするか無効とするかを設定します。
7 ポイント、9 ポイント、1 2 ポイントがあり、それぞれ以下が設定可能です。
・無効
・有効

初期値はすべて「有効」です。

2.2.3.7.5.66XX設定

「セットアップ」タブー「FNP」タブを選択し、画面右側の「66XX」タブを押下すると、以下の画面が表示されます。本設定は PS5110BK の印刷時のみ有効です。

👏 PS5110			PS5110B		🌍 ユーザ管理者
基本	1 290万万 (1-ザ設定	🥡 画面	ā	- 1	
· - 般	用紙	(1)	消耗品 🔚 JEF	FNP	
66XX設定:	Luidan .				<u>₹</u> ネットワ-ク
印刷開始有	同面: Eード(標準) 🛛 🔻 📥				離ブリンタ
					FNP
					FM
				初期化	
	ストップ				
HOST RECOVERY	THE NETWORK M	ODE			
• ① 電 源	 イジェクト	📀 J+	セット	<u>م</u>	👿 ストップ

図 2-73 66XX 設定

(1)「初期化」ボタン

初期値に戻ります。

(2)印刷開始制御

印刷開始制御を選択します。以下の項目が選択可能です。初期値は「F モード (標準)」とします。

- ・F モード(標準)
- ・Iモード

2.2.3.7.6. LAN接続するための基本設定

ここでは、本装置を LAN 接続するための基本設定例を説明します。 本装置を LAN 接続するためには「セットアップ」 – 「FNP タブ」においてネットワーク設定 と論理プリンタ設定を行う必要があります。実際の操作/設定方法については、 「2.2.3.7 FNP タブ」を参照してください。なお、参照した値は装置の電源再投入によ り有効となります。

- ・Solaris 上の PrintWalker/BPC による、FNP エミュレーション/FM エミュレー ション印刷
 - ⇒ (1) PrintWalker/BPC、LANプリンタ制御オプションの69XXを設定する場合
- ・PRIMERGY 6000のLAN プリンタ制御オプションによる 69XX エミュレーション印刷
 - ⇒ (1) PrintWalker/BPC、LANプリンタ制御オプションの69XXを設定する場合
- ・Windows Server 上の PrintWalker/PM による、HOST PRINT の帳票管理サ ービスを使用した 66XX 印刷
 - ⇒ (2) PrintWalker/PM による 66XX/FNP/FM を設定する場合
- ・Windows PC や Windows Server 上の PrintWalker/PM による、FNP エミュレ ーション印刷
 - ⇒ (2) PrintWalker/PM による 66XX/FNP/FM を設定する場合
- ・Windows Server 上の lpd (LPR Port) による、HOST PRINT の帳票管理サ ービスを使用した 66XX 印刷
 - ⇒ (3) lpd (LPR Port) による 66XX/FNP/FM を設定する場合
- ・Windows PC や Windows Server 上の FM エミュレーション印刷
 - ⇒ (3) lpd (LPR Port) による 66XX/FNP/FM を設定する場合
- ・Linux 上の PrintWalker/LXE または、PS5110BL でチャネル接続機構オプション (PS5110B50) 経由して FNP エミュレーション印刷
 - ⇒ (4) PrintWalker/LXE または、PS5110BL でチャネル接続機構オプション (PS5110B50) 経由して FNP を設定する場合
- PrintWalker/BPC、LAN プリンタ制御オプションの 69XX を設定する場合 PrintWalker/BPC、LAN プリンタ制御オプション接続では、エミュレーションとして 66XX/69XX/FNP/FM の 4 種類をサポートしています。PrintWalker/BPC、LAN プリ ンタ制御オプション接続において 66XX/69XX/FNP/FM を設定する場合は、以下の設定 が必要となります。
 - a. ネットワーク設定

ネットワーク設定には、以下の設定があります。

- ① IP アドレス
- ② ネットマスク
- ③ ゲートウェイアドレス1~4
- ④ デフォルトルータ
- ⑤ データレート設定
- ① IP アドレス

LAN インターフェースの IP アドレスを設定します。

ネットマスク

ネットマスクを設定します。

③ ゲートウェイアドレス

ゲートウェイを介した通信を行う場合に、そのゲートウェイアドレスを設定します。本設定では、本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを4つまで設定でき、次項④のデフォルトルータ設定を合わせると最大5つまで設定できます。 ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります。

- IP アドレス
- ネットマスク

設定およびその意味については、「2.2.3.7.7 ゲートウェイについての補足」を参照 してください。

④ デフォルトルータ設定

デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します。同じゲートウェイの設定でも、前 項③のゲートウェイアドレス1~4の設定とは意味が異なります。 設定およびその意味については、「2.2.3.7.7 ゲートウェイについての補足」を参照 してください。

 「テータレート設定 使用する LAN インターフェースのデータレート(オート/10Base-T/ 100Base-TX)を設定します。
 データレート設定の初期値は"オート"です。特に問題がない場合はこの設定で使用 してください。もし変更する場合は、接続先ネットワーク機器の設定も変更する必要 があります。

注)ギガビットイーサネット(1000Base-T)はオート設定時のみサポートされ、固 定設定は出来ません。 b. 論理プリンタ設定

本装置では"論理プリンタ1"~"論理プリンタ4"の4つの論理プリンタが設定 できます。これらの論理プリンタには、以下のように印刷可能なエミュレーションが 固定的に割り当てられています。

- ・ 論理プリンタ1:FNP/FM
- ・
 論理プリンタ2:66XX
- 論理プリンタ3:69XX
- ・ 論理プリンタ4:FNP/FM

論理プリンタの、エミュレーション方法やサポート・サーバについては、「2.2.3.7.4 FM 設定」を参照してください。

使用するエミュレーションによって、設定を行うべき論理プリンタが異なりますので、 ご注意ください。論理プリンタ設定には、以下の設定があります。

- ① サポートサーバ
- ② ポート番号
- ③ リクエスタサーバアドレス
- ④ ポート番号(リクエスタサーバ)
- サポートサーバ
 "BSNPS"を選択し設定します。
- ② ポート番号

ポート番号を設定します。BSNPS の初期値のポート番号は 09313 です。特に問 題がない場合はこの設定で使用してください。もし変更する場合は上位装置のポー ト

番号も変更する必要があります。

- リクエスタサーバアドレス 設定する必要はありません。
- ④ ポート番号(リクエスタサーバ)
 設定する必要はありません。
- c. <u>上位装置(PrintWalker/BPC、LAN プリンタ制御オプション)側の設定</u>
 PrintWalker/BPC、LAN プリンタ制御オプションの設定については、以下の マニュアルを参照願います。
 ・SPARC Servers/SPARC Enterprise : PrintWalker/BPC オンラインマニュアル
 ・PRIMERGY 6000 : ASP システム導入手引書
- 122

- (2) PintWalker/PM による 66XX/FNP/FM を設定する場合
 - a. <u>ネットワーク設定</u>

ネットワーク設定には、以下の設定があります。

- IP アドレス
 ネットマスク
- ③ ゲートウェイアドレス1~4
- ④ デフォルトルータ
- ⑤ データレート設定
- ① IP アドレス

LAN インターフェースの IP アドレスを設定します。

② ネットマスク

ネットマスクを設定します。

③ ゲートウェイアドレス

ゲートウェイを介した通信を行う場合に、そのゲートウェイアドレスを設定します。本設 定では、本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを4つ まで設定でき、次項④のデフォルトルータ設定を合わせると最大5つまで設定 できます。

ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります。

- IP アドレス
- ネットマスク

設定およびその意味については、「2.2.3.7.7 ゲートウェイについての補足」を参照 してください。

④ デフォルトルータ設定

デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します。同じゲートウェイの設定でも、前 項③のゲートウェイアドレス1~4の設定とは意味が異なります。 設定およびその意味については、「2.2.3.7.7 ゲートウェイについての補足」を参照 してください。

⑤ データレート設定

使用する LAN インターフェースのデータレート(オート/10Base-T/ 100Base-TX)を設定します。 データレート設定の初期値は"オート"です。特に問題がない場合はこの設定で使用 してください。もし変更する場合は、接続先ネットワーク機器の設定も変更する必要

があります。

注)ギガビットイーサネット(1000Base-T)はオート設定時のみサポートされ、固 定設定は出来ません。 b. 論理プリンタ設定

本装置では"論理プリンタ1"~"論理プリンタ4"の4つの論理プリンタが設定できます。 これらの論理プリンタには、以下のように印刷可能なエミュレーションが固定的に割り当て られています。

- ・ 論理プリンタ1:FNP/FM
- 論理プリンタ2:66XX
- 論理プリンタ3:69XX
- ・ 論理プリンタ4 : FNP/FM

論理プリンタの、エミュレーション方法やサポート・サーバについては、「2.2.3.7.4 FM 設定」を参照してください。

使用するエミュレーションによって、設定を行うべき論理プリンタが異なりますので、 ご注意ください。論理プリンタ設定には、以下の設定があります。

- ① サポートサーバ
- ② ポート番号
- ③ リクエスタサーバアドレス
- ④ ポート番号 (リクエスタサーバ)
- サポートサーバ
 "PrintWalker/PM "を選択し設定します。
- ② ポート番号

ポート番号を設定します。PrintWalker/PMの初期値のポート番号は09313です。 特に問題がない場合はこの設定で使用してください。もし変更する場合は上位装置 のポート番号も変更する必要があります。

③ リクエスタサーバアドレス

VSP リクエスタと通信を行うために、VSP リクエスタをインストールした Windows Server の IP アドレスを設定します。 但し、論理プリンタ設定でエミュレーションに"66XX"を設定していない場合は、本項 目は設定する必要はありません。

④ ポート番号(リクエスタサーバ)
 リクエスタサーバのポート番号を設定します。リクエスタサーバの初期値のポート
 番号は06670です。特に問題がない場合はこの設定で使用してください。もし変更する場合は、上位装置のポート番号も変更する必要があります。
 但し、論理プリンタ設定でエミュレーションに"66XX"を設定していない場合は、本項目は設定する必要はありません。

c. 上位装置(PrintWalker/PM)側の設定
 PrintWalker/PM をインストールし、その機能を使用します.
 インストール手順は、装置添付の PrintWalker CD-ROM 内のドキュメントを参照ください。
 ※既にインストールされている場合でも、バージョンによってはメッセージが表示されないなどの不具合がありますので、なるべく新しい版数をインストールしてください。

- ① Windows Server の場合
- 1. Windows OS を起動し、Administrators グループのユーザーとしてログオン します。
- 【プリンタの追加】を選択します。
 Windows Server 2008 の場合

 【管理者として実行】から行ってください。
 【プリンタ】フォルダメニューから【ファイル】メニューの【プリンタの追加】
 または右クリックメニューの【プリンタの追加】を選択します。
 - Windows Server 2008 R2 の場合 [デバイスとプリンター] フォルダの [プリンターの追加] または右クリック メニューの [プリンターの追加] を選択します。
 - Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 / Windows Server 2016 / Windows Server 2019 の場合 [デバイスとプリンター] フォルダの [プリンターの追加] を選択します。
- 3. インストールするプリンターの種類を選択します.
 - Windows Server 2008 の場合 [ローカル プリンタを追加します] をクリックします。
 - Windows Server 2008 R2 の場合 [管理者としてローカル プリンターまたはネットワーク プリンターを追加する] をク リックします。 [ローカル プリンターを追加します] をクリックします。
 - Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合 プリンターの検索を行って一覧表示する画面から、
 [探しているプリンターはこの一覧にはありません]をクリックします。
 [その他のオプションでプリンターを検索] 画面から、
 [管理者としてローカル プリンターまたはネットワーク プリンターを追加する] をク

125

リックします。

再度、プリンターの検索を行って一覧表示する画面が表示されますので、 [探しているプリンターはこの一覧にはありません]をクリックします。 再度、[その他のオプションでプリンターを検索] 画面が表示されますので、 [ローカル プリンターまたはネットワーク プリンターを手動設定で追加する] を選 択し、[次へ] をクリックします。

- Windows Server 2016 / Windows Server 2019 の場合

プリンターの検索を行って一覧表示する画面から、

[プリンターが一覧にない場合]をクリックします。

[その他のオプションでプリンターを検索] 画面から、

[管理者としてローカル プリンターまたはネットワーク プリンターを追加する] をク リックします。

再度、〔その他のオプションでプリンターを検索〕画面が表示されますので、

[ローカル プリンターまたはネットワーク プリンターを手動設定で追加する] を選択し、[次へ] をクリックします。

4. プリンタポートを選択します。

はじめてインストールする場合は、 [新しぃポートの作成] を選択し、 [ポートの種類] 一覧から「VSP Network Port」または「VSP Network FMPort」を指定して、ポートの定義を実施します。 プリンタのエミュレーション設定によ って、 "VSP Network Port"と"VSP Network FMPort"のどちらかを選択するかは 異なります。 エミュレーションとの対応は以下のとおりです。 ・エミュレーションが66XXの場合 →"VSP Network Port"を選択します。

・エミュレーションがFMの場合 →"VSP Network FMPort"を選択します。

該当するポートを選択し、"次へ"ボタンをクリックします。

詳細は、装置添付CD-ROMの「PrintWalker/PM」のドキュメントを参照してください。

- ※ 既にポートを作成済みの場合は、 [既存のポートを使用] を選択し、ポートの一 覧から印刷先のポートを選択して、 [次へ] をクリックします。
- 5.「ポート追加」において、必要情報を設定します。

・ポート名 → 任意の名前を設定します(1バイト系文字6文字以上32文字以下 で

設定してください)。

・アドレス → プリンタのIPアドレスを設定します。

- ・論理プリンタ → プリンタ側で設定した論理プリンタ番号を選択します。
 "OK"ボタンをクリックします("OK"ボタンをクリックしたあと、しばらく
 時間がかかる場合もあります)。
- 上記設定終了後、プリンタドライバのインストールを行います。インストールの際に 選択するプリンタドライバは、本装置に添付されているプリンタドライバを選択します。 プリンタドライバのインストールは、引き続き「プリンタの追加ウィザード」の メニューに沿って行います。詳細については、プリンタドライバの"README.TXT"を参 照願います。

- ② Windows PC の場合
- 1. Windows OS を起動し、Administrators グループのユーザーとしてログオンしま す。
- 2. [プリンタの追加]を選択します。
 - Windows 7 の場合 [デバイスとプリンター] フォルダの [プリンターの追加] または右クリックメニーの 「プリンターの追加] を選択します。
 - Windows 8.1 / Windows 10 の場合 [デバイスとプリンター] フォルダの [プリンターの追加] を選択します。
- 3. インストールするプリンターの種類を選択します。
 - Windows 7 [ローカル プリンターを追加します]をクリックします。
 - Windows 8.1/Windows 10 の場合
 プリンターの検索を行って一覧表示する画面から、
 [探しているプリンターはこの一覧にはありません]または
 [プリンターが一覧にない場合]をクリックします。
 [その他のオプションでプリンターを検索]画面から、
 [ローカルプリンターまたはネットワーク プリンターを手動設定で追加する]を
 選択し、[次へ]をクリックします。
- 4. "プリンタポートの選択"を行います。
 - はじめてインストールする場合は、 [新しいポートの作成] を選択し、
 - [ポートの種類] 一覧から「VSP Network FMPort」を指定して、ポートの定義 を実施します。

詳細は、装置添付CD-ROMの「PrintWalker/PM」のドキュメントを参照してください。

- ※ 既にポートを作成済みの場合は、 [既存のポートを使用]を選択し、ポートの 一覧から印刷先のポートを選択して、 [次へ] をクリックします。
- 5.「ポート追加」において、必要情報を設定します。
 - ・ポート名 → 任意の名前を設定します(1バイト系文字6文字以上32文字以下 で設定してください)。
 - ・アドレス → プリンタのIPアドレスを設定します。
 - ・論理プリンタ → プリンタ側で設定した論理プリンタ番号を選択します。

"OK"ボタンをクリックします("OK"ボタンをクリックしたあと、しばらく時間がかかる 場合があります)。

 上記設定終了後、プリンタドライバのインストールを行います。インストールの際に選択 するプリンタドライバは、本装置に添付されているプリンタドライバを選択します。 プリンタドライバのインストールは、引き続き「プリンタの追加ウィザード」の メニューに沿って行います。詳細については、プリンタドライバの"README.TXT"を参 照願います。

- (3) lpd (LPR Port) による 66XX FNP/FM/を設定する場合
 - a. <u>ネットワーク設定</u>

ネットワーク設定には、以下の設定があります。

- ① IP アドレス
- ② ネットマスク
- ③ ゲートウェイアドレス1~4
- ④ デフォルトルータ
- ⑤ データレート設定
- ① IP アドレス

LAN インターフェースの IP アドレスを設定します。

② ネットマスク

ネットマスクを設定します。

③ ゲートウェイアドレス

ゲートウェイを介した通信を行う場合に、そのゲートウェイアドレスを設定します。本設定では、本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを4つまで設定でき、次項④のデフォルトルータ設定を合わせると最大5つまで設定できます。 ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります。

- IP アドレス
- ネットマスク

設定およびその意味については、「2.2.3.7.7 ゲートウェイについての補足」を参照 してください。

④ デフォルトルータ設定

デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します。同じゲートウェイの設定でも、前 項③のゲートウェイアドレス1~4の設定とは意味が異なります。 設定およびその意味については、「2.2.3.7.7 ゲートウェイについての補足」を参照 願います。

⑤ データレート設定

使用する LAN インターフェースのデータレート(オート /10Base-T/100Base-TX)を設定します。 データレート設定の初期値は"オート"です。特に問題がない場合はこの設定で使用 してください。もし変更する場合は、接続先ネットワーク機器の設定も変更する必要 があります。 注)ギガビットイーサネット(1000Base-T)はオート設定時のみサポートされ、固

注)キカビット1ーサイット(1000Base-1)はオート設定時のみサホートされ、固定設定は出来ません。

b. 論理プリンタ設定

本装置では"論理プリンタ1"~"論理プリンタ4"の4つの論理プリンタが設定できます。 これらの論理プリンタには、以下のように印刷可能なエミュレーションが固定的に 割り当てられています。

- ・ 論理プリンタ1:FNP/FM
- ・
 論理プリンタ2:66XX
- 論理プリンタ3:69XX
- ・ 論理プリンタ4:FNP/FM

論理プリンタの、エミュレーション方法やサポート・サーバについては、「2.2.3.7.4 FM 設定」を参照してください。

使用するエミュレーションによって、設定を行うべき論理プリンタが異なりますので、 ご注意ください。論理プリンタ設定には、以下の設定があります。

- ① サポートサーバ
- ② ポート番号
- ③ リクエスタサーバアドレス
- ④ ポート番号(リクエスタサーバ)
- サポートサーバ "lpd"を選択し設定します。
- ② ポート番号

ポート番号を設定します。 lpd の初期値のポート番号は 00515 です。 特に問題が ない場合はこの設定で使用してください。 もし変更する場合は上位装置の ポート番号も変更する必要があります。

- ③ リクエスタサーバアドレス VSP リクエスタと通信を行うために、VSP リクエスタをインストールした Windows Server の IP アドレスを設定します。
 但し、論理プリンタ設定でエミュレーションに"66XX"を設定していない場合は、本項 目は設定する必要はありません。
- ④ ポート番号(リクエスタサーバ)
 リクエスタサーバのポート番号を設定します。リクエスタサーバの初期値のポート
 番号は06670です。特に問題がない場合はこの設定で使用してください。もし変更する場合は、上位装置のポート番号も変更する必要があります。
 但し、論理プリンタ設定でエミュレーションに"66XX"を設定していない場合は、本項目は設定する必要はありません。

- c. 上位装置(lpd (LPR Port))側の設定
 Windows PC や Windows Server が持っている、lpd (LPR Port)機能を使用します。基本的な設定は以下の通りです。
 - Windows OS を起動し、Administrators グループのユーザーとしてログオン します。
 - ② [プリンタの追加]を選択します.
 - Windows Server 2008 の場合
 [管理者として実行]から行ってください。
 [プリンタ] フォルダメニューから [ファイル] メニューの [プリンタの追加] または右
 クリックメニューの [プリンターの追加] を選択します。
 - Windows 7 / Windows Server 2008 R2 の場合 [デバイスとプリンター] フォルダの [プリンターの追加] または右クリック メニューの [プリンターの追加] を選択します。
 - Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 / Windows
 Server 2016 / Windows Server 2019 の場合
 [デバイスとプリンター] フォルダの [プリンターの追加] を選択します。

③ インストールするプリンタの種類を選択します.

- Windows Server 2008 の場合 [ローカル プリンタを追加します] をクリックします。
- Windows Server 2008 R2 の場合

[管理者としてローカル プリンターまたはネットワーク プリンターを追加する] をクリックします。

[ローカル プリンターを追加します] をクリックします。

- Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合 プリンタの検索を行って一覧表示する画面から、

[探しているプリンターはこの一覧にはありません]をクリックします。

[その他のオプションでプリンターを検索] 画面から、

[管理者としてローカル プリンターまたはネットワーク プリンターを追加する] をクリックします。

再度、プリンターの検索を行って一覧表示する画面が表示されますので、

[探しているプリンターはこの一覧にはありません]をクリックします。

再度、[その他のオプションでプリンターを検索] 画面が表示されますので、

[ローカル プリンターまたはネットワーク プリンターを手動設定で追加する] を 選択し、 [次へ] をクリックします。 Windows Server 2016 / Windows Server 2019 の場合 プリンターの検索を行って一覧表示する画面から、[プリンターが一覧にない場 合]をクリックします。
[その他のオプションでプリンターを検索] 画面から、
[管理者としてローカル プリンターまたはネットワーク プリンターを追加する]をクリッ クします。
再度、[その他のオプションでプリンターを検索] 画面が表示されますので、
[ローカル プリンターまたはネットワーク プリンターを手動設定で追加する]を
選択し、[次へ]をクリックします。

④ プリンタポートを選択します。

はじめてインストールする場合は、 [新しいポートの作成] を選択し、 [ポートの種類] 一覧から「Standard TCP/IP Port」を選択して、 [次へ] をクリックした後、以下の手順でプリンタポートを作成します。

- Windows Server 2008 の場合

[ホスト名または IP アドレスを入力します] 画面が表示されますので、以下の設定を行って、[次へ] ボタンをクリックします。

・ [デバイスの種類] は [TCP/IP デバイス] を選択

・ [ホスト名または IP アドレス] に [プリンタの IP アドレス] を入力

・ [プリンタを照会して、使用するプリンタ ドライバを自動的に選択する] の チェックを外す

TCP/IP ポートの検出処理後、 [ポート情報がさらに必要です] 画面が表示されます。

[デバイスの種類]で [カスタム]を選択し、 [設定] ボタンをクリックすると、

[ポートの設定] 画面が表示されます。

[ポートの設定] 画面では、以下の設定を行い、 [OK] ボタンをクリックします。

- ・[プロトコル] は [LPR] を選択
- ・[LPR 設定] [キュー名] に [プリンタ名] を入力
- ・ [LPR バイト カウントを有効にする] にチェックを付ける

・ [SNMP ステータスを有効にする] にはチェックを付けない 元の画面で [次へ] ボタンをクリックします。 - Windows 7 / Windows 8.1 / Windows 10 / Windows Server 2008 R2 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 / Windows Server 2016 / Windows Server 2019 の場合

[ホスト名または IP アドレスを入力します] 画面が表示されますので、以下の設定を行って、[次へ] ボタンをクリックします。

- ・ [デバイスの種類] は [TCP/IP デバイス] を選択
- ・ [ホスト名または IP アドレス] に [プリンタの IP アドレス] を入力
- ・ [プリンターを照会して、使用するプリンター ドライバを自動的に選択する]のチェ ックを外す

TCP/IP ポートの検出処理後、 [ポート情報がさらに必要です] 画面が表示されます。

[デバイスの種類] で [カスタム] を選択し、 [設定] ボタンをクリックすると、 [ポートの設定] 画面が表示されます。

[ポートの設定] 画面では、以下の設定を行い、 [OK] ボタンをクリックします。

- ・[プロトコル]は[LPR]を選択
- ・[LPR 設定] [キュー名] に [プリンタ名] を入力
- ・ [LPR バイト カウントを有効にする] にチェックを付ける
- ・ [SNMP ステータスを有効にする] にはチェックを付けない

元の画面で[次へ]ボタンをクリックします。

[LPR 設定] – [キュー名] に入力するプリンタ名は、プリンタ装置側で設定され ているマシン名と論理プリンタ番号を組み合わせて、"マシン名" – "論理プリンタ番 号"の形式で指定します。

(大文字/小文字の区別をしますので、入力時には注意してください)。

(例)

マシン名

: "PS5110B"の場合、"PS5110B-1"と設定します。

論理プリンタ番号:"1"

※ マシン名は、2.2 項を参照ください。

- ※ 既にポートを作成済みの場合は、 [既存のポートを使用] を選択し、ポート の一覧から印刷先のポートを選択して、 [次へ] をクリックします。
- ⑤ 上位設定終了後、プリンタドライバのインストールを行います。インストールの際に選択 するプリンタドライバは、本装置に添付されているプリンタドライバを選択します。プリンタ ドライバのインストールは、引き続きプリンタの追加ウィザードのメニューに沿って行います。 詳細については、プリンタドライバの"README.TXT"を参照してください。

- (4) PrintWalker/LXE または、PS5110BL でチャネル接続機構オプション
 (PS5110B50) 経由して FNP を設定する場合
 - a. <u>ネットワーク設定</u>

ネットワーク設定には、以下の設定があります。

- IP アドレス
 ネットマスク
- ③ ゲートウェイアドレス1~4
- ④ デフォルトルータ
- ⑤ データレート設定
- ① IP アドレス

LAN インターフェースの IP アドレスを設定します。

② ネットマスク

ネットマスクを設定します。

③ ゲートウェイアドレス

ゲートウェイを介した通信を行う場合に、そのゲートウェイアドレスを設定します。本設 定では、本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを4つまで設定 でき、次項④のデフォルトルータ設定を合わせると最大5つまで設定できます。 ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります。

- IP アドレス
- ・ ネットマスク

設定およびその意味については、「2.2.3.7.7 ゲートウェイについての補足」を参照 してください。

④ デフォルトルータ設定

デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します。同じゲートウェイの設定でも、前 項③のゲートウェイアドレス1~4の設定とは意味が異なります。 設定およびその意味については、「2.2.3.7.7 ゲートウェイについての補足」を参照 してください。

⑤ データレート設定

使用する LAN インターフェースのデータレート(オート/10Base-T/ 100Base-TX)を設定します。PS5110BL でチャネル接続機構オプション (PS5110B50)経由で印刷するときは、オートに設定してください。

データレート設定の初期値は"オート"です。特に問題がない場合はこの設定で使用 してください。もし変更する場合は、接続先ネットワーク機器の設定も変更する必要 があります。

注)ギガビットイーサネット(1000Base-T)はオート設定時のみサポートされ、固 定設定は出来ません。 b. 論理プリンタ設定

本装置では"論理プリンタ1"~"論理プリンタ4"の4つの論理プリンタが設定できます。 これらの論理プリンタには、以下のように印刷可能なエミュレーションが固定的に 割り当てられています。

- ・ 論理プリンタ1:FNP/FM
- ・
 論理プリンタ2:66XX
- ・
 論理プリンタ3:69XX
- ・ 論理プリンタ4:FNP/FM

論理プリンタの、エミュレーション方法やサポート・サーバについては、「2.2.3.7.4 FM 設定」を参照してください。

使用するエミュレーションによって、設定を行うべき論理プリンタが異なりますので、 ご注意ください。論理プリンタ設定には、以下の設定があります。

- ① サポートサーバ
- ② ポート番号
- ③ リクエスタサーバアドレス
- ④ ポート番号 (リクエスタサーバ)
- サポートサーバ
 "BSNPS"を選択し設定します。
- ② ポート番号

ポート番号を設定します。BSNPSの初期値のポート番号は09313です。特に 問題がない場合はこの設定で使用してください。もし変更する場合は上位装置の ポート番号も変更する必要があります。

- リクエスタサーバアドレス 設定する必要はありません。
- ④ ポート番号(リクエスタサーバ)
 設定する必要はありません。
- c. 上位装置(PrintWalker/LXE)側の設定

PrintWalker/LXE の設定については、以下のマニュアルを参照してください。 ・PrintWalker/LXE オンラインマニュアル

2.2.3.7.7. ゲートウェイについての補足



図 2-104 ゲートウェイ

LAN①に接続されている装置が、LAN①接続されている(同一 LAN 上)その他の装置と、LAN 通信を行う場合にゲートウェイは必要ありませんが、他の LAN (LAN②~ ⑥)の装置と通信を行う場合には、ゲートウェイが必要になります。 本装置では、最大 4 つまでのゲートウェイをサポートしています。 本装置のセットアップでは、ゲートウェイの設定とデフォルトルータの設定があり、ゲートウェ イ設定は 4 つまで、デフォルトルータ設定は 1 つとなっています。 また、ゲートウェイ設定には、宛先アドレスとゲートウェイアドレスの設定があります。 "ゲートウェイアドレス 1 ~ 4"と"デフォルトルータ設定"について説明します。



図 2-105 ゲートウェイ接続の例

- (1)本装置が LAN②上の装置と通信を行う場合には、ゲートウェイの設定は必要あ りません。
- (2)本装置がホスト A と通信を行う場合、本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります。
 ・宛先アドレス:ホスト A の接続されているネットワークアドレスを設定します。
 ・ゲートウェイアドレス:GateWay1のアドレス(IP アドレス)を設定します。
- (3)本装置がホスト B と通信を行う場合、本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります。
 ・宛先アドレス:ホスト B の接続されているネットワークアドレスを設定します。
 ・ゲートウェイアドレス: GateWay 2 のアドレス(IP アドレス)を設定します。
- (4)本装置がホスト C と通信を行う場合、本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります。
 ・宛先アドレス:ホスト C の接続されているネットワークアドレスを設定します。
 ・ゲートウェイアドレス:GateWay1のアドレス(IP アドレス)を設定します。
- (5) デフォルトルータは、仮に本装置に上記(1)~(4)のような設定をしている場合に、
 設定しているゲートウェイのどれにもあてはまらないようなデータを処理する場合に
 使用されるゲート
 ウェイのことです。そのようなデータは、デフォルトルータに設定されているゲートウェイ
 とデータ通信を行うことになります。
 - ※ゲートウェイアドレス1~4の設定では、本装置と通信を行う相手が接続されて いるネットワークと、そのネットワークへの経路となるゲートウェイが明確になっている 場合に設定します。
 - ※デフォルトルータは、既に設定されているゲートウェイアドレスでは処理できないデー タを通信する場合に使用されます。
 - また、本装置の接続されているネットワークに、ゲートウェイが1つしか接続されてい なければ、デフォルトルータにそのゲートウェイアドレスを設定しておくだけで、特にゲ ートウェイアドレス1~4に設定しなくても、他のネットワークと通信を行うことがで きます。

2.2.4. ユーザ設定タブ

ユーザ設定タブは、オペレータの操作権限の変更操作を行う画面です。

ユーザ権限は以下の3種類から選択することができます。

・一般ユーザ

・ユーザ管理者

・メンテナンス管理者

各ユーザ権限に許される機能については、「2.2.1 (3) 操作機能概要」を参照してください。

🌺 PS5110		PS5110B	🥳 一般ユーザ
■基本	{ t v ト 7 v プ (1 2 - ジ 歌記) (一) 画面	i l	
~		,	
\$	ユーザ管理者	£	
Ø	メンテナンス管理者		
	ストップ		
HOST RECOVE	NETWORK MODE		
⁹ ① 電 源	፤ 🖉 ፲፱፻፶ 🖉 ፻	セット	スタート マストップ

図 2-106 ユーザ設定タブ

ユーザを変更する場合には、変更したいユーザ選択ボタンを押します。

「ユーザ管理者」および「メンテナンス管理者」を選択した場合。パスワード入力画面が開くの でパスワードを入力してください。パスワードの文字数は16文字以内です。

入力可能な文字は、グレイアウトしていない入力可能な文字すべてです。



図 2-107 パスワード入力用キーボード

「ユーザ管理者」のパスワードの初期値は"PRINTERADMIN"(全て大文字)です。

(注)本パスワードは一般利用者に公開せず、定期的に変更してください。

パスワードを入力し「OK」ボタンを押した際、パスワードが誤っていると次の画面が 表示され、ユーザ権限の遷移は行われません。

警告
🗴 パスワードが違います。
ОК

図 2-108 パスワード誤り

「一般ユーザ」を指定した場合、および入力したパスワードが正しい場合は、次の画面が 表示されます。

変更したユーザ権限は、タイトルバーに表示されます。



図 2-109 ユーザ権限変更

「ユーザ管理者」については、パスワードを変更することができます。

パスワードを変更する場合には、ユーザ管理者を選択して「パスワード変更」ボタンを押すと、 パスワード変更画面が表示されます。

「パスワード変更」ボタンを押すと下図に示す仮想キーボードが表示されるので、新しい パスワードを入力して「OK」ボタンを押します。

パスワードは最大16文字まで入力できます。なお、「OK」ボタンを押した後、再び下図の 確認用画面が表示されます。再度パスワード情報を入力することにより、パスワードは変更さ れます。



図 2-110 パスワード変更用キーボード

パスワードの変更が成功すると、次の画面が表示されます。



図 2-111 パスワード変更完了

なお、パスワードの確認に失敗すると、下記の画面に示すメッセージが表示され、パスワード 変更操作は取り消されます。



図 2-112 パスワード変更失敗

2.2.5. 画面タブ

画面メニューでは、パネル表示に関する調整や設定を行うことができます。 設定できる項目は以下のとおりです。

・キャリブレーション

- ・画面清掃
- ・スイッチ配置の変更
- ・スクリーンセーバの設定

・ブザー音の調整

PS5110	- PS5110B 🧊 一般ユーザ
📑 基本 🛛 👔 セットアップ 🛛 🎇 ユーザ設定 🔙 🗐 🗐	iii *
タッチパネル設定:	スクリーンセーバ:
キャリプレーション 画面清掃 「一」	モード: 「なし 🛛 💙 🔺 起動時間:5 分 🛛 🍼 🔺
システム設定:	ブザー音調整:
スイッチ配置	調整値: 🦳 4 💙 📥
	テスト 設定
🔒 🕕 電 源 🛛 🖉 【ジェクト 🧭 !	リセット ()スタート ()ストップ

図 2-113 画面タブ

(1)タッチパネル設定

a)キャリブレーション

タッチパネル上で、左下、右下、右上の3点を触れることにより、タッチパネル上の 感知ポジションを修正(キャリブレーション)します。 画面の指示に従って、パネルに触れてください。



図 2-114 キャリブレーション画面

右上の「×」を押下した後、確認メッセージが表示されます。 「はい」ボタンを押下することにより、キャリブレーションが実行されます。 「いいえ」ボタンを押下すると、キャリブレーションは実行されません。

注)キャリブレーションはパネルを垂直方向から見て「×」の交点を押下してください。 正確に押下されなかった場合、タッチパネル上の感知ポジションがずれて キャリブレーションされる可能性があります。

b)画面清掃

「画面清掃」ボタンを押下すると下図の画面となります。その間にパネル上を清掃 します。

1度目の「清掃終了」ボタンで画面上、右から左にボタンの位置が移動します。 2度目の「清掃終了」ボタンを押下すると、元の画面に戻ります。





- (2)システム設定
 - a)スイッチ配置

パネル下部側に位置するスイッチ群の配置を変更することができます。 「スイッチ配置」ボタンを押下すると次の画面が表示され、スイッチの配置を変更で きます。リストから、移動する項目を選択し、▲ボタンや▼ボタンにより、配置場所 を移動します。

スイッチ配置		
① 電源		設定
볼 イジェクト		キャンセル
🥏 リセット		
	\bigtriangledown	初期化
(1) スタート		
👿 ストップ		
電源スイッチ機能:	有効	

図 2-116 スイッチ配置設定画面

・「設定」ボタン

指定したスイッチ配置を確定し、画面メニューに戻ります。

・「キャンセル」ボタン

変更したスイッチ配置を破棄して、画面メニューに戻ります。

・「初期化」ボタン

このボタンを押下すると、工場出荷時のスイッチ配置に戻ります。

・「電源スイッチ機能」ボタン

「電源スイッチ」ボタンを有効にするかどうかを選択します。初期値は「有効」で す。

有効:トップ画面において、電源スイッチが有効になります。

無効:トップ画面において、電源スイッチが常にグレイアウトされ無効と なります。

電源スイッチの「▼」「▲」ボタンは一般ユーザ権限ではグレイアウトされ 操作不可状態となります。 (3)スクリーンセーバ

スクリーンセーバを設定すると、設定時間内にパネル操作がない場合は、 パネル画面上にスクリーンセーバを起動します。

・モード スクリーンセーバのモードを選択します。 選択可能なパターンは、以下の通りで、初期値は「なし」です。 ・なし ・screenSV_ps5110b

·起動時間

スクリーンセーバが起動されるまでの時間を設定します。 初期値は5分で、1~999分まで設定することができます。

(4) ブザー音調整

エラー発生をお知らせするブザー音の音量を調整し、設定することができます。 (タッチパネル下部にある音量調整ボリュームでも音量調整が可能です。詳細に ついては 2.2.6 パネル調整を参照してください。)

・調整値

音量は8段階あり、「設定」ボタンを押下することにより、設定されます。 初期値は4で、0(消音)~7段階まで設定することができます。

・「テスト」ボタン

調整値で変更された音量を、本ボタンを押下することにより確認することができます。

・「設定」ボタン 調整値で変更された音量を、設定します。

2.2.6. パネル調整

パネル下面に音量調整用ボリュームと輝度調整用ボリュームがあります。調整ボリューム 位置を図 2-117 に示します。



図 2-117 調整ボリューム位置

番号	名称	機能
1	Auto Adjust ボタン	短押し:画面位置を調整します。
		長押し : 色の調整を行います。
		(画面に白黒がはっきりと映っている状態で
		行ってください。)
2	音量調整ボリューム	音量を調整します。
3	コントラスト調整ボリューム	画面コントラストを調整します。

- 注) 音量の調整は、図示しています機構的な音量調整ボリュームとタッチパネルからの音量 調整(画面タブ機能の中)があります。音量調整ボリュームは全ての音量に対して調 整可能であり、タッチパネルからの音量調整は、エラー発生時のブザー音量の調整にな ります。
- 注)パネル版数によって、②、③はボタンの場合があります。

2.2.7. 副操作パネル

副操作パネルは、装置右側面の上部にあり、右側面カバーを開けて使用します。 副操作パネルは装置右側面カバー内の上部にあります。 副操作パネルは、オートロードパネル、CSセーブスイッチ、電源パネル(電源のローカルオン /オフスイッチ、ドラムヒータオフスイッチ、電源系アラーム表示)、およびプリント チャージカウンタ/キー、より構成されています。 副操作パネルの配置を図 2-118 に、機能を表 2-17 に示します。



(a) 標準構成時



(b) PS5110BK でチャネル接続機構オプション(PS5110B10) 装着時

図 2-118 副操作パネル配置

表 2-17	副操作パネルの機能	(電源パネル部)
--------	-----------	----------

	名	称	機能	有効条件
REM S'	1OTE/ W	LOCAL	本装置の電源投入を REMOTE で行なうか LOCAL で行 なうかを切り替えることができます。	チャネル接続機構オプション (PS5110B10)装着時のみ 実装され、常時有効です。
POV	VER C	ON SW	本スイッチを操作することにより、本装置の電源が投入され ます。 (注 2)	標準では常時有効です。 チャネル接続機構オプション
POWER OFF SW		DFF SW	本スイッチを操作することにより、本装置の電源が切断されます。(切断処理時間約30秒)	(PS5110B10)装着時は REMOTE /LOCAL SWが LOCAL 側にあるとき、常時有効 です。
POV	VER C	ON LED	本装置の電源が投入中であることを示します。	_
ヒーダ	9 OFF	SW	本スイッチを操作することにより、感光ドラム内のヒータ電源 が切断されます。	装置の電源が切断されていると き有効です。
ヒーダ	9 ON	LED	感光ドラム内のヒータが制御中であることを示します。	_
ALAF	0	P RDY	装置の電源が投入されていることを示します。	
ξM 7 .	1	_	_	(注1)
セグィ	2	LV	入力制御用電源(LV)が異常であることを示します。	
ヘント	3	-	_	(注1)
表示	4	FV	フラッシュ電源(FV)が異常であることを示します	_
	5	-	_	(注1)
	6	C COV	定着部、高圧コネクタ、保護カバーが開いていることを示し ます。ブレーカ OFF によりアラーム表示クリアします。	_
	7	-	—	(注1)
	8	_	_	(注1)
	9	-	—	(注1)
	А	ADPE	PPCIB/SCCIB のアラームで点灯します。	(注 3)
	b	VCFAN	FRC-V の FAN 異常で点灯します。	
	с	CCFAN	LPF の FAN 異常で点灯します。	(注 3)
	d	ССНЖ	LPF の CPUFAN 異常で点灯します。	(注 3)
	Е	PSFAN	—	(注1)
	F	ATXFAN	LPF の電源異常で点灯します。	(注 3)
	-	CCWAIT	LPF 部シャットダウン中で(一時的に)電源投入できないこ とを示します。異常ではありません。	(注 3)
	U	(空き)	_	(注1)

- 注1)本装置では表示されません。
- 注 2) PS5110BK のみオプション搭載状況により、システムの立ち上がり時間が異なります。 (最大約 7 分)
- 注3) PS5110BK のチャネル接続機構オプション(PS5110B10) 装着時のみ発生します。

表 2-17 副操作パネルの機能つづき(オートロードパネル機能)

名称	機能	有効条件
用紙ロード	用紙がトラクタにセットされているとき、このスイッチを押すことにより、	停止中に有効。
ロード	用紙は自動的にスタッカテーブルまで	
	送られます。	
用紙ロード	オートロード動作を緊急停止する必要が生じたとき、	オートロード動作中に有
中止	このスイッチを押します。	効。
用紙	このスイッチを押すことにより、用紙がスタッカ側へ 1/2 インチ長送ら	停止中に有効。
前進	れます。	
	さらに押し続けると、連続的に用紙が送られます。	
用紙	このスイッチを押すことにより、用紙がホッパ側へ 1/2 インチ長送ら	停止中に有効。
後退	れます。	
	さらに押し続けても、1/2 インチ長以上は動きません。	
山谷選択	このスイッチを押すことにより、スイングガイドの動く方向を選択でき	停止中に有効。
(注1)	ます。	
	(用紙づまり時に用紙長をトラクタの目盛りに合わせた後で、指定	
	位置での用紙ミシン目の山、谷を選択するときに使用します。)	
	(図 2-4参照)	
山、谷	ミシン目合わせ位置でのミシン目の山、谷を表示します。	
(表示)		

(注1)山谷選択の取り扱いについては次のページを参照してください。

表	2-17	副操作パネルの機能つづき	(カウンタ部)

名称	機能	有効条件
COUNTER	印刷量のカウントを行う。用紙送り方向に 26 インチ長印	
	刷するごとに+1 歩進します。	
COUNTER	ON 側 : プリンタ使用時に設定。	
ON/OFF	OFF 側:保守作業時に設定。	—
スイッチ	COUNTER(印刷量)は歩進停止する。	

- (1) 山谷選択スイッチの取扱いについて 本装置は、セットされた用紙のミシン目(折れ部)の位置と、山折れ、あるいは谷折 れ方向を認識しながら折り畳んでいます。 用紙づまりなどで装置がミシン目の位置と折れ方向を認識できなくなった場合、山谷選 択スイッチのランプ(二つとも)が点滅しますので、本スイッチにて設定してください。
 - 1) 山谷選択スイッチを押す必要がある場合と操作手順

・"ER20-01"エラー(用紙づまり)

- ・"ER20-02"エラー(用紙はずれ)
- ・印刷中に搬送レバーをさげた場合
- ・印刷中に中扉を開けた場合
- ・その他の緊急停止
- ① 主操作パネルの [リセット] スイッチを押します。
- ② ミシン目をトラクタ部にて用紙サイズに合せます。



③ 用紙入口付近にある、(→)の表示ラベルの下のミシン目の折れ方向を 確認して、山、または谷に設定します。



2.2.8. スタッカパネル

スタッカパネルは、スタッカ部上部に位置し、装置正面の左前カバーを開けて使用します。 スタッカパネルの配置を図 2-119 に、それぞれの機能を表 2-18 に示します。



図 2-119 スタッカパネルの配置

名称	橩	能	有効条件
テーブル	このスイッチを押すと、用約	氏の折畳み動作に適した高さにテーブル	印刷動作に関係なく
オート	が自動的に上下します。		有効です。
			発光ダイオードの点灯
			中は、テーブルのオート
			状態を表します。
テーブル	このスイッチを押すと、テー	ブルの上下動作が停止します。	印刷動作に関係なく
ストップ			有効です。
			発光ダイオードの点灯
			中は、テーブルのストッ
			プ状態を表します。
テーブル	このスイッチを押すと、テー	ブルが下降します。	印刷動作に関係なく
ダウン			有効です。
			発光ダイオードの点灯
			中は、テーブルのダウン
			状態を表します。
用紙長レバー	スタッカテーブルに折畳む用紙長さを設定します。用紙長さは、		停止中に使用してくだ
	177.8~355.6mm(7~14 インチ)の範囲で 12.7mm		さい。
	(0.5 インチ)単位で設定可能です。		
スカッフローラー切り	用紙づまりを起こしたときに、リリース側にレバーを		
替えレバー	倒し、用紙を取り除きやすくします。		
	通常、オペレーション側に倒して使用します。		
	使用する用紙に応して、ト表により人カッフローラー		
	切り替えレバーの位置を選択します。		
	レバー位置:オペレーション(2)、(4)は特殊な用紙の場		
	合に使用します。使用する場合は保守技術員に		
	こ作政いにCい。 除すぎる場合・売ガル・	にり思ってい、日本の切断などが発生	
	」 强923%日、ハルレ、 弱すぎス提合・田紙バム	かり <u>量の</u> シンクロとのの間などが光土 いれ、搬送不良などが発生	
	羽9さる場合: 川松バクジキ、 加达个民などが先生		
	$V/(-1/2)$ $H_{AL}(+2)$ (22)		
		$(55ka \sim 70ka)$	
	オペレーション(2)	特殊な用紙を使用する場合	
	オペレーション(3)	81.4a/m ² を超え 157a/m ²	
		(70kg を超え 135kg)	
	オペレーション(4)	特殊な用紙を使用する場合	
用紙ガイドレバー	用紙づまりを起こしたとき(
	用紙ガイド部を開いて、用紙を取り除きます。		
	プレプリント紙との印刷位	置およびオーバレイ位置確認のために	
	も使用します。		

表 2-18 スタッカパネルの機能

2.2.9. CS SAVE スイッチ

本装置の CS SAVE スイッチは装置右側面の上部、副操作パネルの右側にあります。 CS SAVE スイッチの機能を表 2-19 に示します。

表 2-19 CS SAVE スイッチの機能

名 称	機能	有効条件
CS SAVE	装置の制御情報を装置内の記憶媒体に書き込む	カウンタキー
	ことができます。	OFF 時

2.2.10. ユニットエマージェンシースイッチ

本装置のユニットエマージェンシースイッチは装置正面右側上部にあります。 その機能を表 2-20 に示します。 本スイッチは、操作者または装置が危険な状態になるなどして、電源を直ちに切断したい 場合に使用します。 本スイッチを一度押すと印刷の保証なしに、直ちに電源が切断されます。 ユニットエマージェンシースイッチは緊急時専用です。 このスイッチを使用するとシステム内のデータを壊す場合があります。 但し、装置の電源入力部端子、ノイズフィルタ、サーキットブレーカ、L V 電源入力部、 FV 電源入力部、A C 制御部には受電されています。



エマージェンシースイッチは緊急時専用です。このスイッチを使 用すると、システム内のデータを壊す場合があります。

表 2-20 ユニットエマージェンシースイッチの機能

名 称	機能	有効条件
UNIT EMERGENCY	緊急電源切断スイッチ	常時

▲警告



万一機器から発熱・発煙・異臭・異常音が発生したら、すぐ に電源を切断(メインスイッチまたはユニットエマージェンシース イッチを切断)した上で、担当保守技術員に連絡してくださ い。

感電や火災のおそれがあります。

2.3. 用紙のセット

2.3.1. 用紙をセットする前に

電源投入については、2.2.7 副操作パネルの表 2-17 副操作パネルの機能(電源パネル部)を参照してください。

なお、始業時には前帯電器をはじめ各部の清掃を行ってください(2.9 清 掃 を参照) 用紙をセットする前に、必ず次の事項を確認してください。

・用紙づまり対処後に用紙をセットする場合

用紙補給の操作手順を行う前に、すべての用紙搬送経路を清掃してください。

・用紙幅の違う用紙をセットする場合

プリンタ装置の清掃をしてから、新しい用紙をセットしてください。

・セットする用紙と用紙箱の状態の確認

用紙づまりやプリント品質の低下が発生しないように、用紙の状態を確認してください。

・定着部右カバーを閉じてください。(270ページ参照)

定着部右カバーを開いた状態で「オートロード」を行った場合、「用紙づまり」が発生する恐れがあります。「オートロード」を行う場合は、必ず定着部右カバーを閉じてください。

- ・「用紙排出」直後に「オートロード」を行う場合、十分に時間を空けてください。 「用紙排出」直後に「オートロード」を行った場合、「用紙づまり」が発生する恐れがありま す。
- ・「オートロード」中に中扉を開けて「オートロード」を中断した場合は、用紙を取り除き再度 「オートロード」を行ってください。そのまま印刷を行った場合、正しく折り畳めないことや、 正しい位置から印字できない恐れがあります。

▲ 注意 _____

ポリ袋から用紙を取り出してセットする場合や、ポリ袋を切り取った場合には、ポリ袋の破片が用紙に付着しないように注意してください。用紙に付着したポリ袋の破片は、用紙づまりやプリント品質の低下の原因となります。


2.3.2. ホッパへの用紙のセット



20kg(用紙 3000 枚)以上の媒体を運ぶときは、必ず2人以上または運搬台車をお使いください。

- ① 用紙印刷面が上側になるようにし、用紙箱をホッパ部(装置右側面凹部)へ押し込みます。
- ② 用紙箱前(装置前面側)の端面をホッパ部(装置右側面凹部)の装置前面側の壁につ きあてます。



- (注) 用紙箱の端面を正しく装置右側面凹部につきあてないと、用紙がトラクタから外れ易く なることがありますので注意してください。
- 2.3.3. オートローディングによる用紙のセット
 - ① 装置右側面カバーを開きます。
 - ② トラクタ部の蓋を開きます。



③ セットする用紙の坪量に合わせて、「山」「谷」の方向と 先端の状態を確認します。

・用紙坪量が81.4g/m² (連量70kg)以下の場
 合用紙の折り返し目の「山」と「谷」の順序を確認して、先端の1ページを折り返します。



・用紙坪量が81.4g/m²(連量 70kg)を超える場 合用紙の折り返し目の「山」と「谷」の順序を確認し て、先端を折り返さずにセットします。



- (注1) 坪量、連量は、用紙重量の単位で、用紙箱に表示されています。 (ただし、標準的な坪量 64g/m²(連量 55kg)の用紙については表示されてい ないことがあります。)
- (注2)特殊用紙について

・メールシール紙の場合は、一般に折り返します。

・タック紙の場合は、一般に折り返しません。

④ トラクタ合わせつまみを回して、装置奥側の

トラクタのトラクタピンを用紙幅に合わせます。



⑤ 用紙の先端をトラクタ部の用紙先端位置 (白い線)に合わせ、用紙の送り孔をトラクタ部のトラ クタピンにセットします。



⑥ トラクタ部の蓋を閉じます。
 トラクタ部にセットした用紙の張りが強すぎると、用紙外れや搬送不良による紙づまりが発生します。
 用紙にゆるみを持たせるためには、まず、用紙をピンと張った状態にセットし、用紙の具合を見ながらトラクタ合わせつまみを[狭]の方向に回して調整します。



スタッカ部の各部が次の状態にあることを確認します。

- a. スタッカテーブル上に用紙が残っておらず、テーブルスイッチがオート状態にあること。
- b. スカッフローラー切替レバーがオペレーション側にあること。
- c. 用紙長レバーが使用する用紙の折畳み長さと合っていること。 (用紙長レバーを左右に動かして、指定の場所に完全に合っていることを確認すること。)
- ⑦ 次表を目安に、スタッカ部のスカッフローラー切り替えレ バーを、用紙の坪量(連量)に合わせます。
 - ・オペレーション(2)、(4)は特殊な用紙の場合 に使用します。使用する場合は保守技術員にご相 談ください。



スカッフローラー切り替えレバーの	の位置と用紙坪量の関係
------------------	-------------

レバー位置	用紙の坪量(連量)
オペレーション(1)	$64 \sim 81.4 { m g/m}^2$ (55 \sim 70kg)
オペレーション(2)	特殊な用紙を使用する場合
オペレーション(3)	81.4 を超え~ 157g/m ² (70 を超え~ 135kg)
オペレーション(4)	特殊な用紙を使用する場合

⑧ 用紙長レバーを押しながら(①)、左右に動かして用紙の折畳み長さに合わせます(②)。



- ③ オートロードパネルの[用紙ロード]の[ロード]スイ ッチを押します。これにより用紙は自動的に転写部、 定着部を経て、スタッカに送り込まれ、初期セットが完 了します。万一、用紙搬送中において用紙がひっかか った場合は、オートロードパネルの[用紙ロード]の [中止]スイッチを押し、用紙を停止させてその原因 を取り除きます。用紙破れがあった場合は、紙片が搬 送部内に残っていないか点検し再度実施してください。 オートロードの際は定着器右カバーを閉めて下さい。
- ⑩ スタッカ部、搬送部の用紙の状態を確認します。

スタッカ部の確認

スタッカテーブルの上に用紙が正しく搬送され、スタッカ パネルの [オート] スイッチが点灯していることを確認し ます。





トラクタ部の用紙の張り確認

トラクタ部の用紙の状態を確認して、送り孔が上にめく れあがっているなど、穴ガレが発生していないことを確認 します。

穴ガレが発生している場合は「手順④」を参照して、 用紙の張りを調整します。



⑪ 装置右側面カバーを閉じます。

用紙切断時の注意

用紙終了前に用紙を途中で切断する場合は、トラクタ部の手前(ホッパ側)で行い、装置 右側面カバーを閉じて主操作パネルの [イジェクト] スイッチを押します。

印刷中の注意

印刷中は装置右側面カバーを開けないで下さい。用紙搬送が不安定になり正しい位置に 印刷されなくなる恐れがあります。

2.4. 用紙の取出し



20kg(用紙 3000 枚)以上の媒体を運ぶときは、必ず 2 人以上または運搬台車をお使いください。



・スタッカテーブルの上下動作中または、テーブルオート/ダウンスイッチ操作時はスタッカ内部に手を入れないでください。
・スタッカテーブルの下に手などを入れないでください。
怪我(指挟みなど)のおそれがあります。



装置内の安全スイッチには手をふれないでください。 プリンタ装置が急に作動状態となり、怪我(指挟みなど)の おそれがあります。 2.4.1. プリントされた用紙がすべてスタッカ部にある場合

ここでは、プリントされた用紙がすべてスタッカ部にある場合の、用紙の取り出しについて説明 します。

本装置では、「用紙エンド」を検出して「用紙排出」が行われた場合、用紙排出後スタッカテ ーブルが自動的に下降します。スタッカテーブルの動作中は、絶対にスタッカ内に手を入れな いでください。

- ① 装置左前カバーを開きます。
- スタッカテーブルの取っ手を持って、スタッカテーブルを 引き出し(①)、用紙を取り出します(②)。

スタッカテーブルを引き出す際は、必ずプリンタ装置が 停止した状態で行ってください。



③ スタッカテーブルを元に戻します。

スタッカテーブルを戻す際は、必ずプリンタ装置が停止 した状態で行ってください。



④ スタッカパネルの [オート] スイッチを押し、スタッカテー ブルを上げます。

スタッカテーブルの動作中は、絶対にスタッカ内に手を 入れないでください。



⑤ 装置左前カバーを閉じます。

2.4.2. 用紙を途中で切って取り出す場合

ここでは、用紙を途中で切って取り出す場合について説明します。

- 装置左前カバーを開きます。
 主操作パネルの [イジェクト] スイッチを押すと、指定 したページ分の空白ページを送ることができます。
- ② スタッカパネルの[ダウン]スイッチを押し(①)、スタッカ テーブルを 10 ~ 15cm 下げて(②)、[ストップ] スイッチを押します(③)。

スタッカテーブルの動作中は、絶対にスタッカ内に手を 入れないでください。





③ スタッカ部の底部に備え付けのペーパーナイフで用紙を 切ります。



④ スタッカテーブルの取っ手を持って、スタッカテーブルを引き出し(①)、用紙を取り出します(②)。

スタッカテーブルを引き出す際は、必ずプリンタ装置が 停止した状態で行ってください。



⑤ スタッカテーブルを元に戻します。

スタッカテーブルを戻す際は、必ずプリンタ装置が停止 した状態で行ってください。 スタッカに残っている用紙がテーブル上にあることを確認 してからスタッカテーブルを戻してください。



 ⑥ スタッカパネルの[オート]スイッチを押し、スタッカテーブル を上げます。

スタッカテーブルの動作中は、絶対にスタッカ内に手を 入れないでください。



⑦ スタッカテーブルが十分上方へ到達するように、テーブル
 上の用紙のフォーミングを調整します。

テーブル上昇時(①)、用紙が左右側にずれて (②)スタッカノットレディとなることがあります。(③の 部分で用紙がガイドに当たる) その場合は、スタッカテーブル停止後、用紙を元に戻し て、再度 [オート] スイッチを押してください。

⑧スタッカテーブルが停止し、スタッカパネルのオートランプが 点灯している事を確認して、装置左前カバーを閉じま す。

スタッカテーブル上昇時に、用紙が左右にずれて「スタッ カノットレディ」のエラーメッセージが表示される場合があ ります。この場合は、スタッカテーブル停止後、用紙の 位置を元に戻して、スタッカパネルの[オート]スイッチを 押してください。



2.5. 消耗品(消耗部品を含む)の交換

本装置の消耗品の交換時期は、パネルのメッセージエリアおよび表示・操作エリアのランプで表示されます。表示には、寿命が近づいた場合のニアライフ表示と、寿命であることを示す状態 表示があります。

各消耗品の状態表示と作業内容を以下に示します。

表 2-21 消耗品交换一覧表

消耗品	状態表示	作業内容
トナー	04	トナー補給とトナー回収ボトルの交換
脱煙フィルタ	0B	脱煙フィルタの交換
現像剤	06	現像剤の交換
クリーナユニット	0A	クリーナユニットの交換
オペレータ清掃	0F	帯電器部、搬送部、定着部、トナー補給部の
		清掃

(注1) ニアライフとは消耗品が寿命に近づいたことを意味します。

- (注 2) 消耗品がニアライフ状態でも印刷は継続して行うことができます。寿命になると印刷 を停止します。
- (1) ニアライフ表示時の処置方法

①「ストップ」スイッチを押し、装置をストップ状態にします。



図 2-120 ニアライフ発生時の基本タブ表示

②「セットアップ」タブを表示させます。

PS5110	PS5110B	🧊 一般ユーザ
🛄 題念 🎓 🕌 セットアップ 🛛 🌍 ユーザ設定 🔙 画面		1
用紙情報: 000: DEFAULT 変更		88
レイアウト情報: 000: DEFAULT 変更		<mark>消耗品</mark> データ リカバリ
動作モード: CHANNEL MODE NETWORK MODE	<u>垂直位置</u> <u>水平位置</u> 05 オーバレイ 08 濃度 L●●◎●● H	
ストップ 1個 HOST RECOVERY	ナーを補給して下さい。 国の消耗品があります。	
^⑭ ① 電 源 🔹 😰 イジェクト 🧭 リセッ	vh 🚺 スター	ト ()ストップ

図 2-121 基本タブ ストップ表示

③「セットアップ」タブの「消耗品」タブを表示させます。

PS5110	PS5110B	😭 一般ユーザ
●基本		
消耗品名 残量(%) 交換作業 ・ ・ 090 開始 ・ 切りーナコニット 097 開始 ・ クリーナコニット 009 開始 ・ オペレータ清掃 009 開始 氏量表示ランプ 残量表示ランプ 人	消耗品ログ ご期交換部品	富士通メインフレームに対して、消耗品 ログを採取するように通知するためのボタ ンです。 一連の交換操作完了後に 一度だけ押してください。
ストップ HOST RECOVERY ご トレング ************************************	•	スタート 🕢 ストップ

図 2-122 セットアップ消耗品タブ

残量表示ランプが緑で表示される消耗品は、残量が十分にあるものを意味します。 残量表示ランプが黄で表示される消耗品は、「ニアライフ」を意味します。 残量表示ランプが赤で表示される消耗品は、「寿命」を意味します。

 ※「消耗品ログ」ボタンは PS5110BK でチャネル接続機構のオプション (PS5110B10)装着時のみ表示されます。

④交換したい消耗品の「開始」ボタンを押します。これ以降の詳細な手順については、「2.5.1 項」以降を参照してください。



トナー/現像剤は安心してご使用戴くために、推奨使用期限を記載しております。現品をご確認ください。
 トナー/現像剤は、ご使用後不燃物として処理して戴く

か、お買い求めの販売店にご相談ください。

2.5.1. トナー補給

トナー補給は、主操作パネルに「ニアライフ」もしくは「トナーエンプティ」表示がされたときに 下記手順にて行ってください。表示がされていないときにトナー補給を行うと、トナー補給部 からトナーが溢れ、装置内部を汚す恐れがありますので、おやめください。

本トナーは、トナーの片寄りをなくすためご使用前によく振ってください。(5~10回)

```
    ▲警告
    ●トナーを目や口に入れないでください。
    トナーの交換時に手についたトナーは速やかに洗い落とし、
    目や口に入れないでください。トナーをこぼしたときなどにこの
    粉塵を長いあいだ多量に吸い込むと、肺に影響を及ぼすことがありますので、ご注意ください。また、このようなときには、
    速やかに医師に相談してください。
    ●使用済みのトナーおよびトナーカセットは絶対に火の中に入れないでください。
```

異臭が発生します。廃棄時には、不燃物の扱いにしてください。



印刷中には、中扉を開かないでください。

中扉を開くときは、印刷動作が停止していることを確認してくだ さい。





禁止

トナーカセットは必ず指定のトナーカセット(ラベルの色が 黒のもの)をご使用ください。 その他のトナーカセット(ラベルの色がエンジ等)をご使用 されますと、印字不良を起こすばかりでなく、装置の故障に つながる場合があります。 ニアライフ時
 印刷中、「トナーを補給して下さい。」が表示されたとき(ニアライフ時)には、
 下記手順でトナーの補給ができます。



(2) 状態表示"04"が表示されたとき、下記手順でトナー補給ができます。



- (3) トナー補給の交換作業トナー補給は、以下の手順で行います。
 - パネルの「トナー」に対応する「開始」ボタンを押します。
 「ニアライフ」、「劣化」状態の場合、「開始」ボタンは、 グレー色から通常色のボタンに変わり、ボタンが押せ

るようになっています。

- トナーの片寄りがなくなるように、トナーカセットを5 ~10回振ります。
- PS5110 F35110 ■ 2 + 2 = 1 = - 2 = - 2 = 消耗品名 残量(%) 交換作業 🖳 トナ 開始... **浦利品ログ** 090 開始... 🥒 現像剤 098 開始.. クリーナユニット 🎴 097 開始.. 2812888... (*) オペレータ清掃 🌙 008 開始... トナーを補給して下さい。 1個の消耗品があります。 ストップ OST RECOVERY 👤 イジェクト 📀 リセット スタート マストップ 電源









③ 装置右上カバー、左前カバーおよび右前カバーを開きます。
 トナーカセットをトナーホッパーにセットします。

・トナーカセットのセット方向に注意してください。

④ 手前側のレバーを持ち上げ、トナーカセットをロックします。

⑤ トナー補給部の蓋を手前に引き出します。

- ⑥ シールを手前に引き出し、取り外します。
 - ・シールはトナーカセットより完全に取り外し廃却し てください。
- ⑦ トナーカセット内のトナーがトナー補給部に十分に落 下した事を確認してから、トナー補給部の蓋を奥 側に突き当たるまで押し込みます。
- Ø



⑧ レバーを手前に引き下げ、トナーカセットのロックを解 ES





⑨ トナーカセットを取り出します。

除します。

10 中扉を開きます。

- ① トナー回収ボトルの上方を傾けて(①)、取り外し
 (②)、新しいトナー回収ボトルの下方を挿しこみ(③)、上方を起こして
 セットします(④)。
 - トナー回収ボトルを落とさないよう注意してください。
- 2 取り外したトナー回収ボトルの口に添付のキャップを はめ込んで廃棄します。
 - トナー回収ボトル内のトナーは、再使用しないでく ださい。



- ③ 中扉、装置右前カバー、左前カバーおよび右上カバ ーを閉じます。
- ④ パネルの[完了]ボタンを押して、次に[消耗品ログ] ボタン、[スタート]スイッチを順に押します。
 ※[消耗品ログ]ボタンはPS5110BKでチャネル接 続機構のオプション(PS5110B10)装着時の み表示されます。

本本 後のののの ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・・ ・・・・・・・・
一枚 用紙 レアト シスクト シスクト /消耗品名 発量(1) ジス付作業 レトナー 日の 用紙 レトナー 日の 用 絵 ご たなーク消除 日の 用 絵 1000 用 絵 日の ご たなーク消除 日の 用 絵
消耗品名 残量(1) 交換作業 トナー 1000 国際 一般語フィルタッ 1000 国際 一般語フィルタッ 1000 国際 グリナユニット 1000 国際 1000 国際 ロック ボオペレーク測測 1000 国際
・トナー 第一位 ● サイトク 1000 ● サイトクショント 1007 ● オペレーク測解● 1009 ● オペレーク測解● 1009
200 100 In In
20-51250 037 ▲ 3×40-2388 038 1008 18 th
ストップ
HOST RECOVERY
19① 電源 💆イジェクト 🧭 リセット 🕢 スタート 💓 ストップ

2.5.2. 脱煙フィルタの交換

(1) ニアライフ時

脱煙フィルタの交換表示がされたときには、下記手順で処理します。



(2) 状態表示"0B"が表示されたとき、下記手順で処理します。



- (3) 脱煙フィルタの交換作業脱煙フィルタの交換は、以下の手順で行います。
 - パネルの「脱煙フィルタ」に対応する「開始」ボタンを 押します。



 2 装置左前カバー、左上カバーを開きます。 フィルタ箱の蓋を開きます。



③ 中央部の穴に指を差し込み、脱煙フィルタを手前に 引き出します。

・交換作業は両手で行ってください。



- ④ 新しい脱煙フィルタを挿入します。
 - ・脱煙フィルタ外縁を持って挿入すると怪我をする 恐れがあります。
 - ・挿入するときは、脱煙フィルタ端面の パッキン部にて行ってください。



⑤ フィルタ箱の蓋を閉じます。
 装置左上カバー、左前カバーを閉じます。



⑥ パネルの[完了]ボタンを押して、次に[消耗品ログ]
 ボタン、[スタート]スイッチを順に押します。
 ※[消耗品ログ]ボタンは PS5110BK でチャネル接
 続機構のオプション(PS5110B10) 装着時のみ
 表示されます。

PS5110 基本 協会	👼 🛛 🎇 1-4	192 🖂 🖬 1	5 PS5111	08	₩ -₩2-9
	レイアንト 残量 (%) 「100 098 097 009	リカバリ 夏 交換作業 開始 開始 開始 開始 開始 開始 開始			
HOST RECOVERY	ストッ NETWORI	プ K MODE クト 🕢 リ	セット	الم الم	ر ۲ ۲ ۲ ۲

2.5.3. 現像剤の交換



- ●現像剤を目や口に入れないでください。
 現像剤の交換時に手についた現像剤は速やかに洗い落とし、目や口に入れないでください。また、あやまって口に入れてしまったときには、速やかに医師に相談してください。
- ●使用済みのトナー、トナーカセット、および回収ボトルは絶対 に火の中に入れないでください。
 異臭が発生します。廃棄時には、不燃物の扱いにしてください。

印刷中には、中扉を開けないでください。



中扉を開けるときは、印刷動作が停止していることを確認して ください。



現像剤は必ず指定の現像剤(ラベルの色が黒のもの)を ご使用ください。

その他の現像剤(ラベルの色がエンジ等)をご使用されます と、印字不良を起こすばかりでなく、装置の故障につながる場 合があります。

(1) ニアライフ時

現像剤の交換表示がされたときには、下記手順で処理します。





(2) 状態表示"06"が表示されたとき、下記手順で処理します。

- (3) 現像剤の交換作業 現像剤の交換は、以下の手順で行います。
 - パネルの「現像剤」に対応する「開始」ボタンを押します。



- 2 右記確認メッセージ画面が表示され、「はい」ボタン を押すと、現像剤交換を開始します。
 「いいえ」ボタンを押すと、現像剤交換は行わず、① セットアップ消耗品タブ画面に戻ります。
- ③ 装置左前カバー、右前カバーおよび中扉を開きます。 スタッカ部の底部に備え付けの回収カートリッジ (空の現像剤カートリッジ)を取り出し(①)、カ ートリッジキャップを取り外します(②)。
- ④ 回収カートリッジ支持金具を引き出し(①)、前項の回収カートリッジをセットします(②)。







- ⑤ ホースを上に向け、キャップを外しホースを回収カートリッジに挿入します。
 - ・ホースを下に向けてキャップを外すと、現像剤がこ ぼれる恐れがあります。
- ⑥ ロックレバーを下げてロックを解除し(①)、現像剤
 排出レバーを手前に下げてオープン位置にします
 (②)。
 - ・回収カートリッジのセットと排出ホースの挿入を再 度確認し、作業を続けてください。



現像剤の交換

現像剤を排出します。 (約3分で終了します。)

・回収カートリッジ・排出ホース・ 現像剤排出レバーが正しい状態であ ることを確認し、排出完了を待って ください。

- ⑦ 現像剤を排出します。(約3分で終了します。)
 - ・回収カートリッジ・排出ホース・現像剤排出レバー が正しい状態であることを確認し、排出完了を 待ってください。
- ⑧ 現像剤排出レバーを上げて、セット位置に戻し
 (①)、現像剤排出レバーがロックされた(②)
 ことを確認します。



 ・ホースを回収カートリッジから取り外し、上を向けてキャップで蓋をして収納します。



- ⑩ 回収カートリッジにカートリッジキャップをした後
 (①)、取り外し(②)、支持金具を収納します
 (③)。
 - ・取り外した回収カートリッジ(現像剤)は不燃物 として処理してください。



現像器の空カートリッジの取手を少し持ち
 上げ(①)、5 cm ほど手前に引き出します
 (②)。



② 黒ラベルの新現像剤カートリッジの蓋を取り外し
 (①)、厚紙を破らないように取り出します
 (②)。

取り出した厚紙を現像器の空カートリッジの溝に挿 入します(③)。

空カートリッジを引き出したまま、作業を続けてください。





13 空カートリッジを現像器から取り出します。



④ 黒ラベルの新現像剤カートリッジのシール
 の矢印ラベル部を剥がし(①)、折り返します
 (②)。

黒ラベルの新現像剤カートリッジを現像器に挿入し ます(③)。



- ⑤ 新現像剤カートリッジを押さえてシールを引き出し、 取り外します。 なお、カートリッジはそのまま現像器に残してください。
 - ・シールはカートリッジより完全に取り外し廃却してく ださい。
- ⑤ 現像器より取り外した空カートリッジに蓋をしてスタッ カ部の底部に収納します。
 - ・次回の現像剤交換時に回収カートリッジとして使 用します。
- ① 中扉、装置右前カバー、および左前カバーを閉じます。
- 18 パネルの[完了]ボタンを押して、次に[消耗品ログ] ボタン、[スタート]スイッチを順に押します。
 ※[消耗品ログ]ボタンはPS5110BKでチャネル接 続機構のオプション(PS5110B10)装着時の み表示されます。





PS5110		PS5110B	🌍 一般ユーザ
*** &000000	🧖 ユーザ設定 🔄 画目	5	
	1470F 🖉 V#/(V 🖳	E JEF	
消耗品名	残量(%) 交換作業		
.및 トナー 🎴	開始	消耗品ログ	
一一一般型フィルタ	090 開始		
	097 网始		
🍋 オペレータ清掃 🥥	009 M ±	Carl State	
<mark>ح ح</mark>	トップ		
HOST RECOVERY	IETWORK MODE		
⁹ ① 電 源	🛃 イジェクト 🕢 リ	セット 🔿 スタ	- h 🗑 ストップ

2.5.4. クリーナユニットの交換

(1) ニアライフ時

クリーナユニットの交換表示がされたときには、下記手順で処理します。





(2) 状態表示"0A"が表示されたとき、下記手順で処理します。

(3) クリーナユニットの交換作業 クリーナユニットの交換は、以下の手順で行います。

🔮 一般ユーザ

取手

098

ストップ HOST RECOVERY 地語 NETWORK MODE

残量(X) 交換作業 開始...

開始...

開始...

開始...

開始...

👤 イジェクト 🥑 リセット

消耗品ログ

6 F

消耗品名

🥒 現像剤

①電源

◎脱煙フィルタ 🌖 090

-097

🍋 オペレータ清掃 🌖 🛛 009

//

キャップ

 パネルの「クリーナユニット」に対応する 「開始」ボタンを押します。

- ② 装置左前カバー、右前カバーを開きます。中扉を開き(①)、トナー回収ボトルの上方を傾けて
 (②)、取り外します(③)。
 - トナー回収ボトルを落とさないように注意してください。
- クリーナユニットの取手部にあるキャップを 取り外し、トナー排出口に差し込みます。

④ クリーナユニットの取手部に指を差し込み、手前にゆっくりと引き出します。

・交換作業は両手で行ってください。 ・感光ドラムを傷つけないように注意してください。

- ⑤ 新しいクリーナユニットをレールに沿って押し込みま す。
 - ・感光ドラムを傷つけないように注意してください。
 ・クリーナブレードに塗布してあるカイナ(白い粉)
 を拭わないでください。

⑥ クリーナユニットのトナー排出口の キャップを取り外し、取手の穴に差し込みます。



- ⑦ トナー回収ボトルの下方を挿しこみ(①)、上方を 起こしてセットします(②)。
 中扉を閉じます(③)。
 - ・トナー回収ボトルを落とさないように注意してください。
- ⑧ 装置右前カバー、左前カバーを閉じます。
- ⑨ パネルの[完了]ボタンを押して、次に[消耗品ログ]
 ボタン、[スタート]スイッチを順に押します。
 ※[消耗品ログ]ボタンはPS5110BKでチャネル接
 続機構のオプション(PS5110B10)装着時の
 み表示されます。

😂 PS5110				PS5110	3	🌍 一般ユーザ
基本	1 201800	🎇 ユーザ酸定	🔄 画面			
-10	用紙	1479F 95	(1)			
消耗品名		残量(%) 交排	新作業			
.및 トナー	٩	R	始	浦耗品ログ	n	
一般語フィ	ィルタ 🍳	090	始	E B		
🥩 現像剤	۹	098	始			
	-==>> 🌖	100	始	*BOBRE		
A. オペレ·	ータ清掃 🌏	009	始)	2 m (m)		
				<u>e</u> , , ,)	
	-	L*				
	~	ר יי ז				
HOST RECOVERY	N 1	ETWORK M	ODE			
⁹ ① 電 源		ミ イジェクト	🥑 J セ	ット	<u>م</u>	() ストップ

2.5.5. オペレータ清掃

オペレータ清掃では、清掃時に以下のような用具、用品が必要です。

- ・ポリエチレン手袋
- ·清掃用不織布
- ·真空掃除機

・スクレーパ

オペレータ清掃では、以下の清掃を行います。

- ・帯電器部(前帯電器、転写帯電器)の清掃
- ・搬送部(トラクタ部、転写部)、光電センサ部(用紙センサ)の清掃
- ・定着部の清掃
- ・トナー補給部・トナー回収ボトル付近の清掃
- (1) ニアライフ時

オペレータ清掃の交換表示がされたときには、下記手順で処理します。





(2) 状態表示"OF"が表示されたとき、下記手順で処理します。

(3) オペレータ清掃の作業 オペレータ清掃は、以下の手順で行います。

パネルの「オペレータ清掃」に対応する「開始」ボタン を押します。

PS5110		PS5110B	🌍 一般ユーザ
	🎇 ユーザ設定 🔄 画面		
	v179F 🚝 U.h.(U 🖳	1166 🔚 JEF	
消耗品名	残量(%) 交換作業		
.및 トナー 🎴	開始	消耗品ログ	
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	090 開始		
	098 開始		
ティンティンティータ清掃	009 网始	定期交換部品	
	トップ		
HOST RECOVERY	ETWORK MODE		
⁰ ① 電 源	👤 イジェクト 🕢 リセ	: ット () スタ	- ト () ストップ

【帯電器部(前帯電器、転写帯電器)の清掃】 ① 装置左前カバー、右前カバー、および中扉を 開きます。



- ② 前帯電器の取手を持ち、前後に4~5回抜き差し して清掃します。
 - ・前帯電器の抜き差しの操作力は、清掃を確実に 行うため大きめに設定されています。
 - ・装置から約500mm手前に出てきます。 帯電線、シールドケースに付いているトナーなどの 汚れを清掃用不織布で拭き取るときは、線を切 らないよう注意してください。
- ③ 清掃後、前帯電器を装置に確実にセットしてください。



④ 搬送レバーを手前に起こし(①)、反時計方向に
 ゆっくりと倒して(②)、搬送ユニットを下げます。

⑤ 転写帯電器をゆっくりと引き出して取り外します。



- ⑥ 転写帯電器裏側のクリーナの取手を持ち、4~5回
 往復させて清掃します。
 帯電線、シールドケースに付いているトナーなどの汚れを清掃用不織布で拭き取るときは、線を切らないよう注意してください。
- ⑦ 清掃後、転写帯電器をレールに沿って押し込みます。


【搬送部(トラクタ部、転写部)、光電センサ部(用紙センサ)の清掃】

- 転写部の用紙ガイド付近に付いたトナー・紙 粉を清掃用不織布で拭き取ります。 真空掃除機が設置してある場合は、真空掃除機 で汚れを吸い取ります。 真空掃除機を使用する場合は、ノズルの先端がド ラムユニットに触れないようにしてください。ドラムユニ ットが損傷するおそれがあります。
- ② 装置右側面カバーを開きます。
 トラクタ部の紙粉などを清掃用不織布で拭き取ります。
 真空掃除機が設置してある場合は、真空掃除機
- ③ トラクタ部にある用紙センサの汚れを清掃用不織布 で拭き取ります。

で汚れを吸い取ります。

④ 搬送レバーを時計方向にゆっくり回し(①)、レバーを倒して(②)、搬送ユニットをセットします。









【定着部の清掃】

① 定着部右カバーを開きます。

- ② 定着部の緑色ランプの点灯を確認したら、ロックレバーを時計方向に回し(①)、レバーにて定着器を 開きます(②)。
 - ・定着器は、プリンタの電源をオフにすると開かなくなります。

・定着器は、必ずランプの点灯を確認してから操作 してください。

③ ガラス面に付着しているトナーを、スクレーパ(添付品)で清掃し、清掃用不織布でふき取ります。汚れがひどく、清掃しても取れないような場合は、弊社の保守技術員にご連絡ください。

脱煙スリットを清掃用不織布でふき取ります。汚れ がひどく、清掃しても取れないような場合は、弊社の 保守技術員にご連絡ください。

搬送路の汚れを清掃用不織布でふき取ります。真空掃除機が設置してある場合は、真空掃除機で 汚れを吸い取ります。

④ 定着器をゆっくり元に戻し(①)、ロックレバーを反時計方向に回転して定着器をロックします(②)。









⑤ 定着部右カバーを閉じます。



- 【トナー補給部・トナー回収ボトル付近の清掃】
- ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・
- トナー回収ボトルの上方を傾けて(1)、
 取り外します(2)。
 - トナー回収ボトルを落とさないように注意してください。
- クリーナユニットの取手部にあるキャップを 取り外し、トナー排出口に差し込みます。

清掃中にトナーがこぼれ落ちる場合があります。 必ずキャップをしてください。

 トナー回収ボトル付近の汚れを清掃用不織布 で拭き取ります。

真空掃除機が設置してある場合は、真空掃除機 で汚れを吸い取ります。

⑤ クリーナユニットのトナー排出口のキャップ を取り外し、取手の穴に差し込みます。









- ⑥ トナー回収ボトルの下方を挿しこみ(①)、上方を起こしてセットします(②)。
 - トナー回収ボトルを落とさないように注意してください。
- ⑦ 中扉を閉じます。清掃のために開いた各カバーを閉じます。





 ⑧ パネルの[完了]ボタンを押して、次に[消耗品ログ] ボタン、[スタート]スイッチを順に押します。
 ※[消耗品ログ]ボタンはPS5110BKでチャネル接 続機構のオプション(PS5110B10)装着時の み表示されます。

PS5110		PS51108	🌍 一般ユーザ
# * @00799	🎇 ユーザ設定 🔄 画目	6	
	14791 🚰 13/19 👱	SOS I F	
消耗品名	残量(%) 交換作業		
🖳 トナー 🌏	開始	消耗品ログ	
一税提フィルタ ()	090 M 始		
	097 网始…		
🍋 オペレータ清掃 🍳	100 開始	2#X####	
<mark>ح ح</mark>	トップ		
HOST RECOVERY	IETWORK MODE		
⁸ ① 電 源	🛃 1ジェクト 📀 リ	セット 🔷 🏷	スタート () ストップ

2.5.6. 感光ドラムの交換

(1) ニアライフ時(記載内容はオペパネ表示と異なります。) 印刷モードで「まもなく感光ドラム劣化」と表示されたとき、すみやかに保守技術員に連絡して感光ドラムを交換してください。感光ドラム寿命となると印刷できなくなります。

2.6. 感光ドラムの取扱い

感光ドラムを取り扱う場合や保管しておく場合、特に次の点に注意する必要があります。 (1)感光ドラム表面には絶対に素手で触らないでください。

(2)火気および酸・アルカリ・金属蒸気などの影響を受ける環境の元に置かないでください。

(3)野外に放置しないでください。

また、感光ドラム周辺の部品(例えば、クリーナユニット)を着脱するときや、前帯電器の清 掃時は、感光ドラムに傷をつけないように注意してください。

なお、感光ドラムはアルミ管にアモルファスシリコンを蒸着したものです。

2.7. 印字品質の調整方法

印字品質の調整は、以下の処理フローに従って処理します。

2.7.1. 印字濃度不足

印字濃度不足が生じたときの処理を図 2-123 に示します。



図 2-123 印字濃度不足が生じたときの処理

2.7.2. 地汚れ (かぶり)

地汚れとは、印刷面全体あるいは部分的にトナーのチリが発生することです。地汚れが発生したときの処理を図 2-124 に示します。



2.7.3. 印字抜け

印字抜けが生じたときの処理を図 2-125 に示します。(ミミズ状の抜け、縦筋状の抜け)



図 2-125 印字抜けが生じたときの処理

2.7.4. 印刷むら(印刷濃度のむら)

印刷むらが生じたときの処理を図 2-126 に示します。



図 2-126 印刷むらが生じたときの処理

2.7.5. 印字ぼけ(印字不鮮明)

印字ぼけとは印字の輪郭が不鮮明になることです。印字ぼけが発生したときの処理を 図 2-127 に示します。



図 2-127 印字ぼけが生じたときの処理

2.7.6. 定着むら

定着むらが生じたときの処理を図 2-128 に示します。



- 図 2-128 定着むらが生じたときの処理
- 2.7.7. 像の乱れ(伸び・縮み・重ね印字・ずれ)

像の乱れが生じたときの処理を図 2-129 に示します。



図 2-129 像の乱れが生じたときの処理

2.7.8. 電源投入時の印刷品質不良

本装置の電源入力ラインを切断して長時間経過後、電源投入時に印刷不良が起こった 場合は、多湿環境になっていることがよくあります。 装置を設置環境になじませた後で印刷を行うようにしてください。

2.7.9. その他

湿度が高いとき室内温度を急に低下させると、装置が結露して印刷が不鮮明になったり、 用紙づまりが発生しやすくなるので注意してください。

2.8. 異常時の処置

本装置は、異常で停止した場合、主操作パネルに「状態表示」と「メッセージ表示」を行いま す。この内容に従って適切な処置をとる必要があります。状態表示は 2 桁で表わし、上位桁 はエラー発生原因の機構を示し、下位桁は詳細原因を示します。上位桁の内容を表 2-22に示します。

表 2-22 「状態表示」の上位桁の内容

表示	エラー 発 生 原 因 の 機 構
0x	定常状態
1x	紙送り、転写機構エラー
2x	定着機構エラー
3x	スタッカエラー/後処理部エラー
5x	フォームオーバレイデータ処理エラー
6x	ドラム、プロセス機能エラー
7x	光学系エラー
8x	制御部エラー、インターフェースボード異常
9x	帯電器、電源部エラー
Ax	ヒューズ断、ファンサーマルアラーム
Cx	インターフェースボード異常

2.8.1. 主操作パネルの表示と復旧手順

操作パネルの表示レイアウトを図 2-130 に、状態表示、メッセージ表示に対応する 復旧手順を表 2-23~表 2-32 に示します。

再スタート手順については、「2.8.2 再スタート手順」を参照してください。



図 2-130 主操作パネルの表示レイアウト

電源投入後、プリンタ準備中のとき、下記ポップアップメッセージが表示された場合、保守 サービス担当者にご連絡願います。

ポップアップメッセージ:

「チャネル接続機構と接続ができません。

電源切断し接続を確認してください。」

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処 置
-			スタート	印刷が可能な状 態を示します。	
	(注1)	上位装置電源断	スタート	富士通メインフレ ームの電源が投 入されていない か、またはケーブ ルが接続されてい ません。	富士通メインフレームの 電源を投入するか、また はケーブルを接続します。
		データエラー=XX 66XX モードの場合 XX: エラーコード 12: SAオーダーエラー 13: SLD オーダーエラー 14: オーダーインバリッド 17: フオームズ・オーバレイ バッファなし 18: フオームズ・オーバレイ パターンなし 1A: フォームズ・オーバレイ ゴピーシーケンスエ フー 1D: 印刷モード指定ミシノ縮尺モードエラー /MPL・TM指定Iラー 1E: フオームズ・オーバレイ リレイズエラー 23: コマンドシーケンスエラー 25: 文字セット ND エラー 26: 文字セット 未定義 2A: 文字ローディングタイムアウト 2B: OVL ローディングタイムアウト 33: 34: 35: 37: キャラクタ関連コード 38: 3A, 3B 40: 44: 45: 46: 47: グラフィック関連コード 48: 49: 4A, 4B: 4C、 40: 44: 45: 51 60: 64: 65: 66: 67: イメージ関連コード 68: 69: 6A: 68: 6C、 6D: 6E 82: 84: 85: 86: 87: フォームオーバレイ関 連コード 88: 89: 84: 85: 86: 87: フォームコーレール 88: 89: 84: 85: 7オームコントロール 73: 32: 73: 54: 73	スタート	印刷データに異常があります。	[ストップ]、 [リセット] スイッチを押 します。
	(注 <mark>2</mark>)	リクエ人タ接続个可	<i>29</i> -۲	リクエスタサーバと の接続ができなか ったため、資源の ダウンロードに失 敗しました。	リクエスタサーバの電源を 投入するか、または LAN ケーブルを接続します。そ の後、プリンタ装置を再 起動します。 復旧しない場合は、 [セットアップ] – [FNP] タブにて、ネ ットワークアドレス設定 や、論理プリンタの設定を 確認します。

表 2-23 "0x" (続く)

(注1) PS5110BK でチャネル接続機構オプション (PS5110B10) 搭載時のみ発生

(注 2) 66XX モードの場合のみ発生

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
-	(注3)	SNDCG未受信	スタート	SNDCG 未受信 を表します。	装置に SNDCG を行う。
	(注3)	SNDCG受信中	スタート	SNDCG 受信中 を表します。	
	(注 3)	SNDCG受信電源再投入	スタート	SNDCG 受信終 了を表します。	電源再投入により受信 済みCGが利用可能とな る。
			印刷中	印刷中を表しま す。	
PL		$\rightarrow \rightarrow \rightarrow \rightarrow \rightarrow \rightarrow$	プリンタ 準備中	電源投入後、初 期状態から印刷 可能状態までの 経過期間を表わ します。	スタート状態になるまで 待ちます。
	(注 4)	6 6 X Xの資源□−ド中	プリンタ 準備中	リクエスタサーバか ら、66XX 用文 字資源をダウンロ ードしています。	スタート状態になるまで 待ちます。
00			ストップ	主操作パネルの [ストップ] スイッ チが押されまし た。	主操作パネルの [スタート]スイッチを押 します。
		印刷データが残っています。	ストップ	印刷データがプリ ンタ内に残ってい ることを表します。	
		トナーを補給して下さい。	ストップ	トナーが残り少な くなったことを表し ます。	トナーを補給します。
		トナーを補給して下さい。 N個の消耗品があります。	ストップ	トナーが残り少な くなったことを表し ます。また、N 個 の消耗品の交換 が必要なことを表 します。	トナーを補給します。 消耗品タブを確認して 該当する消耗品を交換 します。

表 2-23 "0x"(続く)

(注3) 69XX モードの場合のみ発生

(注 4) 66XX 用論理プリンタのサポートサーバ設定が、「PrintWalker/PM」または「lpd」の場合 に表示されます。

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処 置
01	ER01-01	◇ペーパーエンド◇ 用紙を補給して下さい。	I7-	印刷すべき用紙 が終了しました。	主操作パネルの [イジェクト] スイッチを 押し、用紙をスタッカに排 出します。 その後、新しい用紙を セットし、主操作パネルの [スタート] スイッチを押 します。
	ER01-02	◇用紙コード指定◇ 用紙コード XXXX が指定されまし た。	I7-	用紙コード XXXX が指定さ れました。	主操作パネルの [イジェクト] スイッチを 押し、用紙をスタッカに排 出します。 その後、指定された用紙 をセットし、主操作パネル の[スタート] スイッチを 押します。
02	ER02-01	◇スタッカフル◇ スタッカ内の用紙を取り出して オートにして下さい。	エラー	スタッカテーブル上 の収容枚数が規 定量になりまし た。	スタッカテーブル上の用紙 を取り出し、テーブルスイッ チのオートを押します。そ の後主操作パネルの [スタート] スイッチを押 します。
04	ER04-01	◇トナーエンプティ◇ 消耗品タブ画面の開始ボタンを 押し、交換操作を行って下さい。	I7-	トナーホッパ内の トナーが少なくな りました。	パネルの消耗品タブの [開始] ボタンを押し、 画面表示に従ってトナー 補給およびトナー回収ボ トル交換を行います。 その後、主操作パネルの [スタート] スイッチを押 します。
05	ER05-02	◇トナー回収ボトル未装着◇ トナー回収ボトルを装着して下さ い。	エラー	トナー回収ボトル が、 適当な位置 にセットされていま せんでした。	トナー回収ボトルの位置 を確認し、再セットしま す。その後、主操作パネ ルの [スタート] スイッチ を押します。
	ER05-03	◇トナーカセット未交換◇ トナーカセットを装着し、トナー 補給を行って下さい。	I7-	トナーエンプティに よるトナー回収ボ トル交換時にトナ ー補給を行わず に [スタート] ス イッチが押されまし た。	パネルの消耗品タブの [開始] ボタンを押し、 画面表示に従ってトナー を補給します。その後、主 操作パネルの [スタート] スイッチを押 します。
	ER05-04	◇トナー回収ボトル未交換◇ トナー回収ボトルを交換して下さ い。	I9-	トナーエンプティに よるトナー補給時 にトナー回収ボト ルの交換を行わ ずに [スタート] スイッチが押され ました。	パネルの消耗品タブの [開始] ボタンを押し、 画面表示に従ってトナー 回収ボトルを交換しま す。その後、主操作パネ ルの [スタート] スイッチ を押します。

表 2-23 "0x"(続<)

表 2-23 "0x"(続く)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処 置
05	ER05-05	◇トナー補給部オープン◇ トナー補給部蓋を閉じて下さい。	I7-	トナー補給部の 蓋が開いていま す。	トナー補給部の蓋を閉じ ます。その後、主操作パ ネルの [リセット] スイッ チを押して [スタート] ス イッチを押します。
06	ER06-01	◇現像剤劣化◇ 消耗品タブ画面の開始ボタンを押し、交換操作を行って下さい。	<u>Т</u> Ӭ-	現像剤が交換時 期になりました。	パネルの消耗品タブの [開始] ボタンを押し、 画面表示に従って現像 剤を交換します。その 後、主操作パネルの[ス タート] スイッチを押しま す。
07	ER07-01	 ◇搬送部オープン◇ 搬送レバーを持ち上げてセットして 下さい。 	I7-	主操作パネルの [スタート] スイ ッチを押したとき、 用紙搬送部が正 規位置にセットさ れていませんでし た。	用紙搬送部をセットして 主操作パネルの [スタート]スイッチを押 します。
	ER07-02	 ◇搬送部オープン◇ 搬送レバーを持ち上げてセットして 下さい。 	I9-	印刷中に用紙搬 送部が外れまし た。	用紙搬送部をセットしま す。その後、主操パネル の [リセット] スイッチを 押して用紙を正規の位 置に合わせ、 [スタート] スイッチを押 します。(注)
08	ER08-01	◇スカッフローラレバーリリース◇ レバーをオペレーションの位置にセッ トして下さい。	I7-	スカッフローラ切り 替えレバーがオペ レーションの位置 にありませんでし た。	スカッフローラ切り替えレ バーをオペレーションの位 置にして、主操作パネル の [スタート] スイッチを 押します。
	ER08-02	◇定着器オープン◇ 定着器を閉じて下さい。	エラー	定着器が閉じて いません。	定着器を閉じて、主操作 パネルの [スタート] スイ ッチを押します。
	ER08-03	◇定着器オープン◇ 定着器を閉じて下さい。	I7-	印刷中に定着器 が開きました。	定着器を閉じます。主操 作パネルの [リセット] ス イッチを押して用紙を正 規の位置に合わせ、 [スタート] スイッチを押 します。(注)
	ER08-06	◇用紙ガイドオープン◇ 用紙ガイドを閉じて下さい。	エラー	用紙ガイドカバー が閉じていませ ん。	用紙ガイドカバーを閉じ、 主操作パネルの [スタート]スイッチを押 します。

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処 置
08	ER08-07	◇スカッフローラレバーリリース◇ レバーをオペレーションの位置にセッ トして下さい。	IƏ-	印刷中にスカッフ ローラ切り替えレ バーがオペレーシ ョンの位置から外 れました。	スカッフローラ切り替えレバ ーをオペレーションの位置に します。主操作パネルの [リセット] スイッチを押し て用紙を正規の位置に合 わせ、[スタート] スイッチ を押します。(注)
	ER08-08	◇用紙ガイドオープン◇ 用紙ガイドを閉じて下さい。	I7-	印刷中に用紙ガ イドカバーが開き ました。	用紙ガイドカバーを閉じま す。主操作パネルの[リセ ット]スイッチを押して用紙 を正規の位置に合わせ、 [スタート]スイッチを押し ます。(注)
09	ER09-01	◇スタッカノットレディ◇ スタッカスイッチをオートにして下さ い。	エラー	スタッカのテーブル がオートの位置に ありません。	スタッカパネルのオートスイッ チを押します。主操作パネ ルの [スタート] スイッチを 押します。
	ER09-02	◇スタッカノットレディ◇ スタッカテーブルを押し込んで オートにして下さい。	I7-	スタッカのテーブル が引き出されてい ます。	スタッカテーブルを正規の位 置まで押し込みます。スタ ッカパネルのオートスイッチ を押します。その後、主操 作パネルの [スタート] ス イッチを押します。
0A	ER0A-01	◇クリーナユニット未装着◇ クリーナユニットを装着して下さい。	エラー	クリーナユニットが 装着されていま せん。	クリーナユニットを装着し、 主操作パネルの [スタート]スイッチを押し ます。
	ER0A-02	◇クリーナユニット劣化◇ 消耗品タブ画面の開始ボタンを 押し、交換操作を行って下さい。	I7-	クリーナユニットが 交換時期になり ました。	パネルの消耗品タブの [開始] ボタンを押し、画 面表示に従ってクリーナユ ニットを交換します。その 後、主操作パネルの [スタート] スイッチを押し ます。
OB	ER0B-01	◇脱煙フィルタ劣化◇ 消耗品タブ画面の開始ボタンを 押し、交換操作を行って下さい。	IJ-	脱煙フィルタが交 換時期になりまし た。	パネルの消耗品タブの [開始] ボタンを押し、 画面表示に従って脱煙フィ ルタを交換します。その 後、主操作パネルの [スタート] スイッチを押し ます。

表 2-23 "0x"(続<)

表 2-23 "0x"(続〈)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
0C	ER0C-01	◇現像器ノットレディ◇ レバーを回し、現像器をセットして 下さい。	I7-	現像器が正規の 位置にセットされ ていません。	現像器ユニットを正規の 位置にセットします。その 後、主操作パネルの [ス タート] スイッチを押しま す。
	ER0C-02	◇現像器ノットレディ◇ レバーを回し、現像器をセットして 下さい。	I7-	印刷中に現像器 が外れました。	現像器ユニットを正規の 位置にセットします。その 後、主操作パネルの [リ セット] スイッチを押して、 用紙を正規の位置に合 わせ、 [スタート] スイッ チを押します。(注)
	ER0C-04	◇現像剤排出ロオープン◇ 現像剤排出レバーを押し上げて 排出口を閉じて下さい。	エラー	現像剤排出口が 閉じていません。	レバーをセットします。その 後、主操作パネルの [スタート]スイッチを押 します。
	ER0C-06	◇現像剤カートリッジ未装着◇ 現像剤カートリッジを装着して下さ い。	I7-	黒ラベルの現像 剤カートリッジがセ ットされていませ ん。	黒ラベルの現像剤カート リッジをセットします。その 後、主操作パネルの [リセット] スイッチを押 して、 [スタート] スイッ チを押します。
	ER0C-07	◇回収キャリア容器未装着◇ 回収キャリア容器をセットして下さい。	エラー	回収カートリッジ 容器が装着され ていません。	回収カートリッジ容器を 装着し、主操作パネルの [スタート] スイッチを押 します。
0D	ER0D-04	◇用紙パスノットレディ◇ 用紙を再セットして下さい。	エラー	用紙がスタッカテ ーブルまで装着さ れていません。	用紙をセットし、用紙ロー ドスイッチを押します。その 後、主操作パネルの [スタート] スイッチを押 します。
	ER0D-08	◇用紙パスノットレディ◇ オートロードを行う場合は用紙を 取り除いて下さい。	エラー	すでに用紙が装 着されているのに ロードスイッチが押 されました。	用紙を取り除いて再セッ トするか、または、前進/ 後退スイッチを押して用 紙を正規の位置に合わ
	ER0D-09	◇山谷未確認◇ 山谷を選択してスイッチを押して下 さい。	I7-	用紙づまりなどの 発生後に山谷セ ットスイッチが押さ れませんでした。	せます。その後、山谷スイ ッチを選択して、主操作 パネルの [スタート] スイ ッチを押します。
	ER0D-0A	◇右カバーオープン◇ 右カバーを閉じて下さい。	エラー	装置右側面カバ ーが閉じていませ ん。	右カバーを閉じて、主操 作パネルの [スタート] スイッチを押します。
	ER0D-70	◇定着部用紙チェック◇ 定着器を開閉して残紙片が無いこ とを確認して下さい。リセットボタンを 押して下さい。	エラー	定着部の残紙片 を確認する必要 があります。	定着部を開いて残紙片 が無いことを確認して下さ い。その後、主操作パネ ルの [リセット] スイッチ を押します。
	ER0D-71	◇転写部用紙チェック◇ 中扉と搬送ユニットを開き、転写部 に残紙片が無いことを確認して下さい。	I7-	転写部の残紙片 を確認する必要 があります。	中扉と搬送ユニットを開き、転写部に残紙片が 無いことを確認して下さい。その後、主操作パネ ルの [リセット] スイッチを 押します。

表 2-23 "0x"(続き)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
OF	EROF-OA	◇オペレータ清掃◇ 消耗品タブ画面の開始ボタンを押 し、交換操作を行って下さい。	I7-	前帯電器、転写 帯電器の清掃お よび装置の紙粉 清掃周期になり ました。	パネルの消耗品タブの [開始] ボタンを押し、 画面表示に従って清掃 を行います。その後、主 操作パネルの [スタート] スイッチを押 します。

(注)リカバリランプが点灯した場合は、ジョブを再スタート後、主操作パネルの [リセット]

スイッチを押して、用紙を正規の位置に合わせ、副操作パネルの山谷選択スイッチを押して、 [スタート] スイッチを押します。

表 2-24 "1x"

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
17	ER17-14	◇装置エラー◇ 担当CEにご連絡下さい。	エラー	転写ガイドモータ のヒューズが切れ ました。	電源を切断し、保守技 術員に連絡してください。
18	ER18-10	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	エラー	転写ガイドが分 離位置にありませ ん。	リカバリランプが点灯のと き、ジョブを再スタート後、 主操作パネルの
19	ER19-11	 ◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。 	I7-	転写ガイドが密着位置にありません。	[リセット] スイッチを押 して用紙を正規の位置に 合わせ、副操作パネルの 山谷選択スイッチを押し て、[スタート] スイッチ を押します。 リカバリランプが未点灯の とき、印刷状態、用紙の 位置を確認して、正常で あれば、主操作パネルの [リセット] 、 [スタート] スイッチを押 します。 再発生する場合は、保 守技術員に連絡してくだ さい。
1B	ER1B-06	◇装置エラー◇ 担当CEにご連絡下さい。	エラー	紙送りモータのヒ ューズが切れまし た。	電源を切断し、保守技 術員に連絡してください。
1C	ER1C-02	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	IJ-	紙送りモータの正 転定常時に速度 異常が発生しま した。	リカバリランプが点灯のと き、ジョブを再スタート後、 主操作パネルの [リセット]スイッチを押
1D	ER1D-05	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	I7-	紙送りを停止した とき、規定の位置 に停止しませんで した。	して用紙を正規の位置に 合わせ、副操作パネルの 山谷選択スイッチを押し て、[スタート] スイッチ を押します。 リカバリランプが未点灯の とき、印刷状態、用紙の 位置を確認して、正常で あれば、主操作パネルの [リセット] 、 [スタート] スイッチを押 します。 再発生する場合は、保 守技術員に連絡してくだ さい。

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処 置
20	ER20-01	◇用紙づまり◇ 装置内に残紙片が無いことを確認 し、用紙のミシン目を合わせて山谷 を確認、選択してください。	エラー	印刷中に用紙が 切れたか、または 用紙がつまりまし た。	リカバリランプが点灯のと き、定着器ガラスの汚れ がないことを確認し、汚れ ていれば清掃します。 ジョ
	ER20-02	◇用紙はずれ◇ 装置内に残紙片が無いことを確認 し、トラクタ合わせを行い、用紙を再 セットして下さい。	エラー	印刷中にトラクタ から用紙が外れま した。	ブを再スタート後、主操 作パネルの [リセット] ス イッチを押して用紙を正 規の位置につけていい
21	ER21-01	◇用紙づまり◇ 装置内に残紙片が無いことを確認 し、用紙のミシン目を合わせて山谷 を確認、選択してください。	エラー	トラクタ付近で用 紙 がバタついた か、または用紙が つまりました。	操作バネルの山谷選択 スイッチを押して、 [スタート] スイッチを押 します。
	ER21-02	◇用紙づまり◇ 装置内に残紙片が無いことを確認 し、用紙のミシン目を合わせて山谷 を確認、選択してください。	IJ-	定着器出口付 近で用紙が切れ たか、または用紙 がつまりました。	リカバリランプが未点灯の とき、定着器ガラスに汚 れがないことを確認し、汚 れていれば清掃します。 印刷状態、用紙の位置 を確認して、正常であれ ば主操作パネルの [リセット]、 [スタート]スイッチを押
	ER21-03	◇用紙づまり◇ 装置内に残紙片が無いことを確認 し、用紙のミシン目を合わせて山谷 を確認、選択してください。	I7-	スタッカ部入口付 近で用紙がつまり ました。	リカバリランプが点灯のと き、ジョブを再スタート後、 主操作パネルの [リセット] スイッチを押 して用紙を正規の位置に 合わせ、副操作パネルの 山谷選択スイッチを押し て、[スタート] スイッチ を押します。 リカバリランプが未点灯の とき、印刷状態、用紙の 位置を確認して、正常で あれば、主操作パネルの [リセット] 、 [スタート] スイッチを押 します。

表 2-25 "2x" (続<)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
22	ER22-20	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	I7-	定着器内の温度が上がり過ぎました。	リカバリランプが点灯のと き、ジョブを再スタート後、 主操作パネルの[リセッ ト]スイッチを押して用紙 を正規の位置に合わせ、 副操作パネルの山谷選 択スイッチを押して、 [スタート]スイッチを押 します。 リカバリランプが未点灯の とき、定着状態、用紙の 位置を確認して、正常で あれば、主操作パネルの [リセット]、 [スタート]スイッチを押 します。 明を確認して、正常で あれば、主操作パネルの [リセット]、 [スタート]スイッチを押 します。 明発生する場合は、保 守技術員に連絡してくだ さい。
24	ER24-22	◇装置エラー◇ 担当CEにご連絡下さい。	エラー	定着用フラッシュ ランプがフラッシュ しませんでした。	電源を切断し、保守技 術員に連絡してください。
25	ER25-28	◇装置エラー◇ 担当CEにご連絡下さい。	エラー	フラッシュ用コンデ ンサの充電電圧 が規定値に達し ませんでした。	
26	ER26-29	 ◇装置エラー リセットを押して下さい。 	エラー	定着用フラッシュ ランプのフラッシュ 周期が異常でし た。	リカバリランプが点灯のと き、ジョブを再スタート後、 主操作パネルの [リセット] スイッチを押
27	ER27-2A	 ◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。 	I7-	紙送り停止中に 規定回数を超え てフラッシュしまし た。	して、用紙を正規の位置 に合わせ、副操作パネル の山谷選択スイッチを押 して、[スタート]スイッ チを押します。 リカバリランプが未点灯の とき、定着状態、用紙の 位置を確認して正常であ れば、主操作パネルの [リセット]、 [スタート]スイッチを押 します。 再発生する場合は、保 守技術員に連絡してくだ さい。

表 2-25 "2x"(続き)

表 2-26 "3x" (続<)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
30	ER30-01	◇用紙長レバーノットレディ◇ スタッカ部の用紙長レバーを所定の 目盛りに合わせて下さい。	I7-	スタッカ部の用紙 長レバーが正規 の位置にありません。 用紙長レバーが オートロード時に セットされた位置 から変更されました。	用紙長レバーを所定の 目盛に合わせます。その 後、用紙を正規の位置 に合わせて、山谷選択を 行い主操作パネルの [リセット]、 [スタート]スイッチを押 します。
32	ER32-01	◇用紙折りたたみ不良◇ スタッカ内の用紙を積み直して下さ い。	15-	スタッカテーブル上 の用紙の折りたた みが異常です。	テーブル上の用紙を取り 出すか、折りたたみを正 常な状態にした後、山谷 スイッチを押し、主操作パ ネルの [リセット] 、 [スタート] スイッチを押 します。
33	ER33-33	 ◇装置エラー◇ 担当CEにご連絡下さい。 	エラー	スカッフローラモー タのヒューズが切 れました。	電源を切断し、保守技 術員に連絡してください。
34	ER34-32	◇装置エラー◇ 担当CEにご連絡下さい。	エラー	スタッカモータのヒ ューズが切れまし た。	
35	ER35-31	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	エラー	スタッカテーブルの 制御ができなくな りました。	リカバリランプが点灯のと き、ジョブを再起動後、主 操作パネルの
39	ER39-34	 ◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。 	I7-	羽根車モータがロ ックし過電流とな りました。	[リセット] スイッチを押 して用紙を正規の位置に 合わせ、副操作パネルの 山谷選択スイッチを押 し、[スタート] スイッチ を押します。 リカバリランプが未点灯の とき、印刷状態、用紙の 位置を確認して、正常で あれば主操作パネルの [リセット] 、 [スタート] スイッチを押 します。このとき、スタート 状態にならなければ電源 を切断して保守技術員 に連絡してください。

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処 置
3A	ER3A-35	◇装置エラー◇ 担当CEにご連絡下さい。	エラー	スイングモータのヒ ューズが切れまし た。	電源を切断し、保守技 術員に連絡してください。
	ER3A-36	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	エラー	スイングガイドが 初期位置にきま せんでした。	リカバリランプが点灯のと き、ジョブを再起動後、主 操作パネルの
	ER3A-37	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	エラー	スイングガイドの 動作が異常で す。	[リセット] スイッチを押 して用紙を正規の位置に 合わせ、副操作パネルの
3B	ER3B-39	 ◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。 	I7-	スタッカ部の用紙 スタック位置に異 常が発生しまし た。	山谷選択スイッチを押 し、[スタート] スイッチ を押します。 リカバリランプが未点灯の とき、印刷状態、用紙の 位置を確認して、正常で あれば主操作パネルの [リセット] 、 [スタート] スイッチを押 します。このとき、スタート 状態にならなければ電源 を切断して保守技術員 に連絡してください。

表 2-26 "3x"(続き)

表 2-27 "5x" (続く)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
50	ER50-00	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	オーバレイデ ータエラー	[リセット]スイッチを 押してください。 再発 生する場合は、 保守 技術員に連絡してく ださい。
	ER50-01	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	オーバレイデ ー タエラー (ゼロインサ ート)	[リセット]スイッチを 押してください。再発 生する場合は、保守 技術員に連絡してく ださい。
	ER50-02	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	オーバレイデ ー タ エ ラ ー (先 頭 デ ー タが LSS1 で ない)	[リセット]スイッチを 押してください。再発 生する場合は、保守 技術員に連絡してく ださい。
	ER50-04	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	オーバレイデ ー タ エ ラ ー (エンドマー クなし)	[リセット]スイッチを 押してください。再発 生する場合は、保守 技術員に連絡してく ださい。
	ER50-08	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	オーバレイデ ータエラー (1ラインの 先頭に同期 信号なし)	[リセット]スイッチを 押してください。再発 生する場合は、保守 技術員に連絡してく ださい。
	ER50-10	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	オーバレイデ - タエラー (変化点数 の規定オー バー)	[リセット]スイッチを 押してください。 再発 生する場合は、 保守 技術員に連絡してく ださい。
	ER50-20	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	オーバレイデ ー タ エ ラ ー (1 ラインの 復元ドット数 オーバー)	[リセット]スイッチを 押してください。 再発 生する場合は、 保守 技術員に連絡してく ださい。
	ER50-40	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	オーバレイデ - タエラー (水平欄レ ングス符号 規定外)	[リセット]スイッチを 押してください。再発 生する場合は、保守 技術員に連絡してく ださい。
	ER50-80	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	オーバレイデ - タエラー (垂直ワン レングス符号 規定外)	[リセット]スイッチを 押してください。 再発 生する場合は、 保守 技術員に連絡してく ださい。

表 2-27 "5x"(続き)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処 置
55	ER55-60	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	イメージングエラ ー (ページサイズ オーバーエラー)	[リセット]スイッチを押 してください。再発生 する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER55-80	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	イメージングエラ -(物理ページ サイズエラー)	[リセット]スイッチを押 してください。再発生 する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER55-81	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	イメージングエラ ー (物理ページ 印字位置指定エ ラー)	[リセット]スイッチを押 してください。再発生 する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER55-90	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	イメージングエラ ー (ページ作成 エラー)	[リセット]スイッチを押 してください。再発生 する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER55-91	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	イメージングエラ ー(ページ作成 エラー [FORM])	[リセット]スイッチを押 してください。再発生 する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER55-92	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	イメージングエラ ー (ページ作成 エラー {FONT})	[リセット]スイッチを押 してください。再発生 する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER55-A0	◇強制拡張解像度印刷設定エラー◇ 強制拡張解像度印刷設定が無効になっ ています。設定を確認して下さい。	システム エラー	強制拡張解像 度印刷設定エラ -	[リセット]スイッチを押 してください。再発生 する場合は、保守技 術員に連絡してください。

表	2-28	"6x"	(続く)
1X	2 20	0^	(小りして)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処 置
60	ER60-68	◇装置エラー◇ 電源を再投入して下さい。	I)-	現像器の現像モ ータの回転が異 常です。	電源を切断し、しばらくし てから、電源を再投入し てください。 再発生する場合は、保 守技術員に連絡してくだ さい。
	ER60-6D	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	エラー	現像器の現像口 ーラが回転してい ません。	リカバリランプが点灯のと き、ジョブを再起動後、主 操作パネルの
	ER60-6E	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	エラー	現像器の現像口 ーラが暴走しまし た。	[リセット] スイッチを押 して用紙を正規の位置に 合わせ、副操作パネルの
62	ER62-63	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	エラー	印字濃度がうすく なり過ぎました。	山谷選択スイッチを押し て、 [スタート] スイッチ
	ER62-64	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	エラー	印字濃度が濃く なり過ぎました。	を押します。 リカバリランプが未点灯の
64	ER64-62	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	I7-	現像剤初期調 をが見しませんで した。トナー濃 検出器が汚れし ぎました。また 検出器出力が た し た し た し た の た の た の た の た の た の た の	とき、印刷状態、用紙の 位置を確認して、正常で あれば、主操作パネルの [リセット]、 [スタート]スイッチを押 します。 再発生する場合は、保 守技術員に連絡してくだ さい。
65	ER65-66	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	エラー	クリーナが回転し ていません。	
	ER65-69	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	エラー	クリーナが暴走し ました。	
66	ER66-60	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	I7-	除電 LED のコネ クタが接続されて いません。	
68	ER68-55	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	エラー	ドラムの回転が異 常です。	
	ER68-57	◇装置エラー◇ 担当CEにご連絡下さい。	エラー	ドラムモータのヒュ ーズが切れまし た。	電源を切断し、保守技 術員に連絡してください。

表 2-28 "6x"(続く)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処 置
6A	ER6A-01	◇中扉オープン◇ 中扉を閉めて下さい。	エラー	主操作パネルの [スタート] スイ ッチを押したとき、 中扉が開いてい ました。	ドラム部の中扉を閉め、 主操作パネルの [スタート]スイッチを押 します。
	ER6A-02	◇中扉オープン◇ 中扉を閉めて下さい。	Ţ⊃-	印刷中にドラム部の中扉が開きました。	リカバリランプが点灯のと き、中扉を閉めてジョブを 再スタート後、印刷状 態、用紙の位置を確認し て正常であれば、主操作 パネルの[リセット] 、 [スタート] スイッチを押 します。 リカバリのランプが未点灯 のとき、ドラム部の中扉を 閉めて、印刷状態、用紙 の位置を確認して正常で あれば、主操作パネルの [リセット] 、 [スタート] スイッチを押 します。
6C	ER6C-65	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	エラー	トナー補給モータ の過電流を検出 しました。	リカバリランプが点灯のと き、ジョブを再起動後、主 操作パネルの [リセット]
	ER6C-6A	 ◇装置エラー リセットを押して下さい。 	エラー	トナー補給モータ が回転していませ ん。	スイッチを押して用紙を正 規の位置に合わせ、副操 作パネルの山谷選択スイ
	ER6C-6B	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	I)	トナー補給モータが暴走しました。	ッチを押して、 [スタート]スイッチを押 します。 リカバリランプが未点灯の とき、印刷状態、用紙の 位置を確認して、正常で あれば主操作パネルの [リセット]、 [スタート]スイッチを押 します。 再発生する場合は、保 守技術員に連絡してくだ さい。
6E	ER6E-58	 ◇装置エラー リセットを押して下さい。 	<u>Т</u> ¬	主操作パネルの [スタート] スイ ッチを押したとき、 ドラムカバーが閉 じていませんでし た。	ドラムカバーと中扉を閉 め、主操作パネルの [スタート] スイッチを押 します。 再発生する場合は、保 守技術員に連絡してくだ さい。

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処 置
6F	ER6F-5C	◇装置エラー◇ 電源を再投入して下さい。	I ∋−	ドラムヒータが、規 定時間内に規定 温度になりませ ん。	電源を切断し、しばらくし てから、電源を再投入し てください。 再発生する場合は、保
	ER6F-5D	◇装置エラー◇ 電源を再投入して下さい。	エラー	ドラムヒータの低 温異常を検出し ました。	守技術員に連絡してくだ さい。
	ER6F-5E	◇装置エラー◇ 電源を再投入して下さい。	エラー	ドラムヒータの高 温異常を検出し ました。	
	ER6F-5F	◇装置エラー◇ 電源を再投入して下さい。	エラー	ドラムヒータのセン サ異常を検出し ました。	

表 2-28 "6x"(続き)

表 2-29 "7x"

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
76	ER76-80	◇装置エラー◇ 電源を再投入して下さい。	エラー	L E D ヘッドケー ブルの未接続を 検出しました。	電源を切断し、しばらくし てから、電源を再投入し てください。
	ER76-81	◇装置エラー◇ 電源を再投入して下さい。	エラー	L E D ヘッド制 御回路の異常を 検出しました。	再発生する場合は、保 守技術員に連絡してくだ さい。

表 2-30 "8x" (続く)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処 置
80	ER80-00	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	CHC チェック (NotBusy 中ま たはDEを送出しA ck も確認した状 態)	[リセット]スイッチを 押してください。
	ER80-01	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	CHC チェック (コマンド受信から データ転送の依頼 をするまで)	[リセット]スイッチを 押してください。
	ER80-02	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	CHC チェック (データ転送依頼 から転送終了割り 込みまで)	[リセット]スイッチを 押してください。
	ER80-03	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	CHC チェック (データ転送終了 割り込みから Cha nnel End 設定ま で)	[リセット]スイッチを 押してください。
	ER80-04	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	CHC チェック (ChannelEnd 設定から Ack 確認 まで)	[リセット]スイッチを 押してください。
	ER80-05	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	CHC チェック (ChannellEnd の Ack 確認から D E 設定まで)	[リセット]スイッチを 押してください。
	ER80-06	◇装置エラー◇ 詳細情報 \$6\$7\$8\$9\$10\$11 リセットを押してください。	システム エラー	CHC チェック (DE 設定から Ac k 確認まで)	[リセット]スイッチを 押してください。
	ER80-07	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	CHC チェック (非同期ステータ スの Ack 待ち状態 で、割り込み発生 時 Ack なし)	[リセット]スイッチを 押してください。
	ER80-08	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	CHC チェック (CE の Ack 待ち 状態で、割り込み 発生時 Ack も Re set もなし)	[リセット]スイッチを 押してください。

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
80	ER80-09	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	CHC チェック (DE の Ack 待 ち状態で、割り 込み発生時 Ack も Reset もな し)	[リセット]スイッチを 押してください。
	ER80-0A	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	CHC チェック (DSF モード時 でのデータ転送タ イムアウト)	[リセット]スイッチを 押してください。
	ER80-0B	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	CHC チェック (DSF モード時 でのデータ転送パ リティエラー)	[リセット]スイッチを 押してください。

表 2-30"8x" (続<)

表	2-30	"8x"	(続く)
		-	

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処 置
82	ER82-01	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	メモリエラー	-
	ER82-02	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	メモリエラー	_
	ER82-22	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	_	_
	ER82-00	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	メモリエラー	電源を再投入し、再発 生する場合 は保守技術員に連絡し てください。
	ER82-03	担当CEにご連絡下さい。 0300 0000 0000 0000	システム エラー	-	-
	ER82-61	◇装置エラー◇ 詳細情報 s6s7s8s9s10S11 リセットを押してください。	システム エラー	メモリエラー (フラッシュ 異 常)	[リセット]スイッチを押して ください。
	ER82-61	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	メモリエラー (フラッシュ異 常 : IPL 時/ Reset 不可)	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
83	ER83-00	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	-	_
	ER83-01	担当 C E にご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	-	-
	ER83-02	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	-	_
	ER83-03	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	-	_
	ER83-04	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	_	_
	ER83-05	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	_	_
	ER83-06	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	_	_
	ER83-07	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	-	-

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
84	ER84-01	◇コマンドシーケンスエラーが発生しました◇	システム エラー	コマンドシーケンス エラー(IMG)	[リセット]スイッチを押 して再発生する場 合、プログラムのデー タを確認してくださ い。
	ER84-02	◇コマンドシーケンスエラーが発生しました◇	システム エラー	コマンドシーケンス エラー (図形)	[リセット]スイッチを押 して再発生する場 合、プログラムのデー タを確認してくださ い。
	ER84-04	◇コマンドシーケンスエラーが発生しました◇	システム エラー	コマンドシーケンス エラー (QR コー ド)	[リセット]スイッチを押 して再発生する場 合、プログラムのデー タを確認してくださ い。
	ER84-80	◇コマンドシーケンスエラーが発生しました◇	システム エラー	コマンドシーケンス エラー (キャンセ ル)	[リセット]スイッチを押 して再発生する場 合、プログラムのデー タを確認してくださ い。
85	ER85-52	◇フロッピィ異常◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 第2FPDを確認してください。	システム エラー	FPD データ形式 異常(IPL 時)	電源を再投入し、再 発生する場合は、保 守技術員に連絡して ください。

表 2-30 "8x" (続<)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処 置
86	ER86-01	担当CEにご連絡下さい。	システム	バスアドレスエラー	
			T7-		—
	5000 00		> 7 - 1	パフラドレフォニ	
	ER86-02	担当してにご連絡下さい。	ンステム	ハスアトレスエラー	
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー		—
			· · · · · ·		
	ER86-03	担当CEにご連絡トさい。	システム	ハスパドレスエラー	
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エフー		_
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			
	ER86-05	担当CEにご連絡下さい。	システム	バスアドレスエラー	
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー		—
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			
	ER86-06	担当CEにご連絡下さい。	システム	バスアドレスエラー	
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー		—
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			
	ER86-07	担当CEにご連絡下さい。	システム	バスアドレスエラー	
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー		-
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			
	ER86-00		システム	MPU ハードエラー	電源を再投入し、再発生
		詳細情報 S6S7S8S9S10S11	エラー		する場合は、保守技術員
		リセットを押してください。			に連絡してください。
	ER86-50	担当CEにご連絡下さい。	システム	UI 制御エラー	[リセット]スイッチを押して
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー		ください。
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			

表 2-30 "8x"(続く)

表 2-30 "8x"(続〈)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処 置
87	ER87-00	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	展開異常	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER87-10	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	RIP-IOTC 論理 インターフェース異 常 (ページシーケ ンス異常: IPL 時)	[リセット]スイッチを押して ください。
	ER87-10	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	RIP-IOTC 論理 インターフェース異 常(ページシーケ ンス異常: IPL 以外)	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER87-11	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	RIP-IOTC 論理 インターフェース異 常(未サポート 解像度指定: IPL時)	[リセット]スイッチを押して ください。
	ER87-11	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	RIP-IOTC 論理 インターフェース異 常(未サポート 解像度指定: IPL 以外)	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER87-12	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	RIP-IOTC 論理 インターフェース異 常 (Illegal Parameter : IPL 時)	[リセット]スイッチを押して ください。
	ER87-12	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	RIP-IOTC 論理 インターフェース異 常 (Illegal Parameter : IPL 以外)	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER87-13	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	RIP-IOTC 論理 インターフェース異 常 (Invalid Sequence: IPL時)	[リセット]スイッチを押して ください。
	ER87-13	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	RIP-IOTC 論理 インターフェース異 常 (Invalid Sequence: IPL 以外)	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
表 2-30 "8x" (続く)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
87	ER87-14	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	RIP-IOTC 論理イ ンターフェース異常 (Undefined c ommand : IPL 時)	[リセット]スイッチを押してく ださい。
	ER87-14	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	RIP-IOTC 論理イ ンターフェース異常 (Undefined c ommand : IPL 以外)	電源を再投入し、再発生 する場合は、保守技術員 に連絡してください。
	ER87-20	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	RIP-IOTC 論理イ ンターフェース異常 (Fill 異常: IPL 時)	[リセット]スイッチを押してく ださい。
	ER87-20	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	RIP-IOTC 論理イ ンターフェース異常 (Fill 異常: IPL 以外)	電源を再投入し、再発生 する場合は、保守技術員 に連絡してください。
	ER87-21	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	RIP-IOTC 論理イ ンターフェース異常 (Fill タイムアウ ト: IPL 時)	[リセット]スイッチを押してく ださい。
	ER87-21	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	RIP-IOTC 論理イ ンターフェース異常 (Fill タイムアウ ト: IPL 以外)	電源を再投入し、再発生 する場合は、保守技術員 に連絡してください。
	ER87-80	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	MPU ハードエラー (展開タイムアウ ト)	[リセット]スイッチを押してく ださい。
	ER87-B1	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	MPU ハードエラー (ページカウント不 一致)	[リセット]スイッチを押してく ださい。
	ER87-C1	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	MPU ハードエラー (コピー修飾作業 域不足)	[リセット]スイッチを押してく ださい。
	ER87-D1	 ◇装置エラー 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。 	システム エラー	MPU ハードエラー (ページ作成用作 業域不足)	[リセット]スイッチを押してく ださい。

表 2-30 "8x" (続く)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
89	ER89-01	担当CEにご連絡下さい。	システム		電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	_	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			術員に連絡してください。
	ER89-02	担当CEにご連絡下さい。	システム		電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	—	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			術員に連絡してください。
	ER89-0A	担当CEにご連絡下さい。	システム		電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	_	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			術員に連絡してください。
	ER89-0B	担当CEにご連絡下さい。	システム	INFL タイムアウト	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー		生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			術員に連絡してください。
	ER89-0C	担当CEにご連絡下さい。	システム	INFL 動作中異	
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	常	
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			
	ER89-0D	担当CEにご連絡下さい。	システム	INFL 無応答	
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー		
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			
	ER89-0E	担当CEにご連絡下さい。	システム		電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	_	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			術員に連絡してください。
	ER89-00	担当CEにご連絡下さい。	システム	Reader 異常終	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	了	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			術員に連絡してください。
	ER89-10	担当CEにご連絡下さい。	システム	Filter 異常終了	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー		生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			術員に連絡してください。
	ER89-20	担当CEにご連絡下さい。	システム	Writer 異常終	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	了	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			術員に連絡してください。
	ER89-2A	担当CEにご連絡下さい。	システム	Writer 異常終	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	了(シーケンス異	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX		常)	術員に連絡してください。
	ER89-2B	担当CEにご連絡下さい。	システム	Writer 異常終	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	了(ページ ID チ	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX		ェック異常)	術員に連絡してください。
	ER89-2C	担当CEにご連絡下さい。	システム	Writer 異常終	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	了(オーバレイ資	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX		源 ID 異常)	術員に連絡してください。
	ER89-30	担当CEにご連絡下さい。	システム	JobDir 異常終	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	了	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			術員に連絡してください。
	ER89-3A	担当CEにご連絡下さい。	システム	JobDir 異常終	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	了(シーケンス異	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX		常)	術員に連絡してください。
	ER89-3B	担当CEにご連絡下さい。	システム	JobDir 異常終	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	」(ページ ID チ	王する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX		エック異常)	術員に連絡してくたさい。
	ER89-3C	担当CEにご連絡下さい。	システム	JobDir 異常終	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	」(オーバレイ資	生する場合は、保守技
			<u> </u>	<u> </u>	術員に連絡してくたさい。
	ER89-40	担当CEにご連絡下さい。	システム	PrtCnt 異常終	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	5	王する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			術員に連絡してください。

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
89	ER89-50	担当CEにご連絡下さい。	システム	OutCnt 異常終	電源を再投入し、再発生
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	了	する場合は、保守技術員
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			に連絡してください。
	ER89-5A	担当CEにご連絡下さい。	システム	OutCnt 異常終	電源を再投入し、再発生
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	了(シーケンス異	する場合は、保守技術員
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX		常)	に連絡してください。
	ER89-5B	担当CEにご連絡下さい。	システム	OutCnt 異常終	電源を再投入し、再発生
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	了(ページ ID チ	する場合は、保守技術員
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX		ェック異常)	に連絡してください。
	ER89-5C	担当CEにご連絡下さい。	システム	OutCnt 異常終	電源を再投入し、再発生
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	了(オーバレイ資	する場合は、保守技術員
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX		源 ID 異常)	に連絡してください。
	ER89-60	担当CEにご連絡下さい。	システム	Agent 異常終	電源を再投入し、再発生
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	了	する場合は、保守技術員
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			に連絡してください。
	ER89-80	担当CEにご連絡下さい。	システム	RIPCont 通信工	電源を再投入し、再発生
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	ラー(INPUT)	する場合は、保守技術員
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			に連絡してください。
	ER89-81	担当CEにご連絡下さい。	システム	FE 接続待ちタイ	電源を再投入し、再発生
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー		する場合は、保守技術員
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX		(INPUT)	に連絡してください。
	ER89-82	担当CEにご連絡下さい。	システム	FE 間通信エラー	電源を再投入し、再発生
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	(INPUT)	する場合は、保守技術員
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			に連絡してください。
	ER89-83	担当CEにご連絡下さい。	システム	FE 間接続断を	電源を再投入し、再発生
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	検出	する場合は、保守技術員
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX		(INPUT)	に連絡してください。
	ER89-84	担当CEにご連絡下さい。	システム	通信インターフェ	電源を再投入し、再発生
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	イスエラー	する場合は、保守技術員
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX		(INPUT)	に連絡してください。
	ER89-85	担当CEにご連絡下さい。	システム	論理ページ指定エ	電源を再投入し、再発生
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	ラー(INPUT)	する場合は、保守技術員
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			に連絡してください。
	ER89-86	担当CEにご連絡下さい。	システム	システム内部エラ	電源を再投入し、再発生
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	– (INPUT)	する場合は、保守技術員
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			に連絡してください。
	ER89-87	担当CEにご連絡下さい。	システム	バッファフルが発	電源を再投入し、再発生
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	生(INPUT)	する場合は、保守技術員
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			に連絡してください。

表 2-30 "8x"(続く)

表 2-30 "8x" (続く)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処 置
89	ER89-90	担当 C E にご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	RIP プロセス間コ ネクトエラー	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER89-91	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	RIP プロセス間切 断エラー	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER89-92	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	RIPバッファ領域オ ーバー	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER89-93	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	RIPシステムエラー	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER89-94	担当 C E にご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	RIP 未サポートコ マンド受信	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技 術員に連絡してくださ い。
	ER89-95	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	RIP 未サポートス テータス受信	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER89-96	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	RIP 未サポートデ ータ受信	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER89-9A	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	RIP シーケンス異 常	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER89-9B	担当 C E にご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	RIP ページ ID チェ ック異常	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER89-9C	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	RIP オーバレイ資 源 ID 異常	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER89-A0	担当 C E にご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	Decomp システ ムエラー	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER89-A1	担当 C E にご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	Decomp ベーシッ ク・システムエラー	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER89-A2	担当 C E にご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	Decomp シーケ ンスエラー	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技 術員に連絡してください。

表 2-30 "8x"(続〈)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処 置
89	ER89-B0	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	PSM 内部論理 矛盾	電源を再投入し、再発生す る場合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER89-B1	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	PSM – FE 通信 異常(ソケットエ ラー)	電源を再投入し、再発生す る場合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER89-B2	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	PSM – RIPC 通 信異常(ソケット エラー)	電源を再投入し、再発生す る場合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER89-B3	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	PSM – IOT 初 期化タイムアウト (IPL 時)	電源を再投入し、再発生す る場合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER89-B4	担当 C E にご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	PSM コマンド受 信クライアント異 常	電源を再投入し、再発生す る場合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER89-B5	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	PSM 未定義⊐マ ンド受信	電源を再投入し、再発生す る場合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER89-B6	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	PSM 未定義ステ イタス受信	電源を再投入し、再発生す る場合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER89-B7	担当 C E にご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	PSM 異常処理 バッファフル	電源を再投入し、再発生す る場合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER89-B8	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	PSM API 異常 (ソケットエラー 以外)	電源を再投入し、再発生す る場合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER89-B9	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	PSM IOT コマン ド異常	電源を再投入し、再発生す る場合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER89-C0	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	RIPCont 通信エ ラー(TRACK)	電源を再投入し、再発生す る場合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER89-C1	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	システム内部エラ -(TRACK)	電源を再投入し、再発生す る場合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER89-C2	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	Driver インターフ ェイスエラー (TRACK)	電源を再投入し、再発生す る場合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER89-D0	担当 C E にご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	コマンドキューオー バ ー フ ロ ー (Driver)	電源を再投入し、再発生す る場合は、保守技術員に連 絡してください。

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処 置
89	ER89-D1	担当CEにご連絡下さい。	システム	ステータスキューオ	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	ーバーフロー(Dr	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX		iver)	術員に連絡してください。
	ER89-D2	担当CEにご連絡下さい。	システム	ページアロックキュ	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	ーオーバーフロー	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX		(Driver)	術員に連絡してください。
	ER89-D3	担当CEにご連絡下さい。	システム	オーバレイアロック	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	キューオーバーフロ	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX		– (Driver)	術員に連絡してください。
	ER89-D4	担当CEにご連絡下さい。	システム	SETIMAGEペー	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	ジアロックエラー	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX		(Driver)	術員に連絡してください。
	ER89-D5	担当CEにご連絡下さい。	システム	SETIMAGE オー	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	バーレイアロックエ	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX		ラー(Driver)	術員に連絡してください。
	ER89-D6	担当CEにご連絡下さい。	システム	コマンドポート Clo	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	se エラー(Driv	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX		er)	術員に連絡してください。
	ER89-D7	担当CEにご連絡下さい。	システム	ドライバ-IOTCo	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	nt 間通信エラー	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX		(Driver)	術員に連絡してください。
	ER89-DA	担当CEにご連絡下さい。	システム	シーケンス異常	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	(Driver)	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			術員に連絡してください。
	ER89-DB	担当CEにご連絡下さい。	システム	ページ ID チェック	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	異常(Drive	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX		r)	術員に連絡してください。
	ER89-DC	担当CEにご連絡下さい。	システム	オーバレイ資源 I	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	D 異常(Drive	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX		r)	術員に連絡してください。
	ER89-E0	担当CEにご連絡下さい。	システム	IOT 動作中電源	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	OFF	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			術員に連絡してください。
	ER89-E1	担当CEにご連絡下さい。	システム	イメージリセットな	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	L	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			術員に連絡してください。
	ER89-E2	担当CEにご連絡下さい。	システム	IOT ∧ D U M P	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	中を検出	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			術員に連絡してください。
	ER89-E3	担当CEにご連絡下さい。	システム	IOT-CONT 内	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	部エラー	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			術員に連絡してください。
	ER89-E4	担当CEにご連絡下さい。	システム	IOT-CONT (B	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	PP エラー)	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			術員に連絡してください。
	ER89-E5	担当CEにご連絡下さい。	システム	IOT-CONT	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	(初期化エラ	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX		—)	術員に連絡してください。
	ER89-F0	担当CEにご連絡下さい。	システム	PanelAPI タイム	電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	アウト	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			術員に連絡してください。

表 2-30 "8x"(続く)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処 置
8A	ER8A-01	担当 C E にご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	_	_
	ER8A-02	担当 C E にご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	-	-
	ER8A-00	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	HD/FPD ハード 異常(フラッシュ 異常)	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER8A-52	 ◇FPD異常◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 第2FPDを確認してください。 	システム エラー	HD/FPDハード 異常(FPD ハー ド異常:確認)	[リセット]スイッチを押して ください。再発生する場 合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER8A-52	 ◇ F P D異常 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 第 2 F P Dを交換してください。 	システム エラー	HD/FPD ハード 異常(FPD ハー ド異常 : 交換)	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER8A-60	◇装置エラー◇ 詳細情報 s6s7s8s9s10s11 リセットを押してください。	システム エラー	HD/FPDハ-ド 異常(FEHD ハ -ド異常:IPL 時)	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER8A-60	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 担当CEにご連絡下さい。	システム エラー	HD/FPDハ-ド 異常(FEHD ハ -ド異常: IPL 以外)	[リセット]スイッチを押して ください。再発生する場 合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER8A-61	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 リセットを押してください。	システム エラー	HD/FPD ハード 異常(フラッシュ 異常 : IPL 時)	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER8A-61	◇装置エラー◇ 詳細情報 S6S7S8S9S10S11 担当CEにご連絡下さい。	システム エラー	HD/FPDハード 異常(フラッシュ 異常: IPL 以 外)	[リセット]スイッチを押して ください。再発生する場 合は、保守技術員に連 絡してください。

表 2-30 "8x"(続〈)

表 2-30 "8x" (続<)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処 置
8C	ER8C-01	担当 C E にご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	_	[リセット]スイッチを押して ください。再発生する場 合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER8C-02	担当CEにご連絡下さい。 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XX	システム エラー	_	[リセット]スイッチを押して ください。再発生する場 合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER8C-04	担当CEにご連絡下さい。 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XX	システム エラー	_	[リセット]スイッチを押して ください。再発生する場 合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER8C-09	担当 C E にご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	-	[リセット]スイッチを押して ください。再発生する場 合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER8C-80	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	_	[リセット]スイッチを押して ください。再発生する場 合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER8C-B5	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	システム エラー	不揮発性 RAM アラーム	リカバリランプが点のとき、 ジョブを再起動後、主操 作パネルの[リセット]ス イッチを押して用紙を正 規の位置に合わせ、副操 作パネルの山谷選択スイ ッチを押して、 [スタート]スイッチを押 します。 リカバリランプが未点灯の とき、印刷状態、用紙の 位置を確認して、正常で あれば、主操作パネルの [リセット]、 [スタート]スイッチを押 します。 明発生する場合は、保 守技術員に連絡してくだ さい。
	ER8C-00	◇2重IPアドレスを検出しました◇	システム エラー	2重 IP アドレス を検出	LAN インターフェースの IP アドレス設定を確認してく ださい。
	ER8C-4B	◇装置エラー◇ リセットを押してください。	システム エラー	アダプタボードイリ ーガルコマンド	[リセット]スイッチを押して ください。再発生する場 合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER8C-4C	◇装置エラー◇ リセットを押してください。	システム エラー	アダプタボードイリ ーガルパラメータ	[リセット]スイッチを押して ください。再発生する場 合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER8C-4D	◇装置エラー◇ リセットを押してください。	システム エラー	アダブタボードシー ケンスエラー	[リセット]スイッチを押して ください。 再発生する場 合は、 保守技術員に連 絡してください。

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処 置
8C	ER8C-4E	◇装置エラー◇ リセットを押してください。	システム エラー	アダプタボードコマ ンドリジェクト	[リセット]スイッチを押して ください。再発生する場 合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER8C-4F	◇装置エラー◇ リセットを押してください。	システム エラー	アダプタボードメモ リエラー	[リセット]スイッチを押して ください。再発生する場 合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER8C-DA	◇装置エラー◇ リセットを押してください。	システム エラー	アダプタボードイン タフェースアラーム	[リセット]スイッチを押して ください。 再発生する場 合は、 保守技術員に連 絡してください。

表 2-30 "8x"(続〈)

状態	エラー	シック-ジキテ	壮罟叶能	计能 内容	加 罟
コード	ゴード	メリビージ表示	衣直扒恕	1人思内谷	2011 世
8D	ER8D-04	担当CEにご連絡下さい。	システム		電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	-	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			術員に連絡してください。
	ER8D-11		システム		[リセット]スイッチを押して
		詳細情報 xxxx xxxx xxxx xxxx	エラー	_	ください。再発生する場
		リセットを押して下さい。			合は、保守技術員に連
					絡してください。
	ER8D-12	◇装置エラー ◇	システム		[リセット]スイッチを押して
		詳細情報 xxxx xxxx xxxx xxxx	エラー	_	ください。再発生する場
		リセットを押して下さい。			合は、保守技術員に連
					絡してください。
	ER8D-13	◇装置エラー ◇	システム		[リセット]スイッチを押して
		詳細情報 xxxx xxxx xxxx xxxx	エラー	_	ください。再発生する場
		リセットを押して下さい。			合は、保守技術員に連
					絡してください。
	ER8D-14	◇装置エラー ◇	システム		[リセット]スイッチを押して
		詳細情報 xxxx xxxx xxxx xxxx	エラー	_	ください。再発生する場
		リセットを押して下さい。			合は、保守技術員に連
					絡してください。
	ER8D-20	担当CEにご連絡下さい。	システム		電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	-	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			術員に連絡してください。
	ER8D-21	担当CEにご連絡下さい。	システム		電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	-	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			術員に連絡してください。
	ER8D-23		システム		[リセット]スイッチを押して
		詳細情報 xxxx xxxx xxxx xxxx	エラー	_	ください。再発生する場
		リセットを押して下さい。			合は、保守技術員に連
					絡してください。
	ER8D-23	担当CEにご連絡下さい。	システム		電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	-	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			術員に連絡してください。
	ER8D-24	担当CEにご連絡下さい。	システム		電源を再投入し、再発
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	エラー	-	生する場合は、保守技
		XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX			術員に連絡してください。

表 2-30 "8x"(続〈)

状態 エラー メッセージ表示 装置状態 状態内容 奶 置 コード コード 8D ER8D-30 システム IOTCont ページ 電源を再投入し、再発 担当CEにご連絡下さい。 エラー アロックエラー 生する場合は、保守技 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX 術員に連絡してください。 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX ER8D-31 システム IOTCont オーバ 電源を再投入し、再発 担当C Eにご連絡下さい。 エラー レイアロックエラー 生する場合は、保守技 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX 術員に連絡してください。 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX FR8D-32 システム IOTCont イメー [リセット]スイッチを押して ◇装置エラー
 ◇
 ください。再発生する場 エラー ジ転送要求エラ 詳細情報 xxxx xxxx xxxx xxxx リセットを押して下さい。 - (Reset 可) 合は、保守技術員に連 絡してください。 ER8D-32 システム IOTCont イメー 電源を再投入し、再発 担当C Eにご連絡下さい。 エラー ジ転送要求エラ 生する場合は、保守技 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX - (システムダウ 術員に連絡してください。 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX ン) 電源を再投入し、再発 ER8D-33 担当C Eにご連絡下さい。 システム IOTCont データ リセットタイムアウ エラー 生する場合は、保守技 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX トエラー 術員に連絡してください。 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX ER8D-34 システム IOTCont データ 電源を再投入し、再発 担当C Eにご連絡下さい。 エラー リセットエラー 生する場合は、保守技 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX 術員に連絡してください。 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX データリセット RO ER8D-35 システム 電源を再投入し、再発 担当СЕにご連絡下さい。 エラー Τ タイムアウトエラ 生する場合は、保守技 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX 術員に連絡してください。 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX ER8D-40 担当C Eにご連絡下さい。 システム ROT DMA未完 電源を再投入し、再発 T - -了エラー 生する場合は、保守技 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX 術員に連絡してください。 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX ER8D-41 システム ROT DMA転送 電源を再投入し、再発 担当CEにご連絡下さい。 T - -生する場合は、保守技 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX T - - T 術員に連絡してください。 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX ER8D-42 システム PCI エラー 電源を再投入し、再発 担当C Eにご連絡下さい。 生する場合は、保守技 エラー XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX 術員に連絡してください。 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX ER8D-43 システム PCI タイムアウト 電源を再投入し、再発 担当C Eにご連絡下さい。 生する場合は、保守技 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX エラー エラー 術員に連絡してください。 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX ER8D-60 担当C Eにご連絡下さい。 システム IOT 割り込み多 電源を再投入し、再発 発 生する場合は、保守技 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX エラー 術員に連絡してください。 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX ER8D-62 システム IOT レジスタ設 電源を再投入し、再発 ◇装置エラー
 ◇
 エラー 定値不正 生する場合は、保守技 詳細情報 xxxx xxxx xxxx xxxx 術員に連絡してください。 担当CEにご連絡下さい ER8D-63 システム IOT 値読み出し 電源を再投入し、再発 ◇装置エラー◇ タイムアウト エラー 生する場合は、保守技 詳細情報 xxxx xxxx xxxx xxxx 担当 C E にご連絡下さい 術員に連絡してください。

表 2-30 "8x"(続く)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
8D	ER8D-B0	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	エラー	インターフェースデ ータパリティアラー ム	リカバリランプが点灯のと き、ジョブを再起動後、 主操作パネルの
	ER8D-B1	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	エラー	インターフェースビ デオパリティアラー ム	[リセット] スイッチを押 して用紙を正規の位置に 合わせ、副操作パネルの
	ER8D-B2	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	エラー	インターフェースビ デオエンプティアラ ーム	山谷選択スイッチを押し て、 [スタート] スイッチを押します。
	ER8D-B3	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	エラー	インターフェースビ デオオーバーラン アラーム	リカバリランブが未点灯の とき、印刷状態、用紙の 位置を確認して、正常で
	ER8D-B6	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	I7-	FiFo データアラー ム	あれは、王操作ハネルの [リセット]、 [スタート]スイッチを押 します。 再発生する場合は、保 守技術員に連絡してくだ さい。
	ER8D-E0	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	BPP 接続異常	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER8D-E1	担当 C E にご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	BPP シーケンス異 常	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技 術員に連絡してください。

表 2-30 "8x"(続<)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
8D	ER8D-F1	◇装置エラー◇ 詳細情報 xxxx xxxx xxxx xxxx リセットを押して下さい。	システム エラー	IOT コマンドタイ ムアウト (IPL 時)	[リセット]スイッチを押して ください。再発生する場合 は、保守技術員に連絡し てください。
	ER8D-F1	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	IOT コマンドタイ ムアウト (IPL 以外)	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技術 員に連絡してください。
	ER8D-F2	◇装置エラー◇ 詳細情報 xxxx xxxx xxxx xxxx リセットを押して下さい。	システム エラー	IOT コマンドリジェ クト(IPL 時)	[リセット]スイッチを押して ください。再発生する場合 は、保守技術員に連絡し てください。
	ER8D-F2	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	IOT コマンドリジェ クト (IPL 以外)	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技術 員に連絡してください。
	ER8D-F3	◇装置エラー◇ 詳細情報 xxxx xxxx xxxx xxxx リセットを押して下さい。	システム エラー	IOT コマンドシー ケンス異常 (IPL 時)	[リセット]スイッチを押して ください。再発生する場合 は、保守技術員に連絡し てください。
	ER8D-F3	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	IOT コマンドシー ケンス異常 (IPL 以外)	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技術 員に連絡してください。
	ER8D-F4	◇装置エラー◇ 詳細情報 xxxx xxxx xxxx xxxx リセットを押して下さい。	システム エラー	IOT コマンドパラ メタ異常 (IPL 時)	[リセット]スイッチを押して ください。再発生する場合 は、保守技術員に連絡し てください。
	ER8D-F4	担当 C E にご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	IOT コマンドパラ メタ異常 (IPL 以外)	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技術 員に連絡してください。
	ER8D-F5	◇装置エラー◇ 詳細情報 xxxx xxxx xxxx xxxx リセットを押して下さい。	システム エラー	IOTコマンドilleg al Command (IPL時)	[リセット]スイッチを押して ください。再発生する場合 は、保守技術員に連絡し てください。
	ER8D-F5	担当 C E にご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	IOTコマンドilleg al Command (IPL以外)	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技術 員に連絡してください。
	ER8D-F6	◇装置エラー◇ 詳細情報 xxxx xxxx xxxx xxxx リセットを押して下さい。	システム エラー	IOT 値読み出し タイムアウト (IPL 時)	[リセット]スイッチを押して ください。再発生する場合 は、保守技術員に連絡し てください。
	ER8D-F6	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	IOT 値読み出し タイムアウト(IP L以外)	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技術 員に連絡してください。
	ER8D-F7	◇装置エラー◇ 詳細情報 xxxx xxxx xxxx xxxx リセットを押して下さい。	システム エラー	IOTCont 検出 Video I/F 違反 (IPL 時)	[リセット]スイッチを押して ください。再発生する場合 は、保守技術員に連絡し てください。
	ER8D-F7	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	IOTCont 検出 Video I/F 違反 (IPL 以外)	電源を再投入し、再発 生する場合は、保守技術 員に連絡してください。
	ER8D-F8	◇装置エラー◇ 詳細情報 xxxx xxxx xxxx xxxx リセットを押して下さい。	システム エラー	SSYNC 未検出 (IPL 時)	[リセット]スイッチを 押してください。再発生す る場合は、保守技術員に 連絡してください。

表 2-30 "8x"(続く)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
8D	ER8D-F8	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	SSYNC 未検出 (IPL 以外)	電源を再投入し、再発生 する場合は、保守技術員 に連絡してください。
	ER8D-F9	◇装置エラー◇ 詳細情報 xxxx xxxx xxxx xxxx リセットを押して下さい。	システム エラー	IOT レジスタ異常 (IPL 時)	[リセット]スイッチを押して ください。再発生する場合 は、保守技術員に連絡し てください。
	ER8D-F9	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	IOTレジスタ異常 (IPL 以外)	電源を再投入し、再発生 する場合は、保守技術員 に連絡してください。
	ER8D-FF	◇装置エラー◇ 詳細情報 xxxx xxxx xxxx xxxx リセットを押して下さい。	システム エラー	未定義のIOT検 出エラー(IPL 時)	[リセット]スイッチを押して ください。再発生する場合 は、保守技術員に連絡し てください。
	ER8D-FF	担当CEにご連絡下さい。 xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx	システム エラー	未定義のIOT 検 出エラー(IPL 以 外)	電源を再投入し、再発生 する場合は、保守技術員 に連絡してください。
8E	ER8E-XX	◇システムリセットが発行されました◇	システム エラー	XX=00~09	[リセット]スイッチを押して ください。

表 2-30 "8x"(続き)

表 2-31 "9x"

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処 置
90	ER90-51	 ◇装置エラー リセットを押して下さい。 	I7-	前帯電器が挿 入されていない か、または断線 しています。	リカバリランプが点灯のと き、各帯電器、現像器の 清掃、または、交換を行い ます。 ジョブを再スタート
91	ER91-50	 ◇装置エラー リセットを押して下さい。 	エラー	転写帯電器が 挿入されていな いか、または断 線しています。	後、主操作パネルの [リセット] スイッチを押し て用紙を正規の位置に合 わせ [スタート] スイッチを
93	ER93-52	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	エラー	AC分離除電器 が挿入されてい ないか、断線、 または短絡して います。	押します。 リカバリランプが未点灯のと き各帯電器、現像器の清 掃、または、交換を行いま す。
94	ER94-53	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	IƏ-	現像バイアス電 圧が異常です。	ロ刷状態、用紙の位置を 確認して、正常であれば 主操作パネルの [リセット]、[スタート] スイッチを押します。 再発生する場合は、保守 技術員に連絡してください。

表 2-32 "Ax"

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処 置
A1	ERA1-A3	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	エラー	脱煙ブロアの回 転が異常です。	リカバリランプが点灯のと き、ジョブを再スタート後、
A2	ERA2-A0	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	エラー	チョークコイル冷 却ファンの回転が 異常です。	主操作パネルの [リセット] スイッチを押して用紙を正
A3	ERA3-30	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	エラー	スタッカテーブルモ -タの回転が異 常です。	規の位置に合わせ、副 操作パネルの山谷選択 スイッチを押して、
	ERA3-A5	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	エラー	メカコンボードのセ ンサ回路のヒュー ズが切れました。	しスタート」スイッチを押 します。 リカバリランプが未点灯の
AD	ERAD-AA	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	エラー	サクションファンが 回転停止しまし た。	とき、印刷状態、用紙の 位置を確認して、正常で あれば、主操作パネルの
AE	ERAE-A7	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	エラー	オゾンフィルタ用フ ァンが回転停止し ました。	[リゼット] 、 [スタート] スイッチを押 します。 王奕 佐士 スポックは (200)
	ERAE-A8	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	エラー	光学部用ファンが 回転停止しまし た。	再先生する場合は保守 技術員に連絡してください。
	ERAE-A9	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	エラー	アナログ部用ファ ンが回転停止し ました。	
	ERAE-AE	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	エラー	前帯電器防塵 用ファンが回転停 止しました。	
AF	ERAF-AD	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	I7-	現像剤の温度異 常を検出しまし た。	

2.8.2. 再スタート手順

用紙づまり、印刷中のカバーオープン/インタロックなどが発生したときの再スタート手順を示します。

2.8.2.1. UNIX サーバ接続

ページバッファ内のデータはクリアされます。

エラー発生原因を取り除いて [リセット] スイッチを押し、用紙を正規の位置に合わせて 山谷選択スイッチを押します。

次に [スタート] スイッチを押し、データ受信可能状態にします。

UNIX サーバ側の設定により、再スタートには以下の2通りの方法があります。

- a. 上記 [スタート] スイッチを押し、データ受信可能状態で自動的に UNIX サーバ側よ りデータ送信を再開します。
- b. UNIX サーバより、手動(コンソール上)でコマンド発行にてデータ送信を再開します。

また、エラーの内容により、記録位置から定着器までの長さに相当するページ数分が2度 出力されるので注意を要します。(用紙づまり、印刷中のカバーオープン/インタロックな ど)

〔印刷中に電源断となった場合〕

電源投入後は、先の UNIX サーバ側より、手動で印刷を再開します。

2.8.2.2. PRIMERGY6000 接続

ページバッファ内のデータはクリアされます。

エラー発生原因を取り除いて [リセット] スイッチを押し、用紙を正規の位置に合わせて 山谷選択スイッチを押します。

次に [スタート] スイッチを押し、データ受信可能状態にします。

PRIMERGY6000 側の設定により、再スタートには以下の2通りの方法があります。

- a. 上記 [スタート] スイッチを押し、データ受信可能状態で自動的に PRIMERGY6000 側よりデータ送信を再開します。
- b. PRIMERGY6000 側より、手動(コンソール上)でコマンド発行にてデータ送信を再開します。

また、エラーの内容により、記録位置から定着器までの長さに相当するページ数分が2度 出力されるので注意を要します。(用紙づまり、印刷中のカバーオープン/インタロックな ど)

〔印刷中に電源断となった場合〕

電源再投入後は、先の PRIMERGY6000(側より、手動で印刷を再開します。

- 2.8.2.3. PC/基幹 IA サーバ(Linux) 接続
 - ページバッファ内のデータはクリアされます。

エラー発生原因を取り除いて [リセット] スイッチを押し、用紙を正規の位置に合わせて山 谷選択スイッチを押します。

次に [スタート] スイッチを押し、データ受信可能状態にします。

PC/基幹IAサーバ(Linux)側の設定により、再スタートには以下の2通りの方法があります。

- a. 上記 [スタート] スイッチを押し、データ受信可能状態で自動的に PC/基幹 IA サ ーバ(Linux)側よりデータ送信を再開します。
- b. PC/基幹 IA サーバ (Linux) 側より、手動 (コンソール上) でコマンド発行にてデ ータ送信を再開します。

また、エラーの内容により、記録位置から定着器までの長さに相当するページ数分が2度 出力されるので注意を要します。(用紙づまり、印刷中のカバーオープン/インタロックな ど)

〔印刷中に電源断となった場合〕

電源投入後は、先の PC/基幹 IA サーバ(Linux)側より、手動で印刷を再開します。

2.8.2.4. PC/基幹 IA サーバ(Windows Server) 接続

(1)PrintWalker/PM による 66XX、FNP 印刷

ページバッファ内に残っているデータは、クリアされます。

エラー発生原因を取り除いてリセットスイッチを押し、用紙を正規の位置に合わせて 山谷選択スイッチを押します。

次に [スタート] スイッチを押してデータ受信可能状態にします。この状態で自動的に データ送信を再開します。PC/基幹 IA サーバ(Windows Server)上の PrintWalker/PM 画面には、エラー(JAM 等)が発生した JOB に対して異常終 了が通知されます。

また、エラーの内容により、記録位置から定着器までの長さに相当するページ数分が 2度出力されるので注意を要します。(用紙づまり、印刷中のカバーオープン/インタ ロックなど)

〔印刷中に電源断となった場合〕

電源切断時も PC/基幹 IA サーバ(Windows Server)側にエラーが通知され、 電源再投入後にサーバ側より再スタートを行います。 (2) Ipd (LPR Port) により 66XX 印刷

ページバッファ内に残っているデータは、クリアされます。

エラー発生原因を取り除いて [リセット] スイッチを押し、用紙を正規の位置に合わせ て山谷選択スイッチを押します。

次にスタートスイッチを押してデータ受信可能状態にします。PC/基幹 IA サーバ (Windows Server)上の帳票マネージャ画面には、エラー(JAM 等)が発生し た JOB に対して異常終了が通知されます。エラーが発生した JOB の続きを印刷する 場合は、印刷

ページを印刷物にて確認し、PC/基幹 IA サーバ(Windows Server)側で再開 ページを指定することで必要なページからの印刷が可能です。再開ページを指定しなけ れば、最初のページから印刷を行います。

〔印刷中に電源断となった場合〕

プリンタ側電源再投入後に、サーバ側より、自動的に再スタートが可能となります。 ただし、印刷は先頭ページからの再スタートとなります。

(3)lpd (LPR Port) による FNP 印刷

ページバッファ内のデータはクリアされます。

エラー発生原因を取り除いてリセットスイッチを押し、用紙を正規の位置に合わせて山谷選 択スイッチを押します。

次にオンラインスイッチを押し、データ受信可能状態にします。

サーバ側より、自動的に印刷のつづきより再スタートをします。

ただし、ジャム発生ページは保証できませんので、印刷を一度キャンセルして再度印刷依頼 をしてください。

〔印刷中に電源断となった場合〕

プリンタ側電源再投入後に、サーバ側より、自動的に再スタートが可能となります。 ただし、印刷は先頭ページからの再スタートとなります。

2.8.2.5. Windows PC 接続

(1)PrintWalker/PM による FNP 印刷

ページバッファ内に残っているデータは、クリアされます。

エラー発生原因を取り除いてリセットスイッチを押し、用紙を正規の位置に合わせて 山谷選択スイッチを押します。

次に [スタート] スイッチを押してデータ受信可能状態にします。この状態で自動的に データ送信を再開します。Windows PC 上の PrintWalker/PM 画面には、エラー

(JAM 等)が発生した JOB に対して異常終了が通知されます。

また、エラーの内容により、記録位置から定着器までの長さに相当するページ数分が2 度出力されるので注意を要します。(用紙づまり、印刷中のカバーオープン/インタロッ クなど)

〔印刷中に電源断となった場合〕

電源切断時も Windows PC 側にエラーが通知され、電源再投入後に Windows PC 側より再スタートを行います。

(2)lpd(LPR Port)による FNP 印刷

ページバッファ内のデータはクリアされます。

エラー発生原因を取り除いて [リセット] スイッチを押し、用紙を正規の位置に合わせて 山谷選択スイッチを押します。

次にオンラインスイッチを押し、データ受信可能状態にします。

サーバ側より、自動的に印刷のつづきより再スタートをします。

ただし、ジャム発生ページは保証できませんので、印刷を一度キャンセルして再度印刷依頼をしてください。

〔印刷中に電源断となった場合〕

プリンタ側電源再投入後に、サーバ側より、自動的に再スタートが可能となります。 ただし、印刷は先頭ページからの再スタートとなります。

- 2.8.2.6. チャネル接続
 - 【PS5110BL でチャネル接続機構オプション(PS5110B50)搭載時】 再スタート手順はFUJITSU Printer PS5000シリーズ チャネル接続機構 (PS5600C50/PS5110B50)の取扱説明書を参照してください。

【PS5110BK でチャネル接続機構オプション(PS5110B10)搭載時】

(1)リカバリランプが点灯している場合

ページバッファ内のデータは自動的にクリアされます。システムコンソールのメッセージで バックアップページ数が示された場合、このページ数にはページバッファ内の印刷され なかったページ数と記録位置から定着器までの長さに相当するページ数(実際の 印刷の有無に無関係)が含まれます。

このシステムコンソールに表示されたページ数で十分な場合には、その値でジョブを 再スタートし、装置をレディとします。この場合、記録位置から定着器までの長さに 相当するページ数分が2度出力されるので注意してください。

また、定着器以降で不良のページがあるならば、その値とシステムコンソールに表示された値の和でジョブを再スタートし、装置をレディとします。ただし、クリアプリント(ファ ンクションキー操作)での印刷中に点灯した場合、バックアップページ数は通知され ませんので注意してください。

(2)リカバリランプが未点灯の場合

ページバッファにデータが残っていると次の再スタートにより、まず、残っていたデータが 印刷され、その直後に再スタートされたデータが連結して印刷されます。 再スタート開始時のデータを容易に区別するためには、次の手順でページバッファに 残っていたデータをあらかじめ印刷してください。

- エラー発生原因を取り除き、[リセット]スイッチ、[クリアプリント]ボタン (ファンクションキー操作)を押します。
- ② 印刷終了後、[イジェクト] スイッチを押します。
- ③ ジョブ再スタート後、[スタート] スイッチを押します。
- (3)印刷中に電源断となった場合

電源投入後、正常であればジョブを再スタートします。正常に動作しない場合は、 保守技術員に連絡してください。 2.8.3. 用紙づまり (ジャム)時の処理

ここでは、プリンタ内に用紙がつまったときの対処方法について説明します。



用紙づまりの処置をする際には、搬送経路内に紙片等の残留物が残っていないか十分確認してください。 紙片等の残留物が残ったまま印刷すると、定着部に残った紙片等の残留物によって用紙焦げ、未定着障害が発生することがあります。

2.8.3.1. 用紙づまりの対処をする前に

用紙づまりの対処をするときは、必ず次のことを守ってください。



万一、発煙を伴う用紙づまりが発生した場合

- ユニットエマージェンシースイッチを押して、装置の電源をオフ にしてください。
- 至急弊社保守技術員にご連絡ください。
- この場合は、決して前面のカバーを開けないでください。





定着器の取り扱いについて

- ランプが消灯中は、定着器内の用紙を引き出すと発火する 可能性があります。
- ランプが点灯してから定着器を開放し、用紙を引き出してく ださい。
- 紙片等の残留物は用紙焦げの原因となります。用紙づまり を対処するときは、定着器内と周辺に紙片等の残留物が 残っていないことを十分に確認してください。





高温注意のラベル貼付箇所は、火傷をするおそれがあります。 温度が下がるまで触れないでください。



2.8.3.2. 用紙づまりの対処方法

用紙づまりが発生したら、以下の手順で対処してください。 「2.3 用紙のセット」でオートローディング中に「用紙づまり」が発生し、用紙の先端が定着 部まで到達していない場合の対処方法については、「2.8.3.3 オートローディング時の 用紙づまりの対処方法」を参照ください。

進させると、その長さ分のトナーの未定着部分が生じます。

- 装置左上カバー、左前カバー、右前カバーを開き ます。
- 2 スタッカパネルの[ダウン]スイッチを押し(①)、
 スタッカテーブルを 10 ~ 15cm 下げて(②)、
 [ストップ]スイッチを押します(③)。

スタッカテーブルの動作中は、絶対にスタッカ内に 手を入れないでください。





③ スタッカ部の底部に備え付けのペーパーナイフで、 用紙の最上部の折りたたみ部分を切断します。



④ 定着部右カバーを開きます。



- ⑤ 定着部の緑色ランプの点灯を確認したら、ロックレ バーを時計方向に回し(①)、レバーにて定着 器を開きます(②)。
 - ・定着器は、プリンタの電源をオフにすると開かなく なります。
 - ・定着器は、必ずランプの点灯を確認してから操 作してください。
- ⑥ 搬送レバーを手前に起こし(①)、反時計方向 にゆっくりと倒して(②)、搬送ユニットを下げま す。





- ⑦ 定着部で用紙を切断します。
 - ・未定着印字部分があります。注意して作業して ください。



 スカッフローラー切り替えレバーを「リリース」の位置 に合わせます。



- ⑨ 定着部・スタッカ部内に残っている用紙を、定着器入口から引き抜きます。
 - ・用紙破れなどで残っている紙片は、確実に取り 除いてください。
 - ・未定着のトナーを定着部に落とさないように取り除いてください。
 - ・再スタート時に、記録位置から定着器までの長さに相当するページ数分が2度出力されるので注意を要します。また、取り除いた用紙に印刷されているページがすべて2度出力されない事があるので注意してください。
- ⑩ 装置右側面カバーを開きます。
- ⑪ ホッパ部で用紙を切断します。







12 トラクタの蓋を開きます。

③ トラクタのトラクタピンから用紙を取り外し(①)、
 蓋を閉じます(②)。



- (④) 定着部入口から搬送部に残っている詰まった用 紙を、引き抜きます。
 - ・搬送部に残っている紙片等を確実に取り除いて ください。転写帯電部に紙片が引っ掛かったま まになっていると、印字抜けの原因となります。
- ⑤ 用紙づまり対処後の最終確認をします。
 以下の項目を必ず確認し、紙粉やトナーの汚れを確実に清掃してください。
 各部の清掃方法については、「2.9 清掃」を参照してください。



- ・ホッパ内部の紙粉や紙片がないことを確認 します。
- ・セットする用紙や用紙箱に紙粉や紙片の付着がない ことを確認します。





トラクタ部

・トラクタピンの残留紙片、トラクタ部の紙粉がないこと を確認します。



サクション部

・未定着のトナーや紙粉、取り除いた用紙の紙片がな いことを確認します。





・転写部の用紙ガイドに、未定着トナーの飛散や紙粉、 取り除いた用紙の残留紙片がないことを確認しま す。



定着部

・定着器のガラス面、脱煙スリットに、トナーの飛散や 紙粉、取り除いた用紙の紙片がないことを確認しま す。



用紙ガイド部

・スカッフローラー・ピンチローラの汚れや、取り除いた用 紙の紙片がないことを確認します。

用紙ガイド部の開閉方法 「開く場合」 用紙ガイドレバーを反時計方向に回転させ(①)、 用紙ガイドを開きます(②)。

レバーを回転させると、自動的に用紙ガイドが開きま す。注意してください。





「閉じる場合」 用紙ガイドの取手を押して閉じます。

確実に閉じていることを確認してください。

⑤ 「2.3 用紙のセット」の手順で、トラクタに用紙をセットします。





- 1 清掃のために開いた各部を閉じます。
- 18 装置左上カバー、左前カバー、右前カバーを閉じます。
- 19 [リセット] [ロード]、その後「スタート」スイッチ を押します。

2.8.3.3. オートローディング時の用紙づまりの対処方法

ここでは、「2.3 用紙のセット」でオートローディング中に「用紙づまり」が発生し、用紙の先端が定着部まで到達していない場合の対処方法について説明します。 用紙の先端が、定着部もしくはスタッカ部まで到達している場合の「用紙づまり」については、 「2.8.3.2 用紙づまりの対処方法」にて対処してください。

- ① 装置左前カバー、右前カバーを開きます。
- 2 搬送レバーを手前に起こし(①)、反時計方向 にゆっくりと倒して(②)、搬送ユニットを下げま す。



③ ホッパ部で用紙を切断します。



④ トラクタの蓋を開きます。



- ⑤ トラクタのトラクタピンから用紙を取り外し、トラクタ 部から搬送部に残っている詰まった用紙を、引き 抜きます。
 - ・搬送部に残っている紙片等を確実に取り除いて ください。転写帯電部に紙片が引っ掛かったま まになっていると、印字抜けの原因となります。



第2章 操作

⑥ 用紙づまり対処後の最終確認をします。
 以下の項目を必ず確認し、紙粉やトナーの汚れを確実に清掃してください。
 各部の清掃方法については、「2.9 清掃」を参照してください。

ホッパ部

- ・ホッパ内部の紙粉や紙片がないことを確認 します。
- ・セットする用紙や用紙箱に紙粉や紙片の付着がない ことを確認します。



トラクタ部

・トラクタピンの残留紙片、トラクタ部の紙粉がないこと を確認します。



サクション部

・未定着のトナーや紙粉、取り除いた用紙の紙片がな いことを確認します。



転写部

・転写部の用紙ガイドに、未定着トナーの飛散や紙粉、 取り除いた用紙の残留紙片がないことを確認しま す。



⑦ 「2.3 用紙のセット」の手順で、トラクタに用紙をセットします。



- ⑧ 清掃のために開いた各部を閉じます。
- ⑨ 装置左上カバー、左前カバー、右前カバーを閉じ ます。
- ① [リセット] [ロード]、その後「スタート」スイッチ を押します。

2.8.3.4. 転写部、定着部の用紙確認が必要となる用紙づまりについて

ここでは、「用紙づまり」を対処した後、残紙片を確認するメッセージ表示の内容について 説明します。

「表 2-33 残紙片の確認が必要なエラーコード」に示すエラーコードの「用紙づまり」では、 用紙づまりの対処後、オートロードのタイミングで残紙片確認のためのメッセージを表示しま す。オートロードの前後に、転写部用のメッセージと、定着部用のメッセージが2回表示さ れます。

「表 2-34 残紙片確認のためのメッセージ」にエラーコードを示します。これらのメッセージが表示された場合は、メッセージに従って残紙片の確認を行ってください。

状態コード	エラーコード	メッセージ表示
20	ER20-01	◇用紙づまり◇
		装置内に残紙片が無いことを確認し、用紙のミシン目を合わせ山谷を
		確認、選択して下さい。
	ER20-02	◇用紙はずれ◇
		装置内に残紙片が無いことを確認し、トラクタ合わせを行い、用紙を再
		セットして下さい。
21	ER21-01	◇用紙づまり◇
		装置内に残紙片が無いことを確認し、用紙のミシン目を合わせ山谷を
		確認、選択して下さい。
	ER21-02	◇用紙づまり◇
		装置内に残紙片が無いことを確認し、用紙のミシン目を合わせ山谷を
		確認、選択して下さい。
	ER21-03	◇用紙づまり◇
		装置内に残紙片が無いことを確認し、用紙のミシン目を合わせ山谷を
		確認、選択して下さい。

表 2-33 残紙片の確認が必要なエラーコード

表 2-34 残紙片確認のためのメッセージ

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	表示タイミング
0D	ER0D-70	◇定着部用紙チェック◇ 定着器を開閉して残紙片が無いことを確認して 下さい。リセットボタンを押して下さい。	オートロード 動作完了時
	ER0D-71	◇転写部用紙チェック◇ 中扉と搬送ユニットを開き、転写部に残紙片が 無いことを確認して下さい。	オートロード SW 押下時(※)

※「2.8.3.2 用紙づまりの対処方法」で転写部を確認済みの場合など、表示されない場合があります。

- ・「EROD-70:定着部用紙チェック」が表示された場合、以下の手順で定着部の用紙確認をしてください。
- ① 定着部右カバーを開きます。

- 定着部の緑色ランプの点灯を確認したら、ロックレ バーを時計方向に回し(①)、レバーにて定着 器を開きます(②)。
 - ・定着器は、プリンタの電源をオフにすると開かなく なります。
 - ・定着器は、必ずランプの点灯を確認してから操 作してください。
- 定着部に紙片がないことを確認し、あれば取り除 きます。







 ④ 終了後は定着器を閉じ、ロックレバーを戻してから、 エラーをリセットしてください。

- ・「EROD-71:転写部用紙チェック」が表示された場合、以下の手順で転写部の用紙確認を してください。
- 装置左前カバーと右前カバーを開き、中扉を開き ます。

2 搬送レバーを手前に起こし①、反時計方向にゆっくりと倒して②、搬送ユニットを下げます。









③ 転写部に残紙片がないことを確認し、あれば取り 除きます。 ドラムに触れないようにしてください。損傷するおそ

れがあります。 ※取り除きにくい場合は、転写帯電器を

引き出して用紙を取り除いてください。

 ・ 搬送レバーを時計方向にゆっくり回し①、
 レバーを倒して②、搬送ユニットをセット
 します。

⑤ 中扉を閉じ、装置左前カバーと右前カバーを閉じてから、エラーをリセットしてください。

2.9. 清 掃

2.9.1. 清掃個所および頻度

本装置の清掃個所には、帯電器部、搬送部、定着部、トナー補給部・トナー回収ボトル付近、用紙センサ部があります。

各部の清掃個所を図 2-131 に、清掃頻度を表 2-35 に示します。





表 2-35 清掃頻度

清掃個所	清 掃 頻 度
前帯電器	・始業点検時
転写帯電器	・主操作パネルの液晶表示メッセージ発生時
	(折畳み長 11 インチ用紙で約 10 万シートごと)
搬送部	・主操作パネルの液晶表示メッセージ発生時
	(折畳み長 11 インチ用紙で約 10 万シートごと)
定着部	・始業点検時(注)
	・主操作パネルの液晶表示メッセージ発生時
	(折畳み長 11 インチ用紙で約 10 万シートごと)
トナー補給部・	・トナー補給時
トナー回収ボトル付近	・主操作パネルの液晶表示メッセージ発生時
	(折畳み長 11 インチ用紙で約 10 万シートごと)
光電センサ部	・始業点検時
	・主操作パネルの液晶表示メッセージ発生時
	(折畳み長 11 インチ用紙で約 10 万シートごと)

(注) 用紙づまり発生時は、その都度必要に応じて行います。
なお、本装置では、約10万シート(折畳み長11インチ用紙の場合)ごとに前帯電器、転 写帯電器および装置各部の清掃時期が、状態表示"OF"で主操作パネルに表示されます。 オペレータ清掃が表示されたとき、次の手順で処理します。



2.9.2. 清掃用品

清掃時には、以下のような用具、用品が必要です。 ・ポリエチレン手袋 ・清掃用不織布 ・真空掃除機 ・スクレーパ

2.9.3. 帯電器部(前帯電器、転写帯電器)の清掃



- 2.9.3.1. 清掃をはじめる前に
 - ・帯電線を切断したり、局部的に曲げたり傷をつけたりしないように注意してください。
 - ・帯電器を抜き差しする際、感光ドラムに傷をつけないよう注意してください。
 - ・帯電線には直流高電圧が印加されているので電源投入時は、帯電器付近を絶対に触らないよう注意してください。始業点検時の前帯電器、転写帯電器の清掃は、電源投入前に行ってください。
 - ・帯電線の清掃帯電線が空気中の塵埃、紙粉および飛散したトナー粒子により汚れると、 表 2-36 に示す現象が画像に生じることがあるので、定期的に点検して清掃してください。

帯 電 器	現象
前帯電器	印字濃度不良
	地汚れ
	印刷むら
	印字ぼけ(コントラスト不足)
転写帯電器	印字濃度不良
	縦縞状の印字抜け
	印刷むら
	印字ぼけ

表 2-36 帯電線の汚れにより生じる現象

・異常放電または清掃時に帯電線を切断した場合、あるいは清掃をしても印字品質が良 くならない場合は、保守技術員に連絡し、帯電器を交換します。 2.9.3.2. 帯電器部(前帯電器、転写帯電器)の清掃手順

清掃は、始業点検時および主操作パネル表示時(折畳み長11インチで約10万シート ごと)に必ず各帯電器について以下の手順に従って行います。

- ① 装置左前カバー、右前カバーを開きます。
- ② 中扉を開きます。



- ③ 前帯電器の取手を持ち、前後に4~5回抜き差 しして清掃します。
 - ・前帯電器の抜き差しの操作力は、清掃を確実 の行うため大きめに設定されています。
 - ・前帯電器は抜き差しの動作で取り外す ことはできません、

・装置から約 500mm 手前に出てきます。

帯電線、シールドケースに付いているトナーなどの 汚れを清掃用不織布で拭き取るときは、線を切 らないよう注意してください。

④ 清掃後、前帯電器を装置に確実にセットしてください。

⑤ 搬送レバーを手前に起こし(①)、反時計方向 にゆっくりと倒して(②)、搬送ユニットを下げま す。







⑥ 転写帯電器をゆっくりと引き出して取り外します。



⑦ 転写帯電器裏側のクリーナの取手を持ち、4~5
 回往復させて清掃します。

帯電線、シールドケースに付いているトナーなどの 汚れを清掃用不織布で拭き取るときは、線を切 らないよう注意してください。

⑧ 清掃後、転写帯電器をレールに沿って押し込み ます。



 ・搬送レバーを時計方向にゆっくり回し(①)、レ
 バーを倒して(②)、搬送ユニットをセットしま
 す。





中扉を閉じます。

⑪ 装置右前カバー、左前カバーを閉じます。

2.9.4. 搬送部の清掃



搬送部に紙粉などが蓄積すると、画像を乱したり、紙送り異常を起こすことがあるので、定期的に点検して清掃します。

2.9.4.1. 搬送部(トラクタ部、転写部)の清掃手順

以下の手順で搬送部を清掃してください。

- ① 装置左前カバー、右前カバーを開きます。
- ② 中扉を開きます。

③ 搬送レバーを手前に起こし(①)、反時計方向 にゆっくりと倒して(②)、搬送ユニットを下げま す。





 ④ 転写部の用紙ガイド付近に付いたトナー・紙粉を 清掃用不織布で拭き取ります。
 真空掃除機が設置してある場合は、真空掃除 機で汚れを吸い取ります。
 真空掃除機を使用する場合は、ノズルの先端が ドラムユニットに触れないようにしてください。ドラム ユニットが損傷するおそれがあります。



⑤ 装置右側面カバーを開きます。

- トラクタ部の紙粉などを清掃用不織布で拭き取ります。
 真空掃除機が設置してある場合は、真空掃除機で汚れを吸い取ります。
- ⑦ 搬送レバーを時計方向にゆっくり回し(①)、
 レバーを倒して(②)、搬送ユニットを
 セットします。







⑧ 中扉を閉じます。

⑨ 装置右前カバー、左前カバー、右側面カバーを 閉じます。

2.9.5. 定着部の清掃



- 2.9.5.1. 清掃をはじめる前に
 - ・清掃作業は、危険防止のため必ず定着器前面の緑色ランプ点灯後に作業してください。
 - ・装置の電源を切断する前に、定着器を開いておきます。
 - ・電源を切断した場合は、ランプが消灯するので十分冷えてから清掃作業を始めてください。
 - ・ガラス面の損傷や破損に注意してください。
- 2.9.5.2. 定着部の清掃手順

清掃は以下の手順に従って行います。

- ① 装置左前カバー、左上カバーを開きます。
- ② 定着部右カバーを開きます。

- ③ 定着部の緑色ランプの点灯を確認したら、ロック レバーを時計方向に回し(①)、レバーにて定 着器を開きます(②)。
 - ・定着器は、プリンタの電源をオフにすると開かなく なります。
 - ・定着器は、必ずランプの点灯を確認してから操 作してください。



- ④ ガラス面に付着しているトナーを、スクレーパ(添付品)で清掃し、清掃用不織布でふき取ります。
 汚れがひどく、清掃しても取れないような場合は、
 弊社の保守技術員にご連絡ください。
- ⑤ 脱煙スリットを清掃用不織布でふき取ります。汚れがひどく、清掃しても取れないような場合は、弊社の保守技術員にご連絡ください。
- ・搬送路の汚れを清掃用不織布でふき取ります。
 真空掃除機が設置してある場合は、真空掃除
 機で汚れを吸い取ります。
- ⑦ 定着器をゆっくり元に戻し(①)、ロックレバーを
 反時計方向に回転して定着器をロックします
 (②)。







⑧ 定着部右カバーを閉じます。

⑨ 装置左上カバー、左前カバーを閉じます。

2.9.6. トナー補給部・トナー回収ボトル付近の清掃



トナーを目や口に入れないでください。 トナーの交換時に手についたトナーは速やかに洗い落とし、 目や口に入れないでください。トナーをこぼしたときなどにこの 粉塵を長いあいだ多量に吸い込むと、肺に影響を及ぼすこ とがありますので、ご注意ください。また、このようなときには、 速やかに医師に相談してください。

トナーの補給、回収作業において誤って周囲にトナーを飛散させた場合は、清掃用不織布で 拭き取るか、真空掃除機で吸い取ります。

2.9.6.1. トナー補給部・トナー回収ボトル付近の清掃手順

以下の手順でトナー補給部・トナー回収ボトル付近を清掃してください。

- ① 装置右上カバーを開きます。
- トナー補給部付近の汚れを清掃用不織布でふ き取ります。



- ③ 装置右上カバーを閉じます。
- ④ 装置左前カバー、右前カバーを開きます。
- ⑤ 中扉を開きます。

- ⑥ トナー回収ボトルの上方を傾けて(①)、取り外します(②)。
 - トナー回収ボトルを落とさないように注意してください。



クリーナユニットの取手部にあるキャップを取り外し、
 トナー排出口に差し込みます。

清掃中にトナーがこぼれ落ちる場合があります。 必ずキャップをしてください。

 8 トナー回収ボトル付近の汚れを清掃用不織布で ふき取ります。
 真空掃除機が設置してある場合は、真空掃除 機で汚れを吸い取ります。





1

⑨ クリーナユニットのトナー排出口のキャップを取り外し、取手の穴に差し込みます。



トナー回収ボトルを落とさないように注意してください。



中扉を閉じます。

12 装置右前カバー、左前カバーを閉じます。

2.9.7. 光電センサ部の清掃

以下の手順で光電センサ部を清掃してください。

- ① 装置右側面カバーを開きます。
- 2 装置手前側(左側)のトラクタの蓋を開きます。







④ 装置手前側(左側)のトラクタの蓋を閉じます。



⑤ 装置右側面カバーを閉じます。

第3章 印刷用紙の規格と印刷データ

本章では、本装置で使用する印刷用紙の規格および印刷データ作成上の注意について説明します。

プリンタ用紙の製造においては、印字品質を保証するのに必要な範囲内に用紙の特性を管理す るために多大な費用を要します。ランニングコストを下げるために安価な用紙を使用しがちですが、 用紙の品質管理の悪さに起因する予期せぬ障害を生じることがあり、その結果生じる装置稼働 率の低下によって用紙購入費の低減分を帳消しにしてしまうことがあります。

反対に高価な用紙を使っても、用紙が目的に合った特性を持っていない場合にはやはり問題を 生じる場合があります。用紙は電子写真式プリンタ(ページプリンタ)に合った特性を持ち、高い 信頼性と良い印字品質を得ることができるように設計されていなければなりません。

本装置の性能を十分に活用するためには、本章に記載した事項をすべて満たしている必要があります。用紙が本書の規格に合致しない場合の不具合とそれによる損害について、富士通株式会社は一切の責任を負いかねます。また、装置への適合性を最も適切に判断するために、用紙メーカーと事前に十分な議論をし、同品質の用紙と実際の装置を用いた事前印刷テストをその用紙の大量購入前に行うことが必要です。

この事前印刷テストは、特にプレプリント用紙を含む特殊用紙を使用する際には重要となります。 また、事前テストの結果が良好であっても、用紙製造工程のバラツキによって異なる製造ロットの 用紙で問題が発生することがあります。したがって当社は、その製造工程が完全に管理された用 紙をご使用になるよう推奨いたします。

3.1. 基本仕様

3.1.1. 用紙の仕様

本装置に適用できる用紙の基本仕様を表 3-1 に示します。なお、本仕様は一般的な基本仕様を示したものであり、用紙銘柄などにより多少異なる場合があるため、運用に先立ち 十分な事前確認が必要です。

項目	仕 様	参照
紙質	NIP 紙、上質紙、再生紙	3.3
形態	送り孔付き折畳み連続印刷用紙	3.2
使用可能な	横寸法 165.1~457.2mm(6.5~18 インチ)	
用紙サイズ	この間連続可変	
	縦寸法 177.8~355.6mm(7~14 インチ)	
	(折畳み方法)	
	この間 12.7mm(1/2 インチ)ステップ	
用紙坪量	64~157g/m ² (連量 55~135Kg)	3.3
(連量)注1	ただし、タック紙等の場合は貼り合わせた総合坪量	
水分量	5.5±0.5%	3.3.5
表面固有抵抗	$1 \times 10^{9} \sim 1 \times 10^{12} \Omega$	3.3.5
用紙箱の大きさ	箱の高さは 300mm を超えないこと	3.2.2
梱包条件	防湿フィルム梱包もしくはこれに類する防湿効果を持つもの	3.2.2
保管条件	10~30°C, 30~70%RH	3.3.7

表 3-1 用紙の基本仕様

(注1) 連量:四六版(788×1,091mm)の用紙を1,000枚重ねたときの重さを表します。

- (注2) アート紙、コート紙、感圧紙などの上質紙に属さないものは、印刷特性上保証できません。
- (注3) 連量 135kg で用紙幅 9 インチ以下の用紙は、低湿環境で使用されると面画ムラが 発生することがあります。
- (注4)用紙に含まれるタルクの量が多いと、黒スジやカブリ等の印字障害が発生することがあります。使用される場合は、十分な事前確認を実施してください。 なお、用紙に含まれるタルクの量については、用紙メーカーに確認してください。
- (注5)用紙加工に施されているインク、糊、填料が感光体表面に付着し、印字品質劣化を引き起こした場合、専用の清掃液で除去する必要があります。保守技術員にご連絡 ください。

3.1.2. 印刷領域

3.1.2.1. 印刷可能領域について

図 3-1 に示す印刷領域を超えた印刷品質は保証できません。 また、印刷領域内であっても、ミシン目、糊塗布、カット、凹凸等が存在する場合は、 印刷品質が低下します。

〔Fモード標準〕



⁽注1)幅方向の印刷領域

図は幅 457.2mm(18 インチ、最大幅)の用紙の場合の印刷領域です。

- a. 幅 165.1~454.66mm(6.5~17.9 インチ)の用紙の場合
 用紙両側の送り孔センタより装置手前側で 9.14mm(0.36 インチ)と装置奥側で
 9.14mm(0.36 インチ)の範囲を除いた内側の部分を印刷領域と考えます。この領域がフォ ームオーバレイ用として使用できる基本寸法です。
- b. 幅 457.2mm(18 インチ)の用紙の場合
 用紙両側の送り孔センタより装置手前側で 9.14mm(0.36 インチ)と装置奥側で
 11.68mm(0.46 インチ)の範囲を除いた内側の部分を印刷領域と考えます。この領域
 424.18mm(16.7 インチ)がフォームオーバレイ用として使用できる基本寸法です。
- (注 2) 印字幅 419.1mm(16.5 インチ)は、(注 1)の印刷領域内で可能です。
 移動できる範囲は左に 2.11mm(0.083 インチ)、右に 78.74mm(3.1 インチ)です。
 但し、本図に示す印刷範囲を超えた部分は保証できません。

〔ーード〕



図 3-1 印刷可能範囲(2/2)

(注1)幅方向の印刷領域

図は幅 457.2mm(18 インチ、最大幅)の用紙の場合は印刷領域です。

- a. 幅 165.1~452.12mm(6.5~17.8 インチ)の用紙の場合
 用紙両側の送り孔センタより装置手前側で 7.87mm(0.31 インチ)と装置奥側で
 9.14mm(0.36 インチ)の範囲を除いた内側の部分を印刷領域と考えます。この領域が フォームオーバレイ用として使用できる基本寸法です。
- b. 幅 457.2mm(18 インチ)インチ(最大幅)の用紙の場合
 用紙両側の送り孔センタより装置手前側で 7.87mm(0.31 インチ)と装置奥側で
 12.95mm(0.51 インチ)の範囲を除いた内側の部分を印刷領域と考えます。この領域
 424.18mm(16.7 インチ)がフォームオーバレイ用として使用できる基本寸法です。
- (注 2) 印字幅 419.1mm(16.5 インチ)は、(注 1)の印刷領域内で可能です。
 移動できる範囲は左に 2.11mm(0.083 インチ)、右に 78.74mm(3.1 インチ)です。
 但し、本図に示す印刷範囲を超えた部分は保証できません。

3.1.2.2. 印刷、孔あけなどの禁止領域

中間ミシン目、糊塗布、カット孔等の加工部分では用紙にバリや凹凸が存在するため、 転写不良による印字抜け等の障害原因となります。したがって、このような部分の近傍は 印字禁止領域となりますので帳票設計時には注意してください。

また、装置性能の確保上、用紙左側の一部にはミシン目、孔あけ、プレプリント加工ができない領域があります。

該当する禁止領域例を図 3-2、図 3-3に示します。

(1) 印字禁止領域(折り畳みミシン目、中間ミシン目等)



図 3-2 印字禁止領域

(2) 加工禁止領域(縦ミシン目、孔あけ、プレプリント加工)



3.2.用紙加工仕様

3.2.1.ミシン目加工・送り孔加工

連続帳票には、用紙の折り畳みや後処理のためのミシン目と、用紙を正確に搬送するための 送り孔が設けられています。

ミシン目には用紙の横方向に設けられて用紙の折り畳みに用いる折りミシン目、折りミシン目の 間に設けられる中間横ミシン目、用紙の縦方向(搬送方向)に設けられる縦ミシン目がありま す。

本装置に使用される連続帳票には、ミシン目の加工基準推奨値ならびに送り孔加工精度が 規定されています。ミシン目のタイ・カット比が適切でない場合やミシン目の膨らみが大きい場合、 送り孔加工精度が適性でない場合には、紙切れや印刷装置の紙送り性能、用紙の折り畳み に影響し、性能が著しく損なわれる場合があります。

3.2.1.1. ミシン目の名称



図 3-4 ミシン目の名称



図 3-5 ミシン目の表示寸法

3.2.1.2. 送り孔、ミシン目の精度

送り孔は用紙の両端に設けます。半抜け状態の孔、もしくは抜きかすが用紙の間に挟まって残っている用紙は、用紙搬送不良や抜きかすによる脱字現象が発生する可能性があるので、使用できません。



- A:送り孔のセンタと対応する端辺との距離
- B:連続する二つの孔の中心間の距離 ※センタラインに沿って存在する中心距離 254mm(10 インチ)を越えない 任意の二つの送り孔の中心距離の累積誤差は±0.3mm 以下のこと。
- C: 孔の中心のセンタに対するずれの量
- D:送り孔の直径
- E: 左右の対応する孔の中心のずれ量
- F: 折り畳みミシン目と隣接する送り孔のセンタとの距離

図 3-6 用紙加工精度

(2)送り孔の直径



孔の縁が菊形状になっている送り孔は、最小径が上記の D 寸法とし、最大径は 4.5mm を超えないようにします。

3.2.1.3. ミシン目デザイン上の注意事項

(1)推奨ミシン目寸法

折りミシン目、中間縦ミシン目、中間横ミシン目の加工基準推奨値を表 3-3、表 3-4 に示します。

ミシン目加工寸法が同一であっても、用紙の銘柄や加工条件の違いによって折り畳み 特性、切離し特性が変わる場合はあるため、この基準を目安に事前確認をする必要 があります。

用紙連量	55kg から 75kg まで	75kgを超え135kgまで	
ミシン目種類	(64~88g/m2)	(88~157g/m2)	
	0820	0815	
	0825	0820	
tenss	0830	0823	
	1025	0825	
		1020	
		1025	
	0715	0715	
	0815	0815	
中間縦ミシン目	1020	0820	
	1030	0825	
	1040	0830	

表 3-2 折りミシン目、中間縦ミシン目加工寸法

	1015	0815	0820	0825	0830	
用紙坪量	x					
	3.5 インチ	-				
	4.0					
64g/m²から	4.5					
105g/m ² まで	5.0					
(連量 55kg を超え	5.5					
90kg まで)	6.0					
	6.5					
	7.0					
	3.5					
	4.0					
105g/m ² を超え	4.5					
128g/m ² まで	5.0					
(連量 90kg を超え	5.5					
110kg まで)	6.0					
	6.5					
	7.0					
	3.5					
	4.0					
128g/m ² を超え	4.5					
157g/m ² まで	5.0					
(連量 110kg を超え	5.5					
135kg まで)	6.0					
	6.5					
	7.0					

表 3-3 中間横ミシン目加工寸法

備考1. は推奨中間横ミシン目範囲を示します。

備考 2. 中間ミシン目の加工条件は、折りミシン目より折り特性が弱く(折れにくく)なる ようなタイ/カット比率(タイ部に対してカット部の小さいもの)を選びます。 また、用紙の両端に約 2~3mm タイ部を設けます。(図 3.7 参照)

良い例:タイ÷カット < タイ÷カット

- 悪い例:タイ÷カット ≧ タイ÷カット
- 備考 3. OCR 用紙の場合は、一般上質紙より硬いため、この基準値より若干タイ/カット 比率を小さい方向にします。

(2)折りミシン目および中間横ミシン目と用紙の両端面との交点には、必ず約 2~3mm のタイ部を設けてください。また、折りミシン目および中間横ミシン目と縦ミシン目との交 点にも、必ずタイ部を設けてください。



図 3-7 ミシン目の交点

- (3)中間ミシン目の凹凸やバリの存在が印字品質低下の原因となります。凹凸やバリのない用紙を使用すると共に、ミシン目近傍の印字を避けたデザインとしてください。余白の 目安は約 2mm です。(図 3-2 参照)
- (4)中間ミシン目から裁断したときに印字データが分割されてしまうことを防ぐため、ミシン目
 近傍に重要なデータを印字することは避けてください。余白の目安は約 2mm です。
 (図 3-2 参照)
- (5)当社装置には構造上、縦ミシン目を設けることのできない領域が規定されているものが ありますので注意してください。(図 3-3参照)
- (6)中間横ミシン目の本数が多くなると、用紙のバタツキやスタッカ障害の原因となります。 中間横ミシン目の本数はできるだけ少なくしてください。多くなる場合は、タイ/カット比 率を工夫すると共に、十分に事前確認をする必要があります。

表	3 - 4	内部ミシン目数の目安
1	5 1	

ミシン区分用紙連量	内部横ミシン	縦ミシン
55~70kg	1本以下	3本以下
70kg を超え~110kg 未満	2 本以下	3本以下
110kg を超え~135kg	2本以下	4本以下

*内部横ミシンは折り畳みミシン目より2インチ以上離してください。

- 3.2.1.4. ミシン目加工上の注意事項
 - (1)ミシン目の加工は、用紙表面(プリンタ印字面)から裏面方向に打ち抜き、膨らみが ないようにしてください。加工方向が逆の場合は、切込みによる用紙突起部の周囲で 印字不良や感光ドラムへの障害が発生することがあります。
 - (2)折りミシン目は用紙端に対して直角で、かつ一直線に加工されていることが必要です。 直角度が損なわれると斜積や用紙の捩じれなどの原因となります。
 - (3)使用するミシンカッタは、刃厚、切れ味の管理を十分におこなってください。刃厚が厚す ぎたり切れ味が悪い場合は、ミシン目の膨らみが大きくなり、重送、反り、斜積、 用紙のねじれ等の原因となります。刃厚が薄すぎたり切れ味が良すぎる場合は、用紙 切れや逆折れ等の原因となります。



ミシン目の切り込みが弱い ⇒用紙のソリが大きくなる。

坪量が 64g/m²、2,000 シート反り <15mm

ミシン目の切り込みが強い場合 ⇔しわが発生する。用紙がミシン目で切れ易い。

図 3-8 用紙の変形

- (4)ミシン目の加工方法などにより紙粉が大量に発生し、搬送不良や印字品質低下の原因となることがあります。ミシン目加工は、極力鋭利なカッタで加工するとともに、必要により紙粉除去処理を行ってください。
- (5)用紙を加工した後、箱入れする前の折りたたんだ状態、およびプリンタで印刷した後の 状態で、垂直線に対し、前後左右の用紙端面の傾斜角は 6°以内でなければなりま せん。



図 3-9 用紙の横倒れ

- 3.2.1.5. 事前確認
 - (1)ミシン寸法については、運用に先立ち用紙を試作し事前通紙確認を十分に実施して ください。
 - (2)確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカーと十分に話し合い、一定品質の 用紙供給が得られるよう確認することをお薦めします。
- 3.2.2. 用紙の梱包条件
 - (1)カールやシワ、乾燥や吸湿を防ぐため、用紙は防湿性のフィルム(ポリエチレンが適している)に包み、内側が平坦で丈夫な防湿性の箱に入れてください。購入する場合にはこのような用紙をお選びください。箱やフィルムの材質などについては、用紙メーカーと十分にご相談ください。
 - (2)用紙箱の構造は、装置への用紙の繰り出しが用紙箱に引っ掛かることなく行われるよう に、以下の項目について考慮してください。
 - a) 用紙ホッパ部の構造上、用紙箱の高さは 300mm 以下にしてください。
 - b) 用紙箱のふたは別形式 (C 式) のものとし、山ミシン目側の内箱が開く構造とします。

ただし、内箱の開閉部から吸湿しやすいため、防湿処理がなく、また再生紙など吸湿しやすい用紙の場合は、A 式が望ましい。

また、ビニール梱包の用紙やA式の用紙はビニールや用紙箱のふたをきちんと折り返して、用紙の繰り出しがスムーズに行えるようにして、用紙をセットしてください。



(C式)







図 3-10 用紙箱の形式

c)用紙箱の内のりは用紙の縦、横寸法に対して余裕のあるものを使用します。

(図 3-11参照)

- d)ホッチキス等の突起物および、接着剤等のはみ出しが用紙箱の内側にあるものは使 用できません。(図 3-11 参照)
- e)用紙箱の底は平坦にし、用紙を歪ませないよう工夫してください。(図 3-11 参 照)
 用紙箱の内側にホッチキス等の





図 3-11 用紙箱の寸法

(3)用紙箱は、積み上げに耐える強度にすることが必要です。

(4)用紙箱外面に製造者名とロット番号を記入することをお薦めします。

3.3. 用紙基本仕様についての解説

3.3.1. 用紙の種類

本装置で使用できる用紙は電子写真印刷用に製造された上質紙、あるいは、この用紙を加工したものです。用紙は以下に説明する各種条件を考慮して製造される必要があります。

電子写真印刷を考慮せずに製造された用紙を使用すると、用紙の特性や用紙の中の含有物によって装置破損の原因となったり、印字品質低下の原因となったりします。必ず電子写 真印刷用に製造された用紙(OCR 用紙を含む)を使用してください。

電子写真印刷用に最適な用紙とは、電子写真記録における特性を考慮して調製された 特性を持つ用紙を意味します。通常の用紙に対して注意すべき点を以下に挙げます。

- 用紙の特性:
 - (1) 用紙剛度
 - (2) 電気抵抗値
 - (3) 用紙両面間の特性の差
 - (4) 含水率(水分量)
 - (5) 灰分 (パルプ以外の含有物の量)
 - (6) 梱包·保管条件

- 印刷性能:
 - (1) 印刷後のカール
 - (2) 定着性(トナーの紙への固着永続性)
- (3) 用紙の搬送性

3.3.2. 用紙の坪量と填料

用紙を規定する場合の基本的な単位として坪量があります。規定方法は 1m² 当たりの質量を表し、単位は g/m² です。この規定により、用紙の大体の厚さなども決まります。その他に連量で表現する場合があり、これは四六版(0.788×1.091m)の用紙を 1000 枚重ねたときの重さを kg で表示します。

坪量(g/m²)と連量(kg)の関係は、次式で表されます。

坪量×0.86 = 連量

本装置には使用可能な用紙坪量が規定されています(表 3-1 参照)。規定以外の用 紙を使用しますと軽い(薄い)場合には用紙破れ、送り孔ガレ、スタック不良などの原因と なり、重い(厚い)場合は用紙のコシが強くなり過ぎ、搬送不良(用紙バタッキ)、地汚 れ、用紙外れなどの原因となります。従って、必ず規定坪量の用紙を使用してください。 用紙にはパルプ以外に、電気抵抗値を調整したり表面の平滑さを改善するなどの目的で各 種の物質を添加します。これらの物質を填料と呼びます。

坪量が規定値以内でも、填料を多くしてパルプを少なくしたような用紙の場合には、用紙の コシが弱く、用紙づまり、紙折れ、シワの原因となることがあります。このような用紙は、坪量の 割には厚みが薄いのが一般的です。通常の 64g/m² 用紙の厚みは 85µm 程度あります。 用紙のコシの強さについては、目安となる値が規定されています。表 3-8 を参照してくださ い。



特にタルク(酸化マグネシウム)などの填料の多い用紙は、上記 した問題以外にも印字品質の低下や装置の損傷の原因となる ことがあります。タルクなどを含む紙中填料率(配分率)は 5% 以下が望ましいものとお考えください。

3.3.3. 用紙の欠陥

用紙の欠陥は印字品質や用紙の搬送性を損なう重大な要因です。プリンタに使用する用 紙は以下に挙げるような欠陥を生じないようにすることが必要です。

- (1) 折れた用紙
- (2) 破れたり孔のあいた用紙(孔つき用紙については 3.4.3 項を参照してください。)
- (3) 用紙端面または角部が損傷した用紙
- (4) カール、シワ、波打ち、窪みがある用紙
- (5) 折り畳んで積み上げたときに傾きがある用紙
- (6) 切れ端、送り孔のクズやその他の用紙クズ、固形異物(ロウ、金属片、のり、樹脂 等)を含んだ用紙
- (7) 蛍光強度が強い用紙
- (8) 糊や粘着テープの付着した特殊用紙(タック紙については3.4.2項、メールシール紙に ついては3.4.4項、シールはがき紙についてはvをそれぞれ参照してください。)

3.3.4. 用紙の異物

▲ 注意



- たがって、異物の付着した用紙は絶対に使用してはいけません。
- 3.3.5. 用紙の水分、電気抵抗値と印字品質について

電子写真印刷では、転写工程(感光体上のトナーを用紙に付着させる工程)で静電気 を使用します。

水分量が少なく電気抵抗が高いと静電気が用紙上に残りやすくなるため、スタック不良の原因となったりします。水分量が多く電気抵抗が低いと、転写工程で適切な静電気を保持することができず、印字品質低下の原因となったりします。

このため、電子写真印刷に使用する用紙は、適切な範囲に水分が制御されている必要があります。水分量の目安としては 5.5±0.5%ですが、最適値は用紙に含まれる充填剤や 抵抗制御剤によっても変わります。

さらに、用紙の含水率は用紙の電気抵抗値にも影響しますので、用紙の電気抵抗値も印字品質に大きく影響します。規定の含水率の用紙における電子写真に最適な電気抵抗の 参考値は 1×10⁹~1×10¹²Ωですが、この値もまた用紙に含まれる充填剤や抵抗制御剤 によって変わります。

- (1) 用紙の表面固有抵抗値が規格外の場合の障害例
 - a)低い場合(1×109Ω以下)

⇒ トナー転写不良による印字濃度むらなど

- b) 高い場合(1×1012Ω以上)
 - ⇒ トナー飛散により文字の上部が黒ずむ
 - ⇒ 脱煙フィルタに早期目づまり
 - ⇒ 定着器ガラス汚れ
 - ⇒ 帯電吸着による用紙の破損(送り孔ガレ)

したがって、印刷用紙は必ず電気抵抗値が規格内であるものを使用してください。

一般的な電気抵抗値——保管条件—	ー印字品質の関係を示します。
	※ 1 200/

・温度(用紙の保管条件)約	170% 約3	30%
・電気抵抗値(Ω) 1>	<10 ⁹ 1>	<10 ¹²
・体積抵抗値(Ω・cm)		
·印字品質		
障害(転写不良)発生領域	印字品質安定領域	障害発生領域
	(装置動作安定領域)	

3.3.6. 用紙の水分量変化とカールについて

(1) 周囲環境変化における用紙の変化

用紙は水分を吸収しやすい特性をもっているため、用紙特性は非常に変化しやすいもの です。このため、製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管条件が悪いと特性 が

変化してしまい、搬送不良や印字品質低下の原因となることがあります。したがって、 用紙の保管についても十分な配慮をする必要があります。



図 3-12 水分量変化による用紙のカール

(2)用紙の水分量とカール

電子写真印刷では、定着工程(トナーを用紙上に定着する工程)で用紙に高熱が 加わります。このとき、用紙の水分が瞬間的に蒸発するため、用紙が収縮しカールや波 打ちを生じます。

水分量が大きい用紙はカールや波打ちを生じやすいため、搬送不良の原因となることがあります。このため、電子写真印刷に使用する用紙は、適切な範囲に水分が制御されている必要があります。水分量の目安としては 5.5±0.5%です。

また、プレプリントを施した用紙などで、印刷の影響により部分的な水分量が周囲と異なっていると、部分的な用紙の収縮が起こり紙面に凹凸を生じて印字カスレなどの印字品 質低下の原因となることがあります。

- 3.3.7. 保管について
 - (1)用紙箱は直接床に置かないでください。床に直接用紙を置くと吸湿しやすくなります。 用紙は水平で凹凸のない棚かパレット上に水平に保管するようにしてください。
 - (2) 変形を避けるため、用紙は高く積み上げないでください。箱に入った状態の用紙であっても高く積み上げないようにしてください。目安として1メートル以上の積み上げは避けてください。





図 3-13 積載方法

(3) 乾燥や吸湿を防ぐため、用紙箱を密閉した状態で10~30℃、相対湿度30~70% (最大湿球温度29℃以下)で保管してください。 ただし、用紙箱を開いて防湿性が不十分な場合には、もっと良い環境に保管する必要

があります。この場合には15~25℃、相対湿度40~50%で保管してください。乾燥や防湿処理が十分で、保管環境が適切であっても6ヶ月を越える長期保管は避けてください。

(4) 乾燥や吸湿を防ぐため、開封した用紙の長時間(12日以上)放置は避け、防湿フィ ルムに包んで保管してください。

またプリンタ内の用紙についても、長時間停止する場合はプリンタから外し防湿フィルムに 包んで保管してください。

(5) 乾燥や吸湿を防ぐため、用紙を急激な温度変化に晒さないでください。用紙箱は予め 使用場所へ運び、移動先の温度に用紙をなじませてから梱包を開くことをお薦めします。 下表は環境変化に用紙がなじむために必要な目安時間を示します。

温度差	必要時間
5°C	6 時間
10°C	12 時間
20℃	24 時間

表 3-5 放置時間

- a) 常温常湿環境から高温高湿環境に用紙を搬入した場合には、吸湿して用紙に波 打ちが発生する場合があります。
- b) 常温常湿環境から低温低湿環境に用紙を搬入した場合には、乾燥して用紙が上 向きにカールする場合があります。(図 3-12 参照)

3.3.8. 再生紙

再生紙とは、新聞・雑誌などの印刷済み用紙(一般に古紙と呼ばれている)を溶かして パルプ状にし、インク類を分離・漂白したものを上質紙に配合した後に抄造した用紙をいい ます。

国内では再生紙の規格がないため、古紙の含有率や色合い(白色度)などは各製紙メ -カ-毎に異なります。

再生紙には普通紙に対して次のような特性上の差異があるため、再生紙を採用する場合 には特に印字品質、折り畳み特性等の事前確認を十分に実施してください。また、ロットが 変更になる場合にも事前確認することをお薦めします。

確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカーと十分に話し合い、一定品質の用紙供給が得られることを確認することをお薦めします。

● 特性上の差異

- (1)密度が低い。同じ坪量の場合、紙厚が厚い。
- (2)白色度が低い。
- (3)剛度が低い。
- (4)引張強度、紙面強度、コシなどの機械的強度が劣る。
- (5)含水率が高くカールしやすい。
- (6)品質のバラツキが大きい。使用する古紙の種類により品質に差がでる。
- 3.3.8.1. 再生紙取り扱い上の注意事項
 - (1)紙粉の発生量が多くなります。ローラー、センサ、搬送路、定着器、ドラムなどに付着す る紙粉の量が多くなり、さまざまなトラブルの原因となる恐れがあります。紙粉清掃の作 業をこまめに実施してください。
 - (2)搬送不良の頻度が多くなる場合があります。吸湿しやすくカールを発生しやすい、剛度 が低いなどの要因により、搬送不良の発生頻度が増加する場合があります。
 - (3)印字後のカールが大きいものは、搬送やスタックに支障をきたす場合があります。
 - (4)機械的強度が低いものは、送り孔ガレ、紙折れ、シワなどを起こす場合があります。
 - (5)平滑度が低いため、印字品質が劣る場合があります。
 - (6)ロット毎の用紙特性バラツキが用紙搬送性、印字品質の差としてでる場合があります。
 - (7)再生紙は吸湿しやすいため、防湿フィルム梱包をして保管してください。

3.3.9. 推奨紙一覧表

推奨用紙として富士通コワーコ株式会社より、ご提供中の用紙は次の通りです。

品名	商品番号	備考
	0412110	2000 セット/ケース、
	0412110	381×279.4mm
NUD ウ紙フォール 1511 10 2000 3	0412140	3000 セット/ケース、
NLP 日和リオーム 1511-1P 5000 入	0412140	381×279.4mm
NI D ウ紙フォー /	0412180	2000 セット/ケース、
		452.1×304.8mm
	0412170	4×6 面/セット、500 セット/ケース、
NLP ダックシート (4) 1510	0412170	382×254mm
	0414214	2000 セット/ケース、
	0414214	70%古紙含有、70%白色度

表 3-6 当社推奨紙

上記に関するお問い合わせ先

富士通コワーコ株式会社 お客様総合センター 通話料無料 0120-505-279

受付時間:月曜日~金曜日 9時~12時、13時~17時30分 (土・日曜日・祝祭日・当社指定の休日を除く) 3.4. 特殊紙

上質紙以外の特殊紙は、従来他方式のプリンタ装置で使用していたものがそのまま使用でき ない場合があります。電子写真式プリンタに適した用紙のご使用を推奨致します。 用紙メーカーから新タイプの特殊帳票が各種開発・販売されていますが、これらの特殊帳票は、 用紙メーカーでのテストは勿論のこと運用先においても事前に十分なテストの実施が必要です。 テストでは印字品質を確認するだけでなく、気化物質等によって操作者の環境衛生や装置に 悪影響を与えない帳票であることを確認してください。

- 3.4.1. プレプリント用紙 (事前印刷用紙)
 - 3.4.1.1. デザイン上の注意事項
 - (1)ベースとなる用紙は「3.3 用紙基本仕様についての解説」に説明した基本特性に合 致するものを使用します。
 - (2)インクの量は極力少なくてすむデザインをしてください。インクの量で印刷濃度を出すの ではなく、インクの色でカバーし、インク量を減らしてください。
 - (3)印刷インクの影響で印字品質が低下する場合があります。このため、重要なデータを 印刷する部分へのプレプリントを避けたデザインとします。
 - (4)ベタ印刷はインクが紙面を完全に覆うため、印字品質への影響が大きくなります。 バックカラー印刷や地紋印刷などをする場合は、ベタ印刷を避け、網点印刷にしてくだ さい。
 - (5)プレプリントした印刷枠の中にプリンタで印字する場合は、印字位置ズレが目立つこと があります。極力、枠印刷を避け、地紋印刷などにより代替えする、あるいは地紋印刷 した用紙にオーバレイで枠を印字する方法を採用してください。 プレプリントした印字枠が必要な場合は、印字位置精度を考慮して、枠の寸法を大き めにします。余白は 1mm 以上設けます。



(6)ベタ縦線の連続は、インク転写が起き易く、印字品質の低下や紙面汚損の原因となるので避けてください。

- (7)プレプリント(オフセット印刷)によって用紙の水分量が増減する場合があります。 この場合でも含水量は 5.5±0.5%としてください。
- (8)本装置には構造上、プレプリントのできない領域が規定されているので注意が必要で す。(図 3.3 参照)
- 3.4.1.2. インク
 - (1) プレプリントには耐熱性のフラッシュ定着用 UV インク (紫外線硬化型インク)を使用してください。 フラッシュ定着用 UV インク以外の使用や、UV インクのランプ照射条件が適切でなく

インク乾燥が不十分な場合には、以下のトラブルになる可能性があります。

- ・インクの変色
- ・インクの剥がれ
- ・インクの溶融による用紙の裏移りや用紙搬送路の汚れ
- ・感光ドラムにインク付着による印字不良

特に、カーボン入り墨インクはフラッシュの影響を受け易くなりますので、事前に通紙 確認をしてから使用してください。

なお、プレプリント用紙に使用されているインクについては、プレプリント用紙を作成している用紙メーカーに確認してください。

- (2) UV インクの印刷設備がない場合には酸化重合タイプのインクを使用してください。
 酸化重合タイプのインクを使用する場合は、乾燥に十分注意してください。
 印刷後のインク乾燥および用紙含水率制御のための用紙乾燥調質を十分に行ってください。
 酸化重合タイプインクの乾燥所要時間は、一般的に 5~7 日といわれています。
- (3) 耐熱性の低いインクを使用すると、定着時の熱によるインクの変質や、定着器などへの付着が発生し、印字品質の低下や搬送不良、異臭発生などの原因となります。 200℃の熱に耐えるインクを使用してください。
- (4) 金属混入インク、導電性インク、コールドセットインク、ラバーベースインク、シリコン含 有量が多いインクの使用は絶対に避けてください。

3.4.1.3. 取り扱い上の注意事項



 ●インクが乾燥していない状態で使用すると、インクが定着器や 感光ドラム、ローラーなどに付着し、印字品質の低下、搬送不 良、装置破損の原因となります。したがって、十分にインクが乾 燥した用紙を使用してください。

- ●異物が用紙に混入したり、付着したりしていないかどうかを 確認してください。プレプリントの印刷工程中に、印刷機から異 物が混入(静電気除電用のワイヤーブラシ等)することに よって装置損傷の原因となることがあります。したがって、 用紙メーカーを決めるに際しては、メーカーと検討した後、 十分な枚数の用紙で印字テストを行うことをお薦めします。
- ●プレプリント後に用紙にコーティングを行う場合があります。コート材料によっては印字品質に問題が生じる場合があるので、 用紙メーカーにフラッシュ定着方式の電子写真印刷に適しているかどうかを確認してください。

3.4.1.4. 事前確認

(1)運用に先立って用紙を試作し、事前に通紙確認を十分行ってください。

(2)確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカーと十分に話し合い、一定品質の 用紙供給が得られることを確認してください。

3.4.2. タック紙

タック紙とは、裏面に糊の付いたラベル紙を台紙の上に並べたもので、印刷後に台紙から ラベルを剥がして使用します。

3.4.2.1. 推奨仕様

本装置に使用できるタック紙の推奨仕様を表 3-7に示します。

	項 目		仕 様	備考
	二〇三名	紙質	上質紙	カット部 ラベル紙・接着剤がカット部からはみ出すと
	フィル紙	坪量	$52g/m^2 \sim 64g/m^2$	搬送不良や装置破損の原因
	山紅	紙質	グラシン紙	となります。定着熱が加わって
	百祇	坪量	81g/m ² ~93g/m ²	
用紙	oŋ		アクリル系溶剤	(はみ出したりラベル紙が のり 台紙 捲れないことが必要です。 ・カット部が深く、台紙に傷が付く と用紙の腰が弱くなり搬送不 良の原因となります。
ラベル	送り方向寸	法	30mm 以上	ラベル紙 ラベル紙 の 1 30mm以上 6 0 1 30mm以上 6 0 1 30mm以上 6 0 1 30mm以上 6 0 1 30mm以上 6 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
サイズ	軸方向寸法	去 一	30mm 以上	クリートレートレートレートレートレートレートレートレートレートレートレートレートレー
ラベルフォーマット		かす取り禁止 送り孔部のかす取り形 状	 うベル部以外の台紙が 露出しないようにしてく ださい 送り孔の周囲に接着 剤がはみ出すとトラクタ ピンに接着剤が多堆 積搬送不良、印字汚 れの原因となります。 	
のりの 接着力	はく離抵抗	(P)	30g 以上/インチ	ラベル紙 1インチ 180 度ピール法で約 30g/1 インチの強度が必要です。
折りミシン目			1030 (1:3)	
台紙の中	「間ミシン目		禁止	

表 3-7 タック紙の推奨仕様
- 3.4.2.2. 取り扱いの注意事項
 - (1)タック紙の保管条件は、温度 15~32℃、湿度 40~70%RH とし、寿命は製造後 1 年を目安とします。また、製造後、湿気が入らないよう、できるだけ早く防湿フィルム などで完全包装します。
 - (2)カット部の影響により印字品質が低下する場合がありますので、カット面付近の印字を 避けてください。余白の目安は印字位置精度も考慮して約 2mm です。 (図 3-2 印字禁止領域参照)
 - (3)ラベル紙と台紙の紙質や厚さが異なると、定着時の熱でカールを発生します。このため、 ラベル紙、台紙ともに電子写真印刷用に製造され、かつ含水率を「3.3.5 用紙の水 分と印字品質について」で説明した 5.5±0.5%以内とするなどの考慮をされた、熱に よるカールの少ない用紙を使用してください。
 - (4)用紙の積み重ね量が増えると自重により底部の用紙に接着剤のはみ出しが発生する 可能性があります。保管の際の用紙の積み重ね量については用紙メーカーに確認して ください。
 - (5)ポリエチレンラミネートされた台紙は、定着器の汚染、定着不良を招くことがありますの で、避けてください。
- 3.4.2.3. 事前確認
 - (1)運用に先立って用紙を試作し、事前に通紙確認を十分行ってください。
 - (2)確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカーと十分に話し合い、一定品質の 用紙供給が得られることを確認してください。
- 3.4.3. 孔つき用紙

帳票の機能上で必要な、送り孔を除く孔つき用紙に関する注意事項は以下の通りです。 (送り孔については図 3-6参照)

- 3.4.3.1. デザイン上の注意事項
 - (1)ベースとなる用紙は「3.3 用紙基本仕様についての解説」で説明した基本特性に合 致するものを使用します。
 - (2) 孔部の凹凸やバリが印字品質低下の原因となります。 凹凸やバリのない用紙を使用 してください。
 - (3) 孔近傍の印字を避けたデザインとしてください。余白の目安は、印字位置精度も考慮 して約 3.5mm です。(図 3-2 参照)
 - (4)本装置には、用紙の搬送を制御するセンサが搭載されています。用紙の孔がセンサに かかると搬送エラーや搬送不良が発生するため、本装置では孔あけ禁止領域を規定 しています。(図 3-3参照)

3.4.3.2. 事前確認

(1)運用に先立って用紙を試作し、事前に通紙確認を十分行ってください。

- (2)確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカーと十分に話し合い、一定品質の 用紙供給が得られることを確認してください。
- 3.4.4. メールシール紙

用紙の隅に部分的にのりを塗布したもので、プリンタ装置で印字後、袋状に閉じて接着し、 封書とします。のり部は通常は接着力を持ちませんが、加熱または加圧により接着力が得ら れます。これを郵送し、送付先にてミシン目部を切断して開封します。



図 3-14 メールシール紙

- 3.4.4.1. デザイン上の注意事項
 - (1)ベースとなる用紙は「3.3 用紙基本仕様についての解説」で説明した基本特性に合 致するものを使用します。
 - (2)接着剤の盛り上がりが、搬送不良や印字品質低下の原因となります。接着剤の盛り 上がりのない用紙を選択するとともに、接着剤塗布部付近への重要データの印字を避 けてください。余白の目安は約3.5mmです。(図3-2参照)



てください。

- ●接着剤やインクに含まれる物質が、気化することによって装置 を劣化させたり、操作者に不快感を与える場合があるため、 事前に十分確認してください。
- 3.4.4.2. 取り扱い上の注意事項
 - (1)用紙の積み重ね量が増えると、自重により用紙にブロッキング(糊による貼りつき)が
 発生する可能性があります。
 用紙の保管の際の積み重ね量については、用紙メーカーに確認してください。
 - (2)メールシール紙には、普通紙に比べて長期保存性の劣るものがあります。 用紙の保存期間、保管条件については、用紙メーカーにご確認してください。
- 3.4.4.3. 事前確認
 - (1)運用に先立って用紙を試作し、事前に通紙確認を十分行ってください。
 - (2)確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカーと十分に話し合い、一定品質の 用紙供給が得られることを確認してください。

3.4.5. シールはがき用紙

用紙の両面(または片面)にシールのりを全面塗布したもので、プリンタ装置で印字後、 折り畳んで、はがき状に接着します。のり部は通常は接着力を持ちませんが、折り畳み後 加圧(シーラーと呼ぶ専用機を用いる)することにより、接着力が得られます。 はがきとして郵送し、送付先にて開封します。一度剥がすと再び貼り付けられないように なっているので、親展性が高まります。



図 3-15 シールはがき用紙

主なシールはがき用紙の名称例(五十音順)

〔用紙メーカー名〕 〔商品名称〕 株式会社イセトー ------ ワンタッチメール 共同印刷株式会社 ------ ポスメイト 小林クリエイト株式会社 ----- みつおりくん 大日本印刷株式会社 ----- S メール トッパン・フォームズ株式会社 - POSTEX

注)シールはがきの名称は、用紙メーカーによって異なります。 新商品名称については用紙メーカーに問い合わせください。 なお、商品名称が同じでも用紙の特性が異なる場合がありますので、合わせてメーカー に問い合わせてください。

また、帳票の種類は、上記に説明した三つ折りタイプ(両面にシールのりを塗工)の他に、 往復はがきタイプ(片面にシールのりが塗工され1面のみ圧着)、ハーフタイプ(はがき1枚 半の大きさで半面のみ圧着)などがあります。(詳細図 3-16参照)



図 3-16 各種シールはがき

3.4.5.1. デザイン上の注意事項

- (1)ベースとなる用紙は「3.3 用紙基本仕様についての解説」で説明した基本特性に合 致するものを使用します。また、用紙の特性上プレプリント仕様(インク種類、色数) に制限がありますので、採用前に用紙メーカーに確認してください。
- (2)用紙の表裏に特殊な感圧糊が塗工されています。そのため、印字/印刷する際、圧 着不良につながる可能性がありますので、相対する面の印字/印刷が極力左右対 称とならないようなレイアウトで設計してください。
- (3)上記と同じ理由により、ベタ印刷は極力使用しないでください。また網点印刷も 15% を上限としてください。
- (4) 用紙の圧着力は、事前印刷条件やプリンタ装置による印字量によって変化します。圧 着力が強すぎると開封時に破れやカールが発生し、弱すぎると郵送途中でのめくれなど が起こる可能性があります。帳票デザインに適した加圧条件を、用紙メーカーに確認し てください。
- 3.4.5.2. 取り扱い上の注意事項



- ●接着剤(のり)が感光ドラム、搬送ローラーや定着器に付着 すると、印字にじみ、カブリ等の印字品質低下、搬送不良に よる印字ずれ、擦れ汚れなどの装置故障の原因となりますの で、ドラムや定着器、搬送路(搬送ローラー、ガイドなど)に 糊、インクが付着しないことを事前に十分確認してください。 (大量印刷後に発生する場合もあります)。
- ●接着剤やインクに含まれる物質が、気化することによって装置 を劣化させたり、操作者に不快感を与える場合があるため、
 事前に十分確認してください。
- ●圧着後の剥がした際のオフセット(裏写り)が糊加工の違い で発生する可能性があります。本番業務前に確認してくださ い。
- (1)湿度の変化に弱いため、通常は防湿包装(ビニール袋など)のまま保管します。
- (2)用紙の積み重ねの量が増えると、自重により底部でブロッキング(糊による貼りつき) が発生する可能性がありますので、用紙の積み重ね量については、用紙メーカーに確 認してください。
- (3) 普通紙に比べて長期保存性に劣るものがあるので、用紙の保存期間、保管条件については用紙メーカーに確認してください。

- 3.4.5.3. 事前確認
 - (1)運用に先立って用紙を試作し、事前に通紙、圧着品質の確認を十分行ってください。 なお、プレプリントの内容や出力データの領域によってシールはがきとしての品位が 左右されるため、テスト時はデータフォーマット、印字濃度等、実運用と同じ条件下で 行ってください。
 - (2)確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカーと十分に話し合い、一定品質の 用紙供給が得られることを確認してください。
- 3.4.6. はがき印刷について

はがきは、寸法が 9×14cm~10.7×15.4cm の間、重量は 2~6g の間に入っている必要があります。本装置で使用できる用紙サイズは「3.1 基本仕様」に示した通りで、はがき そのもののサイズは使用できません。

しかし、用紙を印刷後裁断することにより前記規定寸法にすることではがきとして使用できます。したがって、前記規定により 128.3 g/m² 以上の坪量の用紙に印刷し、市販の裁断 機などを使用して裁断することによりはがき印刷ができます。

なお、少量印刷の場合はあらかじめミシン目を入れた用紙を使用し、手裁断することも可能 ですが、ミシン目に起因する不具合を防ぐためにも、ミシン目のない用紙を使用することをお 薦めします。

3.4.7. 色付き用紙

色付き用紙は、着色のための染料およびその結着剤を用紙の繊維中に含浸させるため、紙面の微細な凹凸が少なく、溶融トナーが繊維中に浸透しにくくなるので、定着性が低下します。また、結着剤(樹脂)とトナーの親和性が悪い場合は特に定着性が劣ります。このため、本装置では印字品質を保証できませんので、色付き用紙の使用は避けてください。 やむを得ず使用する場合は十分に事前確認を行い、定着性の低下レベルを理解した上で運用してください。







色付き用紙

図 3-17 色付き用紙とトナー定着

3.4.8. エンボス用紙

用紙に絞りを入れて社名ロゴなどを浮き彫りにした用紙をエンボス用紙と称します。用紙の一部に厚さの差や凹凸があると、搬送不良や印字品質低下の原因となります。エンボス用紙あるいは、これに類似した用紙(厚みに差のある用紙など)は使用できません。

3.4.9. シークレットラベル用紙

はがきを親展にするために、はがきの一部に部分的に貼りつける、剥離可能かつ再貼り付け 不可能なラベルをシークレットラベル用紙と称します。 事前にシークレットラベル用紙を貼り付けた用紙は、本装置では使用することはできません。 通常の用紙に出力後、後処理でシークレットラベルを貼り付けてください。 なお、はがきサイズに裁断後ラベルを貼る機器と、裁断前にラベルを貼り、その後用紙を裁断 する機器が市販されています。業務に見合った機器を選択してください。

3.4.10. 透かし入り用紙

一度すいた紙に重ねてもう一度紙をすくことにより製造されたり、特殊な薬剤印刷によって 製造された透かし入り用紙は、表と裏の用紙の特性差や印刷物質の剥落があり、用紙の カールや印字品質低下の原因になります。また、透かし部分の印字品質の保証もできませ ん。したがって、原則的には透かし入り用紙は使用できません。

官公庁向け文書などでやむを得ず使用せざるを得ない場合は、十分に事前確認をしてく ださい。

3.4.11. 透明フィルム

本装置では透明フィルムは使用できません。

3.4.12. コート紙

用紙に樹脂などのコーティングを施したコート紙、アート紙は、一般にトナーの定着性が 悪く、印字品質劣化の恐れがありますので、事前に十分な確認が必要です。特にシリコン コート紙は印字品質の劣化が激しく、使用できません。

3.4.13. ノンカーボン紙

図のように、筆圧で発色する材料(感圧剤)を塗布した用紙 3 種を組み合わせた複写 用紙です。

インパクトプリンタを使用する場合は3枚同時の印字が可能(2枚目以降は感圧剤にて 発色)となります。本装置のようなノンインパクトプリンタに関しては、3種を別々に印字し た後、2枚以上を綴じ合わせる方法で使用される場合があります。



図 3-18 ノンカーボン紙

ノンカーボン紙使用における問題としては、下記の事項があります。

筆圧を伝えるため用紙1枚が薄く、坪量が規格の範囲以下である場合が多い。
 一一搬送不良、スタック不良の原因となる。

② 感圧剤が定着部の熱で溶ける場合がある。

一一溶けた成分が搬送系に付着することによる搬送障害や脱煙、脱 臭フィルタ系への負荷増加により早期交換が必要となる。

③ 感圧剤が搬送ローラー等の搬送系に付着する。

3.4.14. OCR 紙

用紙表面に帯電防止剤がコーティングされていると、文字や罫線がにじんだり、ぼやけたり することがあります。これは、帯電防止剤がドラムに付着してドラムの帯電が損なわれるため です。

用紙加工メーカーにご確認の上、帯電防止剤がコーティングされていない OCR 紙をご使用ください。

3.4.15. カード媒体

用紙(台紙)の一部に剥離可能なカードを貼った帳票をカード媒体と称します。 このようなカード媒体は、会員証や健康保険証用にプリンタ装置で印刷後、郵送して受け 取り人が剥がして使用します。

カード媒体は、形態/材質等の仕様が統一されていないため、運用に先立って十分な事 前確認を行う必要があります。

カード媒体の形態には『フラットタイプ』と『段差タイプ』がありますが、本装置では 『段差タイプ』は使用しないでください。

※ カード媒体のメーカーと型番(詳細はメーカーにお問い合わせください。)



図 3-19 カード媒体

3.4.15.1.デザイン上の注意事項



- ●台紙とカード部分で用紙の厚さや腰の強さも異なるため、梱 包仕様(セット数、積み重ね量)についても、用紙メーカーに 仕様を十分確認してください。
- ●カードを含めた用紙の総厚さは 0.35mm 以下としてください。
- ●用紙以外の材料(ペット樹脂など)は使用しないでください。
- ●1 箱の収容枚数は最大で 500 枚としてください。
- (1) カード周辺部 30mm の範囲の印刷は保証できません。

(印字抜け等の印刷不良の発生が予想されます。カード媒体仕様によって影響度が異なりますので、サンプル評価等、十分事前調査を行ってください。)



(2) 下図の斜線範囲へのカードの貼り付けは、用紙走行不良となる可能性があるのでおや めください。



(3) 折り畳みミシン目で折り重ねた時、カード同士が対面しない用紙レイアウトにしてください。

カード同士が対面すると、搬送路、転写部、スタッカ部での用紙づまりや、積み重ね時 に不安定となります。

(4) カード媒体の台紙は用紙連量 70kg 以上、且つ台紙、カード、保護シートを含めたトータル連量(※)が135kgを越えないようにしてください。



(5)カードの接着力が弱く剥離抵抗が小さいと転写部やスタッカ部でカード剥がれの原因となります。

事前に用紙メーカーにカード部分の接着強度を確認してください。

3.4.15.2.取り扱い上の注意事項

- ●カードにバリ、カエリ等の突起があるものは感光ドラム損傷の原因となるため使用できません。
 - ●接着剤(のり)が感光ドラムや定着器に付着すると、搬送不 良や印字品質低下、装置破損の原因となりますので、のりが 付着しないことを事前に十分確認してください。
- (1) カード媒体の保管期間、条件については用紙メーカーに事前確認し、条件を厳守してください。
- (2) カード材質や接着剤特性によって運用環境が制約されますので、用紙メーカーに事前確認を行ってください。(使用環境温度は 15~30℃、湿度は 40~70%RH としてください)

3.4.15.3.装置使用上の注意事項(カード媒体使用時)

(1) カード媒体については最大許容スタック量は500枚です。1 箱分の印刷終了毎に、 必ずスタッカより媒体を取り出してください。カード部と台紙部の厚みが異なるため、 スタッカ部で用紙が斜めに積まれる場合があります。

3.4.15.4.事前確認

- (1) 運用に先立って用紙を試作し、事前に通紙、印刷確認だけでなく封入封緘等の 事後処理も確認を十分行ってください。
- (2) 確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカーと十分ご相談の上、安定した用 紙供給が得られることを確認してください。
- 3.4.16. その他特殊用紙

封筒などの糊付け紙や、フィルムポケットのある用紙、合成紙といった特殊用紙を使用する と、定着部の熱で糊やコート剤やフィルムが溶けることがあります。溶けた成分が感光ドラム や搬送路に付着したり、定着器にダメージを与えたり、悪臭を発することがあるので、これら の特殊用紙の使用は避けてください。やむを得ず使用する場合は十分に事前確認を行い、 問題点を理解した上で運用してください。

3.5. 用紙の形態指針

3.5.1. 用紙の形態

印刷帳票のデザイン、購入、管理の指針を下表に示します。用紙購入に際しては、この指 針に基づき納入元と仕様確認を行ってください。詳しくは各章の内容を確認してください。

項	項目	内容	参照資料
	用紙の基本仕様	表 3-1「用紙の基本仕様」による。	3.3 用紙基本仕様についての解説
		表裏面は均一であり、コーティングや	
		プラスチック等を含まないこと。	
	用紙の厚さ	用紙の厚さは、規定している範囲外の	
	(用紙坪量)	厚い用紙または薄い用紙は使用できません。	
		障害例 : 厚い場合 印字濃淡脱字、地汚れ 薄い場合 用紙破れ、フィード不良	
	用紙の腰の強さ	用紙に必要な腰の強さは、用紙 2 シートを横	
		ミシン目の箇所で折り、用紙の中央を支え、	試票
		 垂れ下がった部分の寸法が下記に示す値であ	カット ― [=]
		ることが望ましい。	
用		縱寸法 X'' 值	
紙物		T11~12 178mm (7ィンチ) 以上 T7~T10 1/2 153mm (6ィンチ) 以上	カットーピューニージ
慬		(障害例:用紙折畳み不良)	│
	用紙のカール	用紙に著しくカールがあると、搬送機構での用	
		紙づまりや、転写不良による脱字現象が出や すくなるため使用できません。	0000000
			カール

表 3-8 用紙の形態 (続く)

項	項目	内容	参照資料
用紙物性	しわ、窪み、 折れ、破れ	用紙にしわや窪み、破れ、折畳み部以外の折 れ目があると、その近辺に転写不良による脱 字現象が出やすくなるために 使用できません。	「「「「「」」」 「「」」 「「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」
	用紙の送り孔の 半抜け 綴じ孔	送り孔が完全に開けられてなく半抜け状態の 用紙 若しくは、"抜きカス"が用紙の間にはさ まって残っている用紙は、用紙搬送不良や抜 きカスによる脱字現象が発生する可能性があ るので、使用できません。 障害例:フィードエラー、脱字	半 抜 け 半 抜 け 半 抜 け 米 抜 け 用 紙 の 孔 米 抜 け
加工	横ミシン目と 送り孔の位置	横ミシン目の位置に対して送り孔が 横ミシン目に接するような場合は、用紙破れの 原因となります。 送り孔の位置は横ミシン目から離します。	横 ミシン X ・ ・ ・ 、 、 、 、 、 、
	ミシン目	ミシンの本数は、極力少ない方が望ましい。	フォーム加工精度
	送り孔の形状と 位置	用紙の送り孔の形状不良、左右の位置がず れている場合は、用紙張力不良や印字不良 の原因となります。 障害例:印字乱れ、用紙搬送不良	ずれ0.15mm以下
	異物の混入	用紙加工時の導電ブラシ、ミシン刃の 欠損物が、混入していないこと。 障害例:感光ドラムにダメージを与え、印字 障害となる。	

表 3-8 用紙の形態(続く)

表 3-8 用紙(D形態(続く)
-----------	---------

項	項目	内容	参照資料
	孔あき用紙	用紙終了誤検出防止	
		用紙の左端からの距離	
		60mm~100mm にある図の斜線範囲	
		に、孔あけ加工した用紙は使用できませ	
		ho	
		障害例:用紙終了誤検出	
	用紙色	用紙は白、淡色系が望ましい。プレプリントの	
	・プレプリント用紙	インクは、電子写真用の耐熱インクを使用して	
	(事前印刷)	ください。印刷色は明るいものにし、インク塗布	2.7mm
		量も薄く処理したものを使用してください。	
	・左耳部の色	用紙左耳部送り孔センタラインから 2.7~	
		6.3mm の範囲に、プレプリントや縦ミシン目	●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
		加工、孔加工などがある用紙は使用できませ	
加丁			
-		障害例:用紙送り誤検出、印字濃度異常	
	用紙の左先端部	用紙の左先端部送り穴センタラインから	
		15mm~20mm	φ
		折りたたみミシン目から	φ 1 15mm
		0~15mm	φ
		の範囲に孔加工、もしくは裏面に黒色印刷あ	φ
		る用紙は使用できません。	º _{15mm}
			20mm
			P4 P1
	特殊紙	タック紙、シールはがき等の特殊用紙は時に、	
		事前テストを実施してください。	
		同一加工メーカーの製品でも原紙メーカーが	
		異なる場合がありますので、仕様の取り決めを	
		行ってください。	
	用紙箱の形状	用紙箱の構造は、装置への用紙の繰出しが	
		用紙箱に引っかかることなく行われるように、下	
		記4項目につき考慮します。	
		用紙箱は積み上げに耐える強度の箱にしてく	
		ださい。	(C式) (A式)
ᄳ	・箱の蓋	①用紙箱のふたは別形式(C式)のものにし	
包		ます。	
		さらに、処理速度の速い装置の場合は、ホ	
		ッパ部にセットした状態で箱の右側(現像	
		器側)が開く構造のものが適しています。	
		ただし、内箱の開閉部から吸湿しやすいた	
		め、防湿処理がなく、また再生紙など吸湿	
		しやすい用紙の場合は、A 式が望ましい。	

項	項目	内容	参照資料
	・箱の寸法	 ②箱の内寸法 ・用紙箱のふたは別形式(右図参照)の ものとし、山ミシン目側の内箱が開く構造 にしてください。 ・用紙箱の内のりは用紙の縦、横寸法に対 して余裕のあるものを使用してください。 	日本
			日紙箱の内側にホッチキス等の 突起物や箱の接着剤がはみ出し不可 していた。 それがあること 3000mm以下 上類
档 包	 ・高さ 	③用紙箱の高さ 300mm 以下	用紙歪みの悪い例⇒用紙を歪ませないように、 箱の底にはダンボール板を敷く
	·突起物禁止	 ④ホッチキス等の突起物が用紙箱の内側にあるもの、および箱の接着剤等が内側にはみ出しているものは使用できません。 また、箱の折り返しが内側にくる場合は、用紙の折畳みミシン側になるようにしてください。 暗害例:文字にじみ、用紙づまり 	(良い例) (悪い例) (悪い例) 内側の折り返しに用紙端が ひっかかり、用紙の送り込 みの障害となる
	用紙箱の底	用紙箱の底は平坦で用紙を歪ませないように してください。 ・用紙サイズより大きなダンボール板を底に敷 く。	
管理・保管	表示	用紙箱の外面には製造者名とロット番号を記 入することをお薦めします。	表示例 帳票仕様 帳票サイズ、数量 製造年月 または 使用期限 製造者名

表 3-8 用紙の形態(続く)

項	項目	内容	参照資料
管理・保管	納入形態	変形を避けるため、用紙は水平な棚、パレット 上の置いてください。 用紙は高く積み上げないでください。	
プレプリント	用紙裏面の プレプリント禁止エ リア	本装置では用紙の J A Mを検知するため、 用紙両端のスプロケット穴の移動を、用紙裏 面より光学式反射型センサで監視していま す。 J A M誤検出の原因となる場合があるため、 右に示すハッチング領域(非印刷面側)には プレプリントは行なわないで下さい。	(6mm) 6.7mm) 6.7mm (6mm (6mm) 6.7mm) 6.7mm (6mm (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)

表 3-8 用紙の形態(続き)

3.6. 印刷データの作成

3.6.1. データ作成上の注意

印刷データを作成する際、表 3-9に示す記載事項に注意する必要があります。

表 3-9 データ作成上の注意



3.6.2. 印刷パターンについて

(1) 線画と網掛け

オーバレイ、イメージ、および、図形印刷等の線画印刷時に、印刷解像度を 600dpi または 400dpi 指定して 1 ドットの線を印刷すると、かすれが生じる場合があります。また、 網掛けの 1 ドットパターンも同様に印刷が薄れる場合があります。

このような事象を回避するために、プリンタ装置側で印刷濃度を濃く設定をするか、帳票のオーバレイ設定や図形描画ソフト側で1~2ドット程度太くしたパターンを作成し、試し印刷したうえでご使用ください。

プリンタ装置側の設定方法については、「2.2.3.1 (2)印刷濃度調整機能」を参照ください。

ソフト側での現在の設定の確認方法および指定変更については、帳票作成に使用している Windows 等のソフトウェアのマニュアルをご確認ください。

なお、240dpiでの印刷時にはこの現象は発生しません。

(2)文字とバーコード

文字フォントを明朝体に指定して、600 dpi または 400 dpi の解像度で印刷する場合、 文字の横線が1 ドットになり、かすれが生じる場合があります。

プリンタ装置、もしくはドライバ側で印刷濃度を濃く設定するか、ゴシック体など線が細くなりにくい他の文字フォントで試し印刷したうえでご使用ください。

240 dpi での印刷時にはこの現象は発生しません。

なお、印刷濃度を濃く設定して、GS1-128(料金代理収納用)バーコードを論理エレ メント幅(バーコードの基準となる太さ)で印刷するとバーコード品質が低下しますので、

プリンタ側、またはバーコードの出力ソフトウェア側で論理エレメント幅を白黒補正にしたパターンを試し印刷した上でご使用ください。

Windows 等のソフトウェアから出力される場合には、ソフトウェア側に論理エレメント幅を 補正する機能が必要です。

※GS1-128(料金代理収納用)バーコードは、300 dpi 以上の印刷解像度が必要 となりますので、ご注意ください。

3.6.3. OCR 印字

OCR 印字した帳票を OCR 装置で読み取る場合、帳票の印字面が OCR 装置の紙送り 機構(送りローラー、用紙ガイド)と接触すると、印字面や OCR 装置の紙送り機構を汚し、 その結果、読取りエラーやリジェクトが発生しやすくなる恐れがあります。 運用に先立ち、当社営業部門または SE 部門に相談してください。

3.6.4. FCBと用紙長

本装置は、FCB で定義されたページ単位で制御を行っています。印刷非保証領域の判別 もFCBで行われるため、FCBで定義されたページ長と実際に使用する用紙の折畳み長とが 一致していない場合、本来は印刷できる領域に印刷されなかったり、印刷できない領域に 印刷される可能性があります。また、エラー発生により停止した場合、用紙ずれの問題が生 じます。

したがって、表 3-10の組合せ以外は使用しないでください。

FCB 定義	用紙の折畳み長さ	FCB 定義	用紙の折畳み長さ
(mm(インチ))	(mm(インチ))	(mm(インチ))	(mm(インチ))
88.9 (3.5)	177.8、266.7、355.6(7、10.5、14)	228.6 (9)	228.6 (9)
101.6 (4)	203.2、304.8(8、12)	241.3 (9.5)	241.3 (9.5)
114.3 (4.5)	228.6、342.9(9、13.5)	254.0 (10)	254.0 (10)
127.0 (5)	254.0 (10)	266.7 (10.5)	266.7 (10.5)
139.7 (5.5)	279.4 (11)	279.4 (11)	279.4 (11)
152.4 (6)	304.8 (12)	292.1 (11.5)	292.1 (11.5)
165.1 (6.5)	330.2 (13)	304.8 (12)	304.8 (12)
177.8 (7)	177.8、355.6(7、14)	317.5 (12.5)	317.5 (12.5)
190.5 (7.5)	190.5 (7.5)	330.2 (13)	330.2 (13)
203.2 (8)	203.2 (8)	342.9 (13.5)	342.9 (13.5)
215.9 (8.5)	215.9 (8.5)	355.6 (14)	355.6 (14)

表 3-10 FCBと用紙長



●折畳み長と FCB 長が異なる場合、新たな用紙をセットした後 に必ず印刷位置を確認してください。

連続印刷や間欠印刷の動作の違いや、用紙長の違いなどで 用紙エンドの検出タイミングが異なり、余白ページが1枚多くな ることがあります。特に折畳み長と FCB 長が異なる場合

(例:折畳み長=7インチ、FCB 長=3.5インチ等)は、 必ずしも折畳み長単位で印刷が終了しないことがあります。新 たな用紙をセットして印刷を始める場合には、所定の印刷位 置に出力させるために副操作パネルの用紙前進スイッチを押し て、用紙を中間ミシン目等の所定の印刷位置となるよう調整 してください。

折畳み長で印刷が終了しないことが問題となる場合には、 FCB 長と折畳み長を一致させてください。

3.6.5. 二次元コード (QR コード/マイクロ QR コード) について

二次元コードは富士通メインフレームからのチャネル接続環境と、オープン環境からのFNP エミュレーションのネットワーク接続環境から出力することが出来ます。QRコード(モデル2) とマイクロQRコードの印刷が可能です。

富士通メインフレームからは、PSAM(Presentation Service Access Method)と ADJUSTソフトウェアが連携して富士通メインフレームコード系の文字入力を変換して二次 元コードの印刷出力を実現します。二次元コードの印刷には、QRコード出力機構 (PS5110BKはPS5110B29、PS5110BLはPS5110B56)のオプションが必須です。

上位装置から二次元コードの出力方法は、印刷領域、誤り訂正レベルなどを指定して行います。二次元コードの印刷領域を指定して二次元コードのデータ容量から算出したモジュール寸法以内のモジュール寸法を「表3-11 選択可能なモジュール寸法」から選択して二次元コードを印刷します。二次元コードのデータ容量によって二次元コードのシンボルサイズは大きくなりません。

但し、印刷領域の指定から算出されるモジュール寸法が表 3-11 のモジュール寸法の最 小値より小さい場合、例外処理としてプリンタが選択可能な最小のモジュール寸法を選択し ます。意図された印刷領域の指定より大きいサイズで印刷されることになりますので、以下の 記述を参考にされて適切なサイズの印刷領域を指定されることを推奨します。二次元コード の基本仕様については、JIS X 0510「二次元コードシンボル – Q R コード – 基本仕様」を 併せて参照下さい。

尚、Windows サーバからの GDI 出力など図形イメージ出力の場合、上記説明とは異なります。それぞれ該当するマニュアルをご参照下さい。

(1) 文字種

- 二次元コードに収納したいデータ容量と文字種の要因で収納する「型番」が変わります。
- ・数字モード : 数字0~9。数字3文字を10ビットに圧縮して符号化されます。
- ・ 英数字モード : JIS X 0201 の以下のコード文字。2 文字を1 1 ビットに圧縮 して符号化されます。

数字0~9、大文字A~Z、スペース、8個の特殊文字(\$%*+-./:)

- 8ビットバイトモード: JIS X 0201の8ビットのラテン文字・片仮名用8ビット符号 に規定された文字00 HEX~FF HEX。
- 漢字モード : JIS X 0208 の 8140HEX~9FFCHEX 及び E040HEX~ EBBFHEX までの文字。1 3ビットに圧縮して符号化されま す。

(2) 誤り訂正レベル

二次元コードはコードが汚れたり、破損しても、コード自身でデータを復元する機能を持っています。「誤り訂正能力はQRコードでレベルL、M、Q、Hの4段階、マイクロQRコードでレベルL、M、Qの3段階、用意されており、使用環境に合わせてレベルを選択する ことができます。

誤り訂正レベル	レベル L	レベル Μ	レベル Q	レベル H
復元能力	\sim 7 %	\sim 15%	\sim 25%	\sim 3 0 %

誤り訂正レベルを上げれば、訂正能力は向上しますが、データが増えるのでコードのサイズは大きくなります。

(3) モジュール寸法 D とシンボルサイズ

本装置は、印刷領域を指定してその印刷領域に読取に必要なクワイエットゾーン(必要余白)も含めて印刷可能な2次元コードのモジュール寸法 Dを算出します。但し、 印刷領域にプリンタが印刷可能な最小の印刷領域以下を指定された場合、例外処 理としてプリンタが印刷可能な最小のシンボルサイズで印刷します。

 文字種と誤り訂正レベルから算出したモジュール数 S に読取に必要なクワイエット ゾーン加えて印刷モジュール数 STを求めます。QR コードとマイクロ QR コードのモ ジュール数 S と必要クワイエットゾーンは異なります。 【QRコードの場合】

- モジュール数: S = (〔型番の値〕—1) × 4 + 21
- クワイエットゾーン:コードの上下左右に4モジュール
 印刷モジュール数 S_T = S + 8



図 3-22 QR コードシンボル

【マイクロQRコードの場合】

- モジュール数:S = (〔型番の値〕—1)×2+11
- クワイエットゾーン:コードの上下左右に2モジュール
 印刷モジュール数 ST = S + 4



(マイクロQ Rコードを構成する単位セルの黒または白)

- 図 3-23 マイクロ QR コードシンボル
- モジュール寸法Dの最大サイズDMAXを印刷領域とシンボルモジュール数STから算出します。
 - D_{MAX}=印刷領域÷S_T
- ③ 表 3-11 からプリンタが印刷可能な DMAX に最も近いモジュール 寸法 Dを選択 して、2次元コードのシンボルサイズを決定します。
 - ・ D ≤ D MAX のモジュール寸法を表から選択する。
 - ・ シンボルサイズ = S × D

モジュール寸法			240 d p i	400dpi	600dpi	
D (インチ) ミリ換算		ドット数	ドット数	ドット数		
	1/120 0.21		2	2 –		(注1)
	1/100	0.25	-	4	6	
	1/80	0.32	3	5	Ι	
	1/75	0.34	-	_	8	
	3/200	0.38	-	6	9	推奨
	1/60 0.42		4	-	Ι	
	1/50 0.51		_	8	12	
	1/48	0.53	5 –		Ι	
	1/40	0.64	6	10	15	
	7/240	0.74	7	_	Ι	
	3/100	0.76	_	12	18	
	解像度選択方	法(JEF、	JEF	JEF/AP	JEF	
備	JEF/AP)	JEF/AP)		(注2)		
考	解像度選択方	法(FNP)	プリンタドライバ係	則の解像度選択(こよる	
						- : 出力不可

表 3-11 選択可能なモジュール寸法

注1:モジュール寸法が大きいほどQRコードの読取りが向上します。小さいモジュール寸法では、装置毎に適正な印刷濃度値管理が必要になる場合があります。運用に先立ち十分な読取り テストを行ってモジュール寸法(シンボルサイズ)と印刷濃度値を決定してください。

注2: JEFの240/600dpi選択は、2.2.3.7項の(5)強制拡張解像度印刷を参照ください。

(4) QR コードの文字数と型番

■ 文字種が混在していない場合

表 3-12 QRコード誤り訂正レベル Lの型番と最大入力文字数

誤り訂正レベル L (7%)											
		デー	9容量(最大	、入力文字	数)			データ容量(最大入力文字数)			
型番	S	数字	英数字	8ビット バイト	漢字	型番	S	数字	英数字	8ビット バイト	漢字
1	21	41	25	17	10	21	101	2,232	1,352	929	572
2	25	77	47	32	20	22	105	2,409	1,460	1,003	618
3	29	127	77	53	32	23	109	2,620	1,588	1,091	672
4	33	187	114	78	48	24	113	2,812	1,704	1,171	721
5	37	255	154	106	65	25	117	3,057	1,853	1,273	784
6	41	322	195	134	82	26	121	3,283	1,990	1,367	842
7	45	370	224	154	95	27	125	3,517	2,132	1,465	902
8	49	461	279	192	118	28	129	3,669	2,223	1,528	940
9	53	552	335	230	141	29	133	3,909	2,369	1,628	1,002
10	57	652	395	271	167	30	137	4,158	2,520	1,732	1,066
11	61	772	468	321	198	31	141	4,417	2,677	1,840	1,132
12	65	883	535	367	226	32	145	4,686	2,840	1,952	1,201
13	69	1,022	619	425	262	33	149	4,965	3,009	2,068	1,273
14	73	1,101	667	458	282	34	153	5,253	3,183	2,188	1,347
15	77	1,250	758	520	320	35	157	5,529	3,351	2,303	1,417
16	81	1,408	854	586	361	36	161	5,836	3,537	2,431	1,496
17	85	1,548	938	644	397	37	165	6,153	3,729	2,563	1,577
18	89	1,725	1,046	718	442	38	169	6,479	3,927	2,699	1,661
19	93	1,903	1,153	792	488	39	173	6,743	4,087	2,809	1,729
20	97	2,061	1,249	858	528	40	177	7,089	4,296	2,953	1,817

		デー	データ容量(最大入力文字数)					データ容量(最大入力文字数)			
型番	S	数字	英数字	8ビット	漢字	型番	S	数字	英数字	8ビット	漢字
				715						バイト	
1	21	34	20	14	8	21	101	1,708	1,035	711	438
2	25	63	38	26	16	22	105	1,872	1,134	779	480
3	29	101	61	42	26	23	109	2,059	1,248	857	528
4	33	149	90	62	38	24	113	2,188	1,326	911	561
5	37	202	122	84	52	25	117	2,395	1,451	997	614
6	41	255	154	106	65	26	121	2,544	1,542	1,059	652
7	45	293	178	122	75	27	125	2,701	1,637	1,125	692
8	49	365	221	152	93	28	129	2,857	1,732	1,190	732
9	53	432	262	180	111	29	133	3,035	1,839	1,264	778
10	57	513	311	213	131	30	137	3,289	1,994	1,370	843
11	61	604	366	251	155	31	141	3,486	2,113	1,452	894
12	65	691	419	287	177	32	145	3,693	2,238	1,538	947
13	69	796	483	331	204	33	149	3,909	2,369	1,628	1,002
14	73	871	528	362	223	34	153	4,134	2,506	1,722	1,060
15	77	991	600	412	254	35	157	4,343	2,632	1,809	1,113
16	81	1,082	656	450	277	36	161	4,588	2,780	1,911	1,176
17	85	1,212	734	504	310	37	165	4,775	2,894	1,989	1,224
18	89	1,346	816	560	345	38	169	5,039	3,054	2,099	1,292
19	93	1,500	909	624	384	39	173	5,313	3,220	2,213	1,362
20	97	1,600	970	666	410	40	177	5,596	3,391	2,331	1,435

表 3-13 QRコード誤り訂正レベル Mの型番と最大入力文字数

誤り訂正レベル						Q (25%)				
		デー	9容量(最大	、入力文字	数)			データ容量(最大入力文字数)			数)
型番	S	数字	英数字	8ビット バイト	漢字	型番	S	数字	英数字	8ビット バイト	漢字
1	21	27	16	11	7	21	101	1,224	742	509	314
2	25	48	29	20	12	22	105	1,358	823	565	348
3	29	77	47	32	20	23	109	1,468	890	611	376
4	33	111	67	46	28	24	113	1,588	963	661	407
5	37	144	87	60	37	25	117	1,718	1,041	715	440
6	41	178	108	74	45	26	121	1,804	1,094	751	462
7	45	207	125	86	53	27	125	1,933	1,172	805	496
8	49	259	157	108	66	28	129	2,085	1,263	868	534
9	53	312	189	130	80	29	133	2,181	1,322	908	559
10	57	364	221	151	93	30	137	2,358	1,429	982	604
11	61	427	259	177	109	31	141	2,473	1,499	1,030	634
12	65	489	296	203	125	32	145	2,670	1,618	1,112	684
13	69	580	352	241	149	33	149	2,805	1,700	1,168	719
14	73	621	376	258	159	34	153	2,949	1,787	1,228	756
15	77	703	426	292	180	35	157	3,081	1,867	1,283	790
16	81	775	470	322	198	36	161	3,244	1,966	1,351	832
17	85	876	531	364	224	37	165	3,417	2,071	1,423	876
18	89	948	574	394	243	38	169	3,599	2,181	1,499	923
19	93	1,063	644	442	272	39	173	3,791	2,298	1,579	972
20	97	1,159	702	482	297	40	177	3,993	2,420	1,663	1,024

表 3-14 QRコード誤り訂正レベル Qの型番と最大入力文字数

誤り訂正レベル H (30%)											
型番	ç	データ容量(最大入力文字数)					ć	データ容量(最大入力文字数)			
	5	数字	英数字	8ビットバイト	漢字	空笛	5	数字	英数字	8ビットバイト	漢字
1	21	17	10	7	4	21	101	969	587	403	248
2	25	34	20	14	8	22	105	1,056	640	439	270
3	29	58	35	24	15	23	109	1,108	672	461	284
4	33	82	50	34	21	24	113	1,228	744	511	315
5	37	106	64	44	27	25	117	1,286	779	535	330
6	41	139	84	58	36	26	121	1,425	864	593	365
7	45	154	93	64	39	27	125	1,501	910	625	385
8	49	202	122	84	52	28	129	1,581	958	658	405
9	53	235	143	98	60	29	133	1,677	1,016	698	430
10	57	288	174	119	74	30	137	1,782	1,080	742	457
11	61	331	200	137	85	31	141	1,897	1,150	790	486
12	65	374	227	155	96	32	145	2,022	1,226	842	518
13	69	427	259	177	109	33	149	2,157	1,307	898	553
14	73	468	283	194	120	34	153	2,301	1,394	958	590
15	77	530	321	220	136	35	157	2,361	1,431	983	605
16	81	602	365	250	154	36	161	2,524	1,530	1,051	647
17	85	674	408	280	173	37	165	2,625	1,591	1,093	673
18	89	746	452	310	191	38	169	2,735	1,658	1,139	701
19	93	813	493	338	208	39	173	2,927	1,774	1,219	750
20	97	919	557	382	235	40	177	3,057	1,852	1,273	784

表 3-15 QR コード誤り訂正レベル Hの型番と最大入力文字数

■ 文字種が混在する場合

複数の文字種を収納する場合は、下記により、型番を算出します。

① QR コードに収納する文字種により、コードで表現する時のビット数を算出します。

(A_X:収納する文字数)

・数字のみ : A₁文字

 $B_1 = 10 \times (A_1 \div 3) + 4 + C + R$

R: A1÷3の余りが0ならば0、1ならば4、2ならば7

·英字、数字、記号 : A₂文字

 $B_2 = 11 \times (A_2 \div 2) + 4 + C + 6 \times (A_2 \div 2 0 余 b)$

・8ビットバイト : A3文字

 $B_3 = 8 \times A_3 + 4 + C$

•漢字、かな : A4文字

 $B_4 = 13 \times A_4 + 4 + C$

C:文字数指示子のビット数(下表から)

型番	数字	英数字	8ビットバイト	漢字
1~9	10	9	8	8
10~26	12	11	16	10
27~40	14	13	16	12

複数の文字種を収納する場合は、それぞれのビット数の合計を算出します。

 $B_T = B_1 + B_2 + B_3 + B_4$

B_T [ビット] を収納するために必要な QR コードの型番とモジュール数 S を、下記の表から決定します。

型。		収納可能なデータビット数					c	収納可能なデータビット数			
番	Э	L	М	Q	Н	番	3	L	М	Q	Н
1	21	152	128	104	72	21	101	7,456	5,712	4,096	3,248
2	25	272	224	176	128	22	105	8,048	6,256	4,544	3,536
3	29	440	352	272	208	23	109	8,752	6,880	4,912	3,712
4	33	640	512	384	288	24	113	9,392	7,312	5,312	4,112
5	37	864	688	496	368	25	117	10,208	8,000	5,744	4,304
6	41	1,088	864	608	480	26	121	10,960	8,496	6,032	4,768
7	45	1,248	992	704	528	27	125	11,744	9,024	6,464	5,024
8	49	1,552	1,232	880	688	28	129	12,248	9,544	6,968	5,288
9	53	1,856	1,456	1,056	800	29	133	13,048	10,136	7,288	5,608
10	57	2,192	1,728	1,232	976	30	137	13,880	10,984	7,880	5,960
11	61	2,592	2,032	1,440	1,120	31	141	14,744	11,640	8,264	6,344
12	65	2,960	2,320	1,648	1,264	32	145	15,640	12,328	8,920	6,760
13	69	3,424	2,672	1,952	1,440	33	149	16,568	13,048	9,368	7,208
14	73	3,688	2,920	2,088	1,576	34	153	17,528	13,800	9,848	7,688
15	77	4,184	3,320	2,360	1,784	35	157	18,448	14,496	10,288	7,888
16	81	4,712	3,624	2,600	2,024	36	161	19,472	15,312	10,832	8,432
17	85	5,176	4,056	2,936	2,264	37	165	20,528	15,936	11,408	8,768
18	89	5,768	4,504	3,176	2,504	38	169	21,616	16,816	12,016	9,136
19	93	6,360	5,016	3,560	2,728	39	173	22,496	17,728	12,656	9,776
20	97	6,888	5,352	3,880	3,080	40	177	23,648	18,672	13,328	10,208

表 3-16 QRコードの型番と収納可能なデータビット数

(5) マイクロ QR コードの文字数と型番

複数の文字種を収納する場合は、下記により、型番を算出します。

①マイクロ QR コードに収納する文字種により、コードで表現する時のビット数を算出します。

(Ax:収納する文字数)

・数字のみ : A1 文字

 $B_1 = 10 \times (A_1 \div 3) + M + C + R$

R : A1 ÷ 3の余りが0ならば0、1ならば4、2ならば7

・英字、数字、記号 : A2文字

B₂ = 11×(A₂÷2) + M + C + 6×(A₂÷2の余り) ・8ビットバイト : A₃文字

 $B_3 = 8 \times A_3 + M + C$

・漢字、かな: A4 文字

 $B_4 = 13 \times A_4 + M + C$

C:文字数指示子のビット数(下表から)

M:モード指示子のビット数(下表から)

	文	(字数指示子	のビット数:	С	モード指示子のビット数: M			
型番	数字	英数字	8ビット バイト	漢字	数字	英数字	8ビット バイト	漢字
M 1	0	-	-	-	3	-	-	-
M2	1	1	-	-	4	3	-	-
M 3	2	2	2	2	5	4	4	3
M 4	3	3	3	3	6	5	5	4

複数の文字種を収納する場合は、それぞれのビット数の合計を算出します。

 $B_T = B_1 + B_2 + B_3 + B_4$

 ② B_T [ビット] を収納するために必要な QR コードの型番とモジュール数 S を、下記の 表から決定します。

ᅖᆓ	S	誤り訂正	データ	データ容量(最大入力文字数)					
空笛		レベル	ビット数	数字	英数字	8ビットバイト	漢字		
M1	11	L	20	5	_	_	_		
M2	13	L	40	10	6	_	_		
		М	32	8	5	_	_		
М3	15	L	84	23	14	9	6		
		М	68	18	11	7	4		
		L	128	35	21	15	9		
M4	17	М	112	30	18	13	8		
		Q	80	21	13	9	5		

表 3-17 マイクロ QR コードの型番と最大入力文字数

3.6.6. 文字間隔の指定について

以下の連携では、全ての文字間隔をプリンタの解像度で表現できません。このため、指定された文字間隔とプリンタ動作が一致しない場合があるため注意が必要です。

・SPARC Server、SPARC Enterprise および PRIMERGY、PRIMEQUEST(いずれも Red Hat Enterprise Linux)からの COBOL 印刷

COBOL では、文字間隔を 0.01cpi~24.00cpi(単位:0.01cpi)の範囲で指定可 能です。

但し、0.01cpi~0.23cpiを指定しても無効となります。

指定された文字間隔は、以下に示す方法により各解像度でのドット数に換算されます。 半角文字の場合は、このドット数の半分になります。

①解像度 240dpi で印刷時

文字間隔: A (cpi) 7200dpi におけるドット数に換算 D_1 (ドット) = 7200 ÷ A (下一桁を四捨五入) 240dpi におけるドット数に換算 D_2 (ドット) = $D_1 \times 240 \div 7200$ (端数は切り捨て) プリンタでは下記の文字間隔での動作となります。 C (cpi) = 240 ÷ D_2

(例)文字間隔として 5.00cpiを指定した場合、本装置は 5cpiとして動作します。
D₁ = 7200 ÷ 5.00 = 1440 (ドット)
D₂ = 1440 × 240 ÷ 7200 = 48 (ドット)
C = 240 ÷ 48 = 5 (cpi)
文字間隔として 5.02cpiを指定した場合、本装置は約 5.11cpiとして動作します。
D₁ = 7200 ÷ 5.02 ≒ 1434 ≒ 1430 (ドット) (下一桁を四捨五入)
D₂ = 1430 × 240 ÷ 7200 ≒ 47.6 ≒ 47 (ドット) (端数は切り捨て)
C = 240 ÷ 47 ≒ 5.11 (cpi)

②解像度 400dpi で印刷時

文字間隔: A (cpi) 7200dpi におけるドット数に換算 D_1 (ドット) = 7200 ÷ A (一桁目を四捨五入) 400dpi におけるドット数に換算 D_2 (ドット) = $D_1 \times 400 \div 7200$ (端数は切り捨て) プリンタでは下記の文字間隔での動作となります。 C (cpi) = 400 ÷ D_2 (例) 文字間隔として 5.00cpi を指定した場合、本装置は 5cpi として動作します。 $D_1 = 7200 \div 5.00 = 1440 (ドット)$ $D_2 = 1440 \times 400 \div 7200 = 80 (ドット)$ $C = 400 \div 80 = 5 (cpi)$ 文字間隔として 5.02cpi を指定した場合、本装置は約 5.06cpi として動作します。 $D_1 = 7200 \div 5.02 \doteq 1434 \doteq 1430 (ドット)$ (下一桁を四捨五入) $D_2 = 1430 \times 400 \div 7200 \doteq 79.4 \doteq 79 (ドット)$ (端数は切り捨て) $C = 400 \div 79 \doteq 5.06 (cpi)$

③解像度 600dpi で印刷時

文字間隔: A (cpi) 7200dpiにおけるドット数に換算 D1 (ドット) = 7200 ÷ A (一桁目を四捨五入) 600dpiにおけるドット数に換算 D2 (ドット) = D1 × 600 ÷ 7200 (端数は切り捨て) プリンタでは下記の文字間隔での動作となります。 C (cpi) = 600 ÷ D₂ (例)文字間隔として 5.00cpiを指定した場合、本装置は 5cpiとして動作します。 D₁ = 7200 ÷ 5.00 = 1440 (ドット) D₂ = 1440 × 600 ÷ 7200 = 120 (ドット) C = 600 ÷ 120 = 5 (cpi) 文字間隔として 5.02cpiを指定した場合、本装置は約 5.04cpiとして動作します。 D₁ = 7200 ÷ 5.02 = 1434 = 1430 (ドット) (下一桁を四捨五入) D₂ = 1430 × 600 ÷ 7200 = 119.2 = 119 (ドット) (端数は切り捨て) C = 600 ÷ 119 = 5.04 (cpi)

3.6.7. その他

(1) 地紋印刷用紙

地紋印刷をした用紙の上に印字を行う場合は、地紋印刷インクの影響により定着性が 少し悪くなる場合があります。このため、事前に定着性の確認を実施してください。

(2) 裏面印刷

用紙の両面に印刷(裏打ち)すると、用紙搬送路を汚損する恐れがあるので、裏面 印刷はしないでください。

- (3) のりで接着した袋状用紙 のりで袋状に貼り合わせたり、接着した用紙は、紙面が凹凸になっているため、印字濃 度のむらや脱字が生じやすいので使用できません。
- (4) 帳票設計の注意事項

・印字幅規格値						
165 桁ピッチ	416.6±0.3 mm					
	(23.5℃、55%RH)					
・周囲環境変化における用紙の伸縮						
温度変化0.04	0mm∕℃					
湿度変化0.054mm/%RH						

(用紙坪量 64g/m²上質紙)

帳票設計時は上記の変動量を考慮してください。

第4章 消耗品、消耗部品および添付品

本章では、本装置で使用する消耗品、消耗部品、および添付品について説明します。

4.1. 消耗品

消耗品は、指定の純正品をお奨めします。

非純正のものをご使用になりますと、プリンタ本体の故障の原因になったり、印刷品質が低下するなど、本来の性能が発揮できない場合があります。

なお、すべての非純正品で、必ず不具合が発生するわけではありません。

非純正の消耗品のご使用に起因する装置故障への対応につきましては、保守契約または保 証期間内であっても有償となりますので、ご留意ください。

本装置に使用する消耗品を表 4-1 に示します。

使用状況をみながら常時補充、ストックしておく必要があります。なお、消耗品を交換する場合 には、使用期限を確認し、必ず新品の消耗品と交換願います。旧品をそのまま使用すると、装 置の障害を引き起こすことがあります。

消耗品は、富士通コワーコ(株)で販売しています。

お問合せ先

富士通コワーコ株式会社 お客様総合センター 通話料無料 0120-505-279

受付時間:月曜日~金曜日 9時~12時、13時~17時30分 (土・日曜日・祝祭日・当社指定の休日を除く)
▲ 警告

▲ 警告

▲ 注意

般的禁止

表 4-1	消耗品−	一覧
-------	------	----

品名(商品番	仕 様	構 成	未使用品の保管条
号)			件
トナー		1.0kg 入りカセット×4/セット、トナ	0~32℃
(0891110)	CA50602-2171	ー回収ボトル×4/セット	30~70%RH
現像剤	CAF0(02, 2172	2.0kg 入りカートリッジ	0~32℃
(0891120)	CA50602-2172	×1/セット	30~70%RH

●トナーを目や口に入れないでください。

- トナーの交換時に手についたトナーは速やかに洗い落とし、目や口に入れ ないでください。トナーをこぼしたときなどにこの粉塵を長いあいだ多量に吸 い込むと、肺に影響を及ぼすことがありますので、ご注意ください。 また、このようなときには、速やかに医師に相談してください.
- ●使用済みのトナーおよびトナーカセットは絶対に火の中に入れないでくださ い。

異臭が発生します。廃棄時には、不燃物の扱いにしてください。

●現像剤を目や口に入れないでください。 現像剤の交換時に手についた現像剤は速やかに洗い落とし、目や口に 入れないでください。また、あやまって口に入れてしまったときには、速やか に医師に相談してください。

- ●トナー/現像剤は、安心してご使用いただくために推奨使用期限を記載 しています。現品をご確認ください。
 - 使用期限を超えると、印刷品質が低下するなど、本来の性能が発揮でき ないおそれがあります。
 - ●トナー/現像剤は、ご使用後不燃物として処理して戴くか、お買い求めの販売店にご相談ください。

4.2. 消耗部品

本装置に使用する消耗部品を表 4-2 に示します。 消耗部品は状態表示によって交換するもので、当社保守技術員が補充します。 ただし、ドラムユニット(感光ドラム)と除電 LED、フラッシュランプは、当社保守技術員が 交換作業を行います。

表	4 - 2	消耗部品-	-覧
1			50

品名	仕 様	構 成	未使用品の保管条件
的师子儿友		1 /田	0~50℃
航程ノイルタ	CA50002-2105		30~70%RH
クリーナフェット		1 /田	0~50℃
クリーノ <u>ユ</u> ーッド	CAU0/15-E0/U		30~70%RH
ドラムユニット (感光ドラム)	CA50602-2110	1本	(注)
			0~50℃
除電 LED	CA06715-7104	1個	30~70%RH
	CAE0602 2150	1 ±	0~50℃
ノフッシュフノノ	CA50002-2150	14	30~70%RH

(注) 梱包箱(ダンボール)に入れて室内環境に保管してください。(温度 0~32℃、 湿度 70%以下が望ましい)。火気および酸、アルカリ、金属蒸気の影響を受ける環境のも とに置かないでください。結露するような急激な温度変化は避けてください。

4.3. 添付品

本装置の添付品を表 4-3に示します。

表 4-3 添付品

項	品名	個数	用途
1	ペーパーナイフ	1	スタッカから用紙を取り出す時の用紙切断用
2	ドラム抜き棒	1	(保守作業用)
3	トナー	1	トナー1個、排トナーボトル1個
4	現像剤カートリッジ	1	
5	オペレータガイド	1式	
6	取扱説明書	1	
7	+-	1	副操作パネルカウンタスイッチ操作用
8	PrintWalker CD-ROM	1式	PrintWalker インストール用 CD-ROM
9	ファイル	1	C E ポケット内装備 (保守作業用)
10	スクレーパ	1	定着部ガラス面の清掃用

注1) キーは、装置の副操作パネルに実装されています。

注2) ドラム抜き棒、ファイルについては、保守技術員が使用します。

4.4. 消耗品ロッカ

本装置の消耗品、消耗部品、添付品および清掃用品を収容するロッカを準備しており、 ご要求に応じて個別販売します。

第5章 設置諸元

本章では、本装置の設置条件について説明します。

5.1.設置条件

本装置の設置条件を表 5-1に、外形寸法を図 5-1に、保守エリアを図 5-2に、排気部位 置を図 5-3 に示します。PS5110BL 用チャネル接続機構オプション(PS5110B50)の設置 条件は FUJITSU Printer PS5000 シリーズ チャネル接続機構 (PS5600C50 / PS5110B50)の取扱説明書を参照してください。

項	目		値		備考
从形式注〔mm〕		幅	奥行	高さ	オペパネ部(装置正面側):
עריטואר		1280	780	1200	約 256mm
			約 500		PS5110BK
重量	(kg)	π ⁹ 300			フルオプション搭載時
		約 450			PS5110BL
					オプション無し時
	(mm)	前	後 左	右	方向は装置正面を基準と
体引エリア		900 8	350 50	0 850	する
	電 圧	AC	200±109	%V	
入力電源	相数		1		
		F0 /6		- 2	
	周波数	50/6	OHZ _	-4%	
所要電力量	制御中		約 4.6	-	PS5110BK
(KVA)					フルオプション搭載時
			約 4.5		PS5110BL
					オプション無し時
	非制御中		約 0.7		PS5110BK
					フルオプション搭載時
			約 0.6		PS5110BL
					オプション無し時
発 熱 量					約 3950 kcal/H
(MJ/H)			約 16.5		PS5110BK
	制御山				フルオプション搭載時
	ין ייואן ניוו				約 3870 kcal/H
			約 16.2		PS5110BL
					オプション無し時
					約 600 kcal/H
			約 2.5		PS5110BK
非制御中					フルオプション搭載時
			//L		約 520 kcal/H
			約 2.2		PS5110BL
					オノンヨン無し時
	流LMA」		<u>5.0以下</u>		
一 沒人電流			<u>100以下</u>		
		1 - L	<u></u>	// /	
<u> 動 作 保 証</u>	装 直 状 態	核働中		<u>休止中</u>	

表 5-1	設置条件
-------	------

環境	温 度 〔℃〕	5~35	0~50	
	湿 度 〔%RH〕	20~80	20~80	
	最高湿球 温度〔℃〕	29	29	
許容塵埃量〔mg/m ³ 〕		0.15 以下		ステアリン酸基準
許容振動〔m/s ² 〕		1.96 以下		0.2G 以下
電源入力	端子	M6 ボルト站		電源工事が必要
騒 音	制御中	操作面 60		半無響音室での測定値
〔dB/(A)〕	非制御中	操作面 50		
排 気 量 〔m	n³∕min〕	約	28	





図 5-1 外形寸法





装置背面

図 5-3 排気部位置

- 注-1) 上記保守エリアは、装置の保守サービスを実施するのに必要なスペースです。 必ず確保してください。
- 注-2) 装置背面には、装置稼動中約 3,950(PS5110BK フルオプション搭載時)、 3,870(PS5110BL オプション無し時) [Kcal/H]の排熱が有ります。 稼動中でも周囲環境許容範囲を維持出来るよう、装置背面の空間、空調設備(排熱ダ クト等)を設ける必要が有ります。

装置併設時の注意事項

ダクトからの排気は流量・流速ともに高く、併設したプリンタ装置の用紙交換時に用紙 バタツキ等操作上の障害が生じたり、排熱が併設装置に影響を与える恐れがあるため、 保守エリアのスペースを必ず確保してください。

また、以下の例に示すよう、装置背面からの排気がかからないように設置してください。 (↑F、F↓ : 装置正面)

- 後ろの装置と2m以上離し間隔をあける。(装置併設例1)
- 互いの装置背面部を外向きにし、それぞれの保守エリアを確保する。 (装置併設例2)



第6章 トラブル事例

本章では、用紙の取扱いに対するトラブルの対応について説明します。 なお、PS5110BL でチャネル接続機構オプション(PS5110B50)経由でのトラブルは FUJITSU Printer PS5000 シリーズ チャネル接続機構 (PS5600C50/PS5110B50) の取扱説明書も参照してください。

表 6.1 の参照項に示す(*)部については、以下のマニュアルを参照してください。 「ページプリンタ装置 用紙の設計と取扱い(連続帳票編)」

Į	Ę	障害現象	原因	処 置	参照項
搬	1	給紙部での用紙のつれ上がり	シールはがき、タック紙の糊・プ	用紙加工上、糊・インク等が	(*)
送		が発生して、ドラムに用紙が	レプリント紙のインク付着・用	付着しないよう用紙加工メー	
不		巻き込まれる。	紙の端部の折れ等により用	カーに依頼する。	
良			紙が重なって搬送された。		
関	2	用紙がトラクタピンから外れ	トラクタで用紙を張り過ぎてい	トラクタでの用紙張りを少し緩	2.3.3
連		3.	3.	めてセットする。	
			用紙左右の送り孔の間隔ズ	送り孔間隔にズレがないよう	(*)
			$ u_{\circ}$	用紙加工メーカーへ依頼す	
				る。	
			用紙連量が装置の規定を下	規定内の用紙を使用する。	(*)
			回っていた。		
	3	用紙がバタツキ、搬送不良と	用紙の引き力が弱い。	用紙引き力切り替えレバー	2.2.8
		なる。		(スカッフローラ切り替えレバ	
				-)を強くする。	
			用紙の横ミシン目が規定寸	タイ/カット比を変更する。	(*)
			法外である。		
			プレプリント(裏面)インクの	定着性を向上するよう	(*)
			定着性が悪い。	用紙加工メーカーへ依頼す	
				る。	
			コート紙、アート紙等の特殊	規定内の用紙を使用する。	(*)
			用紙である。		
			AKDサイズ剤を使用した	安定した品質管理の用紙を	(*)
			中性~アルカリ性紙である。	使用する。	
	4	用紙オートロード時にドラムに	用紙の先頭1ページを折り	用紙の先頭1ページを折り返	2.3.3
		用紙が巻き込まれる。	返していない(折り返し対象	ししてオートロードする。	
			の用紙坪量の場合)。		

表 6.1 トラブル事例集(続く)

		用紙を2枚重ねたときに送り	折りミシン目、送り孔加工の	(*)
		孔の位置が合わない。	精度向上を用紙加工メーカ	
			ーへ依頼する。	
		用紙連量が装置の規定を下	規定内の用紙を使用するよう	(*)
		回っていた。	顧客に依頼する。	
5	用紙が折りミシン目で切断	用紙の引き力が強い。	用紙引き力切り替えレバー	2.2.8
	し、搬送不良となる。		(スカッフローラ切り替えレバ	
			-)を弱くする。	
		ミシン加工不良(タイカットの	タイカット比を変更する。	(*)
		カット寸法が大きい)		
		用紙端部がカットしてあった。	端部をタイ部とするよう用紙	(*)
			加工メーカーへ変更依頼す	
			る。	

Į	頁	障害現象	原因	処置	参照項
搬 送 不	6	タック紙のオートロード時に用 紙折れ曲がりが発生する。	台紙にラベルの切り込みが入 り、用紙の腰が弱くなった。	台紙に刃物が当たらないよう、用紙加工メーカーに依頼 する。	(*)
良 関 連	7	タック紙のラベルが剥がれ、定 着ガラスに付着して定着不良 となる。	ラベル紙の剥離抵抗が小さ い。 (剥がれ易い)	剥離抵抗を 30g/1 インチ以 上にするよう、用紙加工メー カーへ依頼する。	(*)
	8	タック紙のラベルが剥がれ、搬 送路(スタッカ・転写部等) に張り付いて用紙づまりとな	タック紙のラベル部以外の台 紙を、全て除去(カス取り) しているために剥がれ易い。	ラベル部以外の台紙を露出さ せないよう、用紙加工メーカ -へ依頼する。	(*)
		3.	ラベル紙の坪量が推奨仕様 を超えている。	ラベル紙と台紙の坪量が使用 範囲内になるよう用紙加工メ ーカーに依頼する。	(*)
	9	トラクタピンに糊が付着して用 紙穴の抜けが悪くなり用紙づ まりとなる。	タック紙の送り孔部から糊がは み出し、トラクタピンに付着。	送り孔部のラベル紙を除去し て台紙のみとする(波形状カ ス取り)よう依頼する。	(*)
	10	用紙をセットしても オートロードしない。	トレーシングペーパのような透 けて見える用紙を使用してい る、もしくは、孔あき等禁止領 域に大きな孔が開いている、 もしくは、用紙裏面が黒のプ レプリント等で印刷されてい る。	規定内の用紙を使用するよう 顧客に依頼する。	(*)
	11	カード媒体剥がれが発生す る。スタッカ部や転写部でカー ド部分が剥がれてしまう。	用紙の腰の強さ(剛度)が強 いため。 剛度は連量に比例 する。	カード媒体のトータル連量を 135Kg (坪 量 は 157g/m2)以下になるよ う、用紙加工メーカーへ依頼 する。	(*)
			カード部分の剥離抵抗が小さ いため。	カード部分の剥離抵抗を高 めるよう用紙加工メーカーへ 依頼する。	(*)
			用紙の総厚さが装置の規定 値よりも厚いため。	カードを含めた用紙の総厚さ を0.35mm以下になるよう、 用紙加工メーカーへ依頼す る。	(*)
	12	カード媒体用紙のオートロード 時や印刷時に搬送路で用紙 が止まってしまう。	用紙の先頭1ページを折り 返ししている(折り返し対象 ではない用紙坪量の場合)	用紙の先頭1ページを折り返 ししないでオートロードする。	2.3.3
			用紙の重量が重いため。 (重量は連量に比例する)	カード媒体のトータル連量を 135Kg (坪 量 は 157g/m2)以下になるよ う、用紙加工メーカーへ依頼 する。	(*)

I	頁	障害現象	原因	処置	参照項
搬	13	カード媒体で用紙外れや用	用紙の総厚さが装置の規定	カードを含めた用紙の総厚さ	(*)
送		紙づまりが発生する。	よりも厚いため。	を0.35mm以下になるよう、	
不		搬送路やスタッカ部、転写部		用紙加工メーカーへ依頼す	
良		などで用紙が詰まる。		る。	
関			折り畳みミシン目で折り重ね	カード同士が対面しないよう	(*)
連			た時、カード同士が対面する	な用紙レイアウトに、用紙加	
			ため。	エメーカーへ依頼する。	
			(例)		
			カード部分 折り畳み ジン目 がり畳むと カード部分 対面する カード部分 カード部分 カード部分 カード部分 カード部分		

表 6.1 トラブル事例集(続く)

Į	頁	障害現象	原因	処置	参照項
ЕD	1	毎ページまたは、折り周期で	厚紙などの特殊な用紙(媒	媒体モード設定を「媒体モー	2.2.3.
字関		同一箇所で印字がカスれる。	体)を印刷しているが、媒体	ド2」に設定して印刷する。	1
連			モード設定が通常になってい		
			る。		
			用紙の吸湿による転写不	新しく開封した用紙箱の用紙	(*)
			良。	で印刷する。または、適切な	
				用紙保管環境に用紙をなじ	
				ませた後に印刷する。	
				用紙が吸湿しないようお客様	(*)
				の用紙保管環境運用管理を	
				改善してください。	
				開封した用紙を長時間	(*)
				(12H 以上) 放置しない。	
				またプリンタ内の用紙について	
				も、長時間停止する場合は	
				プリンタから外し防湿フィルム	
				に包んで保管してください。	
				調湿ならびに保管環境の管	(*)
				理を行うよう用紙加工メーカ	
				ーに依頼する。	
				(製造工程での吸湿、ビニー	
				ル梱包/用紙箱の防湿加工	
				など)	
			用紙折れ、窪み傷による転	用紙が損傷しないよう取り扱	(*)
			写不良。	う。 	
			用紙の凹凸変形による転写	凹凸変形が発生しないよう用	(*)
			不良。(用紙製造時または	紙加工メーカーへ依頼する。	
	2	用紙の桁方向の白抜け・文	用紙箱が小さいため、用紙繰	用紙箱から用紙を取り出して	(*)
		字にじみが時々発生する。	り出し時の負荷が転写不良	印刷する。	
			を引き起こした。	改善する場合は、装置規格	
				に合ったサイズの用紙箱を使	
				用するよう用紙加工メーカー	
				へ依頼する。	
	3	毎ページに用紙中央部で白	用紙箱の底が平坦でないた	用紙箱の底にダンボール紙を	(*)
		抜け・文字カスレが発生す	め、用紙中央部が変形し転	入れて平坦にするよう、用紙	
		る。	写不良となった。	加工メーカーへ依頼する。	

表 6.1 トラブル事例集(続く)

IJ	頁.	障害現象	原因	処置	参照項
ED	4	文字の上部にのみトナー汚れ	用紙の含水率が低く、用紙	用紙の電気抵抗値が規格	(*)
字		が発生する。	電気抵抗値が高かった	内になるよう用紙加工メーカ	
関			$(1 \times 10^{13} \Omega)$.	-へ依頼する。	
連				新しく開封した用紙箱の用紙	(*)
				で印刷する。または、適切な	
				用紙保管環境に用紙をなじ	
				ませた後に印刷する。	
				用紙が乾燥しないよう、お客	(*)
				様の用紙保管環境運用管	
				理を改善してください。	
				開封した用紙を長時間	(*)
				(12日 以上) 放置しない。	
				またプリンタ内の用紙について	
				も、長時間停止する場合は	
				プリンタから外し防湿フィルム	
				に包んで保管してください。	
				調湿ならびに保管環境の管	(*)
				理を行うよう、用紙加工メー	
				カーに依頼する。	
				(製造工程での吸湿、ビニー	
				ル梱包/用紙箱の防湿加工	
				など)	
	5	黒点状の汚れや直径数ミリ	印刷する前に既に用紙が汚	印刷する前の用紙を確認す	(*)
		程度の白抜けが発生する。	れている、又は凸凹変形して	る。既に用紙に異常があれ	
			いる。	ば、印刷加工時に用紙を汚	
				さない、変形させないよう用	
				紙加工メーカーへ依頼する。	
			用紙孔あけ加工不良で用紙	用紙孔あけ加工にて用紙カ	(*)
			カスが装置内に混入した。	スが残らぬよう、用紙加工メ	
				ーカーへ依頼する。	
			タック紙で台紙とラベルのズレ	加工上、台紙とラベルのズレ	(*)
			が大きいため、糊がはみ出し、	をなくすよう、用紙加工メーカ	
			ドラムに付着。	-へ依頼する。	
			金属異物が混入しドラムに傷	異物(ミシン歯溢れ、ブラシ	(*)
			が発生した。	等)が混入しないよう用紙加	
				エメーカーへ依頼する。	
	6	全桁にわたり数行間印字が	用紙に導電性異物が混入。	用紙の加工時に導電性異物	(*)
		抜けたり、転写帯電器エラー	(静電気除去用の除電	が混入しないよう、用紙加工	
		が発生する。	ブラシなど)	メーカーへ依頼する。	

表 6.1 トラブル事例集(続き)

	7	地汚れ(カブリ)が部分的に	印刷する前に既に用紙が汚	印刷加工時に用紙を汚さな	(*)
		発生する。	れていた。	いよう、用紙加工メーカーへ	
				依頼する。	
8	8	周期的に白抜けが発生す	用紙箱を接合する接着剤が	用紙箱の接着工程を改善す	(*)
		3.	用紙に搬送されてドラムに付	るよう、用紙加工メーカーへ	
			着した。(糊乾燥不良、余	依頼する。	
			剰糊混入)		
			プレプリント紙で印刷インクが	プレプリント印刷の乾燥工程	(*)
			半乾きのため、ドラムに付着し	を改善するよう、用紙加工メ	
			た。	ーカーへ依頼する。	

Į	頁	障害現象	原因	処置	参照項
四 字 団	9	印字が横方向に抜ける。 黒点が発生する。	用紙上に混入した金属繊維 等の導電性異物が、帯電器 類に入りリークを起こす。	異物が入らないように、用紙 メーカーに改善を依頼する。	(*)
	10	文字、罫線がにじんだり、ぼや けたりする。	シール葉書の場合: 糊中に残留するアンモニア がドラムに付着して、ドラム の帯電性能が損なわれ る。	アンモニアの除法、あるいは糊 の量を減らすように用紙加工 メーカーに改善を依頼する。	(*)
			OCR 紙の場合 : 用紙表面にコーティングさ れた帯電防止剤がドラムに 付着して、ドラムの帯電性 能が損なわれる。	帯電防止剤をコーティングし ていない原反を使用するよう に、用紙加工メーカーに改善 を依頼する。	(*)
	11	カード媒体用紙でカード部分 での印字かすれ、印字汚れ、 文字縮み、および印字ずれな どの印字障害が発生する。	用紙の重量が重いため。 重量は連量に比例する。	カード媒体のトータル連量を 135Kg (坪 量 は 157g/m2)以下になるよ う、用紙加工メーカーへ依頼 する。	(*)
		[カード部での印字かすれ] PRINTER1 PRINTER1 PRINTER1 [カード部での印字汚れ] プリンタ装置 高速レーザー AAAAAAAAAAAA	用紙の総厚さが装置の規定値よりも厚いため。	カードを含めた用紙の総厚さ を0.35mm以下になるよう、 用紙加工メーカーへ依頼す る。	(*)
		[文字縮み(搬送方向)] □■\$¢%#&			
		ABUDEFG			

表 6.1 トラブル事例集(続き)

I	頁	障害現象	原因	処置	参照項
ЕD	12	カード媒体用紙で印字抜け	台紙裏面にフィルムが使用さ	台紙裏面のフィルムの材質を	(*)
字		が発生する。	れているため。	紙に変更いただくよう、用紙	
関連		[カード部で印字抜け]	日紙表	加工メーカーへ依頼する。	
	13	カード媒体用紙で	台紙とカード部分や保護シー	台紙とカード部分や保護シー	(*)
		印字にじみや印字濃淡差が	トで段差が生じ濃淡差が生じ	トで段差が生じないように用	
		発生する。	る。	紙加工メーカーへ依頼する。	
				用紙のどの箇所でも総厚さが	
		[印字にじみ]	(例)用紙断面図	0.35mm以下になるよう、	
		米海社・ キャー・コンク	カード部分	用紙加工メーカーへ依頼す	
		半導体レーザーブリング	麺	る。	
		半導体レーザーブリング			
		41999994 10 - V - V V V V		段差部には印字しないように	
			惠面 承	データのレイアウト変更をお願	
		[印字濃度差]	「保護シート	いします。	
		認慮應慮應			

表 6.1 トラブル事例集(続き)

J	頁	障害現象	原因	処置	参照項
ED	14	印刷後の印字がはがれる。	印字面を先の尖ったものなど	定着性の確認は、印字面を	(*)
字			でこすっているため。	指の腹でこするなどで確認す	
関				る。(下図①)以下は印字が	
連				はがれるため実施しない。	
				・爪や先のとがったもので印字	
				面をこする。(下図②)	
				・印字面にテープや付箋紙を	
				貼ってはがす。	
				・印字面を折り曲げる。	
				(下図③)	
				図①:指の腹でこする	
				(止常)剥かれない	
				AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA	
				図②: 爪でこする (正常)剥がれる	
				図③:折り曲げる (正常)剥がれる A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	

表 6.1 トラブル事例集(続き)

I	頁	障害現象	原因	処置	参照項
ED	14	印刷後の印字がはがれる。	推奨使用期限が過ぎた現像	推奨使用期限内の現像剤	4.1
字		(続き)	剤やトナーを使用している。	やトナーを使用する。	
関			現像剤やトナーが熱の影響	現像剤やトナーの保管環境	4.1
連			で変質しているため。	の見直し/改善を行う。	
			※現像剤交換後やトナー補	※装置の排気が当たるところ	
			充後にはがれる場合	に保管しない、温湿度環境	
				が管理されたところで保管す	
				るなど。	
			用紙表面をコーティングしたよ	15 段階印字濃度を下げて	3.4.1
			うなトナーが融着しにくい用紙	印刷する。用紙メーカーに用	2
			のため。	紙加工の改善を依頼する。	3.4.1
					4
			装置設置環境が許容範囲	装置設置環境の見直し/改	5.1
			外のため。	善を依頼する。15段階印	
				字濃度を下げて印刷する。	
		印刷後の用紙を後処理機	後処理機で印字面を搬送口	後処理機側に対応依頼す	(*)
		(バースターや紙折り機など)	ーラやベルトなどでこすっている	る。	
		で処理すると印字がはがれる。	ため。		
折	1	厚紙使用中、中間横ミシン	中間横ミシン目の折り特性	中間横ミシン目の折り特性が	(*)
り		目にてスタック不良(中折	が、折り畳みミシン目より強い	折り畳ミシン目より弱くなるタ	
畳		れ)が発生。	(折れやすい)ため。	イ/カット比に加工するよう、	
み				用紙加工メーカーへ依頼す	
関				る。	
連	2	タック紙でミシン目前後のラベ	用紙の折り畳みミシン目部分	ミシン目部のカス取りをしない	(*)
		ルが剥がれ、スタック不良や用	のラベル紙除去(カス取り)	よう、用紙加工メーカーへ依	
		紙づまりとなる。	を行っている。	朝する。 	
			ラベル紙の坪量が台紙に比べ	ラベル紙と台紙の坪量が使用	(*)
			て重いため。	範囲内になるよう用紙メーカ	
				ーに依頼する。	
	3	用紙が斜めに走行し、搬送 、=	用紙が印刷前に大きくカール 	用紙加工時にカールさせない	(*)
		个民となる。	している。	よう、用紙加上メーカーへ依	
	4	用紙送り扎部の搬送による	用紙の引き刀か強い。	用紙引き刀切り替えレハー	2.2.8
		変形(北カレ)によりスタック エウレンス		(スカッノローフ切り谷スレハ	
		个民となる。		-) を弱く9る。	
			トラクタ部で用紙の張りか強	トラクタ合わせつまみで用紙の	2.3.3
			しいこの达り北ルレか先生した。	近りで板のし)()()()()のの 	
			用紙の理重个足により、达り	装直規定に合った厚さの用	(*)
			北小搬达時に変形して、人名	紙を使用9る。	
			ックしに用紙 「〜ち		
			した。		()
	5	川祇小科のに人グツクされるも	用紙の料傾もしくはミンン目	用紙メーリーに用紙加上の	(*)
		し、はスクック个民となる。	加工个民。	以音で11以料9る。	

表 6.1 トラブル事例集(続き)

	4 項と同じく、用紙の孔ガレ	4項参照。	(*)
	が要因。		

表 6.1 トラブル事例集(続き)

Į	頁	障害現象	原因	処置	参照項
折	6	カード媒体印刷時にスタック	用紙の総厚さが装置の規定	カードを含めた用紙の総厚さ	(*)
り		不良となる。	値よりも厚いため。	を0.35mm以下になるよう、	
畳				用紙加工メーカーへ依頼す	
み				る。	
関			用紙の腰の強さ(剛度)が強	カード媒体のトータル連量を	(*)
連			いため。(剛度は連量に比	135kg (坪 量 は	
			例する)	157g/m2)以下になるよ	
			カード部分の剛度が極端に	う、用紙加工メーカーへ依頼	
			強くなるレイアウトになっている	する。	
			ため。		
			カード部分とカード部分の間	カード同士が対面せず、カー	(*)
			隔が狭く用紙部分が少ないこ	ド部分の間隔を開けるようレ	
			とで用紙が折り畳めない。	イアウトを見直してください。	
			0 隙間が狭い カード部分 カード部分 カード部分	また、媒体モード設定を「媒体モード設定を「媒体モード2」に設定してすることでスタック性が改善されます。 (注)通常の用紙は媒体モード設定を「通常」に設定してください。	2.2.3. 1
異臭・他	1	プレプリント紙に印刷を行うと 異臭やインキ擦れが発生す る。	プレプリントインクの材質不良 またはインクが半乾きとなって いる。 用紙に特殊な物質(のり、フ	電子写真印刷に適した、フラ ッシュ定着用耐熱性インク (UVインク)を使用するよ う、用紙加工メーカーへ依頼 する。 特殊な物質が含まれていない	(*)
			ィルム)が含まれている。	用紙に変更する。	-

付録1 PrintWalker/EM のご紹介

PrintWalker/ EM (Eco Manager)は, PS5000 シリーズおよび VSP シリーズプリンタ装置 の情報管理や状態表示を行うソフトウェアです.

(1) 情報管理機能

プリンタ装置の消費電力情報や印刷情報などの統計情報を一元管理します。 Systemwalker Desktop シリーズが動作するコンピュータ上に PrintWalker/EM を使 用することで、Systemwalker Desktop シリーズが管理している他の IT 機器と一緒に プリンタ装置の消費電力や印刷用紙の使用量を一括管理することができます。 消費電力や印刷用紙の使用量など環境負荷状況(CO2 排出量)を把握することで、運 用改善や最適配置の計画に役立てることができます。 本機能は Systemwalker Desktop シリーズと連携した環境配慮ソリューションとして提供 しています。

(2) プリンタ管理機能

プリンタ装置の状態や消耗品状況を表示したり、ログに記録することで消耗品管理の計画に 役立てることができます。 本機能は従来の PrintWalker/RS Lightの機能に相当します。

付録 2 バッテリのリサイクルについて



このマークはニッケル水素電池のリサイクルマークです。

PS5110BK 用チャネル接続機構オプション(PS5110B10)の搭載時、コントローラ部の バックアップ用 UPS にニッケル水素電池を使用しております。

(公称電圧 12V、容量 6.0Ah、松下電池工業株式会社製)

本電池は埋蔵量の少ない高価な希少資源を使用していますが、これらの貴重な資源はリサイ クルして再利用できます。ご使用済の節は捨てないで、リサイクルにご協力ください。 ご不明な点がありましたら、担当の保守員へお問い合わせをお願いいたします。

電池の取り出し方法:

装置の電源が切断されていることを確認して、装置右側背面のチャネル制御ユニットを 取り出します。チャネル制御ユニットのカバーを取り外して内部の電池と電源ユニットを 接続するコネクタ3箇所を抜き、ネジ2本を外して電池を引き出してください。

注意:

装置廃却時以外は、電池を外さないでください。 また、取り出した電池は、短絡(ショート)防止の為に端子を絶縁テープで張る等の対策を 講じた後、乾電池等の電池と混ぜないようにしてください。

0

1

1x	(状態表示)	21	. 1

2

2up	o印刷機能	2	41
2x	(状態表示)	2	12

3

(状態表示)	214
	(状態表示)

5

5x	(状態表示)	

6

600dpi/2up出	力機構2
66 X X 設定	
6x(状態表示)	

7

7x	(状態表示)	

8

8x	(状態表示)	

9

```
9x(状態表示)......242
```

Α

Ax	(状態表示)		243
ΑŦ	ード変換テーフ	ブル	25
ΑŦ	ード文字セット	管理	25

В

MC2

С

[Channel A/B] ボタン	99
CHANNEL MODE	61
CS SAVEスイッチ 1	.54

Ε

EAN-128(料金代理収納用)	. 99
EAN128目視文字16, 97, 101, 106,	114
[EXT] ボタン	100

F

FCBと用	紙長	321
FM設定	定	115
FME-	-ド	8
FNPIE	ュレーション機能	32, 35
FNP	設定	114
FNP	タブ	107

FNPモード8,	277
Fモード標準	.277

G

GS1-128	9, 1	1, 1	14,	31,	34,	78	
GS1-128(料金代理収納)	用)14	I, 1	5, 1	16,	17,	19,	77

Ι

[INT] ボタン	100
IPアドレス	110
IPアドレス入力用テンキー	58
Iモード	278

J

JEF/AP出力機構	2
J E F タブ	97

Κ

Kモード文字セット管理26

L

LAN接続	.119
LED	1
LP-EAN128出力機構2, 16, 17, 21, 99,	101

Ν

0

308
320
99
99

Ρ

PC/基幹IAサーバ (Windows Server)	接続6
POWER OFF SW	149
POWER ON SW	149
PrintWalker	32
PrintWalker/BPC	32

PrintWalker/EM	355
PrintWalker/LXE	32
PrintWalker/PM	32

Q

QRコード37, 32	22
-------------	----

S

SCCI接続機構	2
SCCI用2チャネルスイッチ	2
「Shift」ボタン	57

U

```
UNIX サーバ接続......4
```

V

VSPリクエスタ	33
V31 J/J	55

W

Windows PC接続	6
--------------	---

Χ

Х	位置	 7

Υ

あ

アウトラインフォントによる文字の変形例	
孔つき用紙	300
安全上の注意事項	vii

い

イジェクトスイッチ	53
異常時の処置	202
一般タブ	70
イメージ印刷	
色付き用紙	306
インク	297
印刷位置	

印刷位置調整機能	71
印刷位置の移動範囲	73
印刷開始制御	98
印刷禁止領域	8
印刷形態	8
印刷設定変更ボタン	68
印刷速度	8
印刷中	52
印刷データの作成	318
印刷動作概要図	24
印刷動作の概要	22
印刷濃度情報	68
印刷濃度調整機能	74
印刷濃度のむら	200
印刷パターン	320
印刷品質不良	201
印刷プロセス	43
印刷方式	8
印刷むら	200
印刷用紙の規格	275
印刷領域	277
印刷領域(Fモード標準)	277
印刷領域(Iモード)	278
印字禁止領域	279
印字抜け	199
印字濃度不足	198
印字幅	8
印字幅設定	101
印字品質の調整方法	198
印字不鮮明	200
印字ぼけ	200
印字ぼけが生じたときの処理	200

う

裏面印刷	.33	34
運搬時の注意		х

え

エラー 52	
エンボス用紙	

お

オートローディング	156
オートロード中	52

オートロードパネル	148, 159
オートロードパネル機能	
オーバレイ位置の移動範囲	73
オーバレイ位置の移動量	72
送り孔	
送り孔加工精度	
送り孔の位置	
送り孔の形状と位置	
送り孔の直径	
オプション機構	
オペレータガイド	
オペレータ清掃	
折畳みミシン目	
温度	293, 300, 312, 337

か

カード媒体	309
カール	292
外観	1
外形寸法	339, 340
回収カートリッジ	
解像度	8
拡張オーバーレイメモリ	2, 17, 19
拡張出力機構	
拡張バーコード出力機構	
拡張文字パターン機構	2, 17, 19
各部の名称	47
加工禁止領域	279
重ね印字	201
仮想キーボード	57
画像展開制御機構	25
仮想テンキー	58
かぶり(地汚れ)	199
紙質	
画面清掃	144
感圧紙	
換気について	x
感光ドラム	22, 42
感光ドラムの交換	197
感光ドラムの取扱い	197
乾式電子写真記録技術	1

ŧ

キー入力	. 57
起動時間	146

基本仕様	8
基本情報	86
基本タブ	59
基本タブ エラー状態	67
基本タブ スタート状態	66
キャリブレーション	143
キャンセル(ボタン)	75
給紙	
強制拡張解像度印刷	99
許容塵埃量	340
許容振動	340
記録サイクル	23
記録部	43

<

クリアプリント中	52
クリアプリント動作	64
クリアプリントボタン	64
クリーナユニット	24, 93, 337
クリーナユニットの交換	

け

警告	vii
警告表示について	ii
警告マーク	vi
形態(用紙の形態)	313
ゲートウェイアドレス	110
現像器	
現像剤	
現像剤の交換	176
現像剤排出口オープン	209
現像部	42

г

高圧電源(HV)	42
高温注意2	50
光学部	42
構成	42
後退SW1	.48
コート紙3	07
コメント編集1	05
コンビニ-EAN12813, 15, 37, 55, 70,	78
コンビニ-EAN128設定	77

t

244
294
83, 90
51

ι

307
303
52
2
2, 3
145
334
xi
157
45, 47, 50
51, 202
202
8
276
83
202
22
336
67
93
xi
51
338
337
337
52
5, 118, 145
72
339

す

推奨紙一覧	295
スイッチ配置	145
「スイッチ配置」ボタン	145
透かし入り用紙	307

スカッフローラー切替レバー	48
スクリーンセーバ	146
図形印刷	
スタート	52
スタートスイッチ	53
スタッカテーブル	48
スタッカパネル	152
スタッカパネルの機能	153
スタッカパネルの配置	152
スタッカ部	48
ストップ	52
ストップスイッチ	53
ずれ(像の乱れ)	201

せ

263
263
144
263
265
4
339
339, 343
339, 343 x
339, 343 x 75, 113, 145, 146
339, 343 x 75, 113, 145, 146 55
339, 343 x 75, 113, 145, 146 55 69
339, 343 x 75, 113, 145, 146 55 69 91

そ

騷音	340
操作機能	55
操作スイッチ	53
操作方法	xi
装置概要	1
装置状態の表示	66
像の乱れ(伸び・縮み・重ね印字・ずれ)	201

た

第2FPD設定	102
帯電器部の清掃	266

50
93
172
208
298
299
143

ち

縮み(像の乱れ) 20)1
チャネルインタフェース	.2
注意	. ii
中間縦ミシン目280,28	32
中間横ミシン目280,28	33
帳票設計279, 33	34
地汚れ19	99
地汚れ(かぶり)19	99

つ

坪量	

τ

低圧電源(LV)	
「定期交換部品」ボタン	94
定着器オープン	207
定着サイクル	24
定着部	42, 43
定着部の清掃	270
定着部右カバー	252, 261, 270
定着むら	201
定着用電源(FV)	
「データ」ランプ	51
データレート設定	110
テーブルオート	
テーブルスイッチ	
テーブルストップ	153
テーブルダウン	153
テストプリント	76
デフォルトルータ	110
電気抵抗値	290
電源	45
電源OFF	53
電源パネル	148
転写サイクル	23

転写帯電器	
転写部	
電波障害防止について	x
添付品	335, 337

と

動作保証環境	339
動作モード選択	61
透明フィルム	
登録処理	81, 86
特殊記号入力時	57
特殊用紙	312
トナー回収ボトル	272
トナー回収ボトル付近の清掃	272
トナー補給	167
トナー補給部	263
トラクタ合わせつまみ	157
トラクタ部	263
ドラム部	48
ドラム付近	48

な

+= (1)	
屮扉	1

に

ニアライフ表示時の処置方法	.164
入力電源	.339

ね

ネットマスク	110
ネットワークアドレス設定	108
ネットワーク設定 108, 120, 123, 130,	135
ネットワークモードの印刷機能	. 32

ወ

濃度		;9
伸び(像の乱れ)	20)1
のりで接着した袋状	犬用紙33	34
ノンインパクトプリン	ቃ	1
ノンカーボン紙)8

は

バーコード印刷	. 31, 37, 277
排気量	340
排紙	8
媒体の選択について	xi
はがき印刷	306
パスワード誤り	140
パスワード入力用キーボード	
パスワード変更用キーボード	
発火	vi
発熱量	339
幅方向の印刷領域	277, 278
搬送部	44
搬送部の清掃	268

ひ

ヒートローラ定着器での定着について	xi
左上カバー	
左前カバー	
ビットマップメモリ	
ビデオインタフェース	2
表示・操作エリア	51
表面固有抵抗	290
ピンチローラ部	263

ふ

フォームオーバレイ	26
フォント	9, 11
複写	8
複写修正	27
副操作パネル	45
副操作パネル配置	148
富士通メインフレーム接続	7
復旧手順	202
フラッシュランプ	337
プリセット値変更	74
プリンタ管理ソフトウエア	32
プリンタ準備中	52
プリンタジョブ管理ソフトウエア	32
プリンタステータス	52
プリントチャージカウンタ	148
プレプリント紙	153
プロテクト	105

^

ページバッファ	25
ページプリンタモード	8, 25, 277, 278
ペーパーナイフ	162
ベクトル印刷	

ほ

保守エリア	340, 341
ホストリカバリ	91
ホッパ部	42

ŧ

マイクロQRコード	.37,	322
前帯電器		43

ờ

右上カバー	47
右側面カバー	47
右前カバー	47
ミシン目合わせ位置	49
ミシン目加工	
ミシン目の交点	284
ミシン目の精度	281
ミシン目の名称	

め

メールシール紙	301
メカコントロールユニット	45
メッセージエリア	51
メニューエリア	50
メンテナンス	52

ŧ

モード	146
文字間隔	38, 332
文字サイズの選択	29
文字修飾	29
文字セット管理	25
文字の回転	30
文字フォントの選択	29
文字列(行)の傾き	30

や

山,	谷	(表示)	 150
山谷	選	尺	 151

ゆ

ユーザ管理者	
ユーザ権限変更	
ユーザ設定	56
ユーザ設定タブ	139
ユニットエマージェンシースイッチ	42, 154

よ

用紙折畳み不良	313
用紙ガイドレバー	. 48
用紙加工精度	281
用紙後退	150
用紙サイズ	151
用紙削除処理	. 83
用紙情報選択	. 59
用紙前進	150
用紙タブ	. 80
用紙長レバー48,	153
用紙坪量153,	276
用紙づまり(ジャム)時の処理	249
用紙づまりの対処方法	251
用紙のカール	292
用紙の形態	313
用紙の欠陥	289
用紙の梱包条件	286
用紙の種類	288
用紙の仕様	276
用紙のセット	155
用紙の装着	. 47
用紙の坪量と填料	289
用紙の取出し	160
用紙の左先端部	315
用紙排出	. 52
用紙箱の形式	287
用紙箱の寸法	287
用紙搬送部	.44
用紙ロード	150
用紙口-ド中止	150
用紙をセットする前に	155

5

ラインプリンタモード	8,	25,	277,	278
ランプ表示状態			51	, 66

Ŋ

リカバリタブ	91
「リカバリ」ランプ	51
リカバリランプが点灯	248
リサイクル	
リセットスイッチ	53

n

レイアウト削除	90
レイアウト情報	85
レイアウト情報選択	60
レイアウト情報の登録	86, 89
レイアウトタブ	84

3

漏洩電流	339
論理プリンタ設定	
論理ページ	
論理用紙	

FUJITSU Printer PS5110B ページプリンタ装置 取扱説明書

2006年2月 初版発行 2022年1月 10版発行

- ●本書を無断で他に転載しないようにお願いします。
- ●本書は、改善のため予告なしに変更されることがあります。
- ●本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、 その他の権利、損害については、当社はその責を負いません。
- ●落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。



このマニュアルは再生紙を使用しています。